

調査資料

令和4年度

横浜市民意識調査

横浜市政策局

# ま え が き

「横浜市民意識調査」は、市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和 47（1972）年度から毎年実施しています。

本年度の調査では、市政への満足度、市政への要望、定住意識、生活の満足度、心配ごとや困っていることなどのほか、特集として、生活時間と行動範囲、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響、今後の横浜のまちについて尋ねました。

調査の結果は、市民ニーズを的確にとらえるための基礎的かつ客観的なデータとして活用していきます。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 3 月

横浜市政策局

## 目 次

I. 調査の概要	1	3. 生活意識	60
1. 目的	1	(1) 生活満足度	60
2. 構成	1	(2) 項目別生活満足度	62
3. 仕様	1	(3) 生活満足度のまとめ	70
4. 項目	1	(4) 心配ごとや困っていること	71
5. 回収結果	1	4. 地域におけるつながり	78
6. 集計方法	2	(1) 隣近所とのつき合い方	78
7. 報告書の見方	2	(2) 隣近所とのつき合いの感じ方	82
8. 回収標本構成	3	5. 生活時間と行動範囲	85
9. 調査票と単純集計結果	9	(1) 自由に過ごせる時間	85
II. 調査の結果	20	(2) 一緒に過ごす人	88
1. 市政	20	(3) 自由に過ごす場所	90
(1) 市政への満足度	20	(4) 自宅以外の自由に過ごす場所	92
(2) 市政への要望	27	(5) 自由に過ごせる時間がない理由	93
(3) 市政全体への満足度	34	(6) 生活の行動頻度	94
(4) 満足度と要望のまとめ	38	(7) 生活の行動範囲	99
2. 定住意識	42	6. 新型コロナウイルス感染症の 感染拡大の影響	104
(1) 現住地居住年数	42	(1) 新型コロナウイルス感染症の 影響	104
(2) 前住地	44	(2) 行動時間の変化	114
(3) 居住地選択時の候補地	45	(3) 重要だと感じるように なったこと	116
(4) 「横浜市」を住まいとして 選んだ理由	48	7. 今後の横浜のまち	118
(5) 現住地定住意向	50	(1) 今後の横浜のまち	118
(6) 希望する転居先	54		
(7) 市内定住意向	54		
(8) 横浜市に住み続ける理由	55		

# I 調査の概要

## 1. 目的

市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

## 2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題などに応じて年度ごとに設定する項目から構成する。

## 3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 抽出人数 5,000 人
- (4) 抽出方法 日本人、外国籍市民ともに住民基本台帳から単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットによる）
- (6) 調査期間 令和 4 年 5 月 25 日（水）～ 6 月 16 日（木）
- (7) 調査実施、集計、分析 株式会社ジャンボ

## 4. 項目

- (1) 【市政】市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度
- (2) 【定住意識】現住地居住年数、前住地、居住地選択時の候補地、「横浜市」を住まいとして選んだ理由、現住地定住意向、横浜に住み続ける理由
- (3) 【生活意識】生活満足度、心配ごとや困りごと
- (4) 【地域におけるつながり】隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方
- (5) 【生活時間と行動範囲】自由に過ごせる時間、行動の頻度と範囲
- (6) 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響】新型コロナウイルス感染症の影響、行動時間の変化、重要だと感じるようになったこと
- (7) 【今後の横浜のまち】今後の横浜のまち

## 5. 回収結果

- (1) 回収件数 2,572 件（郵送回答 1,714 件／インターネット回答 858 件）
- (2) 回収率 51.4%
- (3) 未回収件数 2,428 件（転居、住所不明 77 件を含む）

## 6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別（18区別）、ブロック別（4ブロック別）、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別、設問間クロス集計

## 7. 報告書の見方

- (1) nは質問に対する回答の対象者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 百分比は少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計は通常100.0%を超える。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 単純無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、及び回答比率（P）によって異なる。

### <標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数

n = 回答件数（比率算出の基数）

P = 回答比率

### <標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,572人	±1.16	±1.55	±1.77	±1.89	±1.93
2,000人	±1.31	±1.75	±2.01	±2.15	±2.19
1,000人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
100人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※ 母集団は横浜市全体の満18歳以上人口3,214,344人である。（令和4年3月31日）

### <標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が2,572であり、その設問中の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも1.89以内（58.11%～61.89%）である」とみることができる。

ただし、信頼度が95%であるので、そのように判断することは95%の確率で正しいことになる。

## 8. 回収標本構成

### (1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,572	100.0%
鶴見区	183	7.1%
神奈川区	162	6.3%
西区	54	2.1%
中区	79	3.1%
南区	140	5.4%
港南区	147	5.7%
保土ヶ谷区	144	5.6%
旭区	171	6.6%
磯子区	103	4.0%
金沢区	161	6.3%
港北区	232	9.0%
緑区	121	4.7%
青葉区	219	8.5%
都筑区	143	5.6%
戸塚区	204	7.9%
栄区	79	3.1%
泉区	109	4.2%
瀬谷区	94	3.7%
無回答	27	1.0%

### (2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,572	100.0%
東部	618	24.0%
西部	722	28.1%
南部	490	19.1%
北部	715	27.8%
無回答	27	1.0%

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。  
 東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区  
 西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区  
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区  
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

### (3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（令和4年3月31日現在）	
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
全体	2,572	100.0%	3,214,344	100.0%
18～29歳	250	9.7%	484,854	15.1%
（18～19歳）	(37)	(1.4%)	(68,966)	(2.1%)
30代	253	9.8%	436,516	13.6%
40代	405	15.7%	563,534	17.5%
50代	496	19.3%	586,762	18.3%
60代	408	15.9%	403,506	12.6%
70歳以上	735	28.6%	739,172	23.0%
（80歳以上）	(283)	(11.0%)	(312,241)	(9.7%)
男性計	1,104	42.9%	1,583,378	49.3%
18～29歳	100	3.9%	247,315	7.7%
（18～19歳）	(20)	(0.8%)	(35,013)	(1.1%)
30代	110	4.3%	224,090	7.0%
40代	176	6.8%	286,944	8.9%
50代	213	8.3%	302,231	9.4%
60代	186	7.2%	203,705	6.3%
70歳以上	319	12.4%	319,093	9.9%
（80歳以上）	(113)	(4.4%)	(119,954)	(3.7%)
女性計	1,388	54.0%	1,630,966	50.7%
18～29歳	137	5.3%	237,539	7.4%
（18～19歳）	(13)	(0.5%)	(33,953)	(1.1%)
30代	140	5.4%	212,426	6.6%
40代	219	8.5%	276,590	8.6%
50代	273	10.6%	284,531	8.9%
60代	213	8.3%	199,801	6.2%
70歳以上	405	15.7%	420,079	13.1%
（80歳以上）	(166)	(6.5%)	(192,287)	(6.0%)
性別・年齢無回答	24	0.9%	—	—

(注) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

#### (4) ライフステージ別

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,572	100.0%	
子どもなし (計)		729	28.3%	
1 単身 (1)		273	10.6%	配偶者なし・子どもなし・40歳未満
2 単身 (2)		165	6.4%	配偶者なし・子どもなし・40～64歳
3 夫婦だけ (1)		53	2.1%	配偶者あり・子どもなし・40歳未満
4 夫婦だけ (2)		152	5.9%	配偶者あり・子どもなし・40～64歳
5 高齢子どもなし		86	3.3%	65歳以上・子どもなし
子どもあり (計)		1,670	64.9%	
6 家族形成期		129	5.0%	子どもあり・第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		143	5.6%	子どもあり・第一子が小学校在学中
8 家族成長中期		176	6.8%	子どもあり・第一子が中学校又は高校在学中
9 家族成長後期		126	4.9%	子どもあり・第一子が各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親
10 家族成熟前期		74	2.9%	子どもあり・第一子が学校教育終了・教育期*の子どもがいる
11 家族成熟中期		284	11.0%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳未満
12 家族成熟後期		738	28.7%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳以上
その他		173	6.7%	1～12以外、分類不能

※ 教育期・・・小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<ライフステージとその構成条件>

質問、項目名 選択肢名		ライフ ステージ												そ の 他	
		1 単 身  (1)	2 単 身  (2)	3 夫 婦 だ け  (1)	4 夫 婦 だ け  (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期		
F6 子 ど も	なし あり	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
F2 年 齢	40歳未満 40歳～64歳 65歳以上	○		○			/	/	/	/	/	/	○		
F5 未 ・ 既 婚	既婚・有配偶者 既婚・配偶者離死別 未婚			○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/
F 6 子 ど も の 成 長 段 階	小学校入学前 小学校在学中 中学校在学中 高校在学中 各種・専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中 学校教育終了 未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居	/	/	/	/	/	○	○			○	○	○	○	○

(注1) ライフステージ間は重複しないものとする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合、第一子の状況とする。

(注3) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを条件とする。

(注4) ライフステージの「その他」は、1～12以外のもの及び分類不能なもの（構成条件の質問で「その他」もしくは「無回答」と回答したもの）である。



### (5) 世帯類型別

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,572	100.0%	
1 ひとり暮らし (1)		77	3.0%	ひとり暮らし・40歳未満
2 ひとり暮らし (2)		110	4.3%	ひとり暮らし・40～64歳
3 ひとり暮らし (3)		140	5.4%	ひとり暮らし・65歳以上
4 夫婦のみ (1)		234	9.1%	夫婦二人暮らし・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		454	17.7%	夫婦二人暮らし・子どもあり
6 子と同居 (1)		564	21.9%	親子2世代で同居・教育期*の子どもがいる
7 子と同居 (2)		347	13.5%	親子2世代で同居・子どもが全員学校教育終了
8 親と同居 (1)		166	6.5%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳未満
9 親と同居 (2)		79	3.1%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳以上
10 祖父母と親と子		108	4.2%	祖父母と親子と子3世代で同居
その他		293	11.4%	1～10以外、分類不能

※ 教育期…小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型 質問、項目名 選択肢名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他
		ひとり暮らし(1)	ひとり暮らし(2)	ひとり暮らし(3)	夫婦のみ(1)	夫婦のみ(2)	子と同居(1)	子と同居(2)	親と同居(1)	親と同居(2)	祖父母と親と子	
F7 家族形態	一人暮らし	○	○	○								
	夫婦のみ				○	○						
	親と子(2世代)						○	○	○	○		
	祖父母と親と子(3世代)										○	
F6 子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門学校在学中					○	○					
	短大・大学・大学院在学中					○	○					
	学校教育終了							○	○	○		
F2 年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 世帯類型間は重複しないものとする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終了した子どもの有無は問わない。「7 子と同居(2)」は学校教育を終了した子どものみとする。(○)印は分類には影響しない

(注3) 世帯類型の「その他」は、1～10以外のもの及び分類不能なもの(構成条件の質問で「その他」もしくは「無回答」と回答したもの)である。

(6) 出生地別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
横浜生まれ		770	29.9%
横浜以外		1,766	68.7%
無回答		36	1.4%

(7) 未・既婚別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
既婚(計)		2,040	79.3%
有配偶者		1,734	67.4%
離死別		306	11.9%
未婚		493	19.2%
無回答		39	1.5%

(8) 共働き状況別 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合
全体		1,734	100.0%
共働きしている		779	44.9%
共働きしていない		938	54.1%
無回答		17	1.0%

(9) 職業別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
有職者(計)		1,506	58.6%
自営業		167	6.5%
管理職		168	6.5%
専門技能職		243	9.4%
事務職		476	18.5%
現業職		452	17.6%
無職者(計)		1,012	39.3%
専業主婦・主夫		372	14.5%
学生		80	3.1%
無職		560	21.8%
無回答		54	2.1%

(10) 就業形態別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,339	100.0%
会社役員		66	4.9%
正社員・正規職員		783	58.5%
アルバイト・パート		316	23.6%
派遣社員		30	2.2%
契約社員・嘱託社員		118	8.8%
その他		18	1.3%
無回答		8	0.6%

(11) 勤務地別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,339	100.0%
居住区内		332	24.8%
市内他区		396	29.6%
川崎市		88	6.6%
川崎市を除く県内の他市町村		86	6.4%
東京都区部		377	28.2%
東京都区部を除く東京都		19	1.4%
千葉県		4	0.3%
埼玉県		7	0.5%
その他		15	1.1%
無回答		15	1.1%

(12) 住居形態別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
持家(一戸建て)		1,217	47.3%
持家(マンション・共同住宅)		715	27.8%
借家(一戸建て)		50	1.9%
借家(県営・市営の共同住宅)		59	2.3%
借家(都市再生機構(旧公団)・ 公社の共同住宅)		62	2.4%
借家(社宅、公務員住宅)		51	2.0%
借家(民間アパート、民間 賃貸マンション)		374	14.5%
その他		19	0.7%
無回答		25	1.0%

(13) 鉄道路線別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
横浜線		182	7.1%
東横線・みなとみらい線		213	8.3%
田園都市線・こどもの国線		216	8.4%
根岸線		181	7.0%
相鉄線		390	15.2%
東海道線北部		202	7.9%
東海道線南部		255	9.9%
京浜急行線		305	11.9%
市営地下鉄線北部		248	9.6%
市営地下鉄線南部		220	8.6%
その他・不明		160	6.2%

(注)・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」  
 ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外  
 ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」  
 ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区  
 ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

# 『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,572]

【定住意識】まず、お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

2.2	65年以上前〔昭和32年(1957年)以前〕	
3.5	55～64年前〔昭和33～42年(1958～1967年)〕	
7.0	45～54年前〔昭和43～52年(1968～1977年)〕	
10.7	35～44年前〔昭和53～62年(1978～1987年)〕	
12.9	25～34年前〔昭和63～平成9年(1988～1997年)〕	
22.5	15～24年前〔平成10～19年(1998～2007年)〕	
11.2	10～14年前〔平成20～24年(2008～2012年)〕	
11.2	5～9年前〔平成25～29年(2013～2017年)〕	
18.1	5年未満〔平成30年(2018年)以降〕	0.7 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

3ページ ←  
問3へ

4.4	生まれてからずっと現住所に住んでいる	5.1	川崎市を除く県内の他市町村
28.9	今住んでいるのと同じ区内	7.9	東京都区部
30.7	横浜市内の別の区	2.1	東京都区部を除く東京都内
5.9	川崎市	14.3	そのほかの道府県・国外

(問2で「2」～「8」と答えた方に)

0.8 (無回答)

→ 問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。(○は1つ)

(n=2,439)

54.9	当初から「横浜市」に住むつもりだった。	
10.5	いくつかの候補地の中で、最も「横浜市」に住みたいと思っていた。	
2.3	「横浜市」は候補地の1つだったが、できれば「横浜市」以外に住みたいと思っていた。	
12.4	「横浜市」を含めた候補地のうち、どこに住んでもよいと思っていた。	
1.3	「横浜市」は、候補地として考えていなかった。	
13.4	候補地は決めていなかった。	5.2 (無回答)

問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=2,439)

22.7	生まれ育った場所だから	7.4	街ににぎわいや活気があるから
18.0	自分や家族の持家だから	13.2	街並みや景観がよいから
8.2	家賃や住宅の価格が手ごろだから	14.5	自然が身近にあるから
27.3	親や子、親族、友人などがいるから	14.3	街のイメージがよいから
42.6	通勤・通学に便利だから	13.4	愛着を感じているから
19.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから	22.7	横浜が好きだから
7.2	子育ての環境が整っているから	7.7	その他(具体的に )
10.2	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	3.9	特に理由はない
		2.8	(無回答)

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

問4へ	37.8 住み続ける	9.8 たぶん転居する	11.5 わからない	1.7 (無回答)
	34.7 たぶん住み続ける	4.5 転居する		

↓  
問5へ

→(問3で「3」または「4」と答えた方に)

問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ) (n=367)

7.9 同じ区内	22.1 横浜市内	28.3 横浜市以外	39.0 具体的にはわからない	2.7 (無回答)
↓ 問4へ		↓ 問5へ		

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に) (n=1,975)

→問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

25.1 生まれ育った場所だから	9.8 街ににぎわいや活気があるから
54.2 自分や家族の持家だから	16.7 街並みや景観がよいから
3.1 家賃や住宅の価格が手ごろだから	20.3 自然が身近にあるから
31.9 親や子、親族、友人などがいるから	16.1 街のイメージがよいから
27.0 通勤・通学に便利だから	37.3 長年住んでいて愛着があるから
32.7 買い物、医療などの生活環境が整っているから	32.2 横浜が好きだから
3.7 子育ての環境が整っているから	2.1 その他(具体的に )
16.3 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	1.0 特に理由はない

0.6 (無回答)

【地域におけるつながり】

問5 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

13.1 顔もよく知らない	2.0 (無回答)
46.8 道で会えば挨拶ぐらいする	
27.7 たまに立ち話をする	
4.5 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている	
5.9 困ったとき、相談したり助け合ったりする	

問6 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

77.7 互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	1.4 (無回答)
7.8 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	
11.5 親密な人間関係があって、暮らしやすい	
1.5 人間関係が濃密で、わずらわしい	

【生活意識】次に、生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問7 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。  
(○は1つ)

27.8	満足しているほう	6.9	やや不満があるほう
47.4	まあ満足しているほう	3.5	不満があるほう
13.0	どちらともいえない		1.4 (無回答)

問8 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	ほ満足している	いままあ満足している	いどちえらなど	あやや不満がある	ほ不満がある	無回答
(ア) 住まい	33.0	47.5	9.4	6.4	2.7	1.0
(イ) 自由に過ごせる時間	33.4	41.7	12.1	8.4	2.5	1.9
(ウ) 仕事・学業	17.8	33.5	24.1	9.1	3.3	12.3
(エ) 収入	12.9	32.5	27.1	16.2	8.2	3.1
(オ) 健康	17.4	43.3	20.7	12.4	4.5	1.7
(カ) 家族との関係	39.2	40.9	11.7	4.5	1.7	2.0
(キ) 友人や近隣とのつき合い	18.1	47.2	28.6	3.3	1.1	1.7

問9 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。  
(○は3つまで)

54.2	自分の病気や健康、老後のこと	3.1	近隣からの悪臭・騒音
38.5	家族の病気や健康、生活上の問題	4.0	環境問題
6.0	失業・倒産や収入が減ること	9.1	事故や災害のこと
14.3	仕事や職場のこと	4.3	犯罪や防犯のこと
25.8	景気や生活費のこと	10.4	住宅のこと
11.5	子どもの保育や教育のこと	3.6	その他(具体的に)
6.2	子どもの結婚や就職のこと	12.1	心配ごとや困っていることはない

2.5 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問 10 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。  
(○はいくつでも)

- 53.4 バス・地下鉄などの便
- 18.2 幹線道路や高速道路の整備
- 20.5 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 2.9 違法駐車防止や交通安全対策
- 3.3 駐車場の整備
- 21.4 最寄り駅周辺の整備
- 8.1 都心部の整備や魅力づくり
- 16.4 街並みや景観の形成や保全
- 6.5 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 5.3 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 10.5 身近な住民窓口サービス
- 8.4 役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化
- 0.6 中小企業振興や雇用の創出
- 3.7 商店街の振興
- 3.4 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 21.4 公園・動物園の整備
- 15.9 緑の保全と緑化の推進
- 7.4 河川改修と水辺環境の整備
- 6.3 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 24.5 良質な水の確保や安定供給
- 1.9 環境汚染や騒音などへの対策
- 34.8 ごみの分別収集、リサイクル
- 5.0 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 1.7 地球温暖化への対策
- 3.4 地震や台風などの災害対策
- 4.1 防犯対策
- 2.3 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 3.5 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 2.8 学校教育の充実
- 1.1 青少年の健全育成
- 16.8 病院や救急医療など地域医療
- 10.5 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 6.8 高齢者福祉
- 3.8 障害者福祉
- 2.3 経済的に困っている人の保護や支援
- 0.7 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 9.6 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 9.1 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 5.0 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 3.8 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策
- 2.0 国際交流・協力の推進
- 2.1 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 1.2 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 0.9 その他（具体的に )
- 10.4 わからない

3.0（無回答）

問 11 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。（〇はいくつでも）

- 21.5 バス・地下鉄などの便
- 6.7 幹線道路や高速道路の整備
- 23.4 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 16.2 違法駐車防止や交通安全対策
- 10.3 駐車場の整備
- 20.0 最寄り駅周辺の整備
- 5.3 都心部の整備や魅力づくり
- 12.5 街並みや景観の形成や保全
- 4.8 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 3.4 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 17.5 身近な住民窓口サービス
- 17.5 役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化
- 7.1 中小企業振興や雇用の創出
- 17.3 商店街の振興
- 8.4 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 12.4 公園・動物園の整備
- 16.3 緑の保全と緑化の推進
- 12.0 河川改修と水辺環境の整備
- 11.0 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 15.8 良質な水の確保や安定供給
- 11.4 環境汚染や騒音などへの対策
- 13.3 ごみの分別収集、リサイクル
- 18.3 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 21.3 地球温暖化への対策
- 31.1 地震や台風などの災害対策
- 25.7 防犯対策
- 7.6 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 19.0 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 18.8 学校教育の充実
- 10.4 青少年の健全育成
- 28.5 病院や救急医療など地域医療
- 22.6 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 28.9 高齢者福祉
- 13.8 障害者福祉
- 17.0 経済的に困っている人の保護や支援
- 6.5 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 8.8 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 12.6 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 9.3 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 17.8 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策
- 5.2 国際交流・協力の推進
- 4.7 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 5.4 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 3.7 その他（具体的に
- 4.9 わからない

2.0（無回答）



問 12 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

7.7 満足しているほう	9.0 やや不満があるほう
36.2 まあ満足しているほう	6.0 不満があるほう
33.2 どちらともいえない	6.2 わからない
1.7 (無回答)	

【生活時間と行動範囲】

問 13 あなたは、普段自由に過ごせる時間がありますか。（○は1つ）

39.9 十分にある	40.1 多少はある	12.5 あまりない	2.3 ほとんどない
5.3 (無回答)			

(問 13 で「1」「2」と答えた方に)

問 13-1

自由に過ごせる時間を、誰と過ごすことが多いですか。もっとも多いものを1つお選びください。（○は1つ）

(n=2,057)

- 42.0 ひとり
- 43.2 家族や親類
- 3.8 隣近隣の友人・知人
- 8.5 仕事や趣味などを通じた友人・知人
- 1.1 その他（具体的に )

1.5 (無回答)

問 13-2

自由に過ごせる時間を、どこで過ごすことが多いですか。もっとも多いものを1つお選びください。（○は1つ）

(n=2,057)

- 56.9 あまり外出せず、自宅で過ごす
- 20.9 近隣にある知人・友人の家や飲食店、公園など、住んでいる地域で過ごす
- 13.5 電車やバス、自家用車などに乗って、繁華街や東京などに出かける
- 5.9 旅行やドライブなどで遠出する

2.8 (無回答)

(問 13-2 で「2」「3」「4」と答えた方に)

問 13-3

自宅以外で、自由に過ごせる時間を過ごす場所はどこですか。（○はいくつでも）

(n=829)

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 18.1 離れて暮らす家族・親族の家          | 39.4 公園、河川敷などのオープンスペース   |
| 14.5 友人・知人の家                | 9.7 図書館などの社会教育施設         |
| 4.1 学校や会社・店舗などの職場           | 9.2 地区センターなどの市民利用施設      |
| 41.4 カフェなどの飲食店              | 14.7 スポーツセンターなどのスポーツ施設   |
| 34.4 コンビニエンスストア、スーパーなどの商業施設 | 11.6 美術館、区民文化センターなどの文化施設 |
| 8.7 カラオケ、パチンコなどの遊興施設、遊技施設   | 9.7 その他（具体的に )           |

2.7 (無回答)

問 14 あなたは、次のことをどのくらいの頻度でしていますか。なお、することがない項目については「しない」を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	ほ ぼ 毎 日	週 に 2 〜 3 回	週 に 1 回	月 に 2 〜 3 回	月 に 1 回	年 に 1 回 〜 数 回	し な い	無 回 答
(ア) 食料品・日用品を買いに行く	19.6	46.1	21.2	5.9	1.6	1.1	3.1	1.4
(イ) 洋服や装飾品を買いに行く	0.0	0.6	3.0	15.6	28.9	40.1	9.3	2.5
(ウ) かかりつけの病院や診療所に行く	0.4	2.3	3.3	14.4	32.3	36.1	9.7	1.4
(エ) 散歩をしたり、公園へ出かける	15.0	17.0	14.3	12.8	8.1	11.7	19.1	2.1

問 15 あなたは、次のことをする場合、主にどこに行きますか。(○はそれぞれ1つ。ただし、問 14 で「しない」と回答した項目については無記入としてください。)

	住 まい 15分 程度 以内	横 浜 市 内	横 浜 市 を 除 く 神 奈 川 県 内	東 京 都 内	そ れ 以 外 の 地 域	無 回 答
(ア) 食料品・日用品を買いに行く (n=2, 458)	63.9	33.0	1.6	0.1	0.3	1.1
(イ) 洋服や装飾品を買いに行く (n=2, 269)	11.6	73.1	5.9	5.9	2.0	1.6
(ウ) かかりつけの病院や診療所に行く (n=2, 286)	47.2	43.5	3.5	3.4	0.4	2.0
(エ) 散歩をしたり、公園へ出かける (n=2, 027)	60.3	32.4	3.8	0.7	1.3	1.4

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響】

問 16 あなたの生活で、新型コロナウイルス感染症の影響により、次のことが増えましたか。それとも減りましたか。なお、ご自身に関連しない項目については「変わらない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

	増えた	変わらない	減った	無回答
(ア) 世帯の収入	2.6	75.3	19.3	2.8
(イ) 世帯の支出	29.9	57.6	9.8	2.7
(ウ) しごと・労働時間（学業を含む）	9.9	70.6	12.6	6.9
(エ) 一人で過ごす時間	29.8	56.4	11.1	2.7
(オ) 家族と過ごす時間	32.7	56.3	8.0	3.1
(カ) 友人・知人と過ごす時間	2.3	30.1	64.7	2.9
(キ) 地域のひととのつながり	1.2	55.9	39.7	3.2
(ク) 運動する時間	9.5	53.7	33.3	3.6
(ケ) 店舗に出向いて買い物をする機会	3.9	46.9	46.5	2.7
(コ) インターネットショッピングや通販の利用	42.8	47.8	4.4	5.1
(サ) 外出する機会	2.5	30.8	64.0	2.8
(シ) インターネットの利用	44.9	46.0	2.9	6.3

問 17 あなたの生活の中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前と比べて、する時間が増えたことはありますか。また、する時間が減ったことはありますか。（○はそれぞれいくつでも）

(ア) する時間が増えたこと

17.1 睡眠	8.5	自分の身の回りの用事 (入浴、化粧、整髪、着替えなど)	
2.3 通勤・通学			
30.6 家事	19.2	趣味・娯楽	
3.9 介護・看護	43.7	スマートフォンの利用	
6.5 育児	2.6	その他（具体的に	)
8.6 学習・自己啓発・訓練(学業以外)	28.1	特になし	2.0 (無回答)

(イ) する時間が減ったこと

8.3 睡眠	12.2	自分の身の回りの用事 (入浴、化粧、整髪、着替えなど)	
18.2 通勤・通学			
1.4 家事	30.1	趣味・娯楽	
0.5 介護・看護	0.6	スマートフォンの利用	
0.2 育児	4.3	その他（具体的に	)
5.1 学習・自己啓発・訓練(学業以外)	40.0	特になし	2.8 (無回答)

問 18 新型コロナウイルス感染症の影響により、次の中で、あなたにとって前より重要だと感じるようになったことはありますか。また、前より重要ではなくなったことはありますか。（〇はそれぞれいくつでも）

(ア) 前より重要だと感じるようになったこと

48.1 同居する家族・親族等	13.8 通勤や通学のしやすさ
43.9 離れて暮らす家族や親族	24.6 趣味
31.8 友人・知人	28.7 余暇や休日を楽しく過ごせる場所
13.2 地域の人とのつながり	19.0 日用品などを購入できる近隣の店舗
14.5 一人で過ごす時間	21.2 インターネットショッピングや通販
15.2 仕事（学業を含む）	1.5 その他（具体的に
40.0 収入や貯蓄	9.8 特にな

2.1（無回答）

(イ) 前より重要ではなくなったこと

0.9 同居する家族・親族等	9.2 通勤や通学のしやすさ
2.1 離れて暮らす家族や親族	3.7 趣味
4.6 友人・知人	5.5 余暇や休日を楽しく過ごせる場所
6.8 地域の人とのつながり	2.7 日用品などを購入できる近隣の店舗
3.3 一人で過ごす時間	2.1 インターネットショッピングや通販
3.6 仕事（学業を含む）	0.6 その他（具体的に
0.7 収入や貯蓄	60.9 特にな

7.1（無回答）

【今後の横浜のまち】

問 19 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。（〇は5つまで）

27.3 多くの企業が集まり、安定した雇用がある
10.5 様々な分野で先端技術を活かした取組が進んでいる
13.7 国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある
15.1 国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある
18.0 文化・芸術に触れる機会が多くある
22.7 歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある
10.5 スポーツに親しむ機会（観戦や応援を含む）が身近にある
34.9 豊かな自然がある
15.0 地球温暖化対策など環境に配慮した取組が進んでいる
49.4 医療体制が充実している
15.7 魅力的な商業施設が多い
17.8 鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている
16.8 バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している
24.6 子どもを安心して育てられる
35.0 高齢者や障害のある人も暮らしやすい
5.4 住民同士の協力や助け合いが盛んである
33.4 災害に強い
30.8 犯罪が起きにくい
18.0 市民の声が市政に十分反映されている
1.7 その他（具体的に
2.7 特にな

5.1（無回答）

【あなたのこと】

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入をよろしくお願いいたします。

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

42.9	男性	54.0	女性	3.1	(無回答)
------	----	------	----	-----	-------

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.4	18～19歳	5.3	35～39歳	8.7	55～59歳	7.7	75～79歳
4.1	20～24歳	6.8	40～44歳	8.2	60～64歳	11.0	80歳以上
4.2	25～29歳	8.9	45～49歳	7.7	65～69歳		
4.5	30～34歳	10.6	50～54歳	9.9	70～74歳	1.0	(無回答)

F 3 あなたのお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

8.5	青葉区	4.0	磯子区	5.7	港南区	3.7	瀬谷区	7.9	戸塚区	5.6	保土ヶ谷区
6.6	旭区	6.3	神奈川区	9.0	港北区	5.6	都筑区	3.1	中区	4.7	緑区
4.2	泉区	6.3	金沢区	3.1	栄区	7.1	鶴見区	2.1	西区	5.4	南区
										1.0	(無回答)

F 4 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

29.9	はい	68.7	いいえ	1.4	(無回答)
------	----	------	-----	-----	-------

F 5 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

67.4	既婚(配偶者あり)	11.9	既婚(離別・死別)	19.2	未婚	1.5	(無回答)
------	-----------	------	-----------	------	----	-----	-------

(F 5で「1」と答えた方に)

⇒ F 5-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ) (n=1,734)

44.9	している	54.1	していない	1.0	(無回答)
------	------	------	-------	-----	-------

F 6 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

28.3	子どもはいない	6.3	短大・大学・大学院在学中
7.4	小学校入学前	14.7	学校教育終了－未婚－同居
8.5	小学校在学中	11.9	学校教育終了－未婚－別居
5.7	中学校在学中	4.0	学校教育終了－既婚－同居
5.4	高校在学中	27.9	学校教育終了－既婚－別居
0.8	各種学校、専修・専門学校在学中	2.6	その他(具体的に )

4.1 (無回答)

F 7 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

12.7	一人暮らし	4.2	祖父母と親と子(3世代)
28.7	夫婦のみ	2.8	その他
48.8	親と子(2世代)		(具体的に )

2.9 (無回答)

F 8 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

47.3 持家(一戸建て)	2.4 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)
27.8 持家(マンション・共同住宅)	2.0 借家(社宅、公務員住宅)
1.9 借家(一戸建て)	14.5 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)
2.3 借家(県営・市営の共同住宅)	0.7 その他(具体的に )

1.0 (無回答)

F 9 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

6.5 自営業 (農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
6.5 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)
9.4 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など)
18.5 事務職 (事務職、営業職、教員など)
17.6 現業職 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)
14.5 専業主婦・主夫
3.1 学 生
21.8 無 職

2.1 (無回答)

(F 9で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 9-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ) (n=1,339)

4.9 会社役員	23.6 アルバイト・パート	8.8 契約社員・嘱託社員
58.5 正社員・正規職員	2.2 派遣社員	1.3 その他(具体的に )

0.6 (無回答)

→ F 9-2 あなたの勤務地(複数ある場合は主な勤務地)はどこですか。(○は1つ) (n=1,339)

24.8 居住区内	6.4 川崎市を除く県内の他市町村	0.3 千葉県
29.6 市内他区	28.2 東京都区部	0.5 埼玉県
6.6 川崎市	1.4 東京都区部を除く東京都	1.1 その他( )

1.1 (無回答)

→ F 9-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。勤務地が複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ) (n=1,339)

34.1 30分未満	25.2 1時間～1時間30分未満	1.3 2時間以上
33.0 30分～1時間未満	5.9 1時間30分～2時間未満	0.4 (無回答)

F 10 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

注：複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

10.1 東海道線・横須賀線	18.3 市営地下鉄線〔ブルーライン・グリーンライン〕
7.1 横浜線	0.6 南武線
7.7 東横線	1.0 金沢シーサイドライン
8.4 田園都市線・こどもの国線	0.6 鶴見線
4.9 京浜東北線〔横浜～鶴見〕	0.6 みなとみらい線
7.0 根岸線〔横浜～大船〕	1.2 その他・駅名
12.6 京浜急行線	(具体的に )
15.2 相鉄線〔本線・いずみ野線・新横浜線〕	0.3 わからない

4.4 (無回答)

ご協力ありがとうございました。

## II 調査の結果

### 1. 市政

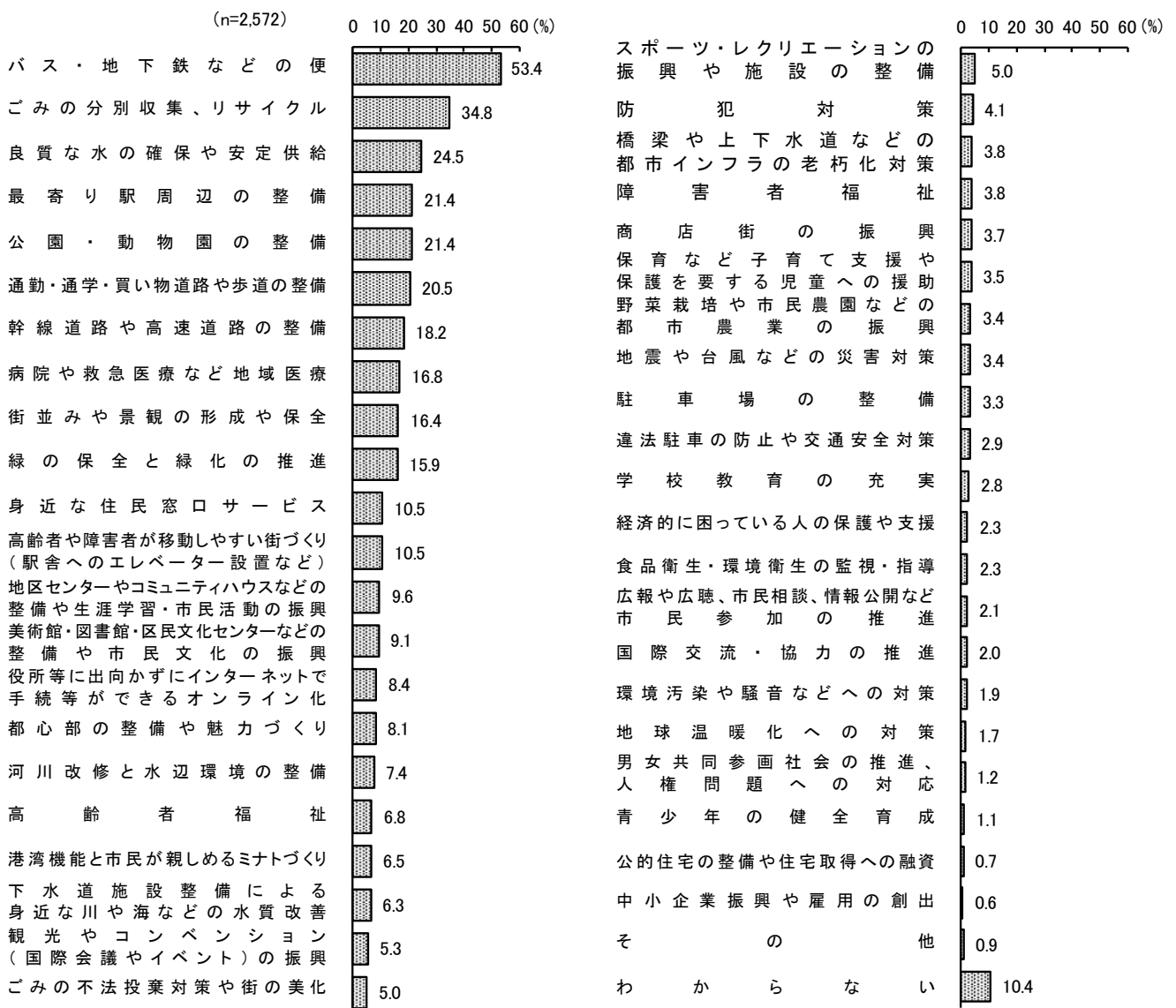
#### (1) 市政への満足度

問10 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

#### 「バス・地下鉄などの便」が1位

市政への満足度について最も満足度が高いのは、「バス・地下鉄などの便」(53.4%)で、次いで「ごみの分別収集、リサイクル」(34.8%)、「良質な水の確保や安定供給」(24.5%)、「最寄り駅周辺の整備」と「公園・動物園の整備」(21.4%)の順となっている。

図1-1-1 市政への満足度 [全体] (複数回答)



① 市政への満足度〔経年変化〕

「バス・地下鉄などの便」は15年連続1位

経年変化について単純な比較はできないが、平成15年からの上位5項目をみると、「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」は、安定して上位に挙げられる項目といえる。「バス・地下鉄などの便」は、前回から1.0ポイント増加して、15年連続して1位となっている。2位の「ごみの分別収集、リサイクル」も15年連続、3位の「良質な水の確保や安定供給」は10年連続で同じ順位となっている。

② 市政への満足度〔ブロック別〕（注）ブロック別の構成は回収標本構成（P3）参照。

「バス・地下鉄などの便」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全ブロックで「バス・地下鉄などの便」が1位、「ごみの分別収集、リサイクル」が2位となっている。また、全体では上位5位に含まれない項目として、東部では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（「良質な水の確保や安定供給」と同率）、北部では「幹線道路や高速道路の整備」と「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が同率で3位となっている。

③ 市政への満足度〔区別〕

「バス・地下鉄などの便」は17区で1位

区別にみると、18区中17区で「バス・地下鉄などの便」が1位となっており、金沢区では「ごみの分別収集、リサイクル」が1位となっている。また、都筑区では「緑の保全と緑化の推進」、青葉区では「幹線道路や高速道路の整備」（「ごみの分別収集、リサイクル」と同率）が2位となっている。



表 1-1-1 市政への満足度 [上位 5 位の経年変化] (複数回答)

年度	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 15 年		バス・地下鉄などの便 30.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.2	公園・動物園の整備 18.4	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 14.2	美術館・図書館などの整備 13.2
16 年		バス・地下鉄などの便 43.7	公園・動物園の整備 22.5	幹線道路や高速道路の整備 21.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.9
17 年		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.3	公園・動物園の整備 19.6	良質な水の確保や安定供給 17.5	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 16.5
18 年		ごみの分別収集、リサイクル 34.6	バス・地下鉄などの便 31.2	公園・動物園の整備 19.2	良質な水の確保や安定供給 16.8	最寄駅の周辺の整備 15.7
19 年		ごみの分別収集、リサイクル 37.1	バス・地下鉄などの便 32.9	良質な水の確保や安定供給 16.6	公園・動物園の整備 15.8	最寄駅の周辺の整備 14.6
20 年		バス・地下鉄などの便 39.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.0	良質な水の確保や安定供給 20.1	最寄駅の周辺の整備 18.2	公園・動物園の整備 16.7
21 年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 21.4	公園・動物園の整備 19.4	最寄駅の周辺の整備 19.0
22 年		バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	最寄り駅周辺の整備 21.1	公園・動物園の整備 19.3	良質な水の確保や安定供給 18.3
23 年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.1	良質な水の確保や安定供給 20.8	最寄り駅周辺の整備 20.5	公園・動物園の整備 16.4
24 年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 20.2	公園・動物園の整備 18.7
25 年		バス・地下鉄などの便 45.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.2	最寄り駅周辺の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.0
26 年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 16.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 15.7
27 年		バス・地下鉄などの便 48.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 18.8	幹線道路や高速道路の整備 17.0
28 年		バス・地下鉄などの便 50.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.7	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 18.4
29 年		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 21.3	公園・動物園の整備 19.3
30 年		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
令和元年		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
2 年		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
3 年		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
4 年		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備/公園・動物園の整備 21.4	

表1-1-2 市政への満足度 [ブロック別、区別] (複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備／公園・動物園の整備 21.4	
ブロック別	東部 (n=618)	バス・地下鉄などの便 56.8	ごみの分別収集、リサイクル 32.4	良質な水の確保や安定供給／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.0	公園・動物園の整備 20.9	
	西部 (n=722)	バス・地下鉄などの便 47.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.6	良質な水の確保や安定供給 24.7	最寄り駅周辺の整備 24.0	公園・動物園の整備 21.9
	南部 (n=490)	バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 41.8	良質な水の確保や安定供給 30.0	公園・動物園の整備 23.1	最寄り駅周辺の整備 19.8
	北部 (n=715)	バス・地下鉄などの便 57.1	ごみの分別収集、リサイクル 32.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.1	幹線道路や高速道路の整備 23.4	最寄り駅周辺の整備 23.4
区別	鶴見区 (n=183)	バス・地下鉄などの便 52.5	ごみの分別収集、リサイクル 27.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.0	良質な水の確保や安定供給 20.8	病院や救急医療など地域医療 20.2
	神奈川区 (n=162)	バス・地下鉄などの便 50.6	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2	良質な水の確保や安定供給 20.4	公園・動物園の整備 18.5
	西区 (n=54)	バス・地下鉄などの便 61.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.5	公園・動物園の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.1	街並みや景観の形成や保全 24.1	
	中区 (n=79)	バス・地下鉄などの便 58.2	ごみの分別収集、リサイクル 36.7	公園・動物園の整備 35.4	街並みや景観の形成や保全 31.6	良質な水の確保や安定供給／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.3
	南区 (n=140)	バス・地下鉄などの便 67.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.0	良質な水の確保や安定供給 27.9	病院や救急医療など地域医療 21.4	公園・動物園の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.7
	港南区 (n=147)	バス・地下鉄などの便 66.0	ごみの分別収集、リサイクル 42.2	良質な水の確保や安定供給 33.3	最寄り駅周辺の整備 24.5	幹線道路や高速道路の整備 19.0
	保土ヶ谷区 (n=144)	バス・地下鉄などの便 49.3	ごみの分別収集、リサイクル 36.8	良質な水の確保や安定供給 27.1	幹線道路や高速道路の整備 17.4	最寄り駅周辺の整備 16.7
	旭区 (n=171)	バス・地下鉄などの便 42.7	ごみの分別収集、リサイクル 38.6	公園・動物園の整備 26.3	最寄り駅周辺の整備 24.0	良質な水の確保や安定供給 23.4
	磯子区 (n=103)	バス・地下鉄などの便 59.2	ごみの分別収集、リサイクル 42.7	良質な水の確保や安定供給 35.0	公園・動物園の整備 20.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 18.4
	金沢区 (n=161)	ごみの分別収集、リサイクル 41.0	バス・地下鉄などの便 39.8	公園・動物園の整備 31.1	良質な水の確保や安定供給 25.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.9
	港北区 (n=232)	バス・地下鉄などの便 57.8	ごみの分別収集、リサイクル 33.2	良質な水の確保や安定供給 23.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.7	最寄り駅周辺の整備 19.8
	緑区 (n=121)	バス・地下鉄などの便 56.2	ごみの分別収集、リサイクル 30.6	公園・動物園の整備 26.4	緑の保全と緑化の推進 24.0	良質な水の確保や安定供給 19.8
	青葉区 (n=219)	バス・地下鉄などの便 58.9	ごみの分別収集、リサイクル／幹線道路や高速道路の整備 30.1	最寄り駅周辺の整備 27.9	街並みや景観の形成や保全 25.1	
	都筑区 (n=143)	バス・地下鉄などの便 53.8	緑の保全と緑化の推進 44.1	街並みや景観の形成や保全 38.5	ごみの分別収集、リサイクル 36.4	公園・動物園の整備 35.7
	戸塚区 (n=204)	バス・地下鉄などの便 56.4	ごみの分別収集、リサイクル 32.8	良質な水の確保や安定供給 27.9	最寄り駅周辺の整備 27.0	公園・動物園の整備 21.1
	栄区 (n=79)	バス・地下鉄などの便 44.3	ごみの分別収集、リサイクル 41.8	最寄り駅周辺の整備 27.8	良質な水の確保や安定供給 26.6	公園・動物園の整備 22.8
	泉区 (n=109)	バス・地下鉄などの便 47.7	ごみの分別収集、リサイクル 37.6	最寄り駅周辺の整備 28.4	公園・動物園の整備 23.9	良質な水の確保や安定供給／緑の保全と緑化の推進 22.0
	瀬谷区 (n=94)	バス・地下鉄などの便 34.0	ごみの分別収集、リサイクル／公園・動物園の整備 24.5	最寄り駅周辺の整備 23.4	良質な水の確保や安定供給 19.1	

④ 市政への満足度 [年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、全ての年齢で1位

年齢別にみると、全ての年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、18～29歳で「最寄り駅周辺の整備」、30代、40代では「公園・動物園の整備」が2位となっている。

⑤ 市政への満足度 [性・年齢別]

男性18～29歳で「最寄り駅周辺の整備」と「都心部の整備や魅力づくり」が同率2位

性・年齢別にみると、全ての性・年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、女性18～29歳、男性30代で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位となっている。

表1-1-3 市政への満足度 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備／公園・動物園の整備 21.4	
	18～29歳 (n=250)		バス・地下鉄などの便 49.2	最寄り駅周辺の整備 25.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.0	ごみの分別収集、リサイクル 20.0	公園・動物園の整備 18.8
	30代 (n=253)		バス・地下鉄などの便 48.6	公園・動物園の整備 31.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.9	ごみの分別収集、リサイクル 21.7	最寄り駅周辺の整備 19.8
	40代 (n=405)		バス・地下鉄などの便 44.2	公園・動物園の整備 23.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.7	ごみの分別収集、リサイクル／幹線道路や高速道路の整備 20.7	幹線道路や高速道路の整備 19.3
	50代 (n=496)		バス・地下鉄などの便 52.0	ごみの分別収集、リサイクル 30.8	良質な水の確保や安定供給 23.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.0	幹線道路や高速道路の整備 22.2
	60代 (n=408)		バス・地下鉄などの便 51.7	ごみの分別収集、リサイクル 41.9	良質な水の確保や安定供給 31.6	公園・動物園の整備 24.0	最寄り駅周辺の整備 22.5
	70歳以上 (n=735)		バス・地下鉄などの便 63.5	ごみの分別収集、リサイクル 51.7	良質な水の確保や安定供給 33.5	病院や救急医療など地域医療 29.8	最寄り駅周辺の整備 23.0
性・年齢別	男性計 (n=1,104)		バス・地下鉄などの便 53.8	ごみの分別収集、リサイクル 34.9	良質な水の確保や安定供給 27.5	幹線道路や高速道路の整備 25.1	最寄り駅周辺の整備 22.5
	18～29歳 (n=100)		バス・地下鉄などの便 49.0	最寄り駅周辺の整備／都心部の整備や魅力づくり 23.0	公園・動物園の整備 22.0	公園・動物園の整備 22.0	街並みや景観の形成や保全 21.0
	30代 (n=110)		バス・地下鉄などの便 50.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.8	公園・動物園の整備 30.0	最寄り駅周辺の整備 21.8	幹線道路や高速道路の整備 20.9
	40代 (n=176)		バス・地下鉄などの便 42.6	幹線道路や高速道路の整備 27.3	公園・動物園の整備 22.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.0	良質な水の確保や安定供給 19.9
	50代 (n=213)		バス・地下鉄などの便 53.1	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	幹線道路や高速道路の整備 28.2	最寄り駅周辺の整備 23.0	良質な水の確保や安定供給 22.5
	60代 (n=186)		バス・地下鉄などの便 49.5	ごみの分別収集、リサイクル 38.2	良質な水の確保や安定供給 33.3	幹線道路や高速道路の整備 29.6	公園・動物園の整備 25.3
	70歳以上 (n=319)		バス・地下鉄などの便 65.5	ごみの分別収集、リサイクル 52.7	良質な水の確保や安定供給 40.4	病院や救急医療など地域医療 32.6	最寄り駅周辺の整備 25.7
	女性計 (n=1,388)		バス・地下鉄などの便 53.2	ごみの分別収集、リサイクル 35.1	良質な水の確保や安定供給 22.3	最寄り駅周辺の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.7	
	18～29歳 (n=137)		バス・地下鉄などの便 51.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.5	最寄り駅周辺の整備 24.1	ごみの分別収集、リサイクル 20.4	公園・動物園の整備／街並みや景観の形成や保全 15.3
	30代 (n=140)		バス・地下鉄などの便 46.4	公園・動物園の整備 32.9	ごみの分別収集、リサイクル 22.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.0	最寄り駅周辺の整備 18.6
	40代 (n=219)		バス・地下鉄などの便 45.7	公園・動物園の整備 23.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.1	最寄り駅周辺の整備／緑の保全と緑化の推進 17.8
	50代 (n=273)		バス・地下鉄などの便 50.9	ごみの分別収集、リサイクル 27.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.2	良質な水の確保や安定供給 23.4	最寄り駅周辺の整備 20.1
	60代 (n=213)		バス・地下鉄などの便 53.1	ごみの分別収集、リサイクル 46.5	良質な水の確保や安定供給 30.0	最寄り駅周辺の整備 23.0	公園・動物園の整備／街並みや景観の形成や保全 22.5
70歳以上 (n=405)		バス・地下鉄などの便 62.2	ごみの分別収集、リサイクル 51.4	良質な水の確保や安定供給 28.4	病院や救急医療など地域医療 27.7	最寄り駅周辺の整備 21.2	

⑥ 市政への満足度 [ライフステージ別]

夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期で「公園・動物園の整備」が2位

ライフステージ別にみると、全てのステージで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、単身(1)で「最寄り駅周辺の整備」、家族成長中期で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期で「公園・動物園の整備」が2位となっている。

表1-1-4 市政への満足度 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備／公園・動物園の整備 21.4	
子どもなし計 (n=729)		バス・地下鉄などの便 54.9	ごみの分別収集、リサイクル 26.7	最寄り駅周辺の整備 24.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7	良質な水の確保や安定供給 21.0
単身(1) 40歳未満 (n=273)		バス・地下鉄などの便 53.5	最寄り駅周辺の整備 28.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.1	公園・動物園の整備 18.7
単身(2) 40～64歳 (n=165)		バス・地下鉄などの便 51.5	ごみの分別収集、リサイクル 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.1	最寄り駅周辺の整備 25.5	良質な水の確保や安定供給 24.8
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=53)		バス・地下鉄などの便 47.2	公園・動物園の整備 26.4	ごみの分別収集、リサイクル／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.8	最寄り駅周辺の整備 18.9	
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=152)		バス・地下鉄などの便 55.3	ごみの分別収集、リサイクル 28.3	幹線道路や高速道路の整備 23.7	良質な水の確保や安定供給／最寄り駅周辺の整備 21.7	
高齢子どもなし (n=86)		バス・地下鉄などの便 69.8	ごみの分別収集、リサイクル 48.8	良質な水の確保や安定供給 37.2	病院や救急医療など地域医療 26.7	緑の保全と緑化の推進 19.8
子どもあり計 (n=1,670)		バス・地下鉄などの便 52.5	ごみの分別収集、リサイクル 38.1	良質な水の確保や安定供給 26.3	公園・動物園の整備 23.9	最寄り駅周辺の整備 20.6
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=129)		バス・地下鉄などの便 44.2	公園・動物園の整備 36.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／幹線道路や高速道路の整備 18.6	保育園など子育て支援や保護を要する児童への援助 17.1	
家族成長前期 第一子が小学生 (n=143)		バス・地下鉄などの便 51.7	公園・動物園の整備 37.1	ごみの分別収集、リサイクル 22.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.6	緑の保全と緑化の推進 18.2
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=176)		バス・地下鉄などの便 44.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.8	幹線道路や高速道路の整備 25.6	ごみの分別収集、リサイクル 24.4	公園・動物園の整備 23.3
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=126)		バス・地下鉄などの便 38.9	ごみの分別収集、リサイクル 36.5	幹線道路や高速道路の整備 26.2	公園・動物園の整備 25.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.0
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=74)		バス・地下鉄などの便 45.9	ごみの分別収集、リサイクル 31.1	公園・動物園の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.0	良質な水の確保や安定供給 21.6	
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=284)		バス・地下鉄などの便 51.1	ごみの分別収集、リサイクル 33.1	良質な水の確保や安定供給 26.1	公園・動物園の整備 21.8	幹線道路や高速道路の整備 21.1
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=738)		バス・地下鉄などの便 59.5	ごみの分別収集、リサイクル 51.4	良質な水の確保や安定供給 34.0	病院や救急医療など地域医療 28.0	最寄り駅周辺の整備 24.3

⑦ 市政への満足度 [世帯類型別]

子と同居(1)で「公園・動物園の整備」が2位

世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、ひとり暮らし(1)、親と同居(1)で「最寄り駅周辺の整備」、ひとり暮らし(2)（「ごみの分別収集、リサイクル」と同率）、親と同居(2)（「良質な水の確保や安定供給」と同率）で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位となっている。

表1-1-5 市政への満足度 [世帯類型別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備／公園・動物園の整備 21.4	
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=77)		バス・地下鉄などの便 54.5	最寄り駅周辺の整備 35.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.8	都心部の整備や魅力づくり 24.7	公園・動物園の整備 23.4
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=110)		バス・地下鉄などの便 53.6	ごみの分別収集、リサイクル／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.0	最寄り駅周辺の整備 29.1	良質な水の確保や安定供給 26.4	
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=140)		バス・地下鉄などの便 62.1	ごみの分別収集、リサイクル 44.3	良質な水の確保や安定供給 30.0	病院や救急医療など地域医療 25.7	緑の保全と緑化の推進 21.4
夫婦のみ(1) 子なし (n=234)		バス・地下鉄などの便 55.6	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	良質な水の確保や安定供給 23.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.1	幹線道路や高速道路の整備／街並みや景観の形成や保全 19.7
夫婦のみ(2) 子あり (n=454)		バス・地下鉄などの便 59.0	ごみの分別収集、リサイクル 44.7	良質な水の確保や安定供給 29.7	最寄り駅周辺の整備 24.9	病院や救急医療など地域医療 23.3
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=564)		バス・地下鉄などの便 44.3	公園・動物園の整備 29.1	ごみの分別収集、リサイクル 25.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4	幹線道路や高速道路の整備 21.5
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=347)		バス・地下鉄などの便 55.9	ごみの分別収集、リサイクル 49.6	良質な水の確保や安定供給 37.5	病院や救急医療など地域医療 25.9	公園・動物園の整備 23.1
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=166)		バス・地下鉄などの便 51.2	最寄り駅周辺の整備 26.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.9	ごみの分別収集、リサイクル 19.3	街並みや景観の形成や保全 17.5
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=79)		バス・地下鉄などの便 44.3	良質な水の確保や安定供給／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.6	最寄り駅周辺の整備 25.3	ごみの分別収集、リサイクル 24.1	
祖父母と親と子 3世代 (n=108)		バス・地下鉄などの便 49.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.0	最寄り駅周辺の整備／幹線道路や高速道路の整備 21.3	公園・動物園の整備／病院や救急医療など地域医療 20.4	

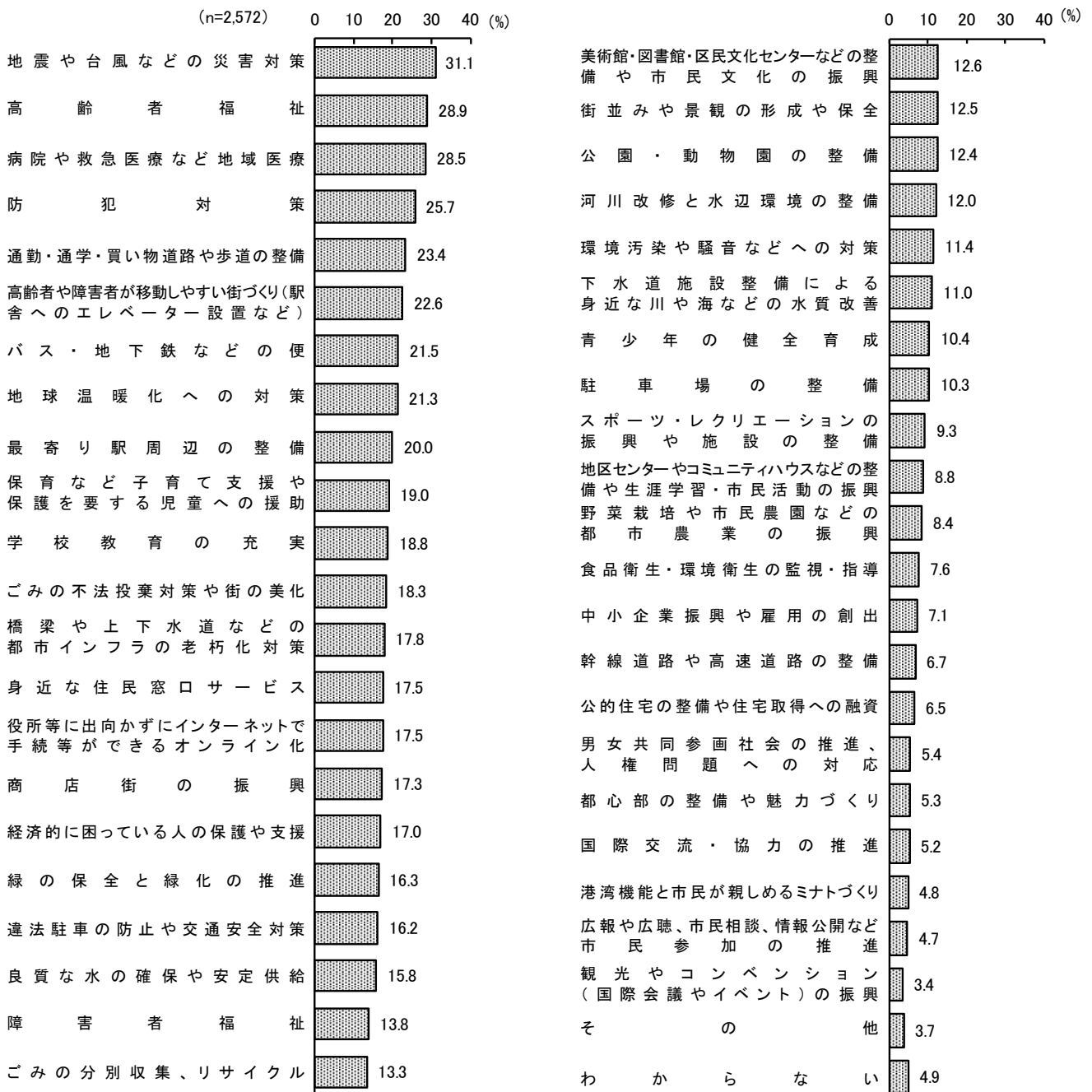
(2) 市政への要望

問11 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「地震や台風などの災害対策」が1位

市政への要望については、「地震や台風などの災害対策」が最も多く、次いで「高齢者福祉」、「病院や救急医療など地域医療」などの順となっている。

図1-2-1 市政への要望 [全体] (複数回答)



① 市政への要望 [経年変化]

「地震や台風などの災害対策」は12年連続の1位

経年変化をみると、「地震や台風などの災害対策」（令和2年度まで「地震などの災害対策」）は東日本大震災のあった平成23年以降、12年連続で1位となっている。

表1-2-1 市政への要望 [上位5位の経年変化] (複数回答)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年		防犯対策 36.2	違法駐車防止や交通安全対策 33.3	高齢者福祉 31.0	地震などの災害対策 29.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.0
16年		防犯対策 51.7	違法駐車防止や交通安全対策 49.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 45.7	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 41.1
17年		防犯対策 42.6	地震などの災害対策 37.1	違法駐車防止や交通安全対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.0	高齢者福祉 31.6
18年		防犯対策 37.2	地震などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 29.3	駐車場の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化 26.1
19年		防犯対策 36.9	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者福祉 33.1	地震などの災害対策 31.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.7
20年		病院や救急医療など地域医療 41.0	地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 38.2	防犯対策 34.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.5
21年		高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震などの災害対策 28.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.9
22年		病院や救急医療など地域医療 34.8	高齢者福祉 31.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	地震などの災害対策 25.4	ごみの不法投棄対策や街の美化/防犯対策 25.2
23年		地震などの災害対策 44.9	病院や救急医療など地域医療 34.5	高齢者福祉 31.9	防犯対策 30.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.2
24年		地震などの災害対策 43.9	病院や救急医療など地域医療 31.2	防犯対策 28.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.1	高齢者福祉 26.9
25年		地震などの災害対策 37.5	病院や救急医療など地域医療 31.4	防犯対策 28.8	高齢者福祉 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.0
26年		地震などの災害対策 33.3	病院や救急医療など地域医療 25.2	防犯対策 24.2	バス・地下鉄などの便 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7
27年		地震などの災害対策 32.9	高齢者福祉 26.8	病院や救急医療など地域医療 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	防犯対策 25.9
28年		地震などの災害対策 36.6	高齢者福祉 28.1	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.4	防犯対策 25.1
29年		地震などの災害対策 30.7	高齢者福祉 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.5	防犯対策 25.0	病院や救急医療など地域医療 24.5
30年		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
令和元年		地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉 28.3		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1
2年		地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7
3年		地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9
4年		地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4

## ② 市政への要望 [ブロック別]

### 東部、北部で「地震や台風などの災害対策」が1位

ブロック別にみると、東部、北部では「地震や台風などの災害対策」が1位で、2位は東部では「高齢者福祉」、北部では「病院や救急医療など地域医療」となっている。西部では、「病院や救急医療など地域医療」が1位、「地震や台風などの災害対策」が2位、南部では「高齢者福祉」が1位、「地震や台風などの災害対策」が2位となっている。

## ③ 市政への要望 [区別]

### 「地震や台風などの災害対策」は18区中の10区で1位

区別にみると、18区中10区で「地震や台風などの災害対策」が1位となっている。その他の区では、港南区、旭区、磯子区、保土ヶ谷区（「病院や救急医療など地域医療」と同率）では「高齢者福祉」、緑区では「最寄り駅周辺の整備」、栄区では「防犯対策」、瀬谷区では「病院や救急医療など地域医療」、都筑区では「バス・地下鉄などの便」と「学校教育の充実」が同率で1位となっている。

## ④ 市政への要望 [年齢別]

### 18～29歳、30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

年齢別にみると、18～29歳と30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位、40代では「学校教育の充実」が1位となっている。

## ⑤ 市政への要望 [性・年齢別]

### 男女ともに40代では「学校教育の充実」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに40代で「学校教育の充実」、女性30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」、男女ともに60代（女性60代は同率）、70歳以上で「高齢者福祉」がそれぞれ1位となっている。



表1-2-2 市政への要望〔ブロック別、区別〕(複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
ブロック別	全体 (n=2,572)	地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4
	東部 (n=618)	地震や台風などの災害対策 35.3	高齢者福祉 30.3	病院や救急医療など地域医療 28.2	防犯対策 25.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 22.5
	西部 (n=722)	病院や救急医療など地域医療 30.9	地震や台風などの災害対策 30.1	高齢者福祉 28.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.7	防犯対策 25.8
	南部 (n=490)	高齢者福祉 34.3	地震や台風などの災害対策 32.7	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策 27.1	地球温暖化への対策 26.7
	北部 (n=715)	地震や台風などの災害対策 27.8	病院や救急医療など地域医療 26.0	高齢者福祉 24.8	防犯対策 24.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.3
区別	鶴見区 (n=183)	地震や台風などの災害対策 36.1	高齢者福祉 30.6	病院や救急医療など地域医療 28.4	防犯対策 27.9	商店街の振興/ごみの不法投棄対策や街の美化 24.0
	神奈川区 (n=162)	地震や台風などの災害対策 29.0	高齢者福祉 27.8	病院や救急医療など地域医療 27.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 23.5
	西区 (n=54)	地震や台風などの災害対策 40.7	高齢者福祉/商店街の振興		病院や救急医療など地域医療 33.3	防犯対策/バス・地下鉄などの便/地球温暖化への対策 29.6
	中区 (n=79)	地震や台風などの災害対策 39.2	高齢者福祉 32.9	商店街の振興 31.6	病院や救急医療など地域医療 29.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 27.8
	南区 (n=140)	地震や台風などの災害対策 37.1	高齢者福祉 30.0	病院や救急医療など地域医療	防犯対策 27.9	ごみの不法投棄対策や街の美化 25.7
	港南区 (n=147)	高齢者福祉 35.4	病院や救急医療など地域医療 33.3	地震や台風などの災害対策 27.2	防犯対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 26.5	
	保土ヶ谷区 (n=144)	高齢者福祉/病院や救急医療など地域医療		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 24.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化 24.3	20.8
	旭区 (n=171)	高齢者福祉 32.2	地震や台風などの災害対策 29.2	防犯対策 28.1	病院や救急医療など地域医療/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5	
	磯子区 (n=103)	高齢者福祉 29.1	地震や台風などの災害対策/地球温暖化への対策	最寄り駅周辺の整備		バス・地下鉄などの便 27.2
	金沢区 (n=161)	地震や台風などの災害対策 37.9	高齢者福祉 37.3	病院や救急医療など地域医療/地球温暖化への対策		防犯対策 22.4
	港北区 (n=232)	地震や台風などの災害対策 34.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.4	病院や救急医療など地域医療 25.9	防犯対策/最寄り駅周辺の整備	
	緑区 (n=121)	最寄り駅周辺の整備 40.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.2	防犯対策 29.8	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 27.3
	青葉区 (n=219)	地震や台風などの災害対策 28.3	病院や救急医療など地域医療 27.4	高齢者福祉/防犯対策		最寄り駅周辺の整備 23.3
	都筑区 (n=143)	バス・地下鉄などの便/学校教育の充実		高齢者福祉 25.2	地震や台風などの災害対策 24.5	病院や救急医療など地域医療 23.1
	戸塚区 (n=204)	地震や台風などの災害対策 37.3	病院や救急医療など地域医療 33.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.9	防犯対策 28.9	地球温暖化への対策/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 28.4
	栄区 (n=79)	防犯対策 41.8	地震や台風などの災害対策 38.0	バス・地下鉄などの便 34.2	高齢者福祉 32.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 30.4
	泉区 (n=109)	地震や台風などの災害対策 31.2	病院や救急医療など地域医療 28.4	学校教育の充実 25.7	高齢者福祉 23.9	防犯対策/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)/バス・地下鉄などの便/地球温暖化への対策 22.0
瀬谷区 (n=94)	病院や救急医療など地域医療 42.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.0	高齢者福祉 30.9	地震や台風などの災害対策 29.8	防犯対策 28.7	

表 1-2-3 市政への要望 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4
年齢別	18~29歳 (n=250)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 28.4	地震や台風などの災害対策 26.4	最寄り駅周辺の整備 25.6	役所等に向かずインターネットで手続きができるオンライン化 25.2	防犯対策 21.6
	30代 (n=253)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 38.7	学校教育の充実 38.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.5	地震や台風などの災害対策 25.7	役所等に向かずインターネットで手続きができるオンライン化 23.3
	40代 (n=405)	学校教育の充実 30.9	地震や台風などの災害対策 26.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.2	病院や救急医療など地域医療 24.4	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 23.5
	50代 (n=496)	地震や台風などの災害対策 34.5	防犯対策 29.8	病院や救急医療など地域医療 28.8	高齢者福祉 27.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.4
	60代 (n=408)	高齢者福祉 41.7	地震や台風などの災害対策 39.5	病院や救急医療など地域医療 35.8	防犯対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.7	
	70歳以上 (n=735)	高齢者福祉 39.2	病院や救急医療など地域医療 30.7	地震や台風などの災害対策 30.5	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.6	バス・地下鉄などの便 28.3
性・年齢別	男性計 (n=1,104)	高齢者福祉 29.8	地震や台風などの災害対策 29.4	病院や救急医療など地域医療 27.4	防犯対策 25.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.2
	18~29歳 (n=100)	最寄り駅周辺の整備 29.0	役所等に向かずインターネットで手続きができるオンライン化 26.0	地震や台風などの災害対策 24.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.0	バス・地下鉄などの便/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 19.0
	30代 (n=110)	学校教育の充実 34.5	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 30.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.4	役所等に向かずインターネットで手続きができるオンライン化 23.6	地震や台風などの災害対策 21.8
	40代 (n=176)	学校教育の充実 26.1	地震や台風などの災害対策 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.9	防犯対策 23.3	バス・地下鉄などの便 22.7
	50代 (n=213)	地震や台風などの災害対策 32.4	防犯対策 30.0	高齢者福祉 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.5
	60代 (n=186)	高齢者福祉 43.5	地震や台風などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 39.2		防犯対策 32.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.5
	70歳以上 (n=319)	高齢者福祉 42.0	病院や救急医療など地域医療 32.9	地震や台風などの災害対策 28.2	防犯対策 27.3	バス・地下鉄などの便/身近な住民窓口サービス 26.6
	女性計 (n=1,388)	地震や台風などの災害対策 32.6	病院や救急医療など地域医療 29.5	高齢者福祉 28.4	防犯対策 26.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 24.9
	18~29歳 (n=137)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 35.8	防犯対策 30.7	地震や台風などの災害対策 27.7	役所等に向かずインターネットで手続きができるオンライン化 24.8	病院や救急医療など地域医療/学校教育の充実 24.1
	30代 (n=140)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 44.3	学校教育の充実 40.7	地震や台風などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 27.9		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.7
40代 (n=219)	学校教育の充実 35.2	病院や救急医療など地域医療/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.9		地震や台風などの災害対策 26.9	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 24.7	
50代 (n=273)	地震や台風などの災害対策 36.6	病院や救急医療など地域医療 31.9	防犯対策 30.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.3	高齢者福祉 28.6	
60代 (n=213)	地震や台風などの災害対策/高齢者福祉 39.9		病院や救急医療など地域医療 32.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.6	地球温暖化への対策 28.2	
70歳以上 (n=405)	高齢者福祉 37.3	地震や台風などの災害対策 32.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 31.1	バス・地下鉄などの便 30.4	病院や救急医療など地域医療 29.1	

⑥ 市政への要望 [ライフステージ別]

家族形成期で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

ライフステージ別にみると、家族形成期で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位となっている。また、家族成長前期、家族成長中期で「学校教育の充実」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-4 市政への要望 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4
子どもなし計 (n=729)		地震や台風などの災害対策 31.4	防犯対策 25.8	病院や救急医療など地域医療 23.9	高齢者福祉 22.6	役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化 21.8
単身(1) 40歳未満 (n=273)		地震や台風などの災害対策 26.4	役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化 23.8	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 21.6	防犯対策 20.9	最寄り駅周辺の整備 20.5
単身(2) 40~64歳 (n=165)		地震や台風などの災害対策 32.7	防犯対策 32.1	病院や救急医療など地域医療 28.5	高齢者福祉 27.9	バス・地下鉄などの便 26.1
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=53)		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 35.8	役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化 30.2	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 28.3	地震や台風などの災害対策/最寄り駅周辺の整備	24.5
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=152)		地震や台風などの災害対策 40.8	高齢者福祉/防犯対策 28.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 25.0	病院や救急医療など地域医療/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化 24.3	24.3
高齢子どもなし (n=86)		高齢者福祉 36.0	地震や台風などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 32.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)/バス・地下鉄などの便 27.9		27.9
子どもあり計 (n=1,670)		地震や台風などの災害対策 32.0	高齢者福祉 30.8	病院や救急医療など地域医療 30.5	防犯対策 26.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.4
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=129)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 64.3	学校教育の充実 53.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.0	地震や台風などの災害対策/最寄り駅周辺の整備	27.9
家族成長前期 第一子が小学生 (n=143)		学校教育の充実 54.5	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 35.0	病院や救急医療など地域医療 31.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.8	地震や台風などの災害対策 27.3
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=176)		学校教育の充実 40.9	地震や台風などの災害対策 26.1	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 23.9	防犯対策 23.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=126)		地震や台風などの災害対策 28.6	バス・地下鉄などの便 25.4	防犯対策 24.6	病院や救急医療など地域医療 23.8	高齢者福祉 22.2
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=74)		病院や救急医療など地域医療 35.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.4	地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 29.7	バス・地下鉄などの便 28.4
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=284)		高齢者福祉 39.8	地震や台風などの災害対策 38.7	病院や救急医療など地域医療 36.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 30.6	防犯対策 29.9
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=738)		高齢者福祉 38.6	地震や台風などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.5	地球温暖化への対策 28.2

⑦ 市政への要望〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（１）では「役所等に出向かずインターネットで手続きができるオンライン化」が１位  
 世帯類型別にみると、ひとり暮らし（１）で「役所等に出向かずインターネットで手続等ができるオンライン化」が１位となっている。また、子と同居（１）では「学校教育の充実」、祖父母と親と子では「病院や救急医療など地域医療」が１位となっている。

表 1-2-5 市政への要望〔世帯類型別〕（複数回答）

属性	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)	地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=77)	役所等に出向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 26.0	地震や台風などの災害対策 20.8	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 19.5	防犯対策／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 18.2	
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=110)	地震や台風などの災害対策 35.5	防犯対策 31.8	高齢者福祉 30.0	病院や救急医療など地域医療 27.3	違法駐車防止や交通安全対策 24.5
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=140)	高齢者福祉 38.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.6	防犯対策／バス・地下鉄などの便 27.9		地震や台風などの災害対策 25.7
夫婦のみ(1) 子なし (n=234)	地震や台風などの災害対策 37.2	防犯対策／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.5		病院や救急医療など地域医療 26.1	高齢者福祉 24.4
夫婦のみ(2) 子あり (n=454)	高齢者福祉 41.9	地震や台風などの災害対策 34.1	病院や救急医療など地域医療 32.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 30.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.9
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=564)	学校教育の充実 39.5	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 32.4	地震や台風などの災害対策 27.8	病院や救急医療など地域医療 26.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.7
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=347)	地震や台風などの災害対策 36.6	高齢者福祉 36.0	病院や救急医療など地域医療 33.1	防犯対策 30.0	地球温暖化への対策 28.0
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=166)	地震や台風などの災害対策 28.3	最寄り駅周辺の整備 25.3	役所等に出向かずインターネットで手続等ができるオンライン化／保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 22.3	防犯対策 21.7	
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=79)	地震や台風などの災害対策／防犯対策 36.7		病院や救急医療など地域医療 35.4	高齢者福祉／バス・地下鉄などの便 34.2	
祖父母と親と子 3世代 (n=108)	病院や救急医療など地域医療 33.3	高齢者福祉 29.6	地震や台風などの災害対策／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.8	役所等に出向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 23.1	

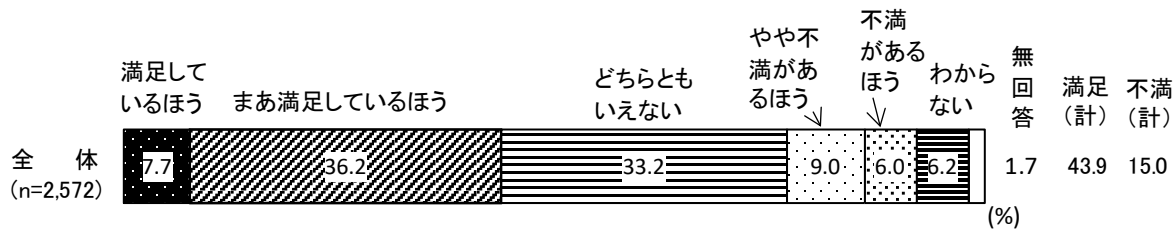
(3) 市政全体への満足度

問12 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇は1つ)

『満足(計)』は4割半ば

市政全体への満足度については、「満足しているほう」(7.7%)と「まあ満足しているほう」(36.2%)を合わせた『満足(計)』(43.9%)は4割半ばである。また、「不満があるほう」(6.0%)と「やや不満があるほう」(9.0%)を合わせた『不満(計)』(15.0%)は1割半ばとなっている。

図1-3-1 市政全体への満足度 [全体]

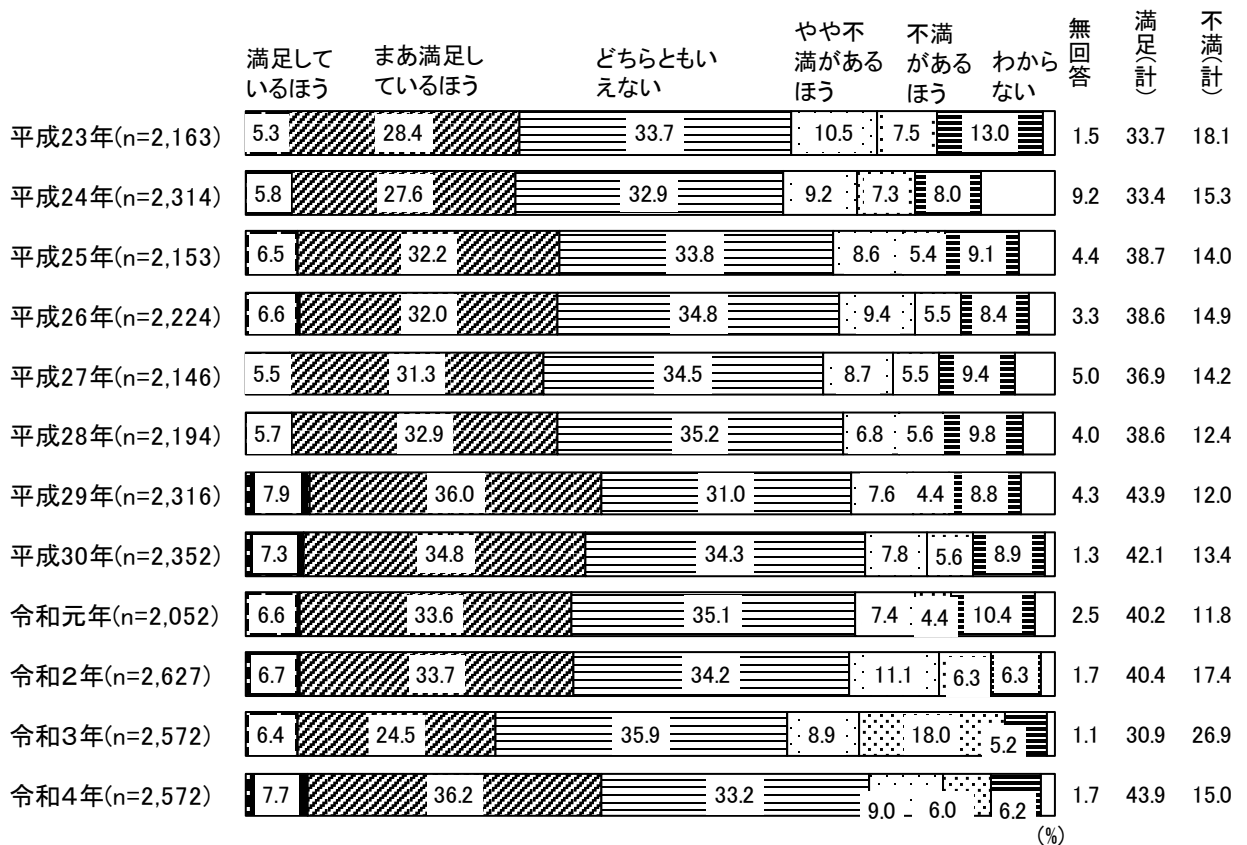


① 市政全体への満足度 [経年変化]

『満足(計)』は4割半ばに増加、『不満(計)』が減少

経年変化をみると、前回調査から『満足(計)』(43.9%)は13.0ポイント増加、『不満(計)』(15.0%)が11.9ポイント減少した。

図1-3-2 市政全体への満足度 [経年変化]



② 市政全体への満足度 [ブロック別]

『満足 (計)』は南部で5割近く

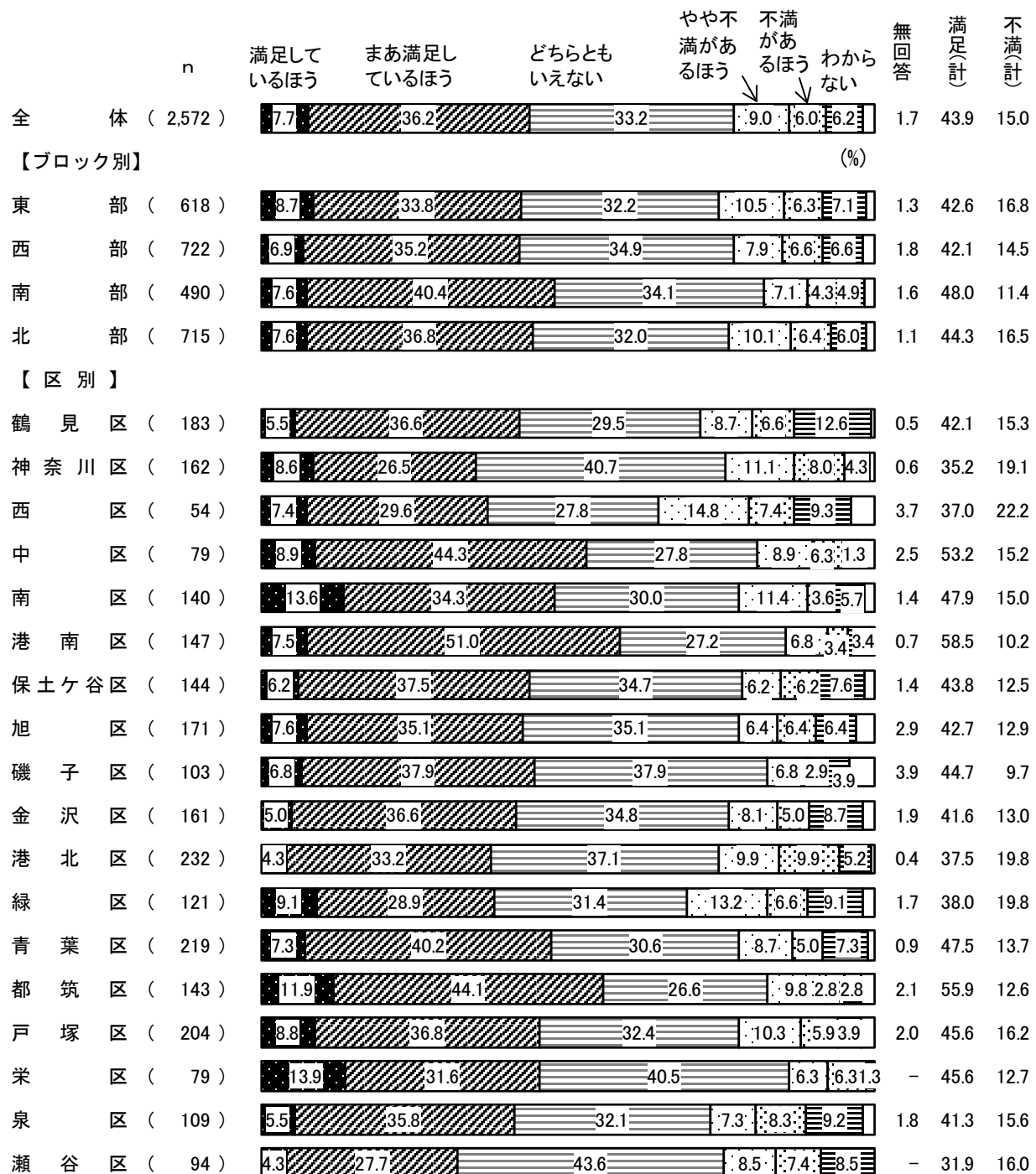
ブロック別にみると、『満足 (計)』は南部 (48.0%) で5割近くと最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は東部 (16.8%) で1割半ばと最も多くなっている。

③ 市政全体への満足度 [区別]

『満足 (計)』は港南区で6割近く

区別にみると、『満足 (計)』は港南区 (58.5%) で6割近くと最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は西区 (22.2%) で2割を超えて最も多くなっている。

図1-3-3 市政全体への満足度 [ブロック別、区別]



④ 市政全体への満足度〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で5割を超える

年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（52.7%）で5割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は40代（21.0%）で2割を超えて最も多くなっている。

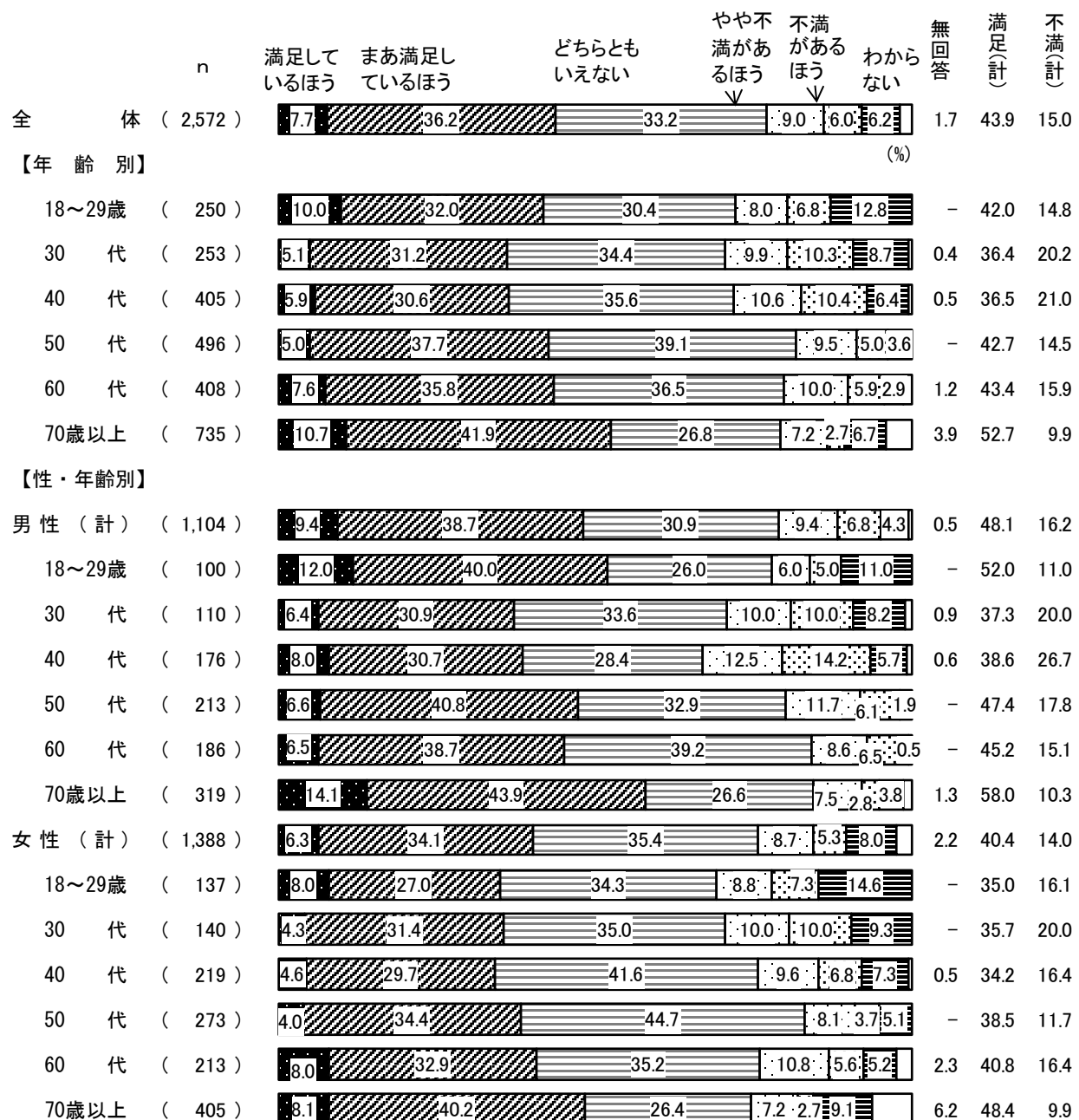
⑤ 市政全体への満足度〔性・年齢別〕

『満足（計）』は男性70歳以上で6割近く

性・年齢別にみると、『満足（計）』は男性70歳以上（58.0%）が6割近くと最も多い。女性でも70歳以上（48.4%）で5割近くと最も多くなっている。

一方、『不満（計）』は男性では40代（26.7%）で2割半ばと最も多く、30代（20.0%）でも2割となっている。また、女性も30代（20.0%）で2割となっている。

図1-3-4 市政全体への満足度〔年齢別、性・年齢別〕

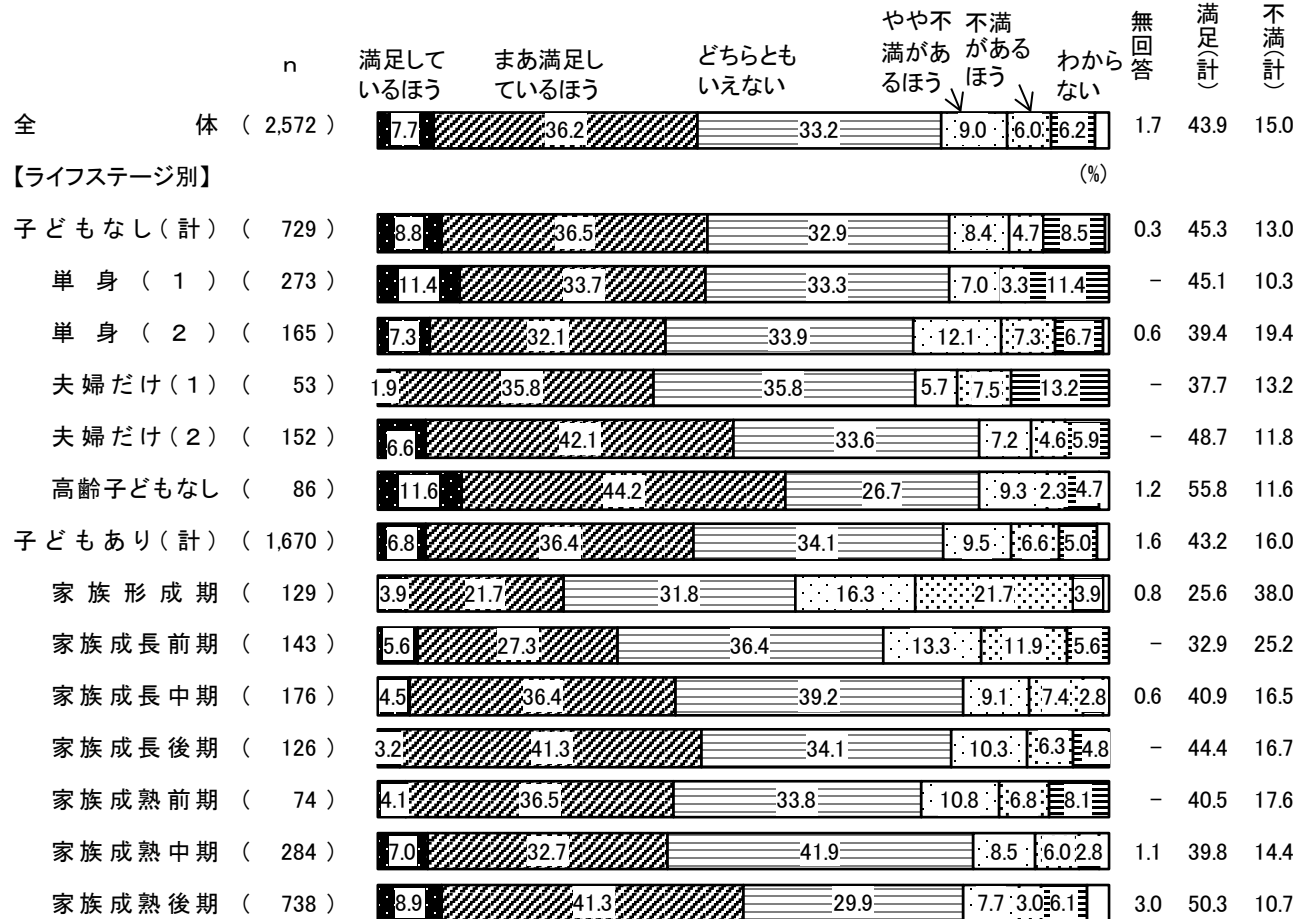


⑥ 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

『満足(計)』は高齢子どもなしで5割半ば

ライフステージ別にみると、『満足(計)』は高齢子どもなし(55.8%)で5割半ばと最も多くなっている。一方、『不満(計)』は家族形成期(38.0%)で4割近くと最も多く、家族成長前期(25.2%)で2割半ばとなっている。

図1-3-5 市政全体への満足度 [ライフステージ別]



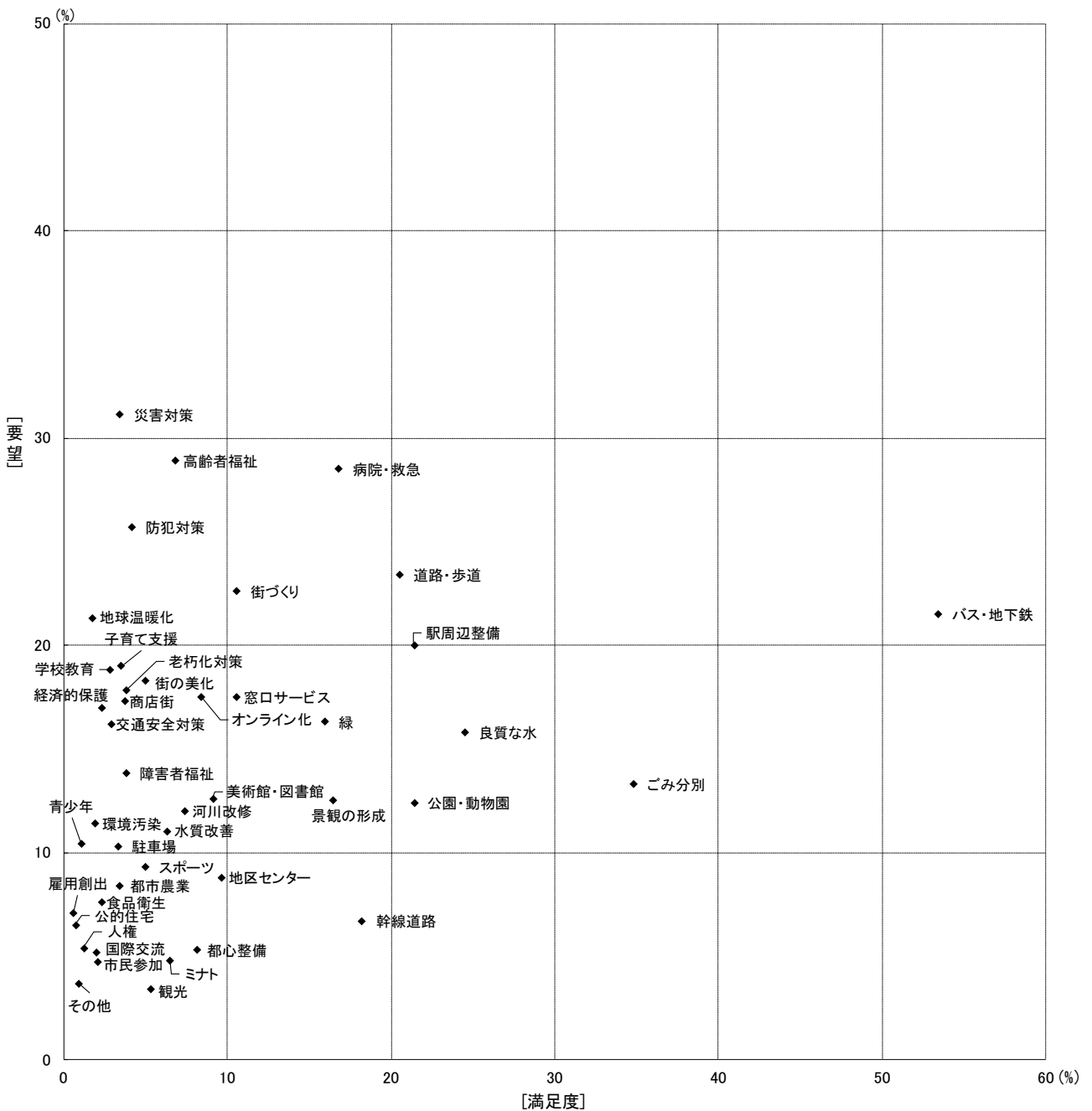


#### (4) 満足度と要望のまとめ

43項目について、満足度を横軸に、要望を縦軸にして同一平面にプロットすると、両者の相関をみることが出来る（図中に表わすため、実際の選択肢を一部省略した表現で表記している）。

満足度が低く要望の多い項目としては、「地震や台風などの災害対策」（略称：災害対策）、「高齢者福祉」、「防犯対策」などが挙げられる。一方、満足度が高く要望が少ない項目としては、「ごみの分別収集、リサイクル」（略称：ごみ分別）、「良質な水の確保や安定供給」（略称：良質な水）、「公園・動物園の整備」（略称：公園・動物園）などが挙げられる。

図1-4-1 満足度と要望



① 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

「地震や台風などの災害対策」でギャップが最も大きい

43項目について、満足度と要望の差を求め、要望のほうが多い10項目を表にまとめた。「地震や台風などの災害対策」は満足度（3.4%）が要望（31.1%）を27.7ポイント下回り、両者のギャップが最も大きい。次いで、「高齢者福祉」は満足度（6.8%）が要望（28.9%）を22.1ポイント、「防犯対策」は満足度（4.1%）が要望（25.7%）を21.6ポイント下回っている。

表1-4-1 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	地震や台風などの災害対策	3.4	31.1	▲ 27.7
2位	高齢者福祉	6.8	28.9	▲ 22.1
3位	防犯対策	4.1	25.7	▲ 21.6
4位	地球温暖化への対策	1.7	21.3	▲ 19.6
5位	学校教育の充実	2.8	18.8	▲ 16.0
6位	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	3.5	19.0	▲ 15.5
7位	経済的に困っている人の保護や支援	2.3	17.0	▲ 14.7
8位	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策	3.8	17.8	▲ 14.0
9位	商店街の振興	3.7	17.3	▲ 13.6
10位	ごみの不法投棄対策や街の美化	5.0	18.3	▲ 13.3

② 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」で高い充足度

43項目について、満足度と要望の差を求め、満足度のほうが多い10項目を表にまとめた。「バス・地下鉄などの便」は満足度（53.4%）が要望（21.5%）を31.9ポイント上回り、充足度が最も高いといえる。次いで「ごみの分別収集、リサイクル」は満足度（34.8%）が要望（13.3%）を21.5ポイント、「幹線道路や高速道路の整備」は満足度（18.2%）が要望（6.7%）を11.5ポイント上回っている。

表1-4-2 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	バス・地下鉄などの便	53.4	21.5	31.9
2位	ごみの分別収集、リサイクル	34.8	13.3	21.5
3位	幹線道路や高速道路の整備	18.2	6.7	11.5
4位	公園・動物園の整備	21.4	12.4	9.0
5位	良質な水の確保や安定供給	24.5	15.8	8.7
6位	街並みや景観の形成や保全	16.4	12.5	3.9
7位	都心部の整備や魅力づくり	8.1	5.3	2.8
8位	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	5.3	3.4	1.9
9位	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	6.5	4.8	1.7
10位	最寄り駅周辺の整備	21.4	20.0	1.4

③ 市政への満足度 [市政全体満足度別]

全ての満足度で「バス・地下鉄などの便」が1位

市政全体満足度別にみると、全ての満足度で「バス・地下鉄などの便」が1位となった。

表1-4-3 市政への満足度 [市政全体満足度別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,527)		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備／公園・動物園の整備 21.4	
満足しているほう (n=198)		バス・地下鉄などの便 72.7	ごみの分別収集、リサイクル 44.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.3	病院や救急医療など地域医療 31.8	最寄り駅周辺の整備／街並みや景観の形成や保全 30.8
まあ満足しているほう (n=932)		バス・地下鉄などの便 61.7	ごみの分別収集、リサイクル 42.7	良質な水の確保や安定供給 29.3	最寄り駅周辺の整備 28.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.0
どちらともいえない (n=854)		バス・地下鉄などの便 48.8	ごみの分別収集、リサイクル 30.8	良質な水の確保や安定供給 21.0	公園・動物園の整備 19.7	最寄り駅周辺の整備 16.4
やや不満があるほう (n=231)		バス・地下鉄などの便 45.0	ごみの分別収集、リサイクル 29.0	良質な水の確保や安定供給 27.7	公園・動物園の整備 23.4	最寄り駅周辺の整備 19.0
不満があるほう (n=155)		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 17.4	最寄り駅周辺の整備 15.5	良質な水の確保や安定供給 14.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 14.2

④ 市政への要望 [市政全体満足度別]

「不満があるほう」で「病院や救急医療など地域医療」が1位

市政全体満足度別にみると、「不満があるほう」で「病院や救急医療など地域医療」が1位、「学校教育の充実」が「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」と同率で2位となっている。また、「やや不満があるほう」では、「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が3位となっている。

表1-4-4 市政への要望 [市政全体満足度別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,527)		地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4
満足しているほう (n=198)		高齢者福祉 27.3	地震や台風などの災害対策 24.2	バス・地下鉄などの便 22.7	病院や救急医療など地域医療 21.7	防犯対策 19.2
まあ満足しているほう (n=932)		地震や台風などの災害対策 30.5	高齢者福祉 28.4	病院や救急医療など地域医療 26.1	防犯対策 25.8	地球温暖化への対策 24.7
どちらともいえない (n=854)		地震や台風などの災害対策 33.0	病院や救急医療など地域医療 32.2	高齢者福祉 30.0	防犯対策 26.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.9
やや不満があるほう (n=231)		地震や台風などの災害対策 39.8	病院や救急医療など地域医療 35.5	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 32.5	高齢者福祉 31.6	防犯対策 31.2
不満があるほう (n=155)		病院や救急医療など地域医療 34.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／学校教育の充実 34.2	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 33.5	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助／身近な住民窓口サービス 31.6	

## 2. 定住意識

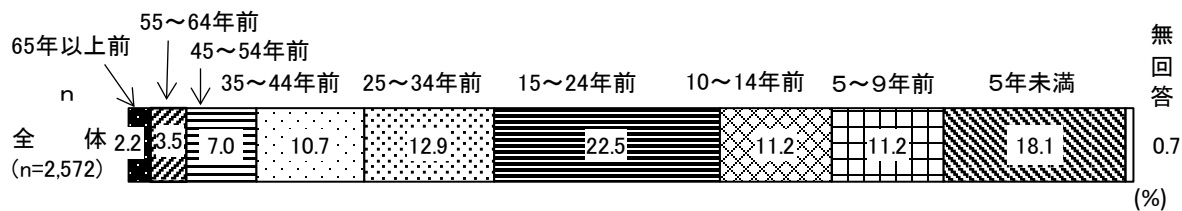
### (1) 現住地居住年数

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

#### 「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.1%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



#### ① 現住地居住年数 [区別]

##### 「5年未満」の居住者は西区で3割近く

区別にみると、居住年数「5年未満」は西区(29.6%)で3割近くとなっている。一方、「45~54年前」、「55~64年前」、「65年以上前」を合わせた『45年以上前』は旭区(22.2%)で2割を超えて最も多くなっている。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



② 現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で8割近く

ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1) (79.2%)で8割近くと最も多く、次いで家族形成期(65.9%)で6割半ばである。

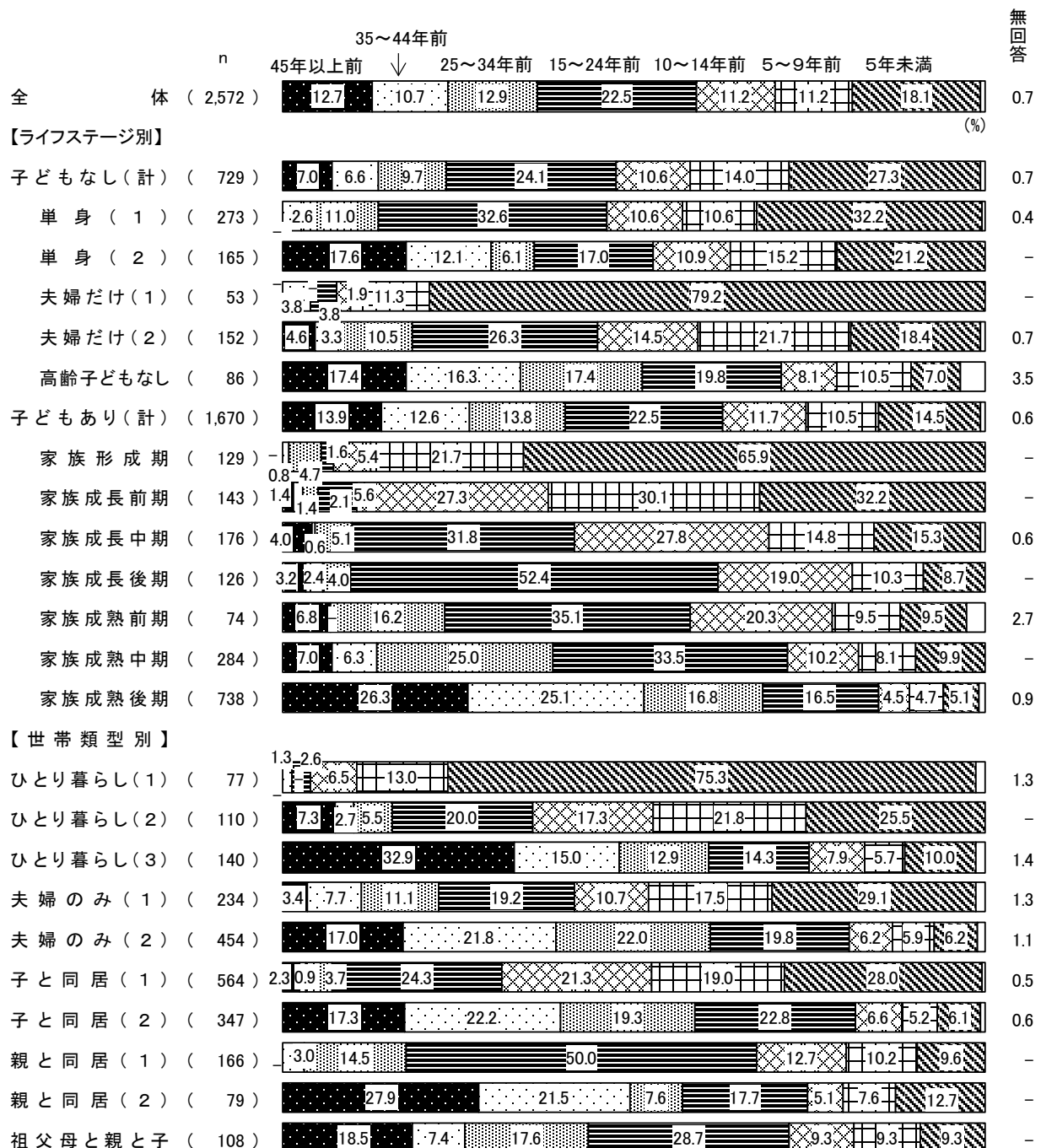
③ 現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で7割半ば

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1) (75.3%)で7割半ばと最も多くなっている。『45年以上前』はひとり暮らし(3) (32.8%)で3割を超えて最も多くなっている。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



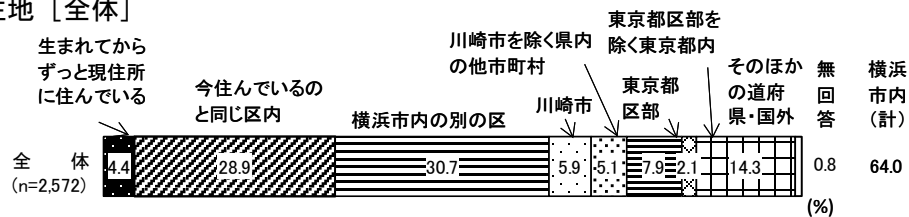
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

現住所の直前に住んでいたところについては、「横浜市内の別の区」(30.7%)が3割を超えて最も多く、次いで「今住んでいるのと同じ区内」(28.9%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(4.4%)を合わせた『横浜市内(計)』(64.0%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地[全体]

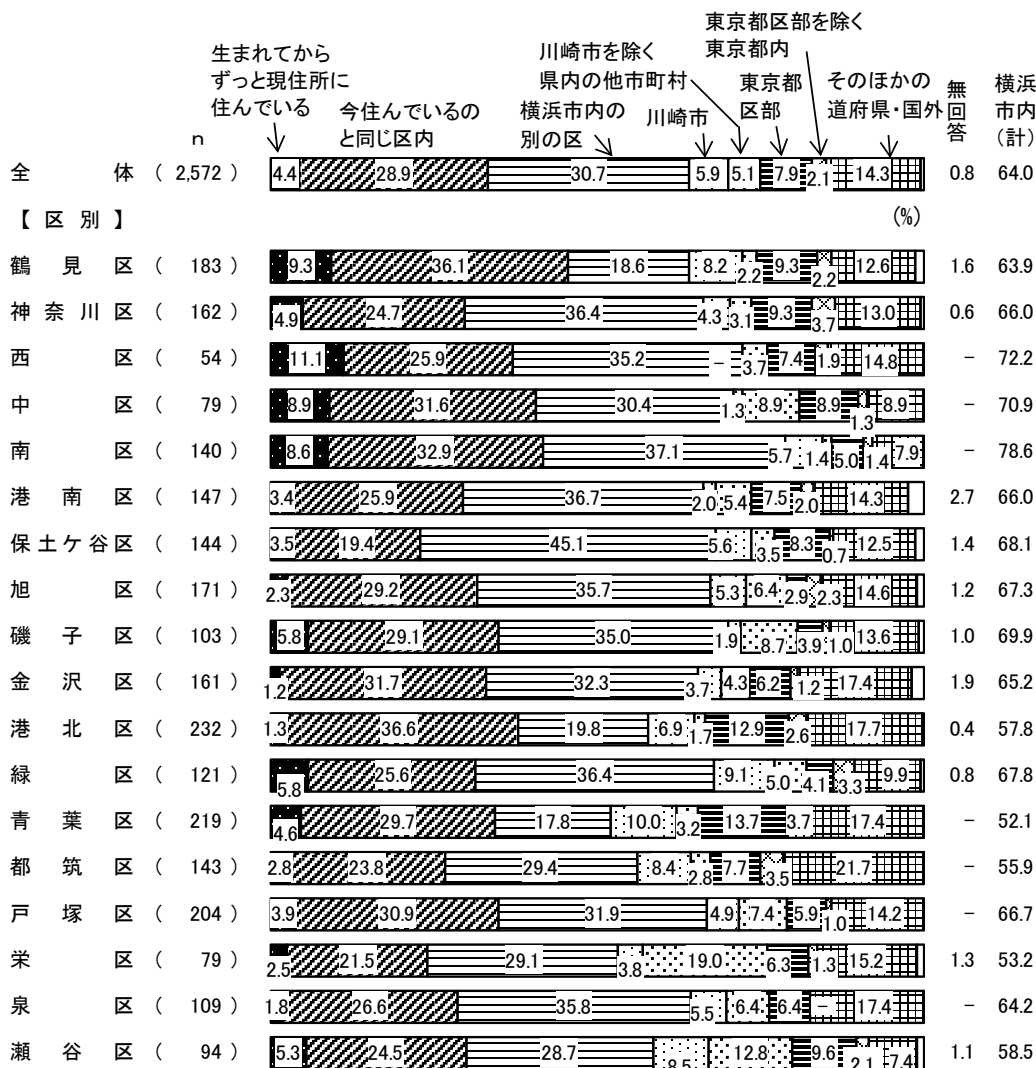


① 前住地[区別]

『横浜市内(計)』は、南区で8割近く

区別にみると、『横浜市内(計)』は、南区(78.6%)で8割近くと最も多くなっている。一方、青葉区(52.1%)で5割を超えるが最も少なくなっている。

図2-2-2 前住地[区別]



(3) 居住地選択時の候補地

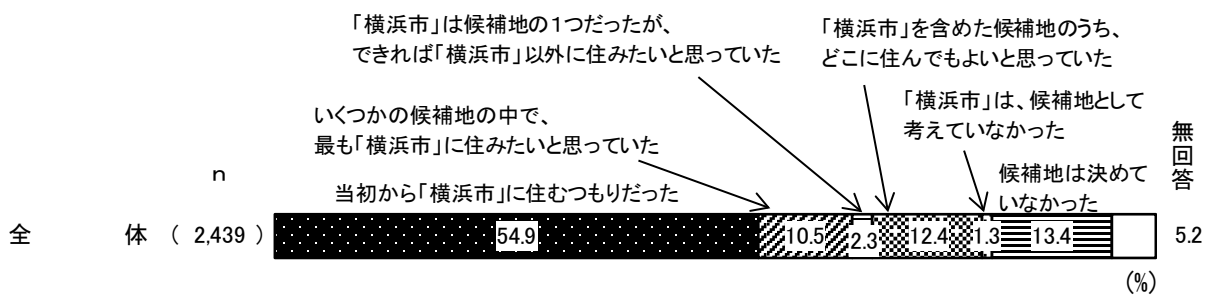
(問2で「2」～「8」と答えた方に)

問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。  
(○は1つ)

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は5割を超える

居住地選択時の候補地について、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」(54.9%)が5割半ばで最も多くなっている。

図2-3-1 居住地選択時の候補地 [全体]

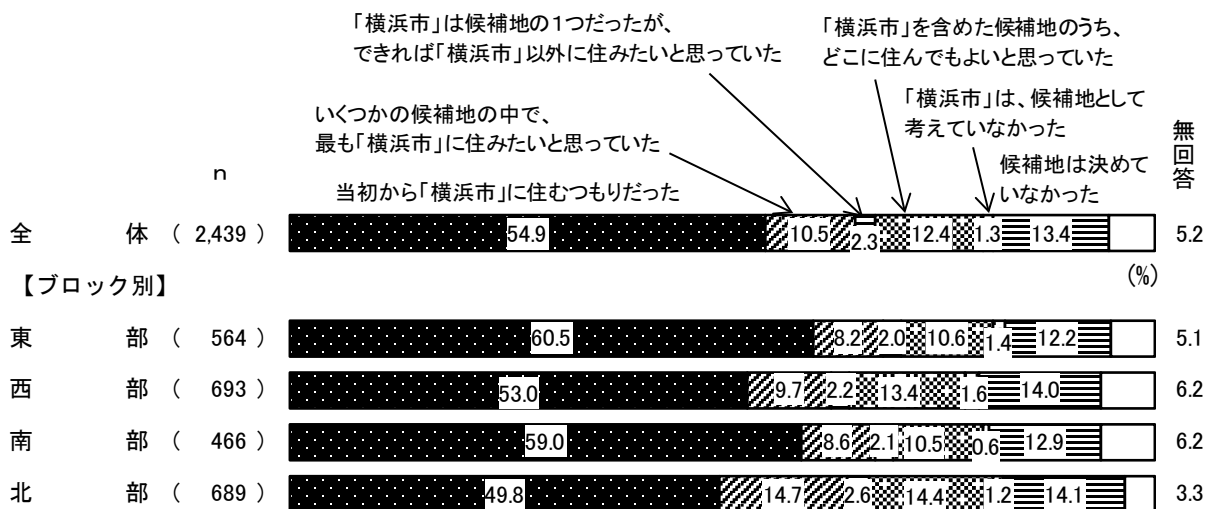


① 居住地選択時の候補地 [ブロック別]

東部で「当初から「横浜市」に住むつもりだった」が6割を超える

ブロック別にみると、東部で「当初から「横浜市」に住むつもりだった」(60.5%)が6割を超えて最も多くなっている。一方、北部(49.8%)で5割近くと最も低くなっている。

図2-3-2 居住地選択時の候補地 [ブロック別]





② 居住地選択時の候補地 [年齢別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は40代、50代、60代が6割近く

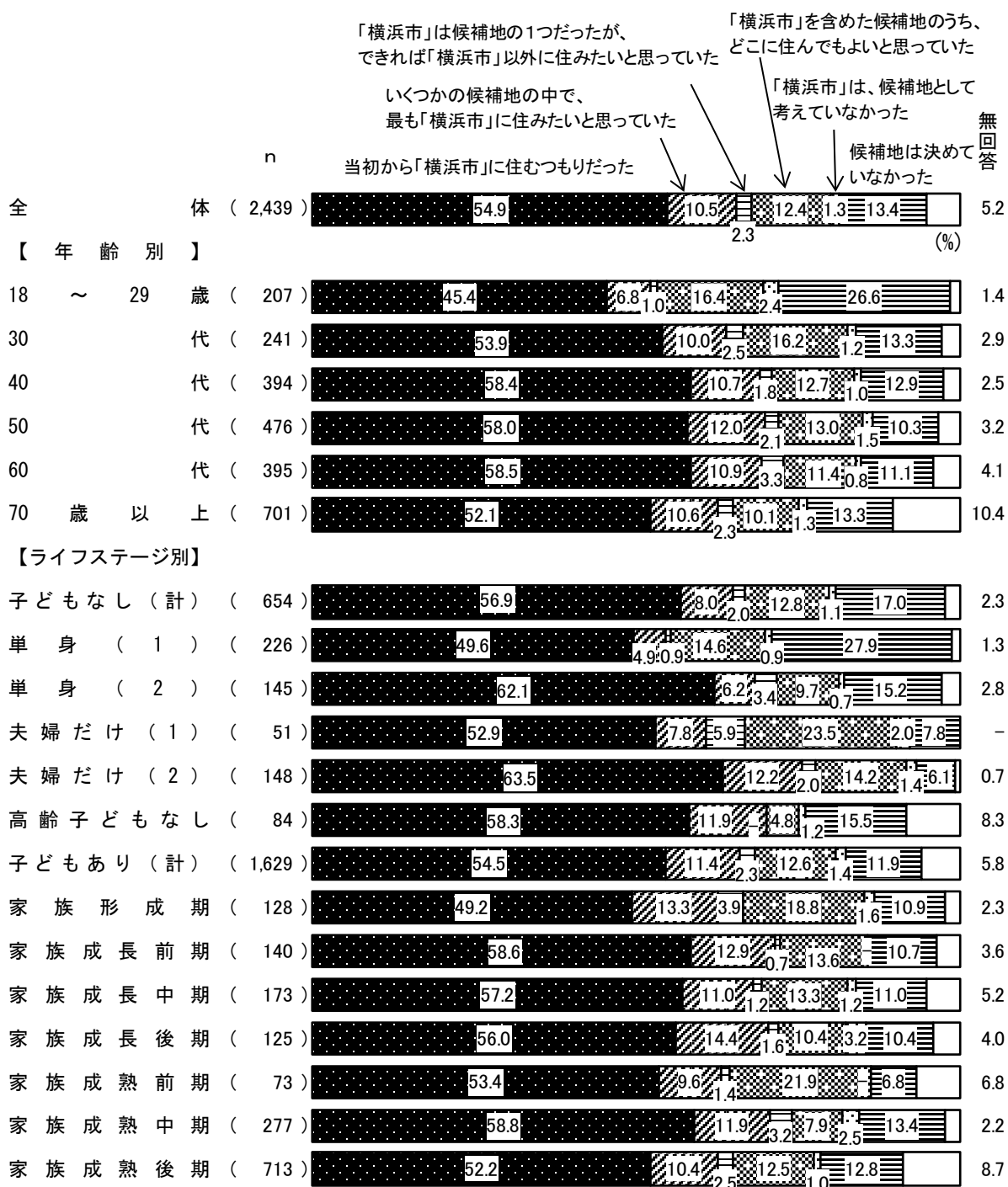
年齢別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は40代(58.4%)、50代(58.0%)、60代(58.5%)で6割近くとなっている。一方、18~29歳(45.4%)で4割半ばと最も低くなっている。

③ 居住地選択時の候補地 [ライフステージ別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は夫婦だけ(2)が6割半ば

ライフステージ別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は夫婦だけ(2)(63.5%)が6割半ばで最も多くなっている。一方、家族形成期(49.2%)で5割近くと最も低くなっている。

図2-3-3 居住地選択時の候補地 [年齢別、ライフステージ別]



④ 居住地選択時の候補地 [居住年数別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は5～9年前、25～34年前が6割を超える

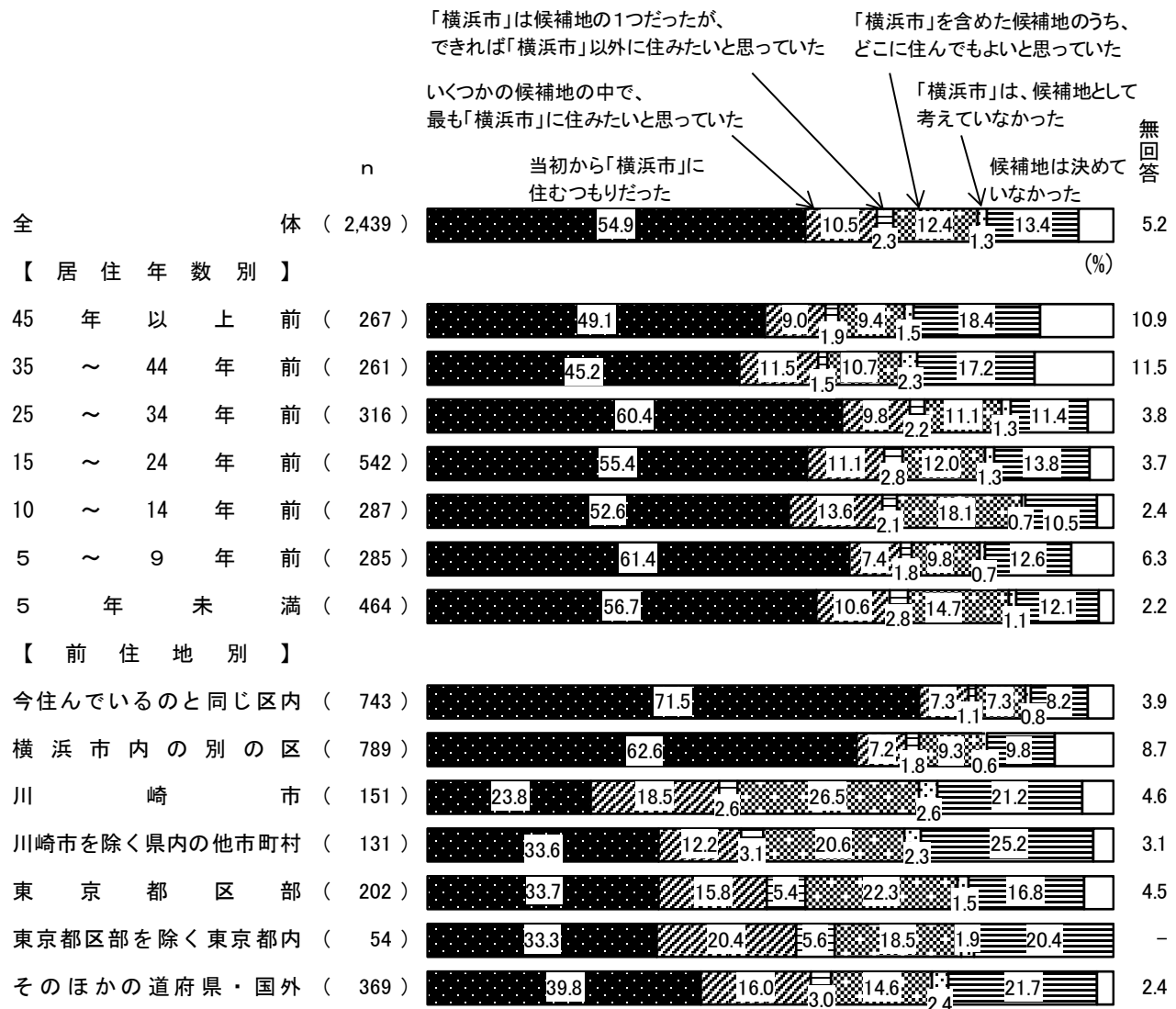
居住年数別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は5～9年前（61.4%）で6割を超えて最も多くなっている。一方で、35～44年前（45.2%）で4割半ばと最も低くなっている。

⑤ 居住地選択時の候補地 [前住地別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は今住んでいるのと同じ区内が7割を超える

前住地別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は今住んでいるのと同じ区内（71.5%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、川崎市（23.8%）で2割半ばと最も低くなっている。

図2-3-4 居住地選択時の候補地 [居住年数別、前住地別]



(4) 「横浜市」を住まいとして選んだ理由

(問2で「2」～「8」と答えた方に)

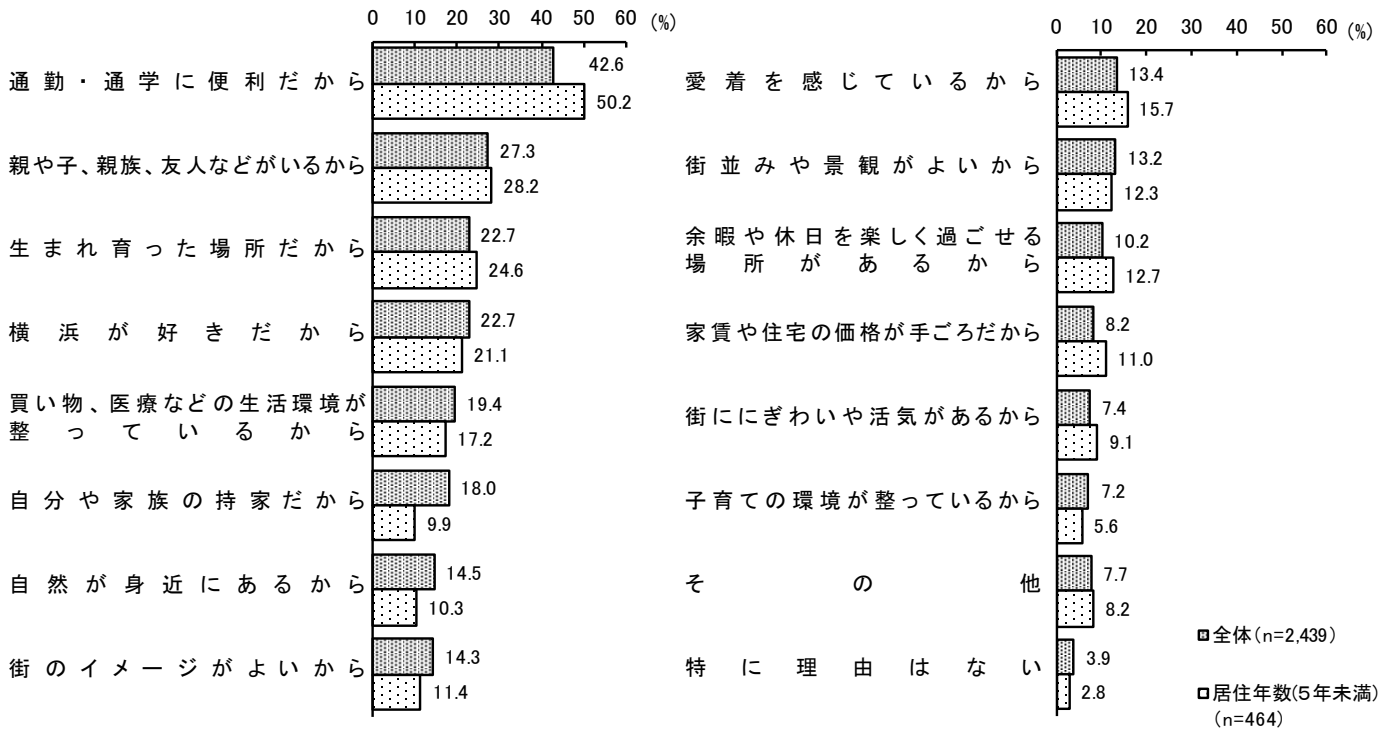
問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「通勤・通学に便利だから」は4割を超える

「『横浜市』を住まいに選んだ理由」については、「通勤・通学に便利だから」(42.6%)が4割を超えて最も多く、次いで「親や子、親族、友人などがあるから」(27.3%)、「生まれ育った場所だから」(22.7%)となっている。

居住年数(5年未満)では、「通勤・通学に便利だから」(50.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「親や子、家族、友人などがあるから」(28.2%)、「生まれ育った場所だから」(24.6%)となっている。

図2-4-1 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔全体、居住年数(5年未満)〕



① 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔ブロック別〕

「通勤・通学に便利だから」は全てのブロックで1位

ブロック別にみると、北部では「買い物、医療などの生活環境が整っているから」と「街のイメージがよいから」が同率3位（20.3%）となっている。

② 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔年齢別〕

「通勤・通学に便利だから」は全ての年代で1位

年代別にみると、18～29歳では「生まれ育った場所だから」（24.6%）が2位となっている。

③ 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔前住地別〕

「通勤・通学に便利だから」は全ての前住地で1位

前住地別にみると、川崎市、東京都区部を除く東京都内では「街のイメージがよいから」が2位、東京都区部では「家賃や住宅の価格が手ごろだから」が3位となっている。

表2-4-1 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔ブロック別、年齢別、前住地別〕

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	(n=2,439)	通勤・通学に便利だから 42.6	親や子、親族、友人などがあるから 27.3	生まれ育った場所だから／横浜が好きだから 22.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 19.4		
ブロック別	東部	(n=564)	通勤・通学に便利だから 44.9	親や子、親族、友人などがあるから 28.2	横浜が好きだから 26.6	生まれ育った場所だから 25.2	自分や家族の持家だから 20.0
	西部	(n=693)	通勤・通学に便利だから 37.4	親や子、親族、友人などがあるから 27.4	生まれ育った場所だから 25.4	横浜が好きだから 21.2	自分や家族の持家だから 17.5
	南部	(n=466)	通勤・通学に便利だから 42.7	親や子、親族、友人などがあるから 29.4	生まれ育った場所だから 27.7	生まれ育った場所だから 27.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.2
	北部	(n=689)	通勤・通学に便利だから 46.6	親や子、親族、友人などがあるから 25.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから／街のイメージがよいから 20.3	街並みや景観がよいから 18.7	
年齢別	18～29歳	(n=207)	通勤・通学に便利だから 41.1	生まれ育った場所だから 24.6	自分や家族の持家だから 23.2	親や子、親族、友人などがあるから 19.3	横浜が好きだから 11.1
	30代	(n=241)	通勤・通学に便利だから 50.2	親や子、親族、友人などがあるから 30.7	生まれ育った場所だから 29.0	横浜が好きだから 19.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 16.2
	40代	(n=394)	通勤・通学に便利だから 47.0	親や子、親族、友人などがあるから 32.2	生まれ育った場所だから 27.9	横浜が好きだから 21.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 17.8
	50代	(n=476)	通勤・通学に便利だから 48.7	親や子、親族、友人などがあるから 30.5	生まれ育った場所だから 24.4	横浜が好きだから 23.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.8
	60代	(n=395)	通勤・通学に便利だから 44.8	親や子、親族、友人などがあるから 25.1	生まれ育った場所だから／自分や家族の持家だから 25.1	生まれ育った場所だから 22.5	
	70歳以上	(n=701)	通勤・通学に便利だから 33.1	横浜が好きだから 26.4	親や子、親族、友人などがあるから 25.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.5	自分や家族の持家だから 19.8
	前住地別	今住んでいるのと同じ区内	(n=743)	通勤・通学に便利だから 40.8	親や子、親族、友人などがあるから 33.4	生まれ育った場所だから 32.2	横浜が好きだから 26.6
横浜市内の別の区	(n=789)	通勤・通学に便利だから 45.0	生まれ育った場所だから 29.5	横浜が好きだから 29.3	親や子、親族、友人などがあるから 28.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 20.5	
川崎市	(n=151)	通勤・通学に便利だから 33.8	街のイメージがよいから 21.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 19.9	親や子、親族、友人などがあるから 18.5	横浜が好きだから 17.2	
川崎市を除く 県内の他市町村	(n=131)	通勤・通学に便利だから 49.6	親や子、親族、友人などがあるから 21.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 19.8	自分や家族の持家だから 18.3	街並みや景観がよいから 13.0	
東京都区部	(n=202)	通勤・通学に便利だから 43.1	親や子、親族、友人などがあるから 20.3	家賃や住宅の価格が手ごろだから 19.8	自分や家族の持家だから 16.3	横浜が好きだから／街のイメージがよいから 14.4	
東京都区部を除く 東京都内	(n=54)	通勤・通学に便利だから 42.6	街のイメージがよいから 22.2	親や子、親族、友人などがあるから 18.5	自分や家族の持家だから 16.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから／街並みや景観がよいから 14.8	
そのほかの 道府県・国外	(n=369)	通勤・通学に便利だから 42.3	親や子、親族、友人などがあるから 23.0	自分や家族の持家だから 18.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 15.4	街並みや景観がよいから 14.9	

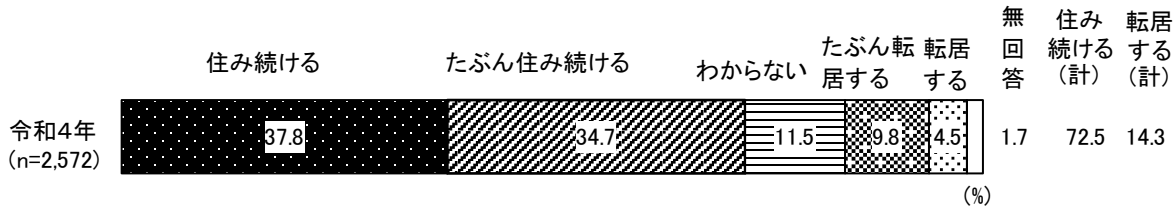
(5) 現住地定住意向

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

『住み続ける(計)』は7割を超える

現住地定住意向については、「住み続ける」(37.8%)と「たぶん住み続ける」(34.7%)を合わせた『住み続ける(計)』(72.5%)は7割を超えている。

図2-5-1 現住地定住意向[全体]

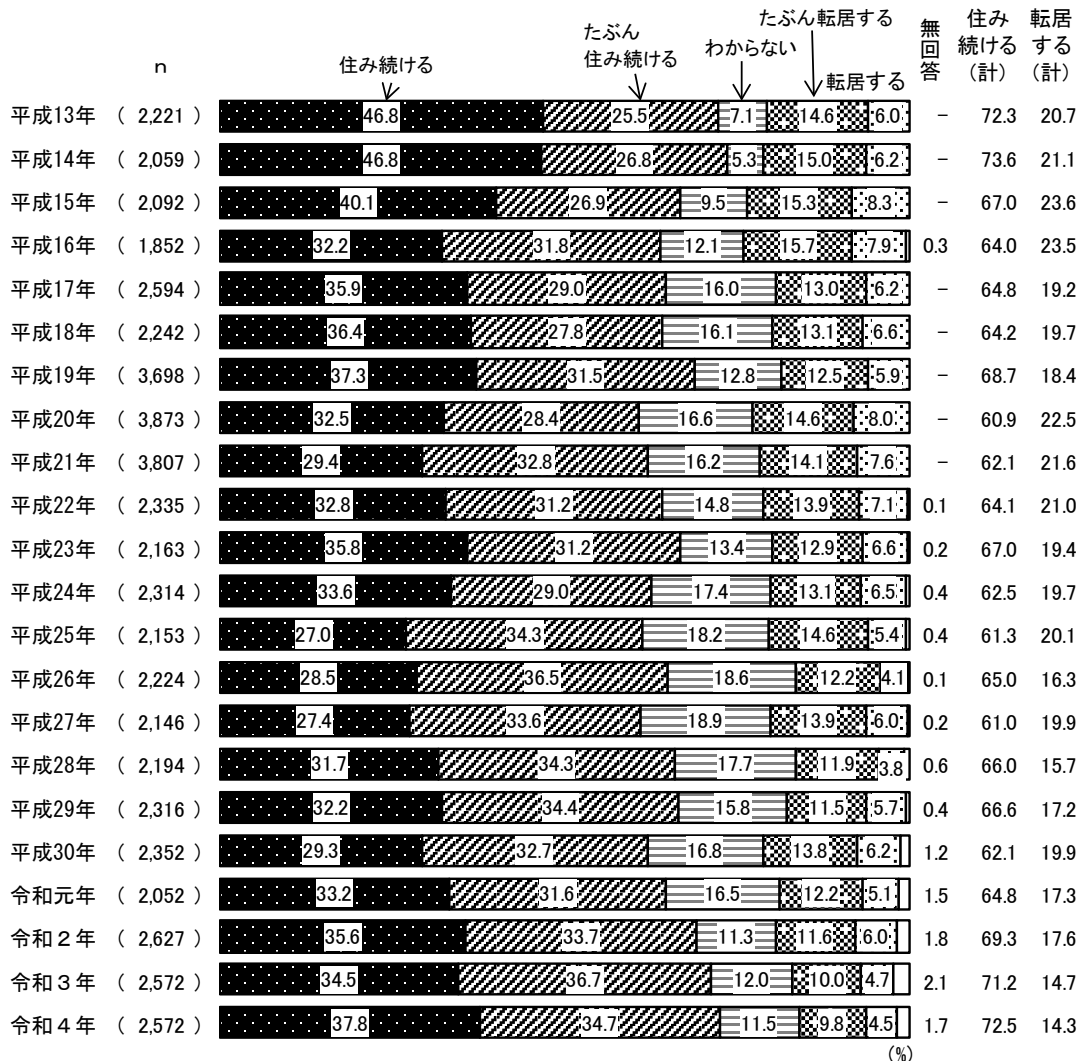


① 現住地定住意向 [経年変化]

『住み続ける(計)』は1.3ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『住み続ける(計)』は1.3ポイント増加し、令和元年以降増加している。「転居する」と「たぶん転居する」を合わせた『転居する(計)』は0.4ポイント減少している。

図2-5-2 現住地定住意向 [経年変化]



② 現住地定住意向〔ブロック別〕

『住み続ける（計）』は南部で7割半ば

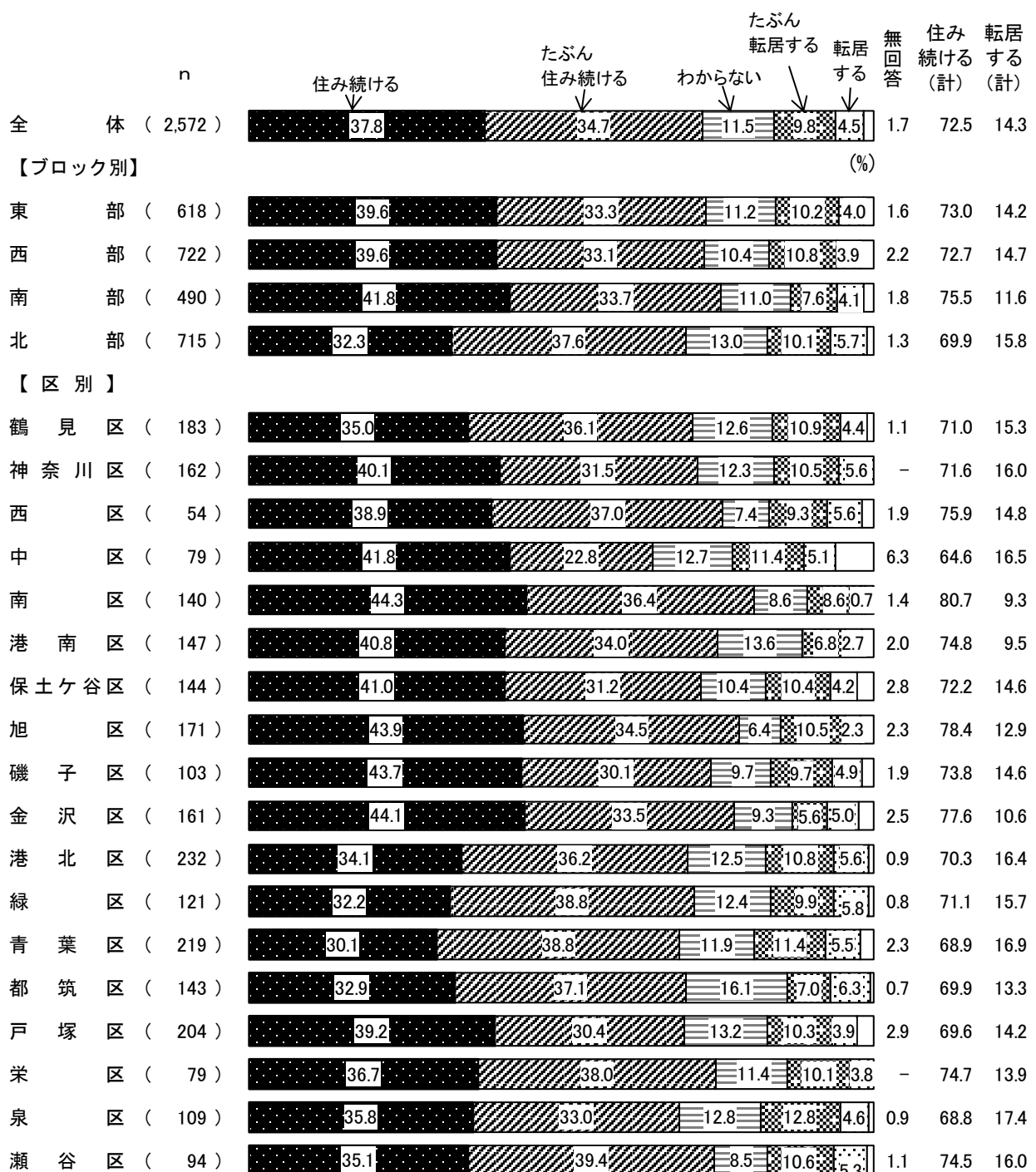
ブロック別にみると、『住み続ける（計）』は南部（75.5%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する（計）』は北部（15.8%）で1割半ばと最も多くなっている。

③ 現住地定住意向〔区別〕

『住み続ける（計）』は南区で8割を超える

区別にみると、『住み続ける（計）』は南区（80.7%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『転居する（計）』は泉区（17.4%）で1割半ばと最も多くなっている。

図2-5-3 現住地定住意向〔ブロック別、区別〕



④ 現住地定住意向〔年齢別〕

『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い

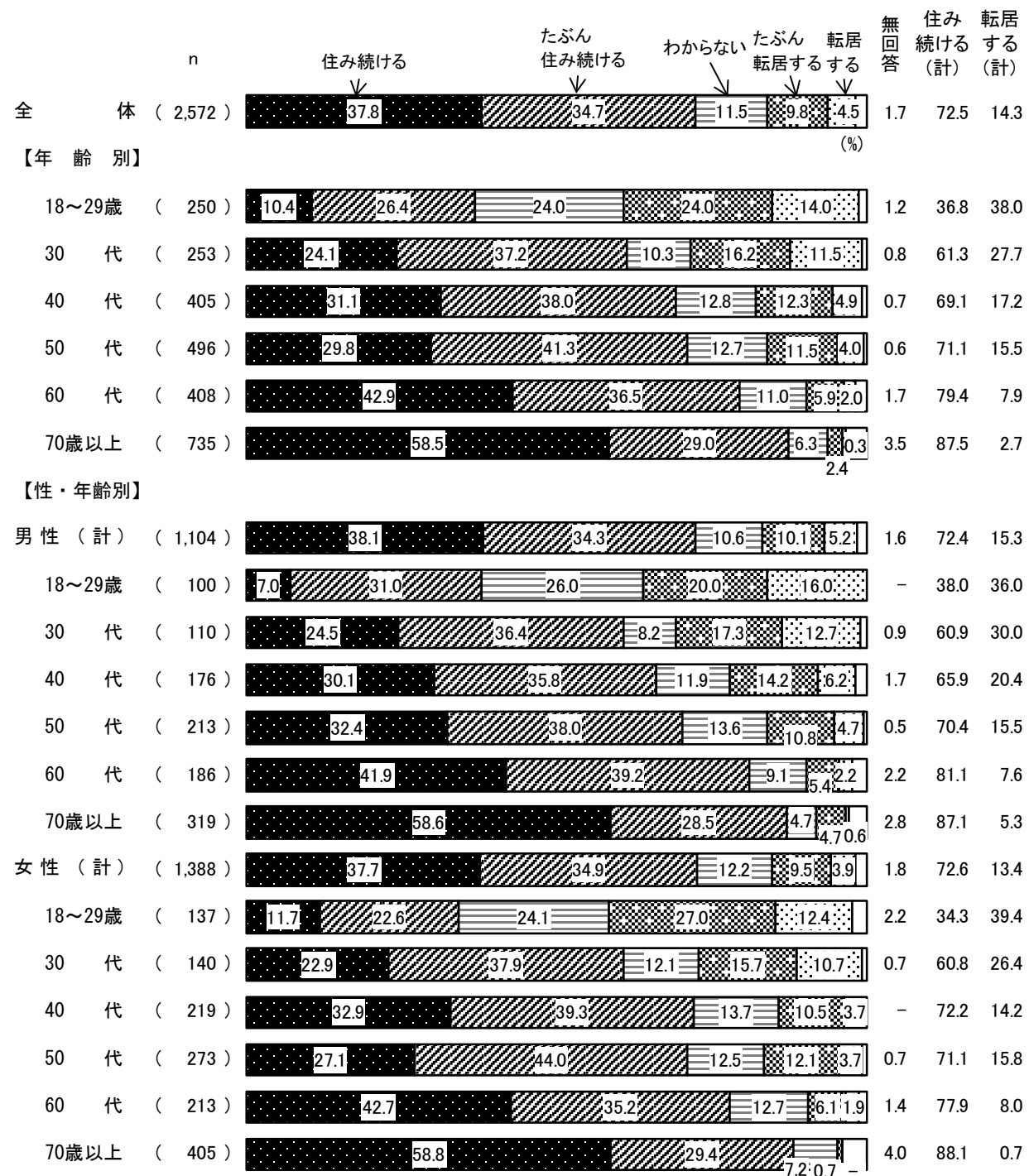
年齢別にみると、『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多く、70歳以上（87.5%）で8割半ばと最も多くなっている。

⑤ 現住地定住意向〔性・年齢別〕

『転居する（計）』は女性18～29歳で4割近く

性・年齢別にみると、『住み続ける（計）』は男女ともに年齢が高いほど多い傾向にあり、70歳以上で男性は8割半ば、女性は9割近くとなっている。一方、『転居する（計）』は女性18～29歳（39.4%）で4割近くと最も多くなっている。

図2-5-4 現住地定住意向〔年齢別、性・年齢別〕



⑥ 現住地定住意向 [ライフステージ別]

『住み続ける (計)』は家族成熟後期で8割半ば

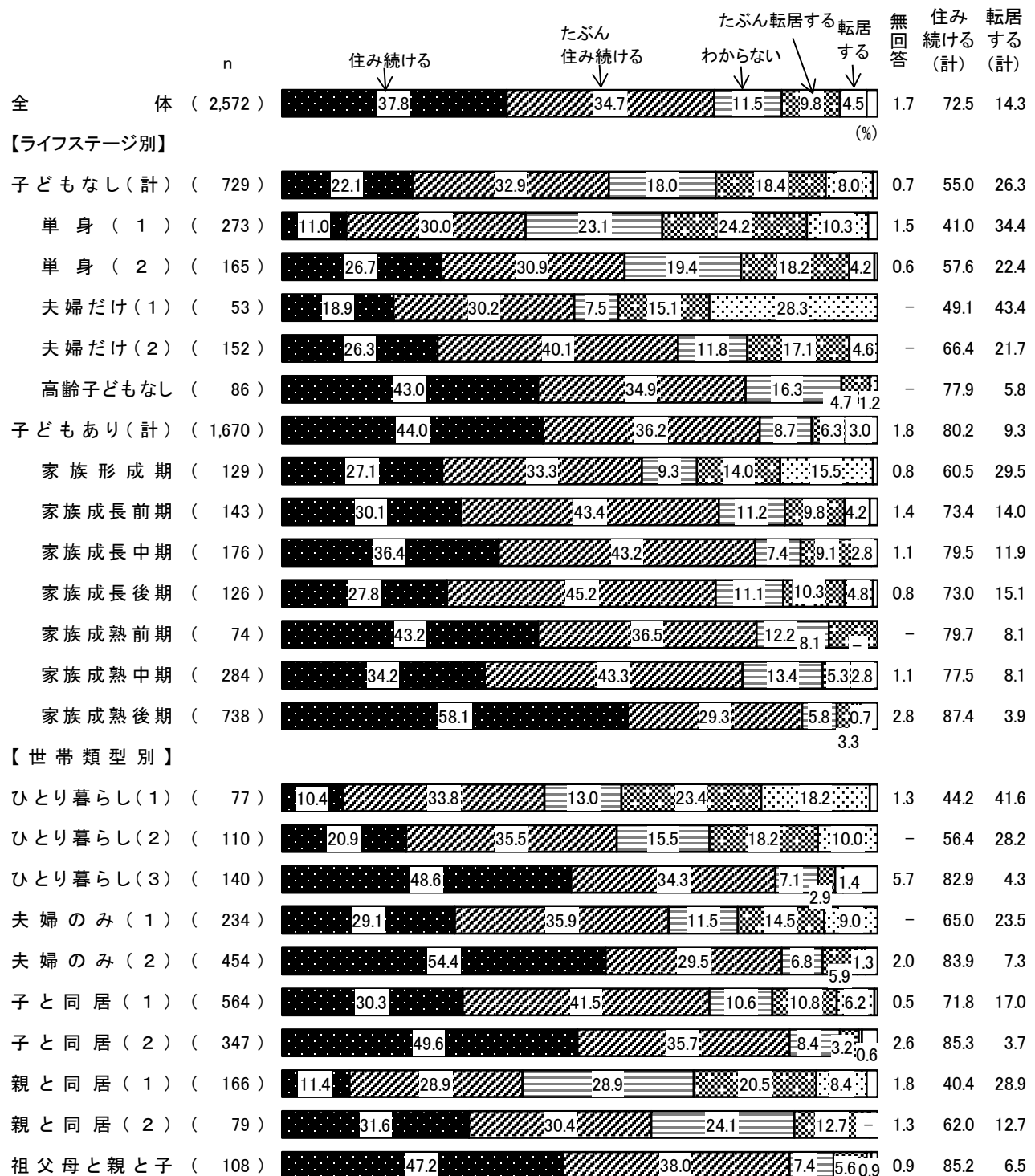
ライフステージ別にみると、『住み続ける (計)』は家族成熟後期 (87.4%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、夫婦だけ (1) (43.4%) で4割半ばと最も多くなっている。

⑦ 現住地定住意向 [世帯類型別]

『住み続ける (計)』は夫婦のみ (2)、子と同居 (2)、祖父母と親と子で8割半ば

世帯類型別にみると、『住み続ける (計)』は子と同居 (2) (85.3%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、ひとり暮らし (1) (41.6%) で4割を超えて最も多くなっている。

図 2-5-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]





(6) 希望する転居先

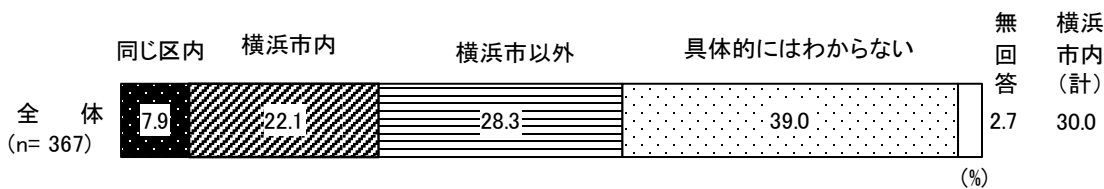
(問3で「3」または「4」と答えた方に)

問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への転居意向は3割

現居住地から「転居する」または「たぶん転居する」と回答した人(367人)に、希望する転居先を尋ねたところ、「同じ区内」(7.9%)と「横浜市内」(22.1%)を合わせた『横浜市内(計)』(30.0%)は3割となり、「横浜市以外」(28.3%)を上回っている。

図2-6-1 希望する転居先[全体]

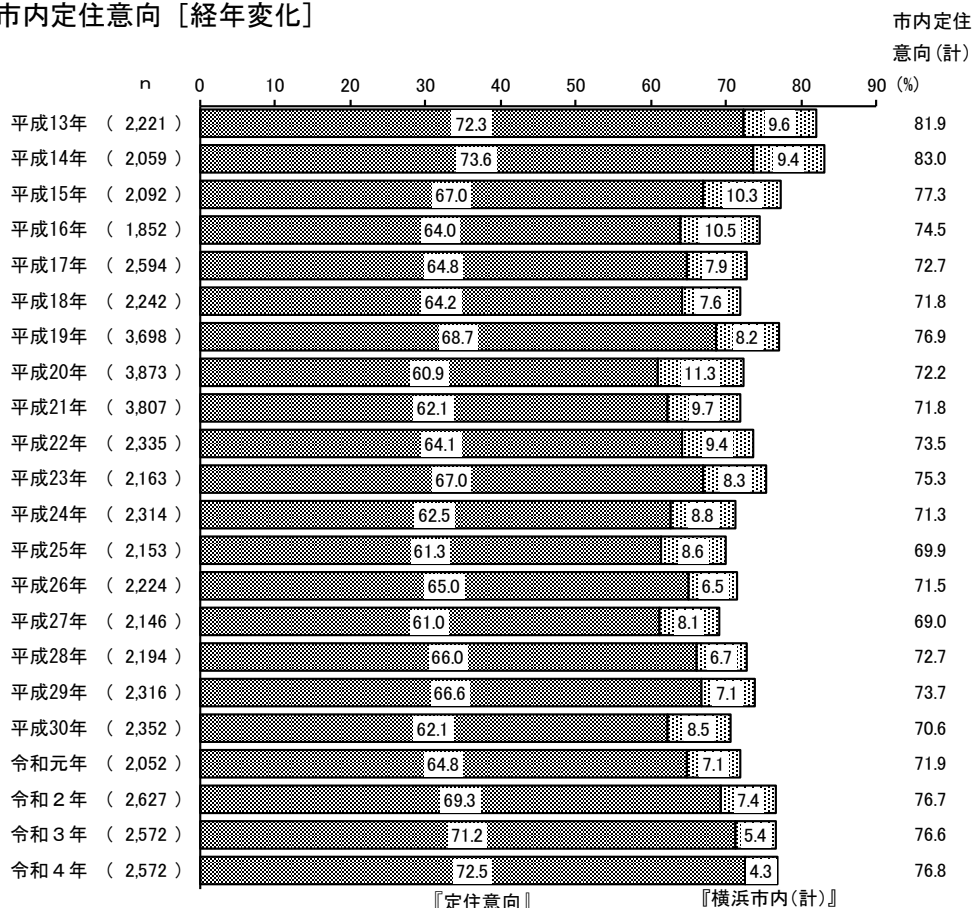


(7) 市内定住意向

『市内定住意向(計)』は7年連続7割を超える

現居住地での『定住意向』に、現居住地から「転居する」または「たぶん転居する」と答えた人のうち希望する転居先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向(計)』(76.8%)は、前回調査からほぼ変わらず、7年連続で7割を超えている。

図2-7-1 市内定住意向[経年変化]



## (8) 横浜市に住み続ける理由

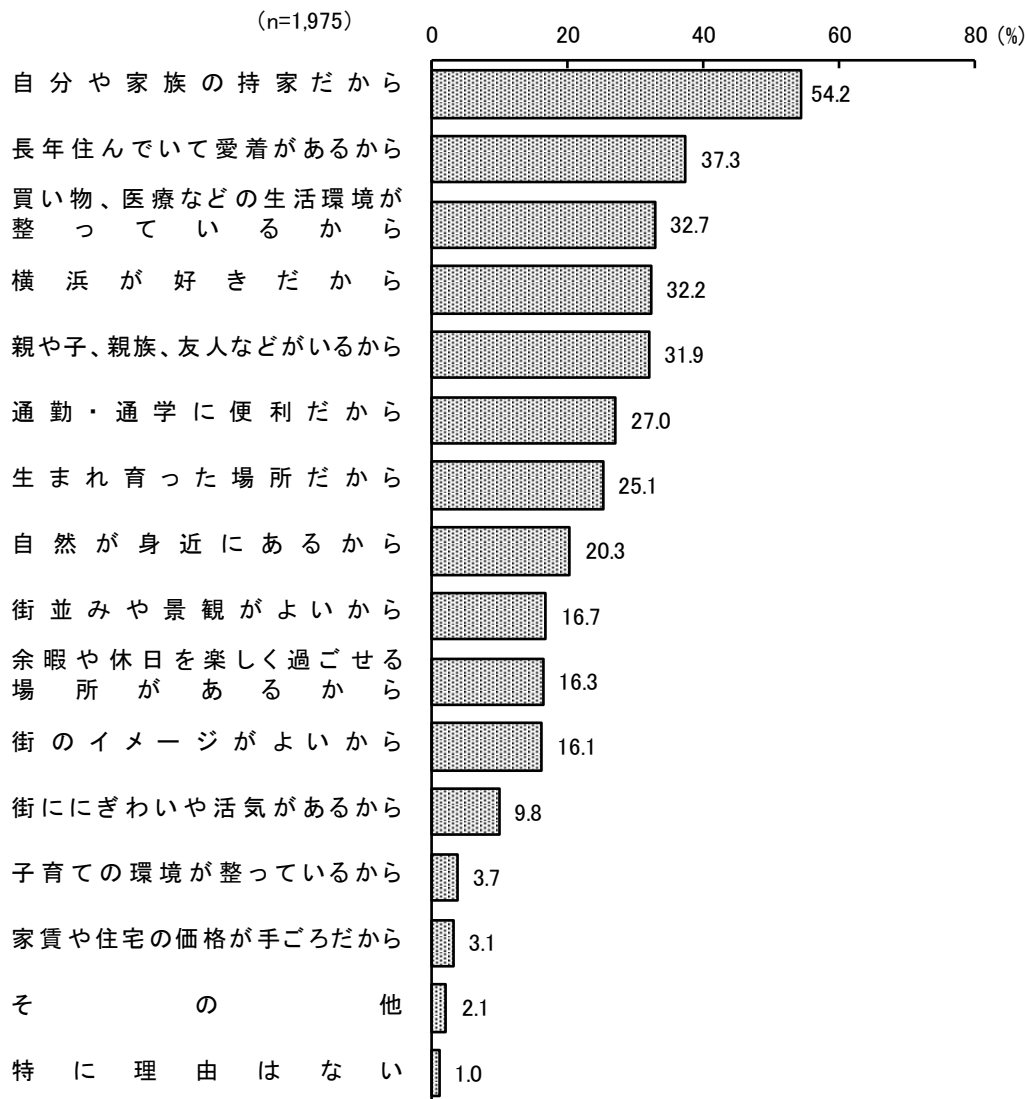
(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に)

問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

### 横浜に住み続ける理由は「自分や家族の持家だから」が5割半ば

現住地での『定住意向』または希望する転居地が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』の理由は、「自分や家族の持家だから」(54.2%)が5割半ばと最も多くなっている。次いで「長年住んでいて愛着があるから」(37.3%)、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(32.7%)、「横浜が好きだから」(32.2%)の順となっている。

図2-8-1 横浜に住み続ける理由〔全体〕(複数回答)



① 横浜に住み続ける理由〔区別〕（複数回答）

「自分や家族の持家だから」が18区中15区で1位

区別に見ると、「自分や家族の持家だから」が18区中15区で1位となっている。また、西区で「買い物、医療などの生活環境が整っているから」、中区で「横浜が好きだから」、都筑区で「自然が身近にあるから」がそれぞれ1位となっている。

表2-8-1 横浜に住み続ける理由〔区別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=1,975)	自分や家族の持家だから 54.2	長年住んでいて愛着があるから 37.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.7	横浜が好きだから 32.2	親や子、親族、友人などがあるから 31.9
鶴見区	(n=139)	自分や家族の持家だから 54.0	親や子、親族、友人などがあるから 37.4	長年住んでいて愛着があるから 34.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.5	親や子、親族、友人などがあるから 34.5
神奈川区	(n=121)	自分や家族の持家だから 52.9	長年住んでいて愛着があるから 38.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	横浜が好きだから 35.5	通勤・通学に便利だから 31.4
西区	(n=42)	買い物、医療などの生活環境が整っているから 50.0	横浜が好きだから 47.6	長年住んでいて愛着があるから 42.9	生まれ育った場所だから 42.9	自分や家族の持家だから 38.1
中区	(n=55)	横浜が好きだから 58.2	長年住んでいて愛着があるから 49.1	自分や家族の持家だから 45.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 45.5	通勤・通学に便利だから 38.2
南区	(n=118)	自分や家族の持家だから 51.7	横浜が好きだから 38.1	生まれ育った場所だから 35.6	長年住んでいて愛着があるから 35.6	親や子、親族、友人などがあるから 33.1
港南区	(n=118)	自分や家族の持家だから 61.0	長年住んでいて愛着があるから 43.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.1	横浜が好きだから 37.3	親や子、親族、友人などがあるから 33.9
保土ヶ谷区	(n=111)	自分や家族の持家だから 49.5	長年住んでいて愛着があるから 32.4	親や子、親族、友人などがあるから 29.7	通勤・通学に便利だから 29.7	生まれ育った場所だから 29.7
旭区	(n=141)	自分や家族の持家だから 57.4	長年住んでいて愛着があるから 35.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.9	横浜が好きだから 31.2	親や子、親族、友人などがあるから 27.7
磯子区	(n=83)	自分や家族の持家だから 50.6	横浜が好きだから 44.6	長年住んでいて愛着があるから 33.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 28.9	親や子、親族、友人などがあるから 27.7
金沢区	(n=131)	自分や家族の持家だから 57.3	長年住んでいて愛着があるから 37.4	自然が身近にあるから 35.1	親や子、親族、友人などがあるから 34.4	横浜が好きだから 32.1
港北区	(n=176)	自分や家族の持家だから 56.2	長年住んでいて愛着があるから 38.1	通勤・通学に便利だから 36.9	親や子、親族、友人などがあるから 30.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 29.5
緑区	(n=92)	自分や家族の持家だから 52.2	長年住んでいて愛着があるから 34.8	親や子、親族、友人などがあるから 28.3	生まれ育った場所だから 22.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.7
青葉区	(n=161)	自分や家族の持家だから 54.0	長年住んでいて愛着があるから 38.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.9	街並みや景観がよいから 34.2	街のイメージがよいから 29.8
都筑区	(n=104)	自然が身近にあるから 51.9	自分や家族の持家だから 45.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 45.2	親や子、親族、友人などがあるから 37.5	街並みや景観がよいから 35.6
戸塚区	(n=146)	自分や家族の持家だから 57.5	長年住んでいて愛着があるから 45.9	横浜が好きだから 39.7	親や子、親族、友人などがあるから 34.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.9
栄区	(n=62)	自分や家族の持家だから 67.7	長年住んでいて愛着があるから 41.9	通勤・通学に便利だから 35.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.6	横浜が好きだから 30.6
泉区	(n=83)	自分や家族の持家だから 50.6	長年住んでいて愛着があるから 41.0	親や子、親族、友人などがあるから 39.8	横浜が好きだから 28.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 26.5
瀬谷区	(n=73)	自分や家族の持家だから 63.0	親や子、親族、友人などがあるから 30.1	長年住んでいて愛着があるから 28.8	横浜が好きだから 28.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 23.3

② 横浜に住み続ける理由〔年齢別〕（複数回答）

18～29歳、30代 で「通勤・通学に便利だから」が1位

年齢別にみると、18～29歳、30代で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。それ以外の年代は「自分や家族の持家だから」が1位となっている。

③ 横浜に住み続ける理由〔性・年齢別〕（複数回答）

男女ともに18～29歳、30代で「通勤・通学に便利だから」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに18～29歳、30代で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。

表2-8-2 横浜に住み続ける理由〔年齢別、性・年齢別〕（複数回答）

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=1,975)	自分や家族の持家だから 54.2	長年住んでいて愛着があるから 37.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.7	横浜が好きだから 32.2	親や子、親族、友人などがいるから 31.9
	18～29歳 (n=111)	通勤・通学に便利だから 47.7	生まれ育った場所だから 42.3	自分や家族の持家だから 37.8	親や子、親族、友人などがいるから 29.7	長年住んでいて愛着があるから／横浜が好きだから 27.9
	30代 (n=180)	通勤・通学に便利だから 50.0	自分や家族の持家だから 36.7	親や子、親族、友人などがいるから 35.6	生まれ育った場所だから 34.4	長年住んでいて愛着があるから 30.0
	40代 (n=306)	自分や家族の持家だから 50.0	通勤・通学に便利だから 41.8	親や子、親族、友人などがいるから 36.9	横浜が好きだから 30.1	生まれ育った場所だから 29.7
	50代 (n=378)	自分や家族の持家だから 56.3	長年住んでいて愛着があるから 33.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.5	通勤・通学に便利だから 31.5	横浜が好きだから／親や子、親族、友人などがいるから 29.9
	60代 (n=331)	自分や家族の持家だから 61.9	長年住んでいて愛着があるから 43.8	横浜が好きだから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.8	親や子、親族、友人などがいるから 30.5
	70歳以上 (n=651)	自分や家族の持家だから 58.7	長年住んでいて愛着があるから 44.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.3	横浜が好きだから 34.3	親や子、親族、友人などがいるから 30.7
	性・年齢別	男性計 (n=849)	自分や家族の持家だから 52.1	長年住んでいて愛着があるから 36.6	横浜が好きだから 32.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.0
18～29歳 (n=45)		通勤・通学に便利だから 53.3	生まれ育った場所だから 42.2	自分や家族の持家だから／長年住んでいて愛着があるから 35.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.1
30代 (n=77)		通勤・通学に便利だから 54.5	自分や家族の持家だから 39.0	生まれ育った場所だから 33.8	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから 26.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 24.7
40代 (n=129)		自分や家族の持家だから 48.1	通勤・通学に便利だから 44.2	生まれ育った場所だから 33.3	親や子、親族、友人などがいるから 32.6	横浜が好きだから 31.8
50代 (n=159)		自分や家族の持家だから 52.8	通勤・通学に便利だから 35.8	長年住んでいて愛着があるから 30.2	横浜が好きだから／生まれ育った場所だから 29.6	29.6
60代 (n=155)		自分や家族の持家だから 58.7	長年住んでいて愛着があるから 45.2	横浜が好きだから 38.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.5	親や子、親族、友人などがいるから 25.8
70歳以上 (n=284)		自分や家族の持家だから 56.0	長年住んでいて愛着があるから 44.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.8	横浜が好きだから 36.6	自然が身近にあるから 28.2
女性計 (n=1,066)		自分や家族の持家だから 56.0	長年住んでいて愛着があるから 38.7	親や子、親族、友人などがいるから 36.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.6	横浜が好きだから 32.4
18～29歳 (n=59)		通勤・通学に便利だから／生まれ育った場所だから 42.4	自分や家族の持家だから 39.0	親や子、親族、友人などがいるから 35.6	横浜が好きだから 32.2	横浜が好きだから 32.2
30代 (n=100)		通勤・通学に便利だから 47.0	親や子、親族、友人などがいるから 45.0	長年住んでいて愛着があるから 37.0	横浜が好きだから 36.0	自分や家族の持家だから 35.0
40代 (n=169)		自分や家族の持家だから 51.5	親や子、親族、友人などがいるから 39.6	通勤・通学に便利だから 38.5	長年住んでいて愛着があるから 30.2	横浜が好きだから 29.0
50代 (n=210)		自分や家族の持家だから 58.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.7	長年住んでいて愛着があるから 35.7	親や子、親族、友人などがいるから 34.3	横浜が好きだから 31.0
60代 (n=169)		自分や家族の持家だから 65.1	長年住んでいて愛着があるから 43.2	横浜が好きだから／親や子、親族、友人などがいるから 34.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.7	33.7
70歳以上 (n=359)		自分や家族の持家だから 61.0	長年住んでいて愛着があるから 45.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.7	親や子、親族、友人などがいるから 33.7	横浜が好きだから 32.9

④ 横浜に住み続ける理由〔ライフステージ別〕（複数回答）

単身（１）、夫婦だけ（１）、家族形成期で「通勤・通学に便利だから」が１位

ライフステージ別にみると、単身（１）、夫婦だけ（１）、家族形成期で「通勤・通学に便利だから」が１位となっている。また、単身（１）と家族成熟前期以外のライフステージで「横浜が好きだから」が上位に入っている。

表 2-8-3 横浜に住み続ける理由〔ライフステージ別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=1,975)	自分や家族の持家だから 54.2	長年住んでいて愛着があるから 37.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.7	横浜が好きだから 32.2	親や子、親族、友人などがいるから 31.9
子どもなし計	(n=458)	自分や家族の持家だから 40.2	通勤・通学に便利だから 39.1	生まれ育った場所だから 35.8	長年住んでいて愛着があるから 34.7	横浜が好きだから 32.8
単身(1) 40歳未満	(n=135)	通勤・通学に便利だから 53.3	生まれ育った場所だから 40.7	自分や家族の持家だから 38.5	長年住んでいて愛着があるから／親や子、親族、友人などがいるから／余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから 28.1	
単身(2) 40～64歳	(n=110)	生まれ育った場所だから 48.2	自分や家族の持家だから／通勤・通学に便利だから 40.9	横浜が好きだから 38.2	長年住んでいて愛着があるから 35.5	
夫婦だけ(1) 40歳未満	(n=33)	通勤・通学に便利だから 51.5	生まれ育った場所だから 42.4	親や子、親族、友人などがいるから 36.4	長年住んでいて愛着があるから 33.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから／横浜が好きだから／街のイメージがよいから／街にぎわいや活気があるから 24.2
夫婦だけ(2) 40～64歳	(n=112)	自分や家族の持家だから 47.3	通勤・通学に便利だから 38.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.5	長年住んでいて愛着があるから 36.6	横浜が好きだから 34.8
高齢子どもなし	(n=68)	長年住んでいて愛着があるから 44.1	自分や家族の持家だから 41.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.2	横浜が好きだから 36.8	親や子、親族、友人などがいるから 35.3
子どもあり計	(n=1,391)	自分や家族の持家だから 59.4	長年住んでいて愛着があるから 38.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.4	親や子、親族、友人などがいるから 33.6	横浜が好きだから 32.3
家族形成期 第一子が小学校入学前	(n=91)	通勤・通学に便利だから 40.7	親や子、親族、友人などがいるから 37.4	自分や家族の持家だから 35.2	生まれ育った場所だから 30.8	長年住んでいて愛着があるから／横浜が好きだから 27.5
家族成長前期 第一子が小学生	(n=108)	自分や家族の持家だから 55.6	通勤・通学に便利だから 45.4	親や子、親族、友人などがいるから 38.9	横浜が好きだから 30.6	生まれ育った場所だから 27.8
家族成長中期 第一子が中・高生	(n=151)	自分や家族の持家だから 55.6	通勤・通学に便利だから 41.1	親や子、親族、友人などがいるから 39.7	横浜が好きだから 32.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 29.1
家族成長後期 第一子が大学生等	(n=99)	自分や家族の持家だから 53.5	親や子、親族、友人などがいるから 32.3	横浜が好きだから 29.3	生まれ育った場所だから 28.3	長年住んでいて愛着があるから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 27.3
家族成熟前期 第一子が学校教育終了	(n=60)	自分や家族の持家だから 65.0	長年住んでいて愛着があるから 36.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから／通勤・通学に便利だから 31.7	親や子、親族、友人などがいるから 26.7	
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満	(n=227)	自分や家族の持家だから 63.9	長年住んでいて愛着があるから 40.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.7	横浜が好きだから 33.9	親や子、親族、友人などがいるから 33.0
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上	(n=655)	自分や家族の持家だから 63.1	長年住んでいて愛着があるから 46.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.2	横浜が好きだから 33.7	親や子、親族、友人などがいるから 31.9

⑤ 横浜に住み続ける理由〔世帯類型別〕（複数回答）

ひとり暮らし（１）（２）で「通勤・通学に便利だから」が１位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（１）と（２）で「通勤・通学に便利だから」、親と同居（１）と（２）で「生まれ育った場所だから」が１位となっている。また、ひとり暮らし（１）で「余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから」が２位となっている。

⑥ 横浜に住み続ける理由〔住居形態別〕（複数回答）

借家（県営・市営の共同住宅）で「横浜が好きだから」が１位

住居形態別にみると、借家（都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅）で「長年住んでいて愛着があるから」と「横浜が好きだから」が同率で２位となっている。また、借家（県営・市営の共同住宅）で「横浜が好きだから」が１位となっている。

表 2-8-4 横浜に住み続ける理由〔世帯類型別、住居形態別〕（複数回答）

属性		順位					
		1位	2位	3位	4位	5位	
世帯類型別	全体 (n=1,975)	自分や家族の持家だから 54.2	長年住んでいて愛着があるから 37.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.7	横浜が好きだから 32.2	親や子、親族、友人などがいるから 31.9	
	ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=41)	通勤・通学に便利だから 78.0	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから 43.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.1	長年住んでいて愛着があるから 22.0	街並みや景観がよいから／横浜が好きだから 19.5	
	ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=70)	自分や家族の持家だから 54.2	通勤・通学に便利だから 35.7	横浜が好きだから 34.3	親や子、親族、友人などがいるから 34.3	生まれ育った場所だから 32.9	
	ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=117)	自分や家族の持家だから 42.7	長年住んでいて愛着があるから 41.9	横浜が好きだから 31.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 29.1	親や子、親族、友人などがいるから 29.1	
	夫婦のみ(1) 子なし (n=169)	自分や家族の持家だから 39.6	長年住んでいて愛着があるから 38.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.1	横浜が好きだから 34.9	通勤・通学に便利だから 34.3	
	夫婦のみ(2) 子あり (n=393)	自分や家族の持家だから 60.8	長年住んでいて愛着があるから 47.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.5	横浜が好きだから 36.6	親や子、親族、友人などがいるから 29.8	
	子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=438)	自分や家族の持家だから 50.5	通勤・通学に便利だから 41.3	親や子、親族、友人などがいるから 37.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 29.2	横浜が好きだから 28.8	
	子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=301)	自分や家族の持家だから 65.8	長年住んでいて愛着があるから 46.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.5	親や子、親族、友人などがいるから 35.5	横浜が好きだから 31.6	
	親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=78)	生まれ育った場所だから 57.7	自分や家族の持家だから 55.1	通勤・通学に便利だから 41.0	親や子、親族、友人などがいるから 35.9	長年住んでいて愛着があるから 34.6	
	親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=55)	生まれ育った場所だから 60.0	自分や家族の持家だから 58.2	横浜が好きだから 43.6	長年住んでいて愛着があるから 41.8	通勤・通学に便利だから 34.5	
	祖父母と親と子 3世代 (n=92)	自分や家族の持家だから 78.3	長年住んでいて愛着があるから 33.7	生まれ育った場所だから 32.6	横浜が好きだから 31.5	親や子、親族、友人などがいるから 30.4	
	住居形態別	持家(一戸建て) (n=1,023)	自分や家族の持家だから 69.9	長年住んでいて愛着があるから 39.3	横浜が好きだから 32.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.8	親や子、親族、友人などがいるから 30.4
	持家(マンション・共同住宅) (n=589)	自分や家族の持家だから 55.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.4	長年住んでいて愛着があるから 36.7	親や子、親族、友人などがいるから 32.9	横浜が好きだから 31.9	
借家(一戸建て) (n=27)	通勤・通学に便利だから 44.4	長年住んでいて愛着があるから 29.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 25.9	親や子、親族、友人などがいるから 22.2	生まれ育った場所だから／街のイメージがよいから 22.2		
借家(民間アパート、民間賃貸マンション) (n=207)	通勤・通学に便利だから 45.4	親や子、親族、友人などがいるから 38.6	長年住んでいて愛着があるから 32.4	横浜が好きだから 30.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.0		
借家(その他の共同住宅等) (n=100)	横浜が好きだから 39.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.0	通勤・通学に便利だから 37.0	長年住んでいて愛着があるから 35.0	親や子、親族、友人などがいるから 28.0		

※その他の共同住宅等は「借家(県営・市営の共同住宅)、借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)、借家(社宅、公務員住宅)」を合計したもの

### 3. 生活意識

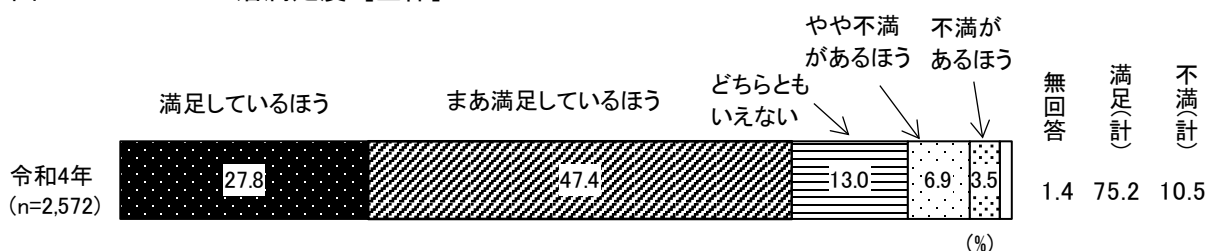
#### (1) 生活満足度

問7 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。  
(○は1つ)

#### 『満足(計)』は7割半ば

生活満足度については、「満足しているほう」(27.8%)と「まあ満足しているほう」(47.4%)を合わせた『満足(計)』(75.2%)は7割半ばとなっている。一方、「不満があるほう」(3.5%)と「やや不満があるほう」(6.9%)を合わせた『不満(計)』(10.5%)は1割を超えている。

図3-1-1 生活満足度 [全体]

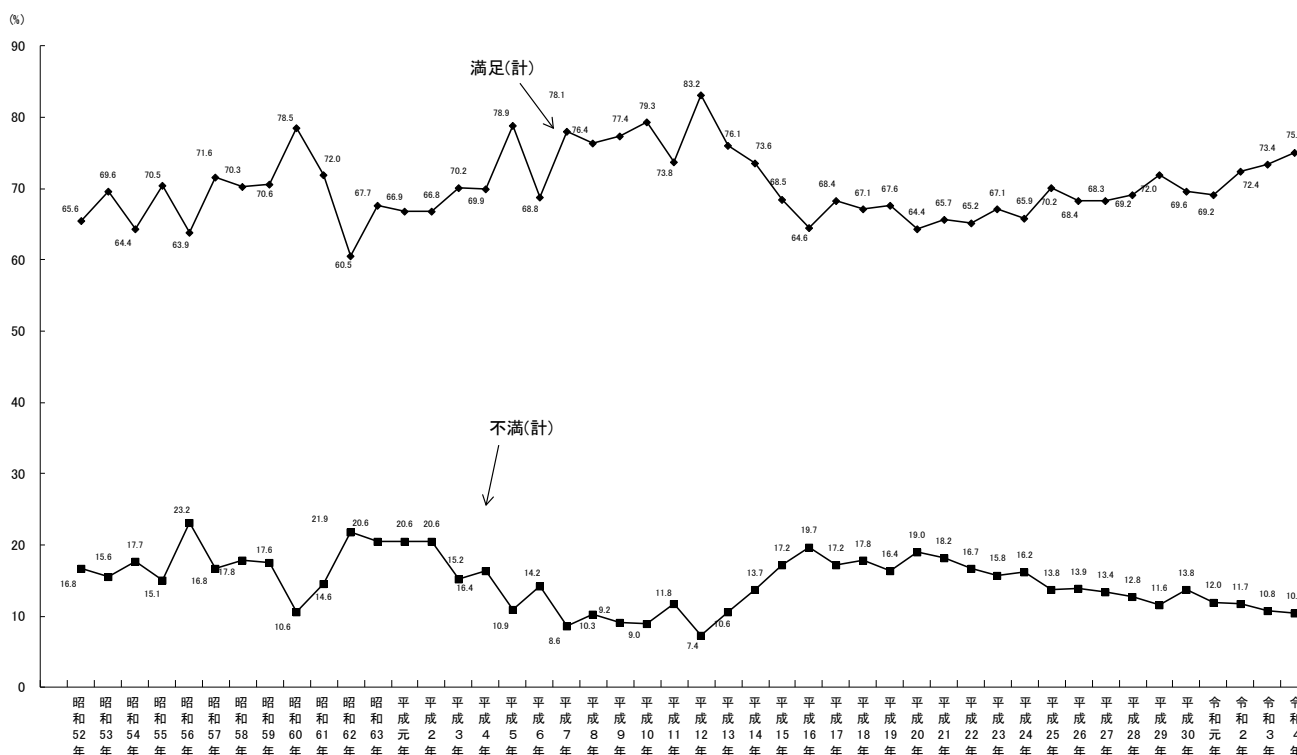


#### ① 生活満足度 [経年変化]

##### 生活満足度は前回調査から1.8ポイント増加

経年変化をみると、前回調査に比べ『満足(計)』は1.8ポイント増加、『不満(計)』は0.3ポイントの減少となっている。

図3-1-2 生活満足度 [経年変化]



② 生活満足度〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で8割近く

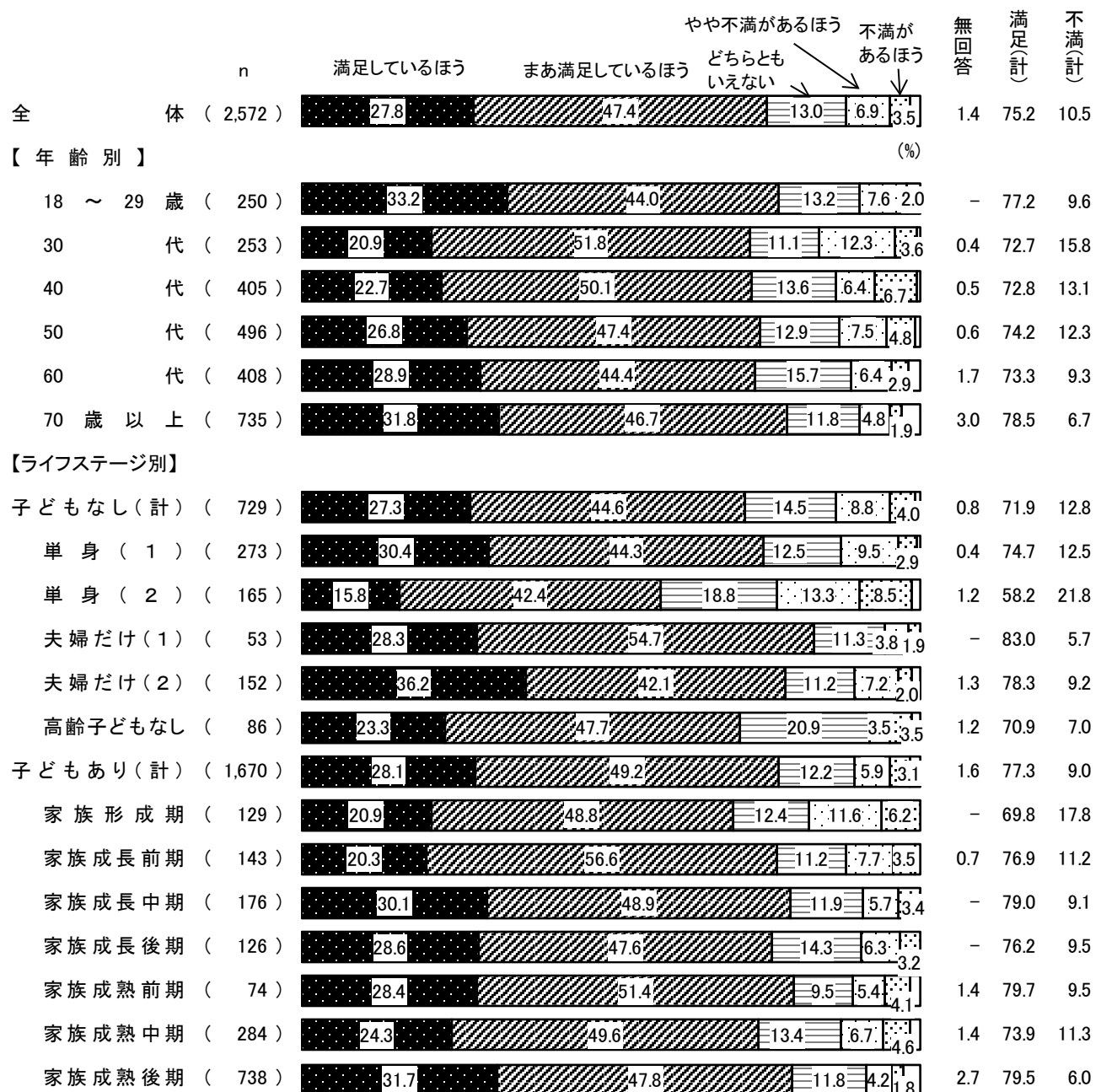
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（78.5%）で8割近くと最も多く、全ての年代が7割を超えている。

③ 生活満足度〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で8割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（83.0%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（21.8%）で2割を超えて最も多くなっている。

図3-1-3 生活満足度〔年齢別、ライフステージ別〕





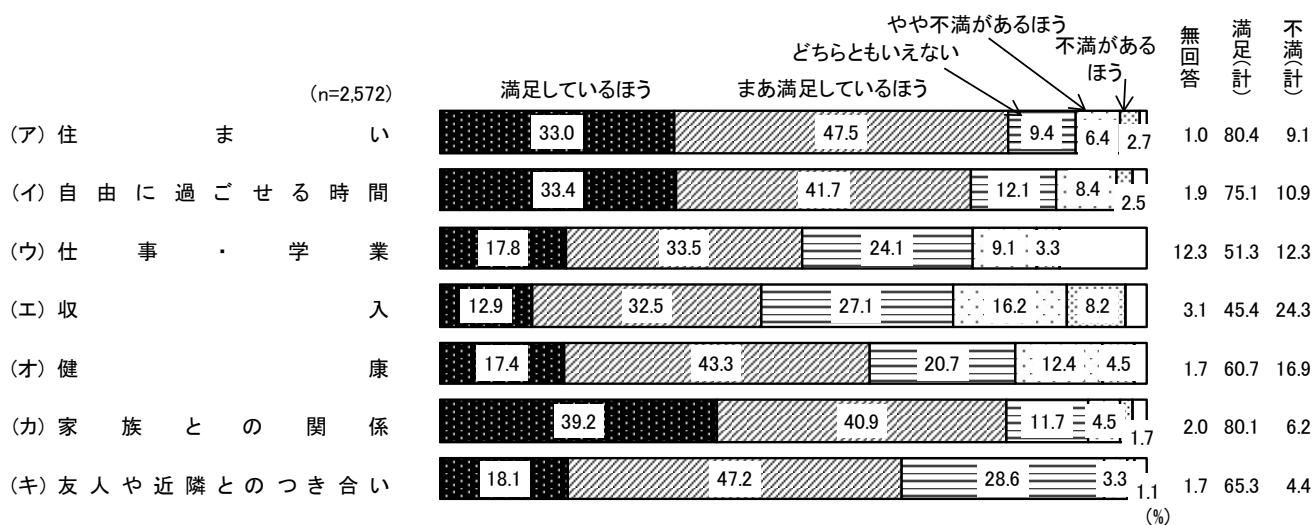
(2) 項目別生活満足度

問8 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇はそれぞれ1つ)

『満足(計)』は「住まい」と「家族との関係」で8割を超える

項目別生活満足度について、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」を合わせた『満足(計)』は、「住まい」(80.4%)、「家族との関係」(80.1%)で8割を超えている。

図3-2-1 項目別生活満足度[全体]



① 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で8割半ば

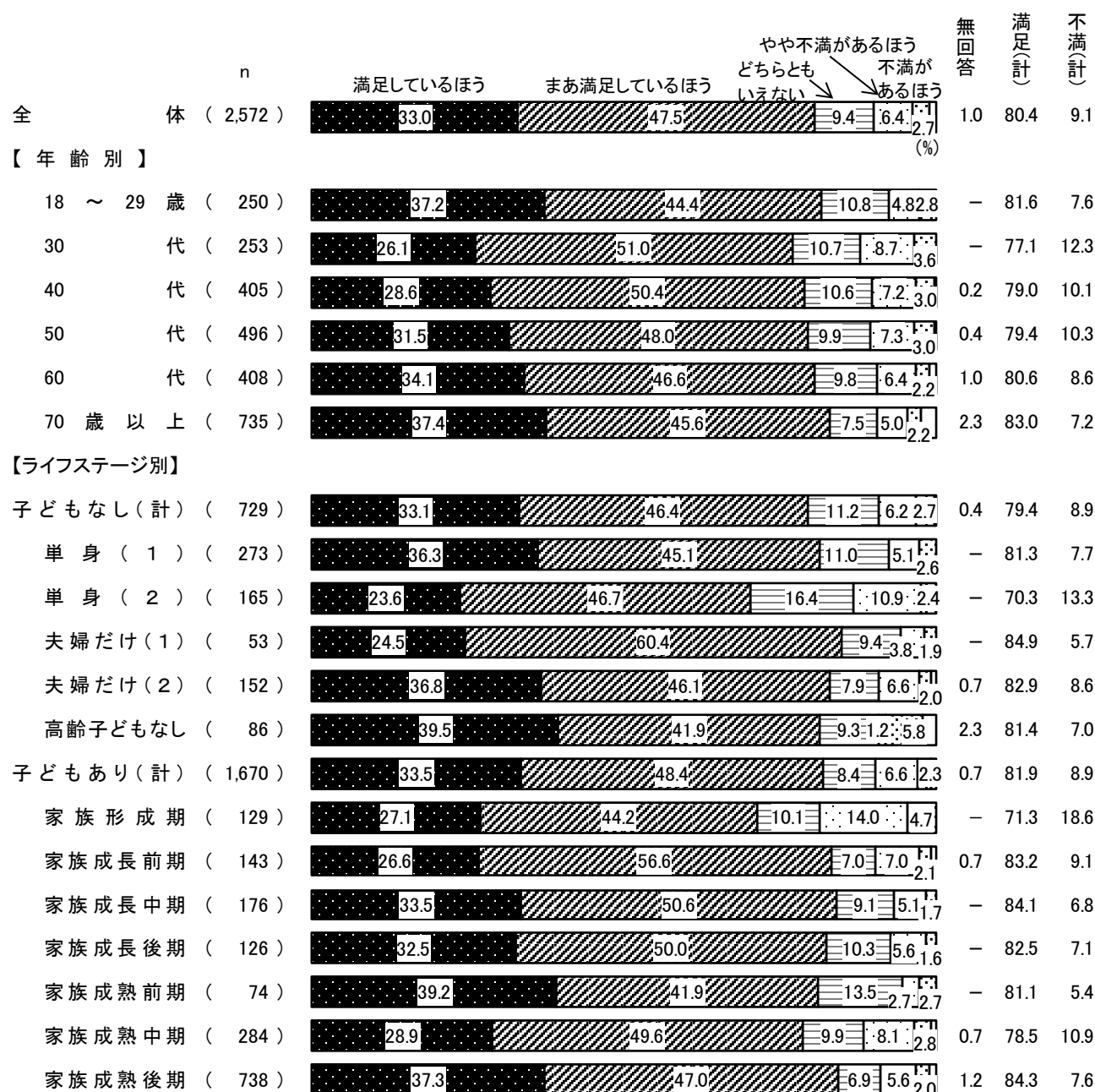
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（83.0%）が8割半ばと最も多く、次いで18～29歳（81.6%）、60代（80.6%）がともに8割を超えている。一方、『不満（計）』は30代（12.3%）で1割を超えて最も多くなっている。

② 項目別生活満足度（ア）住まい〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で8割半ばと最も多い

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（84.9%）で8割半ばと最も多く、次いで家族成熟後期（84.3%）、家族成長中期（84.1%）、家族成長前期（83.2%）となっている。一方、『不満（計）』は、家族形成期（18.6%）で2割近くとなっている。

図3-2-2 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別、ライフステージ別〕



③ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別]

『満足（計）』は70歳以上で8割半ば

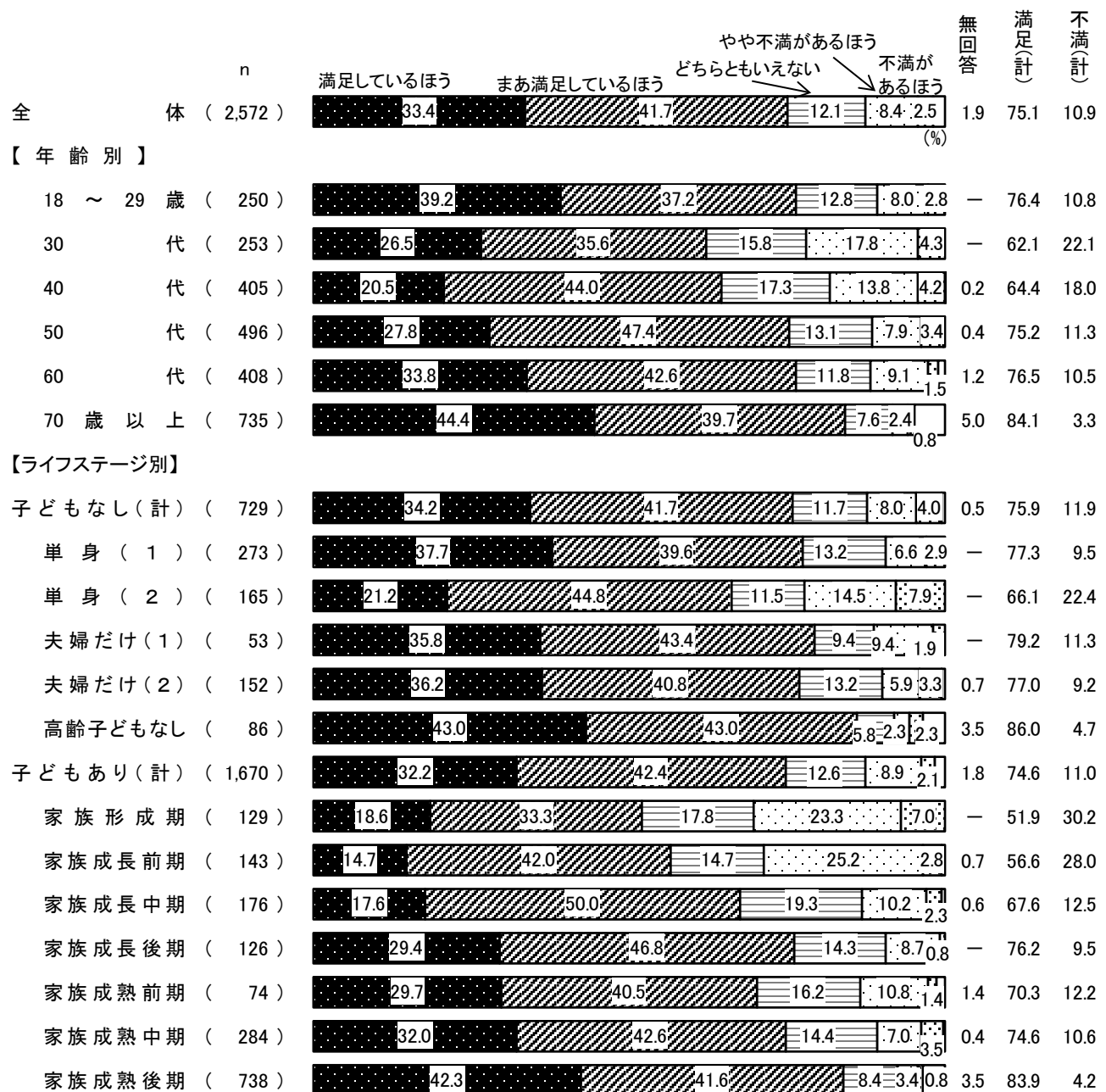
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（84.1%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（22.1%）で2割を超えて最も多くなっている。

④ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [ライフステージ別]

『不満（計）』は家族形成期で3割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は高齢子どもなし（86.0%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（30.2%）で3割を超えて最も多くなっている。

図3-2-3 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別、ライフステージ別]



⑤ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別]

『満足（計）』は18～29歳で6割を超える

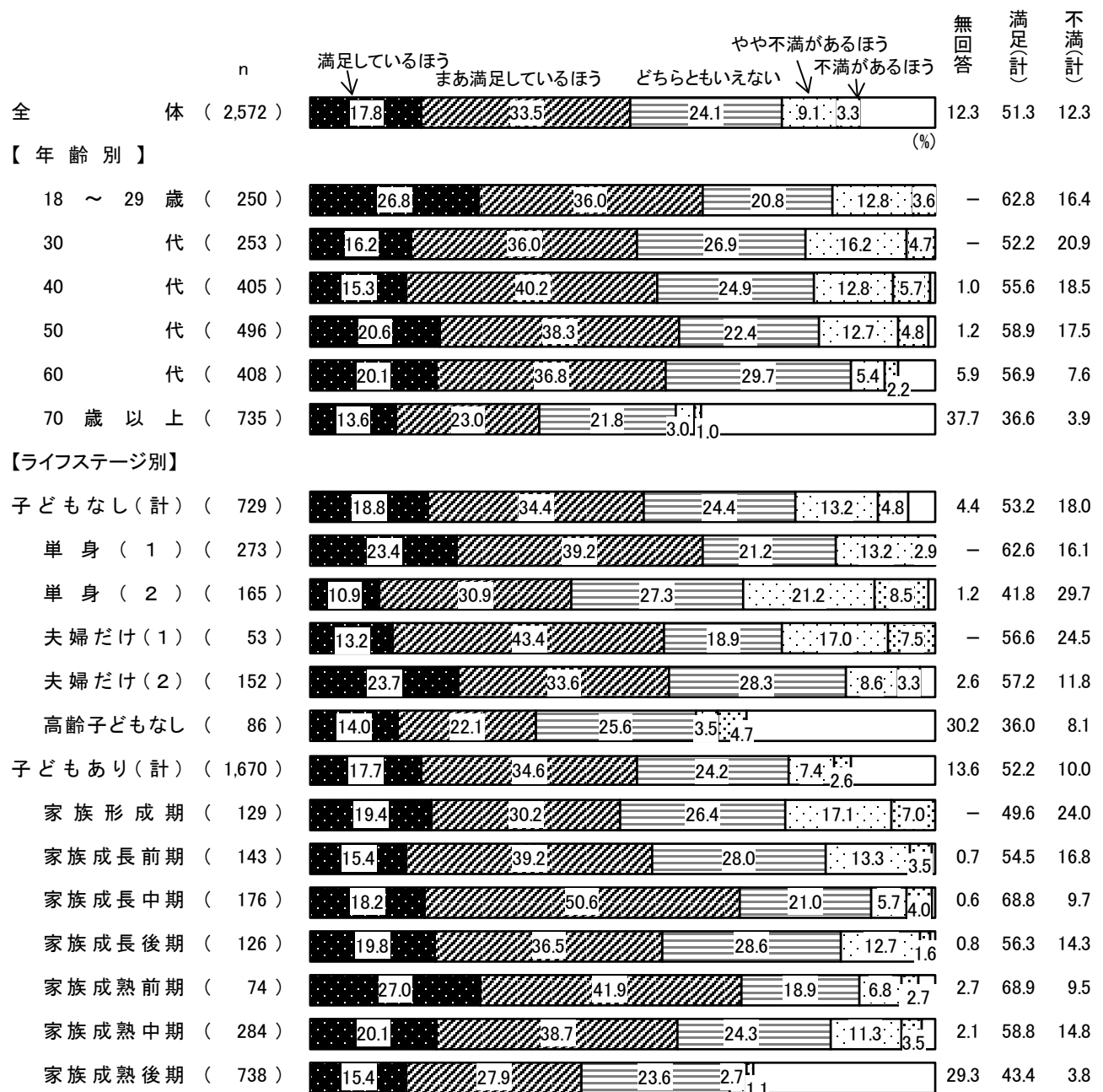
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（62.8%）で6割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（20.9%）で2割を超えて最も多くなっている。

⑥ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [ライフステージ別]

『不満（計）』は単身（2）で3割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成熟前期（68.9%）で7割近くと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（29.7%）で3割近くと最も多くなっている。

図3-2-4 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別、ライフステージ別]



⑦ 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別〕

『満足（計）』は50代で5割を超える

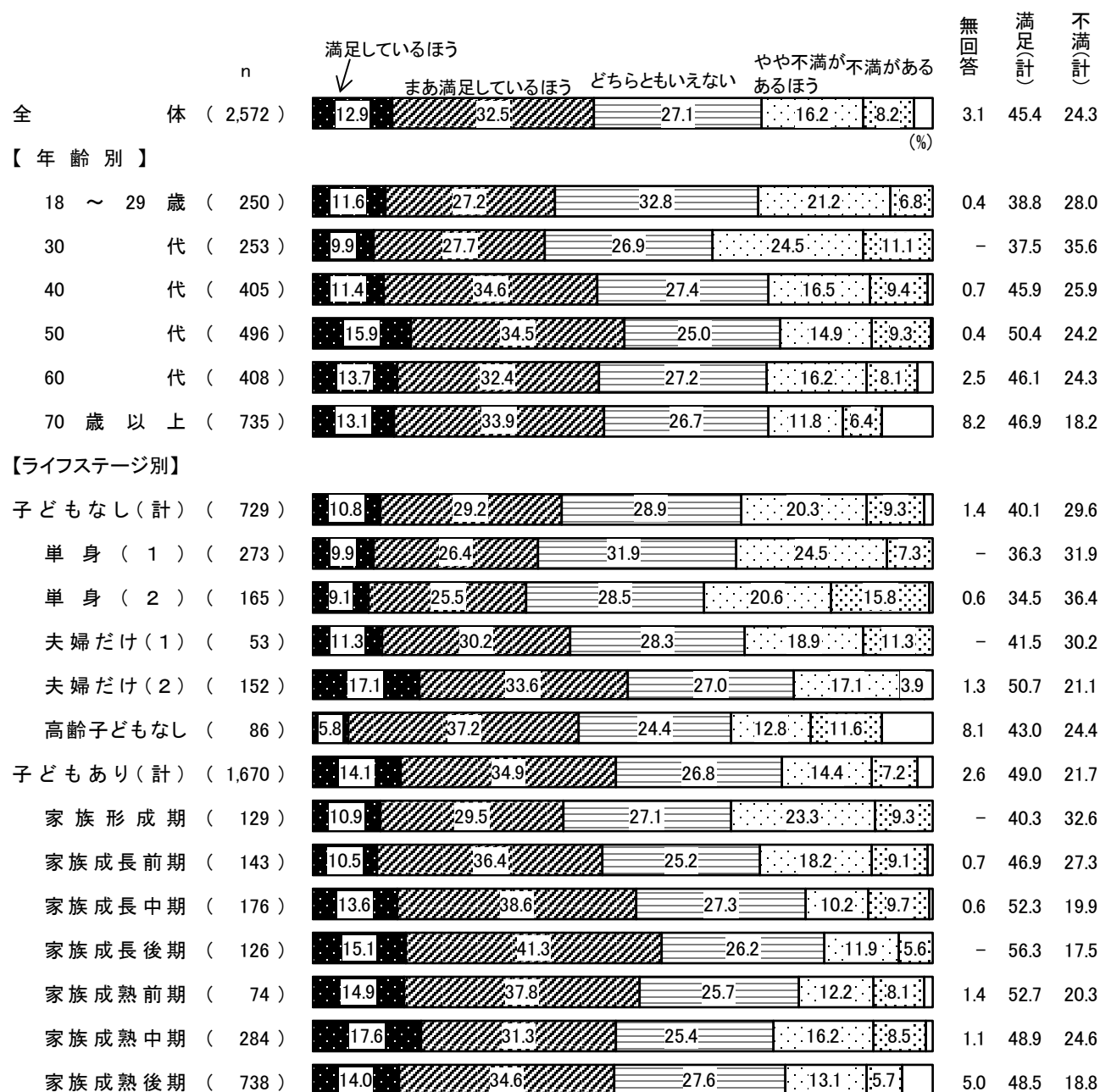
年齢別にみると、『満足（計）』は50代（50.4%）で5割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（35.6%）で3割半ばと最も多くなっている。

⑧ 項目別生活満足度（エ）収入〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は単身（2）で3割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長後期（56.3%）で最も多く、次いで家族成熟前期（52.7%）、家族成長中期（52.3%）、夫婦だけ（2）（50.7%）で5割を超えている。一方、『不満（計）』は単身（2）（36.4%）で3割半ばと最も多くなっている。

図3-2-5 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別、ライフステージ別〕



⑨ 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で7割半ば

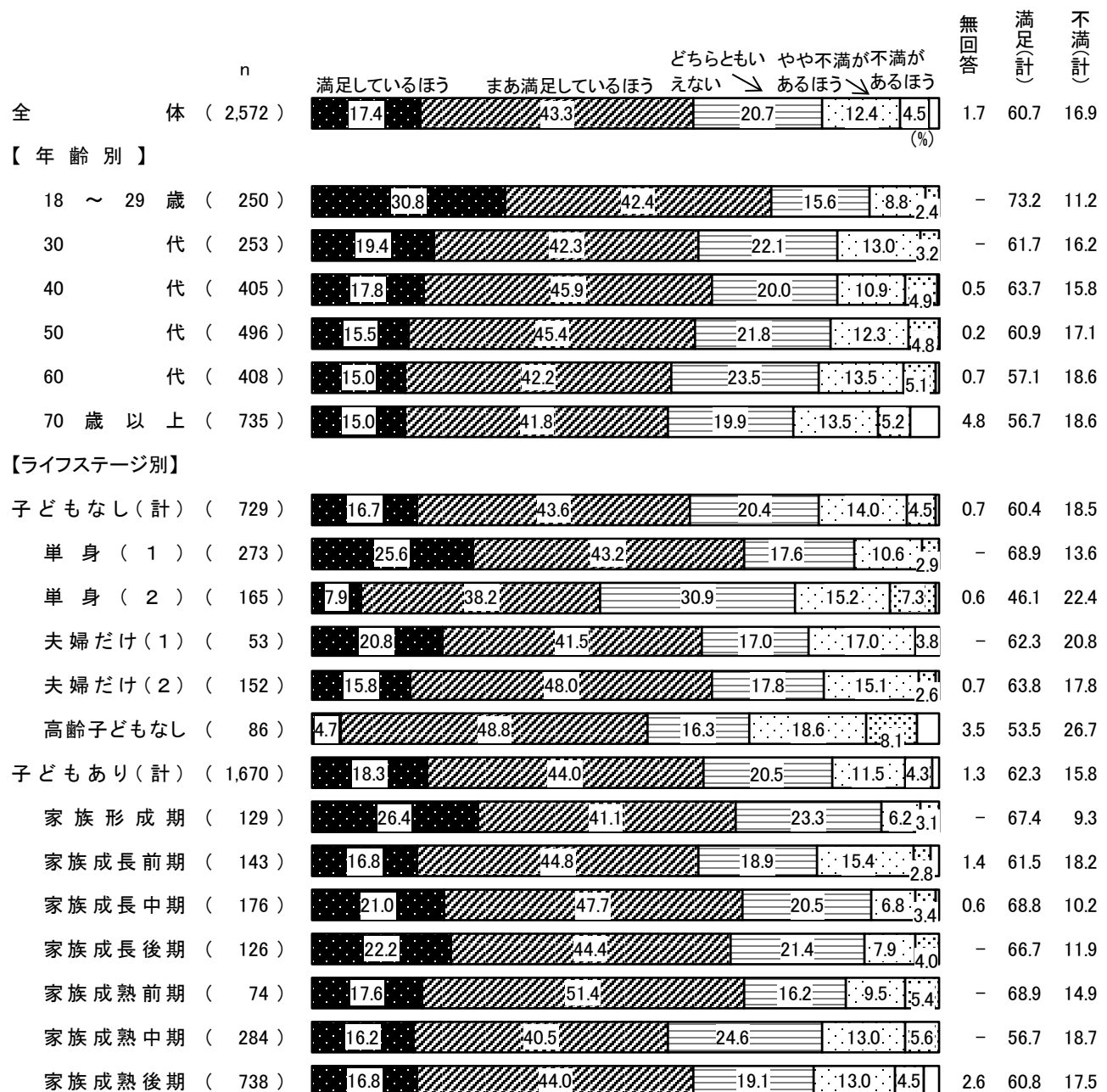
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（73.2%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は60代と70歳以上（18.6%）が最も多くなっている。

⑩ 項目別生活満足度（オ）健康〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は高齢子どもなしで2割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は単身（1）と家族成熟前期（68.9%）で7割近くと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は高齢子どもなし（26.7%）で2割半ばと最も多くなっている。

図3-2-6 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別、ライフステージ別〕



⑪ 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [年齢別]

『満足（計）』は18～29歳で8割半ば

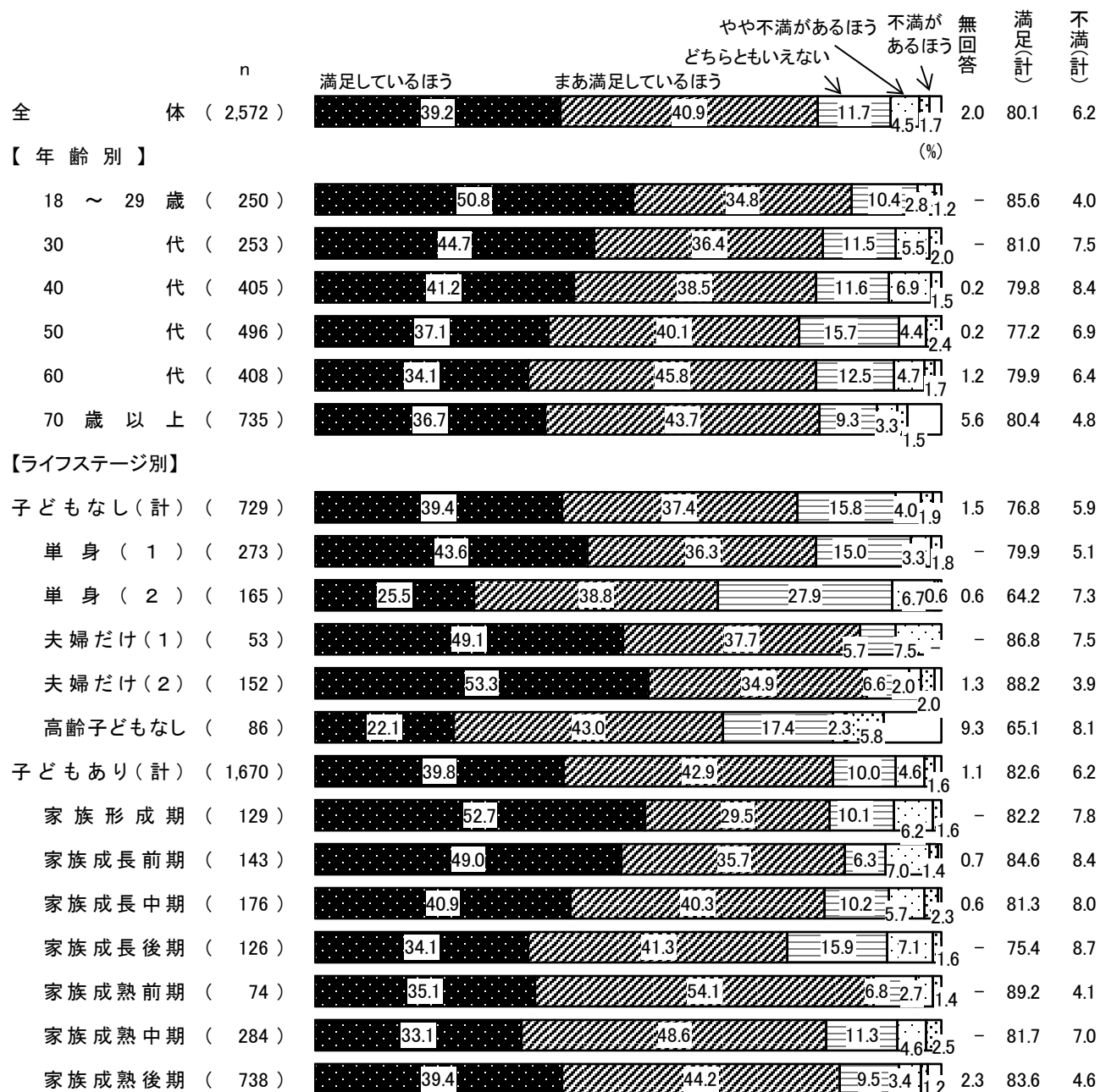
年齢別にみると、18～29歳の『満足（計）』は85.6%で8割半ばと最も多く、『不満（計）』は4%と他の年齢に比べ少なくなっている。

⑫ 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [ライフステージ別]

『満足（計）』は家族成熟前期、夫婦だけ（2）で9割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成熟前期（89.2%）、夫婦だけ（2）（88.2%）で9割近くとなっている。『不満（計）』は家族成長後期（8.7%）で、他のライフステージに比べ多くなっている。

図3-2-7 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [年齢別、ライフステージ別]



⑬ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で7割を超える

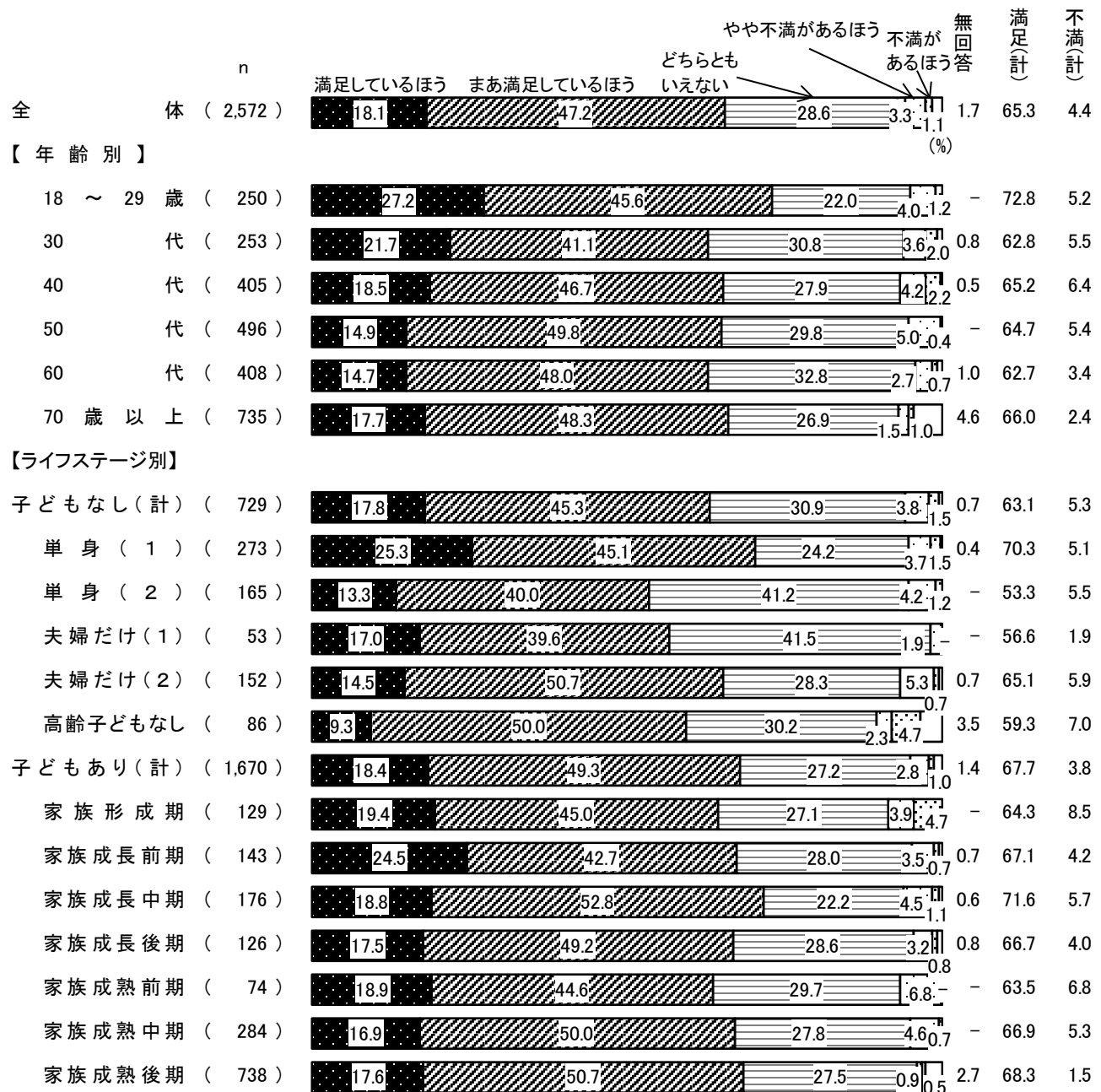
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（72.8%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は40代（6.4%）で最も多くなっている。

⑭ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成長中期、単身（1）で7割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長中期（71.6%）、単身（1）（70.3%）で7割を超えており、単身（2）（53.3%）では5割半ばと最も少なくなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（8.5%）で1割近くと最も多くなっている。

図3-2-8 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別、ライフステージ別〕





(3) 生活満足度のまとめ

(ア)「住まい」から(キ)「友人や近隣とのつき合い」までのそれぞれの項目別生活満足度について、「満足しているほう」又は「まあ満足しているほう」（あわせて『満足』）と回答した人と、「不満があるほう」又は「やや不満があるほう」（あわせて『不満』）と回答した人に分けて、生活満足度をみた。

【「満足」と回答した人の生活満足度】

「収入」で『満足（計）』は9割を超える

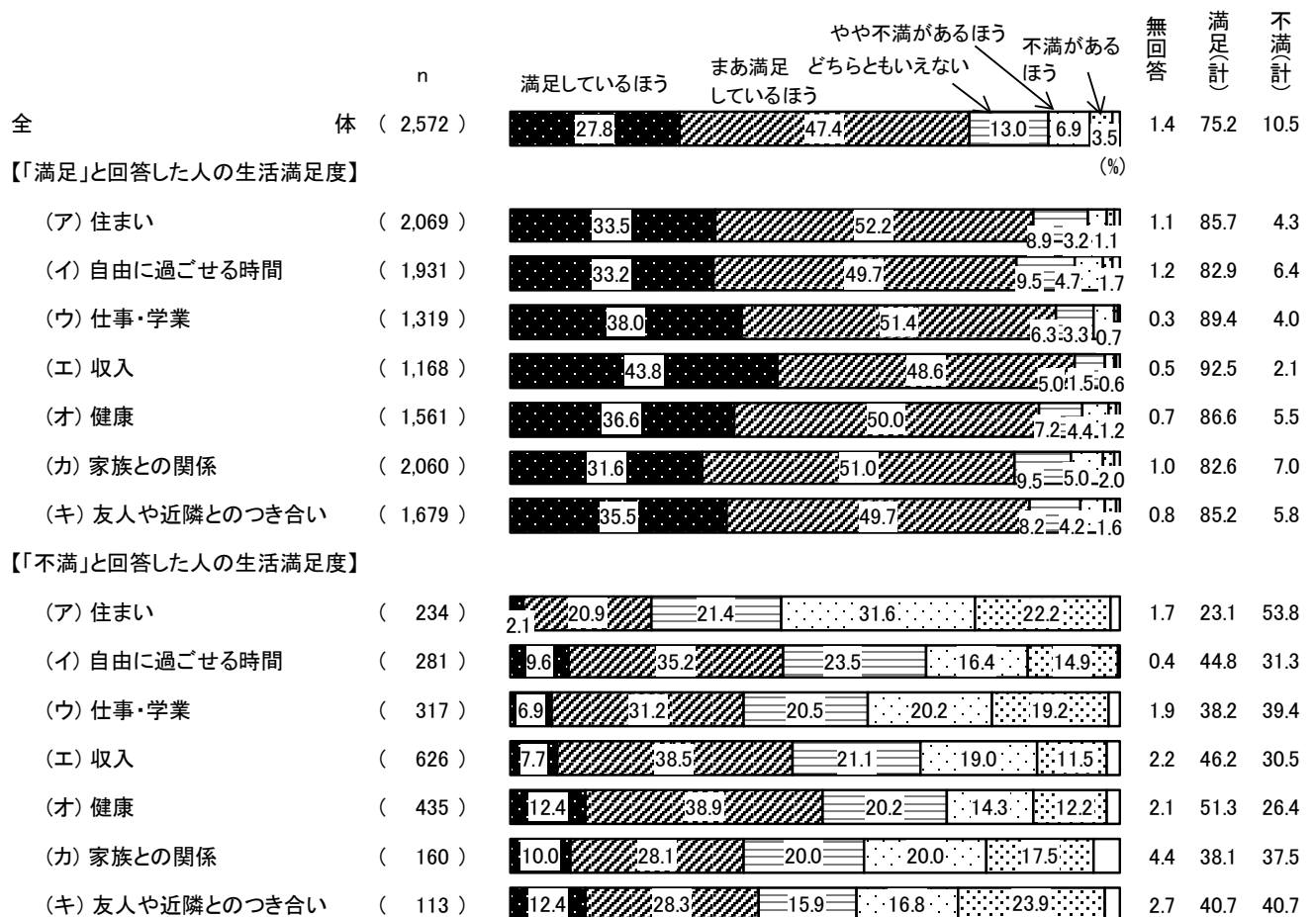
「収入」に『満足』と回答した人では、生活満足度『満足（計）』（92.5%）が9割を超えている。その他の項目についても、『満足（計）』は全体と比べて多くなっている。

【「不満」と回答した人の生活満足度】

「住まい」で『不満（計）』は5割半ば

「住まい」に『不満』と回答した人では、生活満足度『満足（計）』（23.1%）が2割半ばと少なく、『不満（計）』（53.8%）は5割半ばとなっている。その他の項目についても、『不満（計）』が全体と比べ多くなっている。

図3-3-1 項目別生活満足度の『満足』・『不満』別生活満足度



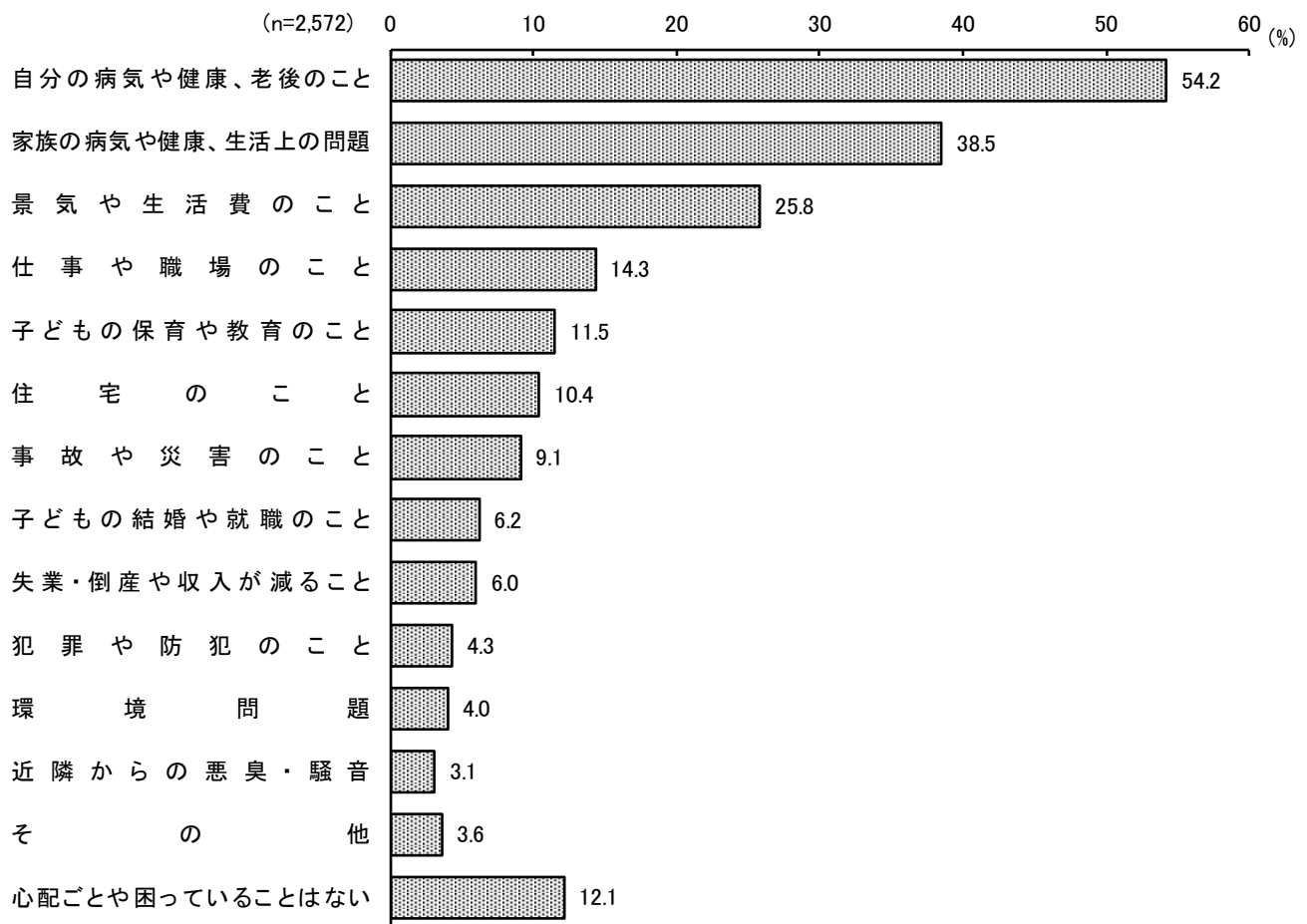
(4) 心配ごとや困っていること

問9 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。  
(○は3つまで)

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割半ば

心配ごとや困っていることについては、「自分の病気や健康、老後のこと」(54.2%)が5割半ばと最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(38.5%)、「景気や生活費のこと」(25.8%)となっている。

図3-4-1 心配ごとや困っていること [全体] (3つまでの複数回答)



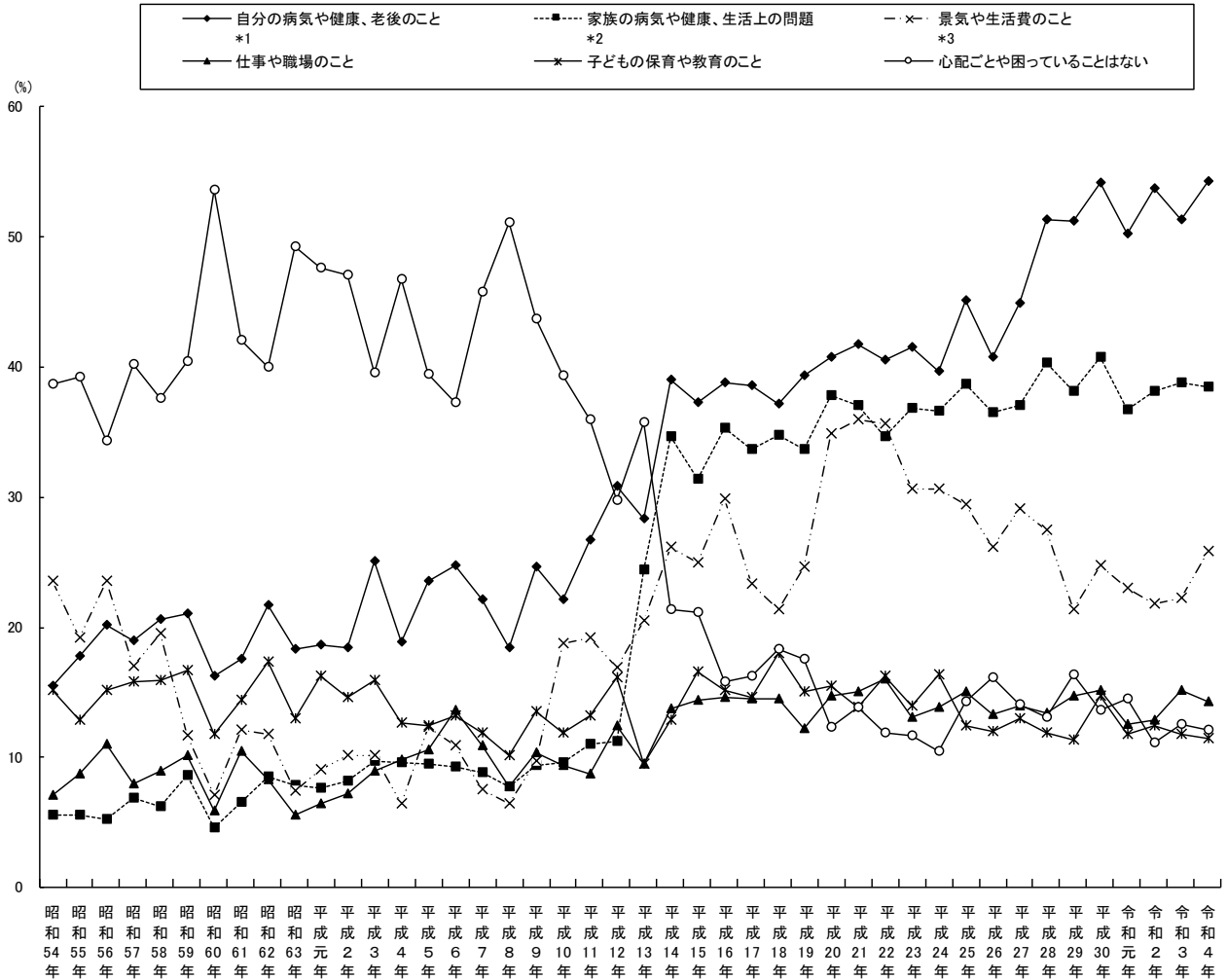
① 心配ごとや困っていること [経年変化]

「自分の病気や健康、老後のこと」は増加傾向

経年変化をみると、「自分の病気や健康、老後のこと」は平成 28 年以降 5 割を超えている。「心配ごとや困っていることはない」は、平成 20 年以降、おおむね 10% 台前半で推移している。

図 3-4-2 心配ごとや困っていること [経年変化]

(3 つまでの複数回答、上位 5 項目と「心配ごとや困っていることはない」の割合)



※ 1 平成 27 年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

※ 2 平成 12 年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成 27 年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

※ 3 平成 9 年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

表3-4-1 心配ごとや困っていること〔経年変化〕（3つまでの複数回答）

調査時期	心配ごと													心配ごとや困っていることではない
	自分の病気や健康、老後のこと*1	家族の病気や健康、生活上の問題*2	景気や生活費のこと*3	事故や災害のこと*4	環境問題*4	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	住宅のこと	犯罪や防犯のこと	近隣からの悪臭・騒音	子どもの結婚や就職のこと		
昭和54年	15.5	5.6	23.5		8.7		15.2	7.1	3.0	16.5	-	-	-	38.7
55年	17.8	5.6	19.2		6.5		12.9	8.7	3.4	15.2	-	-	-	39.2
56年	20.2	5.3	23.5		8.7		15.2	11.0	2.3	19.0	-	-	-	34.3
57年	19.0	6.9	17.0		7.7		15.8	8.0	3.1	14.1	-	-	-	40.2
58年	20.6	6.2	19.5		11.0		15.9	9.0	4.0	12.4	-	-	-	37.6
59年	21.0	8.6	11.7		8.1		16.7	10.2	4.6	11.7	-	-	-	40.4
60年	16.3	4.6	7.1		4.4		11.8	5.9	2.5	6.3	-	-	-	53.6
61年	17.5	6.6	12.1		5.9		14.4	10.5	4.2	11.6	-	-	-	42.0
62年	21.7	8.5	11.8		5.8		17.3	8.3	4.7	13.7	-	-	-	40.0
63年	18.3	7.9	7.4		4.8		13.0	5.6	3.1	12.5	-	-	-	49.2
平成元年	18.6	7.6	9.1		6.3		16.2	6.5	2.2	11.6	-	-	-	47.6
2年	18.4	8.2	10.1		6.1		14.6	7.2	1.1	14.2	-	-	-	47.1
3年	25.1	9.7	10.1		8.9		15.9	9.0	2.0	12.0	-	-	-	39.5
4年	18.9	9.6	6.4		5.7		12.7	9.8	3.0	12.7	-	-	-	46.7
5年	23.5	9.5	12.3		8.7		12.4	10.6	5.3	6.0	-	-	-	39.4
6年	24.7	9.3	10.9		6.0		13.2	13.6	7.6	14.7	-	-	-	37.3
7年	22.1	8.8	7.5		6.8		11.9	10.9	4.0	9.6	-	-	-	45.8
8年	18.4	7.7	6.5		4.9		10.2	7.7	3.2	9.4	-	-	-	51.1
9年	24.6	9.4	9.7		7.6		13.5	10.4	4.6	7.8	-	-	-	43.7
10年	22.1	9.6	18.8		7.7		11.9	9.4	6.8	8.3	-	-	-	39.3
11年	26.7	11.0	19.2		11.5		13.2	8.7	7.2	6.9	-	-	-	36.0
12年	30.8	11.2	16.9		11.8		16.1	12.4	6.5	9.0	-	-	-	29.7
13年	28.3	24.4	20.5	11.6	12.4		9.5	9.5	12.6	6.9	-	-	-	35.7
14年	39.0	34.6	26.2	6.8	12.7		12.9	13.7	16.3	6.2	-	3.0	-	21.4
15年	37.3	31.4	25.0	9.0	9.5		16.6	14.4	12.5		-	4.7	-	21.2
16年	38.8	35.3	29.9	7.6	10.0		15.2	14.6	13.3	13.5	-	4.4	-	15.8
17年	38.6	33.7	23.3	14.9	13.4		14.6	14.5	8.5	10.7	25.6	3.7	-	16.3
18年	37.2	34.8	21.4	11.5	10.7		18.0	14.5	7.9	9.7	25.0	3.3	-	18.3
19年	39.3	33.7	24.6	11.0	14.8		15.0	12.2	8.7	9.0	24.6	3.8	-	17.6
20年	40.8	37.8	34.9	3.8	12.3		15.5	14.7	8.8	11.5	16.6	3.5	-	12.3
21年	41.7	37.0	36.0	4.6	5.3		13.8	15.0	15.1	10.1	11.4	3.5	-	13.9
22年	40.5	34.7	35.6	6.3	4.5		16.2	16.0	13.5	10.5	10.9	4.1	-	11.9
23年	41.5	36.8	30.6	16.0	11.5		14.0	13.1	10.7	10.7	7.4	3.6	-	11.7
24年	39.7	36.6	30.6	20.7	7.7		16.4	13.9	11.2	8.8	8.0	3.2	-	10.5
25年	45.1	38.7	29.4	13.0	4.8		12.4	15.0	10.0	10.1	7.9	3.9	-	14.3
26年	40.8	36.5	26.2	8.9	3.8		12.0	13.3	8.4	9.0	7.6	3.5	-	16.1
27年	44.9	37.0	29.1	10.4	4.3		13.0	14.0	8.5	10.1	8.9	4.1	-	14.1
28年	51.3	40.3	27.5	13.4	2.8		11.9	13.4	8.0	10.5	7.6	4.3	-	13.1
29年	51.2	38.1	21.4	8.6	3.7		11.4	14.7	6.5	10.9	6.7	3.3	-	16.4
30年	54.1	40.8	24.7	7.5	3.0		14.7	15.2	6.5	11.6	7.8	4.8	-	13.6
令和元年	50.2	36.7	23.0	10.9	3.5		11.8	12.5	7.4	8.7	8.7	4.1	6.8	14.5
2年	53.7	38.2	21.8	9.8	4.5		12.5	12.9	10.0	10.0	7.0	4.2	8.0	11.1
3年	51.3	38.8	22.2	7.9	5.0		11.7	15.1	8.7	10.0	4.7	4.0	7.4	12.6
4年	54.2	38.5	25.8	9.1	4.0		11.5	14.3	6.0	10.4	4.3	3.1	6.2	12.1

\*1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

\*2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

\*3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

\*4 平成9年までは「公害や交通事故のこと」、平成10年から平成12年までは「環境問題や事故・災害のこと」としていた。

② 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別]

上位4位までは全てのブロックで同じ順位

ブロック別にみると、上位1位から4位は全てのブロックで同じ順位となっており、南部で「事故や災害のこと」、それ以外のブロックで「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ5位となっている。

③ 心配ごとや困っていること 上位5位 [区別]

上位2位までは全ての区で同じ順位

区別でみると、上位1位から2位は全ての区で同じ順位となっており、瀬谷区では「仕事や職場のこと」、それ以外の区は「景気や生活費のこと」が3位となっている。

表3-4-2 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答) (%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	(n=2,572)	自分の病気や健康、老後のこと 54.2	家族の病気や健康、生活上の問題 38.5	景気や生活費のこと 25.8	仕事や職場のこと 14.3	子どもの保育や教育のこと 11.5	
ブロック別	東部	(n=618)	自分の病気や健康、老後のこと 53.6	家族の病気や健康、生活上の問題 37.7	景気や生活費のこと 27.2	仕事や職場のこと 14.1	子どもの保育や教育のこと 10.7
	西部	(n=722)	自分の病気や健康、老後のこと 55.0	家族の病気や健康、生活上の問題 41.6	景気や生活費のこと 27.1	仕事や職場のこと 15.1	子どもの保育や教育のこと 13.0
	南部	(n=490)	自分の病気や健康、老後のこと 58.2	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 12.7	事故や災害のこと 10.8
	北部	(n=715)	自分の病気や健康、老後のこと 51.0	家族の病気や健康、生活上の問題 35.5	景気や生活費のこと 24.5	仕事や職場のこと 14.5	子どもの保育や教育のこと 12.6
区別	鶴見区	(n=183)	自分の病気や健康、老後のこと 57.4	家族の病気や健康、生活上の問題 33.3	景気や生活費のこと 29.0	子どもの保育や教育のこと 14.8	仕事や職場のこと 14.2
	神奈川区	(n=162)	自分の病気や健康、老後のこと 48.8	家族の病気や健康、生活上の問題 40.7	景気や生活費のこと 21.6	仕事や職場のこと 14.2	住宅のこと 9.9
	西区	(n=54)	自分の病気や健康、老後のこと 50.0	家族の病気や健康、生活上の問題 38.9	景気や生活費のこと 35.2	仕事や職場のこと 16.7	住宅のこと 13.0
	中区	(n=79)	自分の病気や健康、老後のこと 54.4	家族の病気や健康、生活上の問題 36.7	景気や生活費のこと 24.1	子どもの保育や教育のこと 13.9	住宅のこと 12.7
	南区	(n=140)	自分の病気や健康、老後のこと 55.0	家族の病気や健康、生活上の問題 40.0	景気や生活費のこと 30.0	仕事や職場のこと 14.3	事故や災害のこと 10.7
	港南区	(n=147)	自分の病気や健康、老後のこと 59.9	家族の病気や健康、生活上の問題 42.9	景気や生活費のこと 25.9	仕事や職場のこと 12.9	住宅のこと 10.9
	保土ヶ谷区	(n=144)	自分の病気や健康、老後のこと 50.7	家族の病気や健康、生活上の問題 41.0	景気や生活費のこと 24.3	仕事や職場のこと 14.6	子どもの保育や教育のこと／住宅のこと 12.5
	旭区	(n=171)	自分の病気や健康、老後のこと 58.5	家族の病気や健康、生活上の問題 37.4	景気や生活費のこと 29.8	子どもの保育や教育のこと 15.2	仕事や職場のこと／住宅のこと 12.3
	磯子区	(n=103)	自分の病気や健康、老後のこと 62.1	家族の病気や健康、生活上の問題 39.8	景気や生活費のこと 24.3	住宅のこと 12.6	事故や災害のこと 9.7
	金沢区	(n=161)	自分の病気や健康、老後のこと 54.0	家族の病気や健康、生活上の問題 32.9	景気や生活費のこと 23.6	事故や災害のこと 16.1	仕事や職場のこと 11.8
	港北区	(n=232)	自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上の問題 33.6	景気や生活費のこと 25.9	仕事や職場のこと 15.9	子どもの保育や教育のこと 13.4
	緑区	(n=121)	自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 41.3	景気や生活費のこと 19.0	仕事や職場のこと 16.5	子どもの保育や教育のこと／住宅のこと 11.6
	青葉区	(n=219)	自分の病気や健康、老後のこと 52.1	家族の病気や健康、生活上の問題 33.3	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 11.9	子どもの保育や教育のこと／住宅のこと／事故や災害のこと 9.6
	都筑区	(n=143)	自分の病気や健康、老後のこと 46.9	家族の病気や健康、生活上の問題 37.1	景気や生活費のこと 26.6	子どもの保育や教育のこと 16.8	仕事や職場のこと 14.7
	戸塚区	(n=204)	自分の病気や健康、老後のこと 54.9	家族の病気や健康、生活上の問題 41.2	景気や生活費のこと 30.4	仕事や職場のこと 16.2	子どもの保育や教育のこと 12.7
	栄区	(n=79)	自分の病気や健康、老後のこと 58.2	家族の病気や健康、生活上の問題 41.8	景気や生活費のこと 25.3	仕事や職場のこと 19.0	子どもの保育や教育のこと／住宅のこと 12.7
	泉区	(n=109)	自分の病気や健康、老後のこと 56.9	家族の病気や健康、生活上の問題 45.0	景気や生活費のこと 32.1	仕事や職場のこと 14.7	子どもの保育や教育のこと 13.8
	瀬谷区	(n=94)	自分の病気や健康、老後のこと 53.2	家族の病気や健康、生活上の問題 46.8	仕事や職場のこと 19.1	景気や生活費のこと 13.8	住宅のこと 12.8

④ 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別]

18～29歳で「仕事や職場のこと」が1位

年齢別にみると、18～29歳で「仕事や職場のこと」、30代で「家族の病気や健康、生活上の問題」、それ以外の年齢で「自分の病気や健康、老後のこと」がそれぞれ1位となっている。

⑤ 心配ごとや困っていること 上位5位 [性・年齢別]

女性30代で「子どもの保育や教育のこと」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに18～29歳で「仕事や職場のこと」、女性30代で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-3 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,572)		自分の病気や健康、老後のこと 54.2	家族の病気や健康、生活上の問題 38.5	景気や生活費のこと 25.8	仕事や職場のこと 14.3	子どもの保育や教育のこと 11.5
	18～29歳 (n=250)		仕事や職場のこと 30.0	景気や生活費のこと 26.0	自分の病気や健康、老後のこと 24.0	家族の病気や健康、生活上の問題 22.4	事故や災害のこと 10.0
	30代 (n=253)		家族の病気や健康、生活上の問題 36.0	自分の病気や健康、老後のこと 35.6	景気や生活費のこと 34.4	子どもの保育や教育のこと 34.0	仕事や職場のこと 27.7
	40代 (n=405)		自分の病気や健康、老後のこと 42.5	家族の病気や健康、生活上の問題 38.0	子どもの保育や教育のこと 32.1	景気や生活費のこと 28.6	仕事や職場のこと 23.0
	50代 (n=496)		自分の病気や健康、老後のこと 59.7	家族の病気や健康、生活上の問題 44.0	景気や生活費のこと 21.6	仕事や職場のこと 16.7	住宅のこと 12.3
	60代 (n=408)		自分の病気や健康、老後のこと 64.0	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 28.9	子どもの結婚や就職のこと 13.7	住宅のこと 10.8
	70歳以上 (n=735)		自分の病気や健康、老後のこと 68.3	家族の病気や健康、生活上の問題 41.4	景気や生活費のこと 22.9	事故や災害のこと 12.8	住宅のこと 10.6
性・年齢別	男性計 (n=1,104)		自分の病気や健康、老後のこと 54.7	家族の病気や健康、生活上の問題 38.1	景気や生活費のこと 27.0	仕事や職場のこと 16.8	住宅のこと 11.1
	18～29歳 (n=100)		仕事や職場のこと 29.0	景気や生活費のこと 28.0	自分の病気や健康、老後のこと 23.0	家族の病気や健康、生活上の問題 21.0	事故や災害のこと 11.0
	30代 (n=110)		自分の病気や健康、老後のこと 40.0	家族の病気や健康、生活上の問題／仕事や職場のこと 34.5	景気や生活費のこと 33.6	子どもの保育や教育のこと 25.5	
	40代 (n=176)		自分の病気や健康、老後のこと 45.5	家族の病気や健康、生活上の問題 34.1	仕事や職場のこと 29.5	景気や生活費のこと 29.0	子どもの保育や教育のこと 25.0
	50代 (n=213)		自分の病気や健康、老後のこと 55.9	家族の病気や健康、生活上の問題 41.8	景気や生活費のこと／仕事や職場のこと 21.6	失業・倒産や収入が減ること 13.1	
	60代 (n=186)		自分の病気や健康、老後のこと 66.7	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 32.8	子どもの結婚や就職のこと 14.0	仕事や職場のこと 10.2
	70歳以上 (n=319)		自分の病気や健康、老後のこと 67.1	家族の病気や健康、生活上の問題 44.5	景気や生活費のこと 23.5	事故や災害のこと 14.1	住宅のこと 13.5
	女性計 (n=1,388)		自分の病気や健康、老後のこと 53.6	家族の病気や健康、生活上の問題 39.0	景気や生活費のこと 25.1	子どもの保育や教育のこと 13.1	仕事や職場のこと 11.7
	18～29歳 (n=137)		仕事や職場のこと 28.5	家族の病気や健康、生活上の問題／景気や生活費のこと 24.1	自分の病気や健康、老後のこと 23.4	事故や災害のこと 10.2	
	30代 (n=140)		子どもの保育や教育のこと 40.7	家族の病気や健康、生活上の問題 37.1	景気や生活費のこと 35.0	自分の病気や健康、老後のこと 32.9	仕事や職場のこと 22.9
	40代 (n=219)		家族の病気や健康、生活上の問題 40.6	自分の病気や健康、老後のこと 38.8	子どもの保育や教育のこと 38.4	景気や生活費のこと 29.7	仕事や職場のこと 17.4
	50代 (n=273)		自分の病気や健康、老後のこと 63.0	家族の病気や健康、生活上の問題 46.9	景気や生活費のこと 21.2	住宅のこと 13.9	仕事や職場のこと 13.6
	60代 (n=213)		自分の病気や健康、老後のこと 61.0	家族の病気や健康、生活上の問題 39.4	景気や生活費のこと 25.8	子どもの結婚や就職のこと 14.1	事故や災害のこと 11.7
	70歳以上 (n=405)		自分の病気や健康、老後のこと 68.9	家族の病気や健康、生活上の問題 38.3	景気や生活費のこと 22.0	事故や災害のこと 12.1	住宅のこと 8.6

⑥ 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」が1位

ライフステージ別にみると、単身（1）で「仕事や職場のこと」、夫婦だけ（1）で「家族の病気や健康、生活上の問題」、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-4 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]（3つまでの複数回答）

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		自分の病気や健康、老後のこと 54.2	家族の病気や健康、生活上の問題 38.5	景気や生活費のこと 25.8	仕事や職場のこと 14.3	子どもの保育や教育のこと 11.5
子どもなし計 (n=729)		自分の病気や健康、老後のこと 51.6	家族の病気や健康、生活上の問題 39.6	景気や生活費のこと 25.9	仕事や職場のこと 25.7	住宅のこと 10.3
単身(1) 40歳未満 (n=273)		仕事や職場のこと 35.2	自分の病気や健康、老後のこと 32.2	家族の病気や健康、生活上の問題 29.7	景気や生活費のこと 25.6	事故や災害のこと 9.2
単身(2) 40～64歳 (n=165)		自分の病気や健康、老後のこと 72.1	家族の病気や健康、生活上の問題 50.3	景気や生活費のこと／仕事や職場のこと 30.3		住宅のこと 13.3
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=53)		家族の病気や健康、生活上の問題 37.7	景気や生活費のこと 32.1	仕事や職場のこと 28.3	自分の病気や健康、老後のこと 26.4	住宅のこと／失業・倒産や収入が減ること 9.4
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=152)		自分の病気や健康、老後のこと 55.3	家族の病気や健康、生活上の問題 49.3	景気や生活費のこと 20.4	仕事や職場のこと 15.8	住宅のこと 12.5
高齢子どもなし (n=86)		自分の病気や健康、老後のこと 82.6	家族の病気や健康、生活上の問題 34.9	景気や生活費のこと 24.4	事故や災害のこと 19.8	住宅のこと 16.3
子どもあり計 (n=1,670)		自分の病気や健康、老後のこと 54.9	家族の病気や健康、生活上の問題 38.1	景気や生活費のこと 26.1	子どもの保育や教育のこと 16.7	住宅のこと 10.8
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=129)		子どもの保育や教育のこと 68.2	景気や生活費のこと 41.1	自分の病気や健康、老後のこと 26.4	家族の病気や健康、生活上の問題 21.7	仕事や職場のこと 20.2
家族成長前期 第一子が小学生 (n=143)		子どもの保育や教育のこと 56.6	自分の病気や健康、老後のこと／家族の病気や健康、生活上の問題 33.6	景気や生活費のこと 30.1	仕事や職場のこと 19.6	
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=176)		子どもの保育や教育のこと 41.5	自分の病気や健康、老後のこと 39.8	家族の病気や健康、生活上の問題 36.9	景気や生活費のこと 29.0	仕事や職場のこと 15.9
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=126)		自分の病気や健康、老後のこと 50.8	家族の病気や健康、生活上の問題 36.5	景気や生活費のこと／子どもの結婚や就職のこと 17.5		仕事や職場のこと 14.3
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=74)		自分の病気や健康、老後のこと 52.7	家族の病気や健康、生活上の問題 40.5	景気や生活費のこと 25.7	子どもの結婚や就職のこと 24.3	仕事や職場のこと 16.2
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=284)		自分の病気や健康、老後のこと 61.6	家族の病気や健康、生活上の問題 41.2	景気や生活費のこと 25.7	子どもの結婚や就職のこと 16.2	仕事や職場のこと 15.5
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=738)		自分の病気や健康、老後のこと 65.9	家族の病気や健康、生活上の問題 41.1	景気や生活費のこと 23.7	事故や災害のこと 11.8	住宅のこと 10.7

⑦ 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別]

子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」が1位

世帯類型別にみると、子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」、ひとり暮らし(1)で「仕事や職場のこと」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-5 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		自分の病気や健康、老後のこと 54.2	家族の病気や健康、生活上の問題 38.5	景気や生活費のこと 25.8	仕事や職場のこと 14.3	子どもの保育や教育のこと 11.5
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=77)		仕事や職場のこと 46.8	景気や生活費のこと 31.2	自分の病気や健康、老後のこと 27.3	家族の病気や健康、生活上の問題 23.4	事故や災害のこと 10.4
ひとり暮らし(2) 40~64歳 (n=110)		自分の病気や健康、老後のこと 69.1	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと/仕事や職場のこと 30.9		住宅のこと 15.5
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=140)		自分の病気や健康、老後のこと 75.0	景気や生活費のこと 23.6	家族の病気や健康、生活上の問題 22.9	事故や災害のこと 19.3	住宅のこと/犯罪や防犯のこと 9.3
夫婦のみ(1) 子なし (n=234)		自分の病気や健康、老後のこと 53.0	家族の病気や健康、生活上の問題 44.4	景気や生活費のこと 25.6	仕事や職場のこと 17.9	住宅のこと 12.0
夫婦のみ(2) 子あり (n=454)		自分の病気や健康、老後のこと 64.3	家族の病気や健康、生活上の問題 40.7	景気や生活費のこと 23.8	事故や災害のこと 11.5	住宅のこと 10.4
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=564)		子どもの保育や教育のこと 41.5	自分の病気や健康、老後のこと 38.3	家族の病気や健康、生活上の問題 32.4	景気や生活費のこと 29.6	仕事や職場のこと 17.2
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=347)		自分の病気や健康、老後のこと 62.5	家族の病気や健康、生活上の問題 40.6	景気や生活費のこと 24.8	子どもの結婚や就職のこと 16.4	住宅のこと 9.8
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=166)		自分の病気や健康、老後のこと 33.1	仕事や職場のこと 31.3	家族の病気や健康、生活上の問題 30.7	景気や生活費のこと 22.9	事故や災害のこと 9.6
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=79)		自分の病気や健康、老後のこと 72.2	家族の病気や健康、生活上の問題 64.6	景気や生活費のこと 25.3	仕事や職場のこと 22.8	住宅のこと 13.9
祖父母と親と子 3世代 (n=108)		自分の病気や健康、老後のこと 50.0	家族の病気や健康、生活上の問題 48.1	子どもの保育や教育のこと 21.3	景気や生活費のこと 19.4	住宅のこと 11.1



## 4. 地域におけるつながり

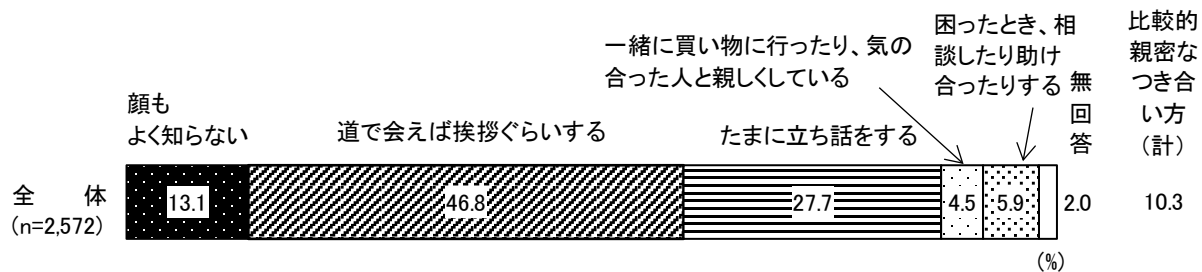
### (1) 隣近所とのつき合い方

問5 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

#### 「道で会えば挨拶ぐらいする」が4割半ば

隣近所とのつき合い方は、「道で会えば挨拶ぐらいする」(46.8%)が4割半ばと最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(27.7%)となっている。「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」(4.5%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(5.9%)の2つを合わせた、『比較的親密なつき合い方』(10.3%)をしている人は1割を超えている。

図4-1-1 隣近所とのつき合い方 [全体]

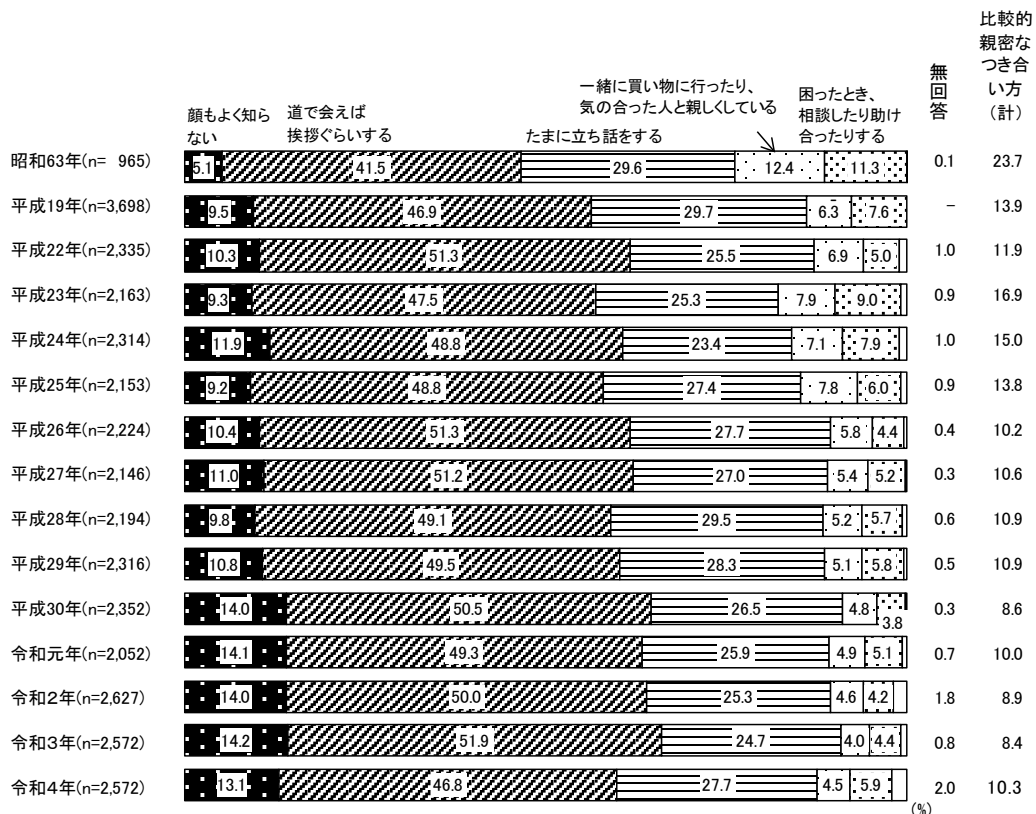


#### ① 隣近所とのつき合い方 [経年変化]

##### 『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は横ばい傾向

経年変化をみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は、長期的には減少傾向が見られ、この数年は約1割となっている。

図4-1-2 隣近所とのつき合い方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合い方 [ブロック別]

北部で「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割近く

ブロック別にみると、北部で「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割近く、他のブロックでも4割半ばとなっている。

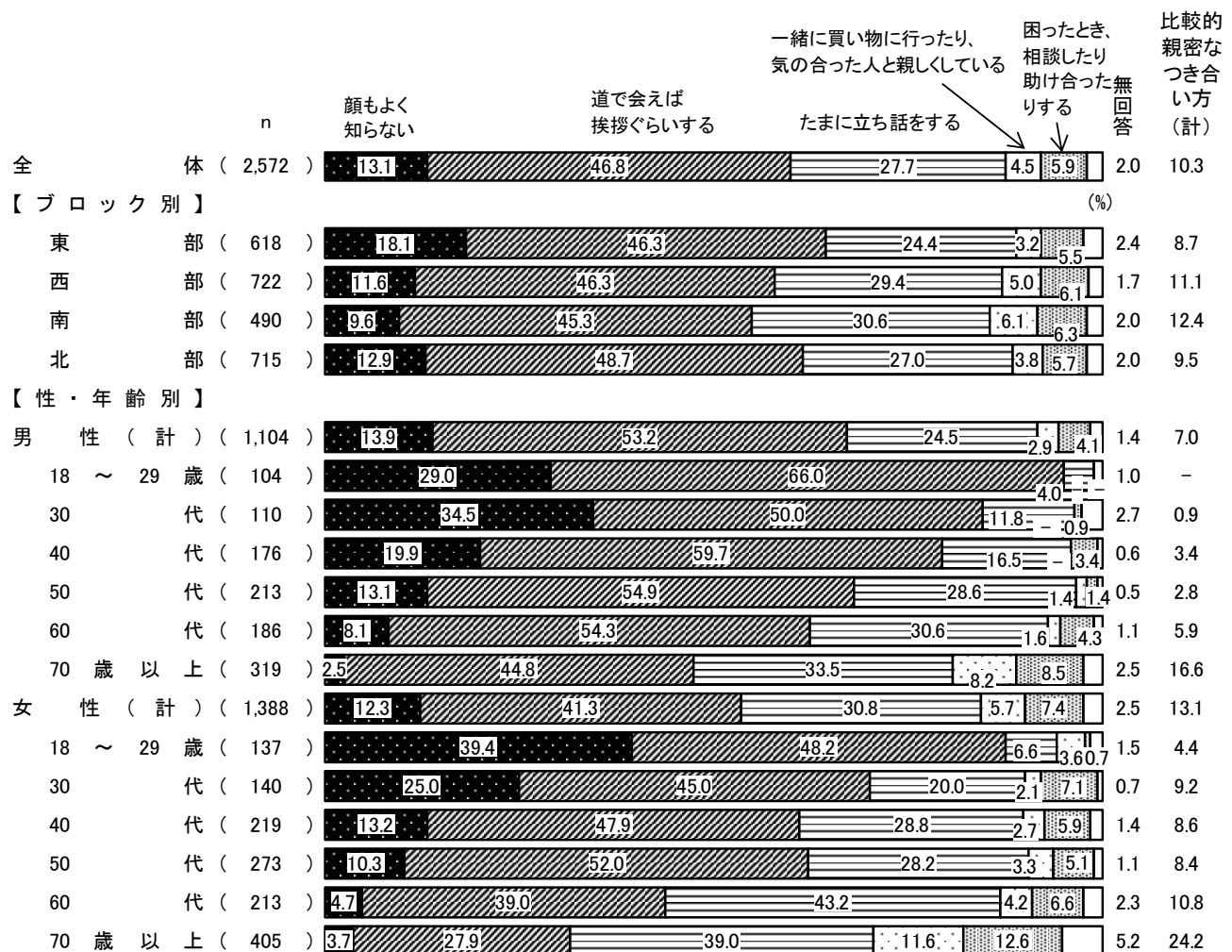
③ 隣近所とのつき合い方 [性・年齢別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は女性70歳以上で2割半ば

性・年齢別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、男性は70歳以上（16.6%）、女性も70歳以上（24.2%）で最も多くなっている。

一方、「顔もよく知らない」は男性は30代（34.5%）、女性は18～29歳（39.4%）で最も多くなっている。

図4-1-3 隣近所とのつき合い方 [ブロック別、性・年齢別]



④ 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は家族成熟後期で2割近く

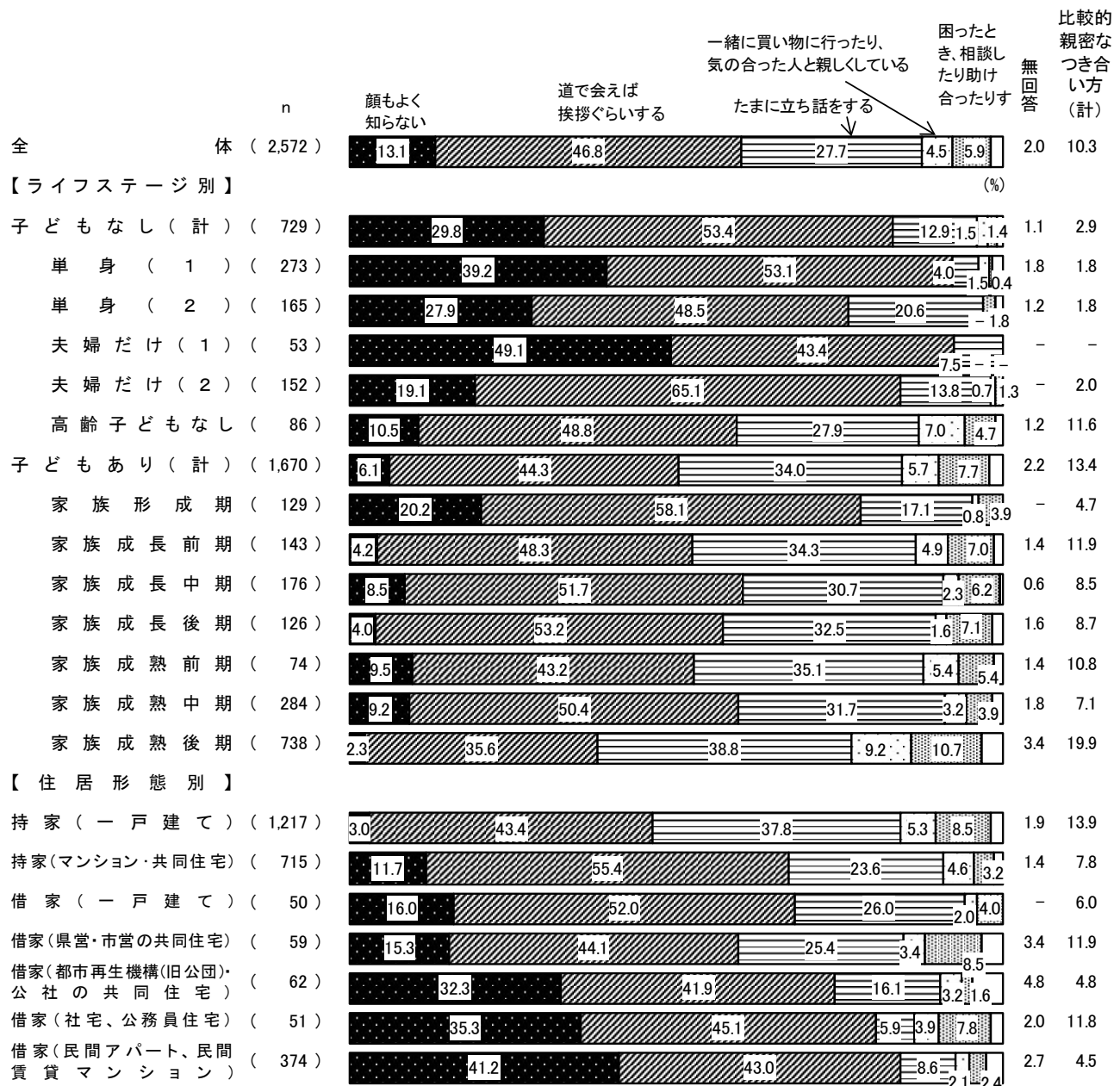
ライフステージ別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、家族成熟後期（19.9%）で2割近くと最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は夫婦だけ（1）（49.1%）で5割近くと最も多くなっている。

⑤ 隣近所とのつき合い方 [住居形態別]

「顔もよく知らない」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で4割を超える

住居形態別にみると、「顔もよく知らない」は借家（民間アパート・民間賃貸マンション）（41.2%）で4割を超えて最も多くなっている。

図4-1-4 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別、住居形態別]



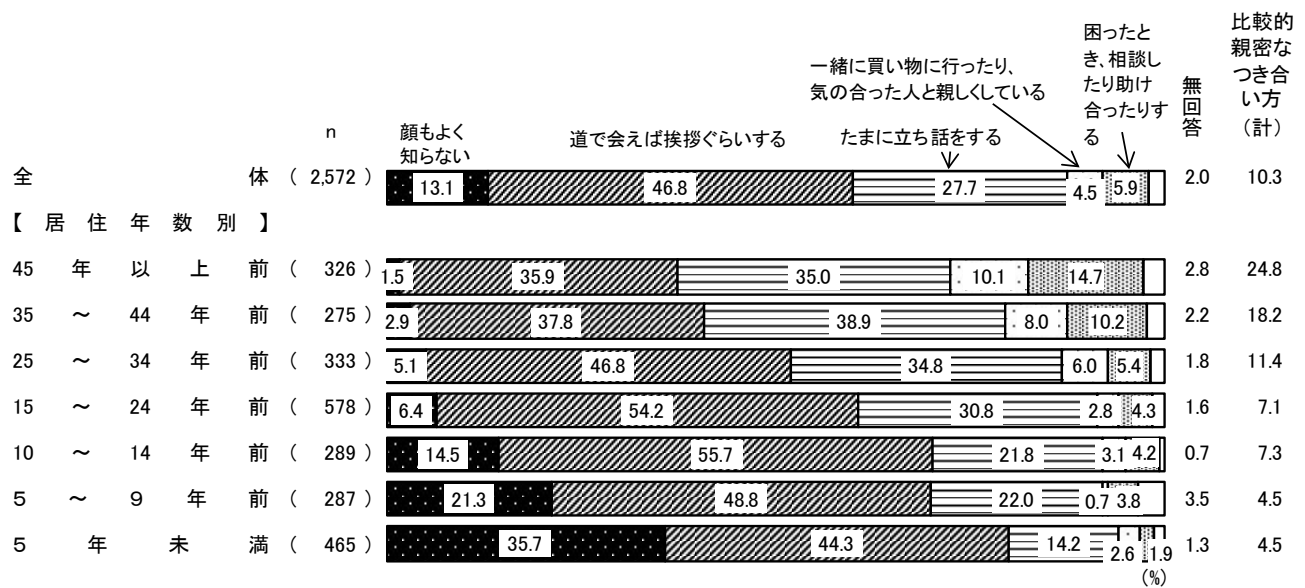
⑥ 隣近所とのつき合い方 [居住年数別]

「顔もよく知らない」は居住年数が短いほど多い

居住年数別にみると、「顔もよく知らない」は居住年数が短いほど多く、「5年未満」(35.7%)で3割半ばとなっている。一方、『比較的親密な付き合い方』をしている人は「45年以上前」(24.8%)で2割半ばとなっている。

図4-1-5 隣近所とのつき合い方 [居住年数別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



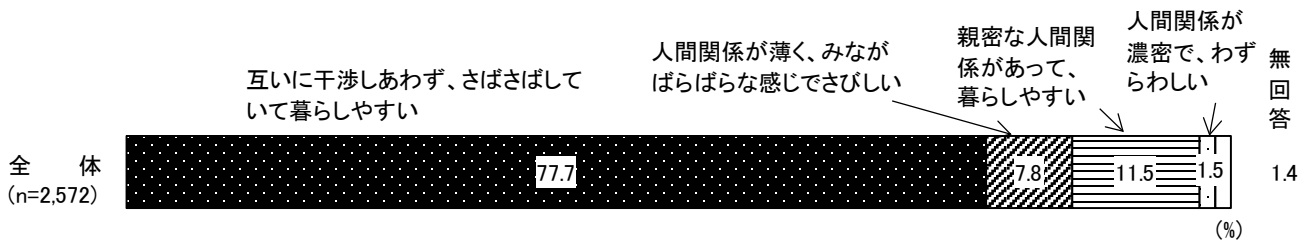
(2) 隣近所とのつき合いの感じ方

問6 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」は7割半ば

隣近所とのつき合いの感じ方については、「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」(77.7%)が7割半ばと最も多く、次いで「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(11.5%)、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(7.8%)となっている。

図4-2-1 隣近所とのつき合いの感じ方 [全体]

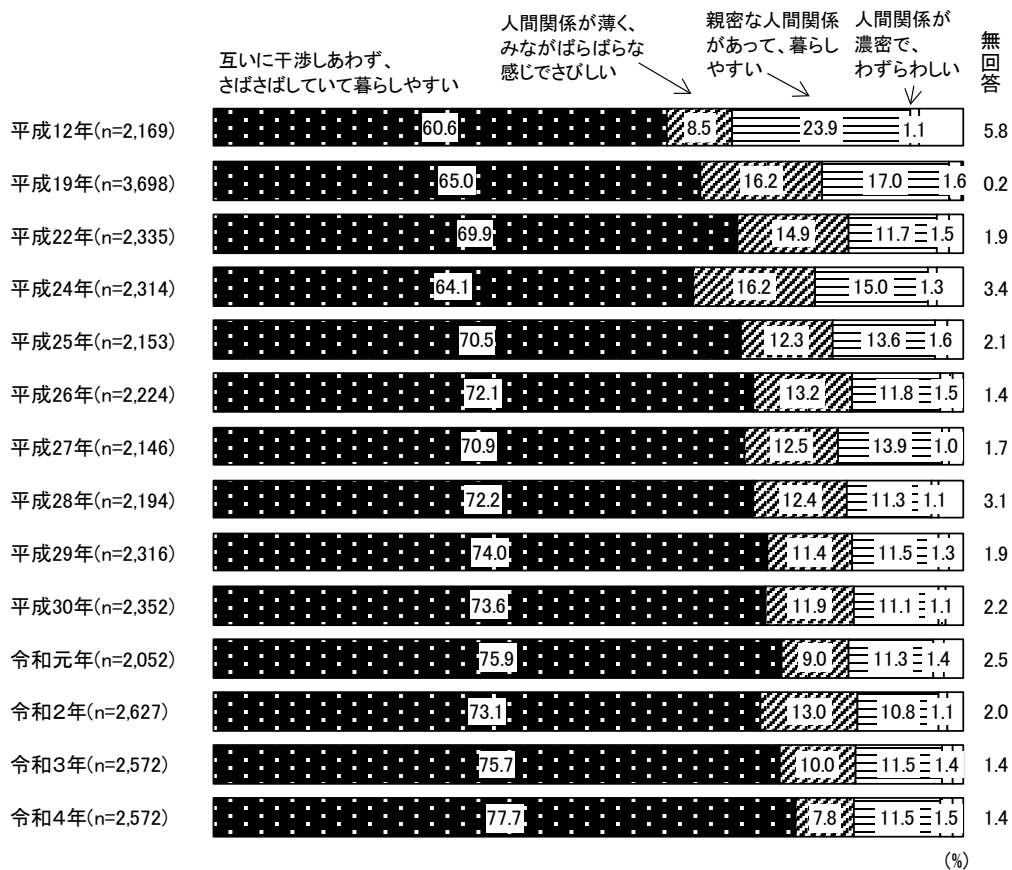


① 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]

「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」は2.0ポイント増加

経年変化をみると、「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」は前回調査から2.0ポイントの増加となっており、平成25年以降、70%台で推移している。

図4-2-2 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は女性 18～29 歳、女性 50 代で 8 割半ば

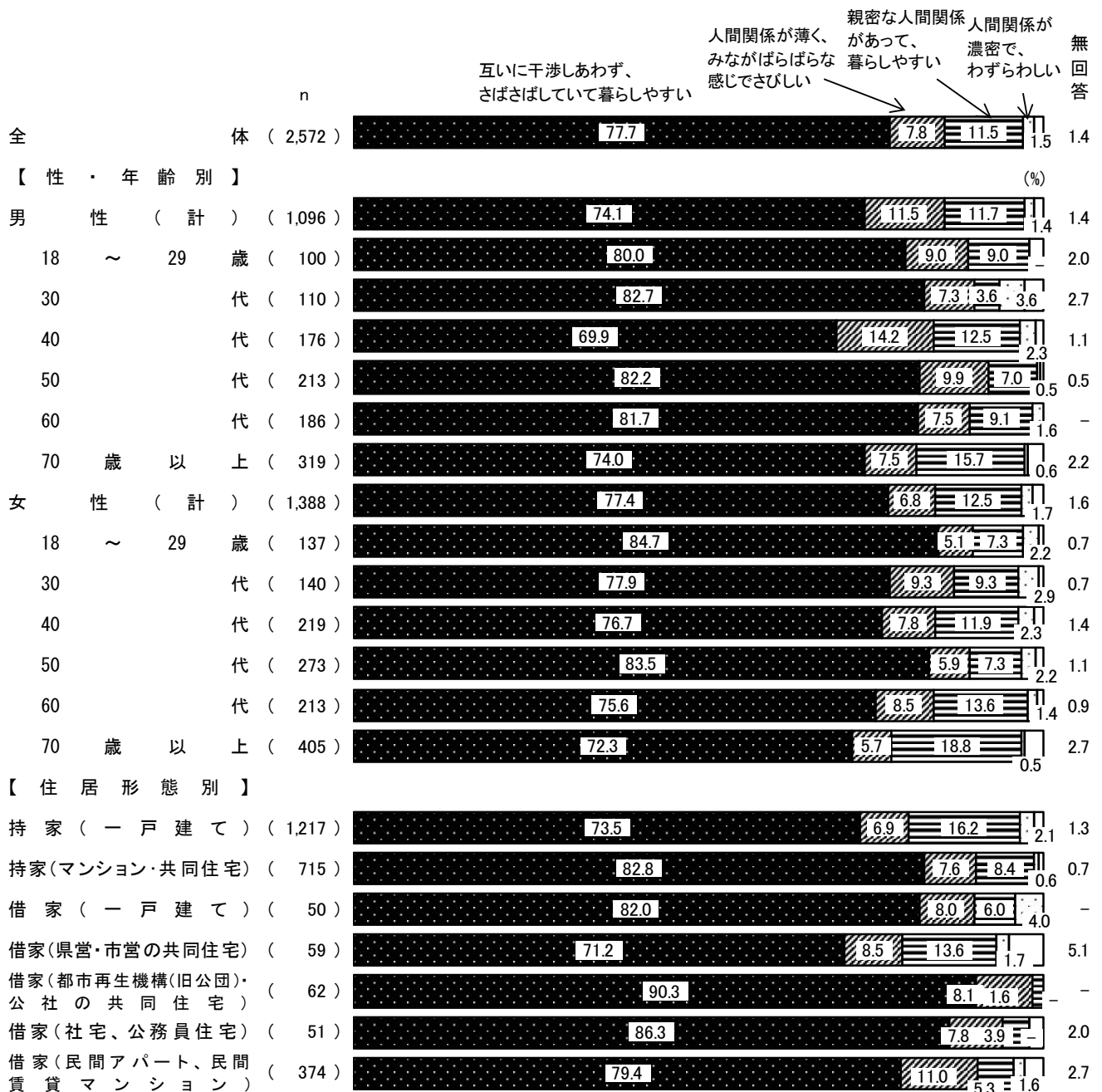
性・年齢別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は女性 18～29 歳 (84.7%) で最も多く、男性 40 代 (69.9%) で 7 割近くと最も少ない。一方、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は女性 70 歳以上 (18.8%) で 2 割近くとなっている。

③ 隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家 (都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅) で 9 割を超える

住居形態別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家 (都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅) (90.3%) で 9 割を超えて最も多くなっている。

図 4-2-3 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別、住居形態別]



④ 隣近所とのつき合いの感じ方〔居住年数別〕

「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は「45年以上前」で2割を超える

居住年数別にみると、「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は『45年以上前』（22.1%）で2割を超え最も多くなっている。一方、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は「5年未満」（81.1%）で8割を超えて最も多くなっている。

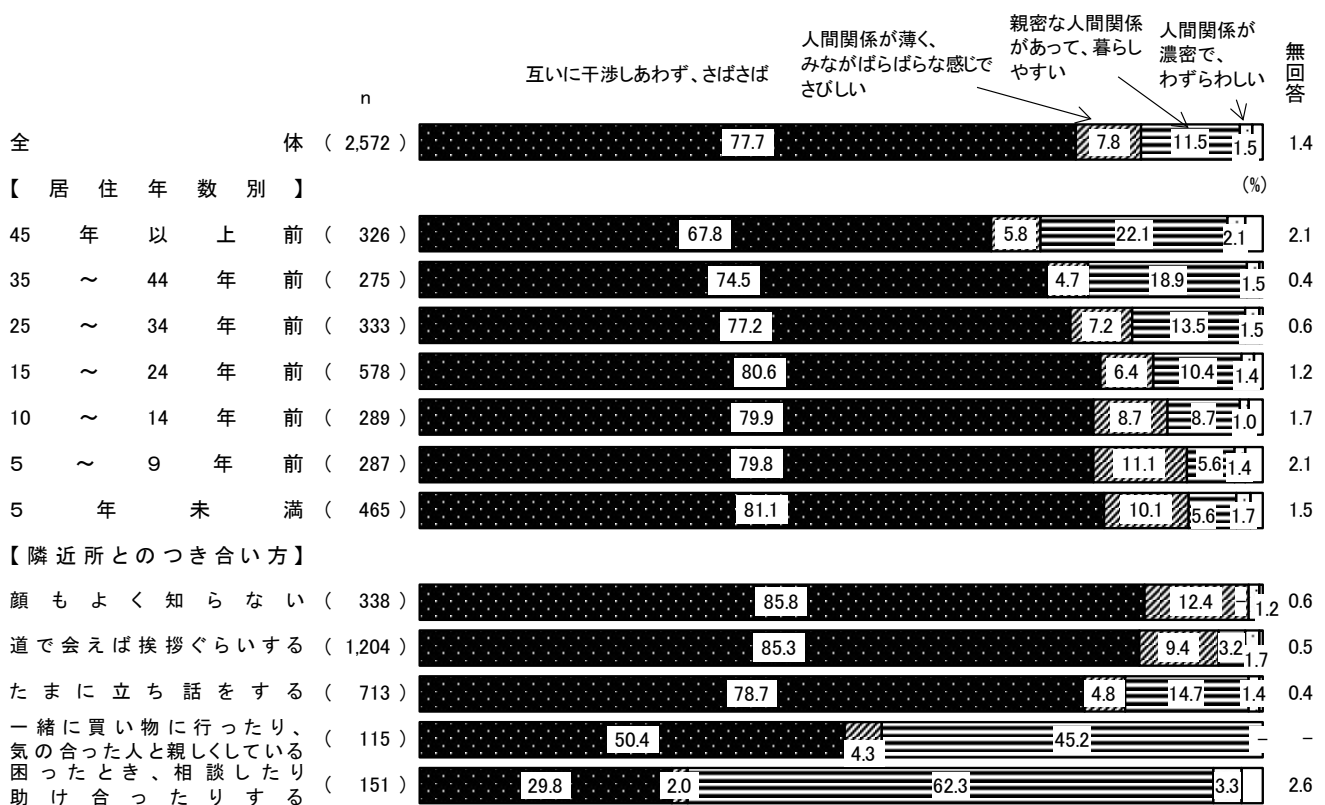
⑤ 隣近所とのつき合いの感じ方〔隣近所とのつき合い方別〕

「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」で6割を超える

隣近所とのつき合い方別にみると、「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」（62.3%）で6割を超えて多くなっている。一方、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は、「顔もよく知らない」（85.8%）で8割半ばと最も多くなっている。

図4-2-4 隣近所とのつき合いの感じ方〔居住年数別、隣近所とのつき合い方別〕

（注）45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



## 5. 生活時間と行動範囲

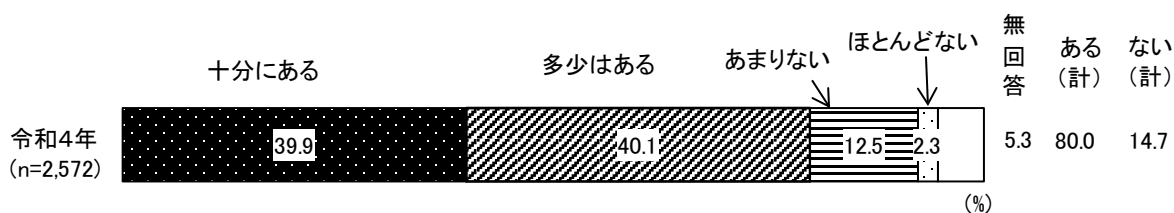
### (1) 自由に過ごせる時間

問 13 あなたは、普段自由に過ごせる時間がありますか。(○は1つ)

#### 『ある(計)』が8割

自由に過ごせる時間について、「十分にある」(39.9%)と「多少はある」(40.1%)を合わせた『ある(計)』(80.0%)は8割である。「あまりない」(12.5%)と「ほとんどない」(2.3%)を合わせた『ない(計)』(14.7%)は1割半ばとなっている。

図5-1-1 自由に過ごせる時間 [全体]

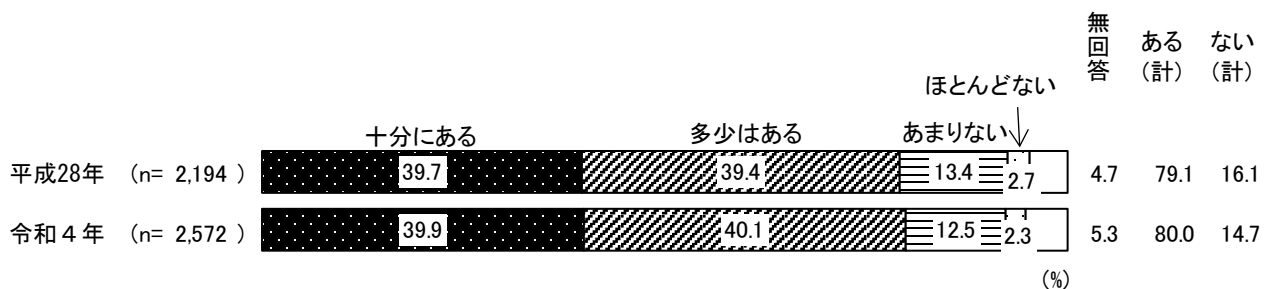


#### ① 自由に過ごせる時間 [経年変化]

##### 『ある(計)』は前回調査(平成28年)と比べ0.9ポイント増加

経年比較をみると、『ある(計)』が前回調査(平成28年)(79.1%)と比べ、0.9ポイント増加した。

図5-1-2 自由に過ごせる時間 [経年変化]



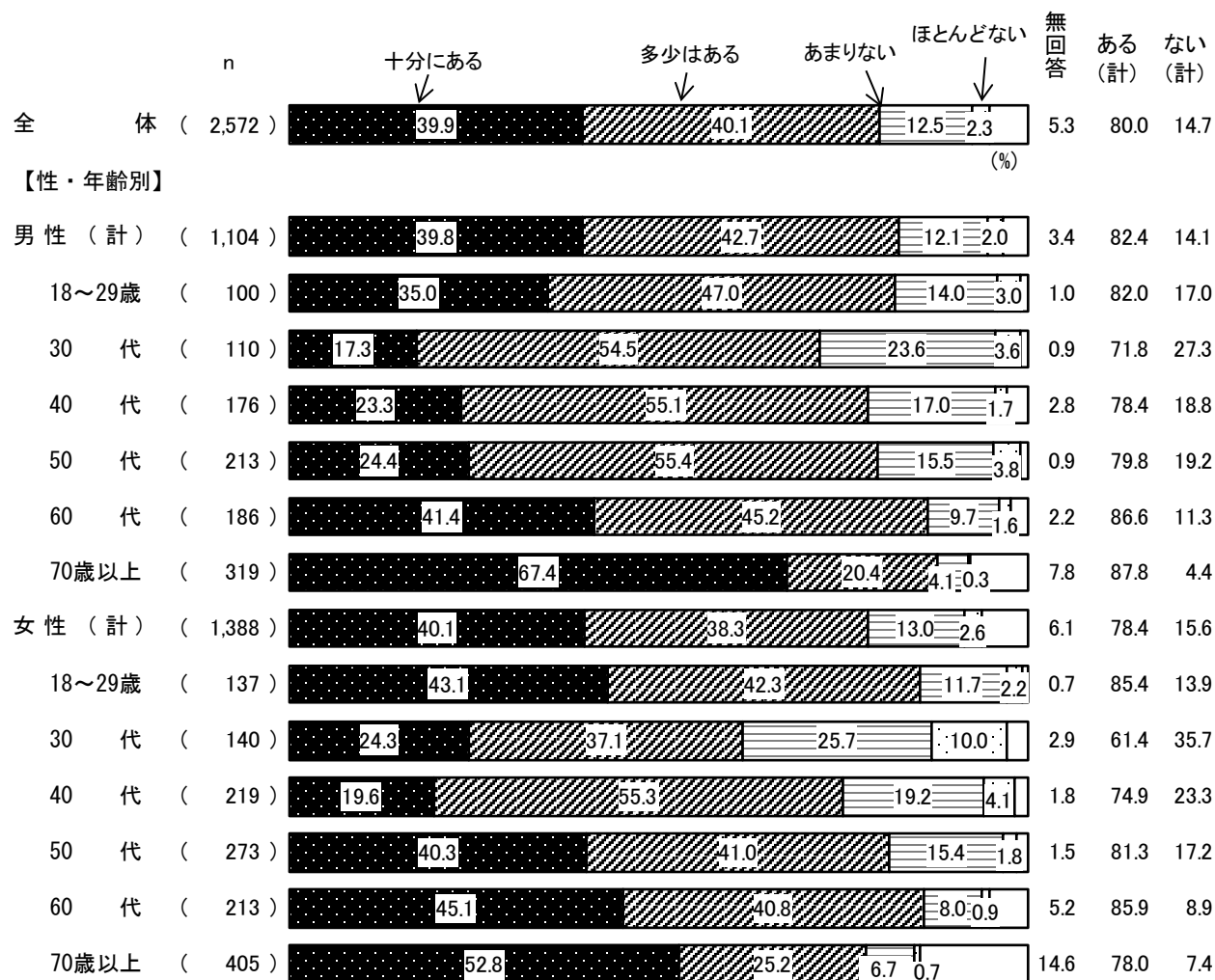
#### ② 自由に過ごせる時間 [性・年齢別]

##### 『ある(計)』は男性70歳以上で8割半ば

性・年齢別にみると、『ある(計)』は男性70歳以上(87.8%)で8割半ばと最も多く、次いで男性60代(86.6%)、女性60代(85.9%)となっている。一方、『ない(計)』は女性30代(35.7%)で3割半ばと最も多くなっている。



図5-1-3 自由に過ごせる時間 [性・年齢別]



③ 自由に過ごせる時間 [ライフステージ別]

『ある (計)』は夫婦だけ (2) で8割半ば

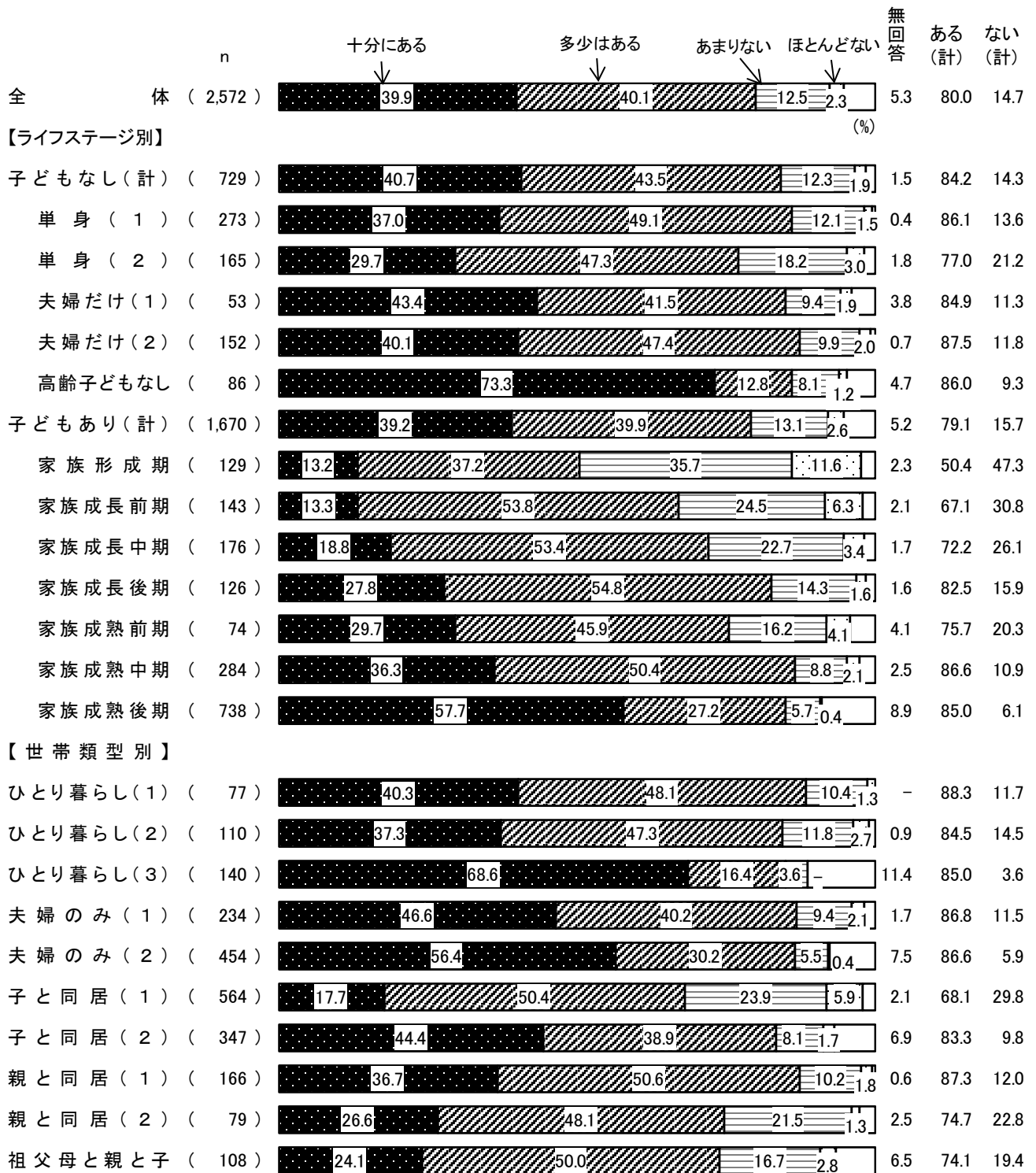
ライフステージ別にみると、『ある (計)』は夫婦だけ (2) (87.5%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『ない (計)』は家族形成期 (47.3%) で4割半ばと最も多くなっている。

④ 自由に過ごせる時間 [世帯類型別]

『ある (計)』はひとり暮らし (1) で9割近く

世帯類型別にみると、『ある (計)』はひとり暮らし (1) (88.3%) で9割近くと最も多い。次いで、親と同居 (1) (87.3%)、夫婦のみ (1) (86.8%)、夫婦のみ (2) (86.6%) となっている。一方、『ない (計)』は子と同居 (1) (29.8%) で3割近くと最も多くなっている。

図5-1-4 自由に過ごせる時間 [ライフステージ別・世帯類型別]



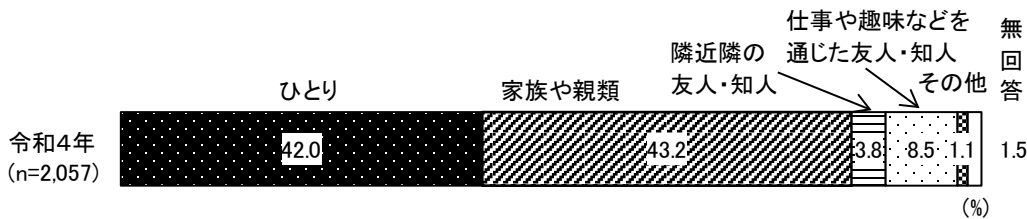
(2) 一緒に過ごす人

問 13-1 (問 13 で「1」「2」と答えた方に) 自由に過ごせる時間を、誰と過ごすことが多いですか。もっとも多いものを1つお選びください。(〇は1つ)

「家族や親類」が4割半ば

一緒に過ごす人は、「家族や親類」(43.2%)が4割半ばと最も多い。次いで、「ひとり」(42.0%)、「仕事や趣味などを通じた友人・知人」(8.5%)、「隣近隣の友人・知人」(3.8%)となっている。

図 5-2-1 一緒に過ごす人 [全体]

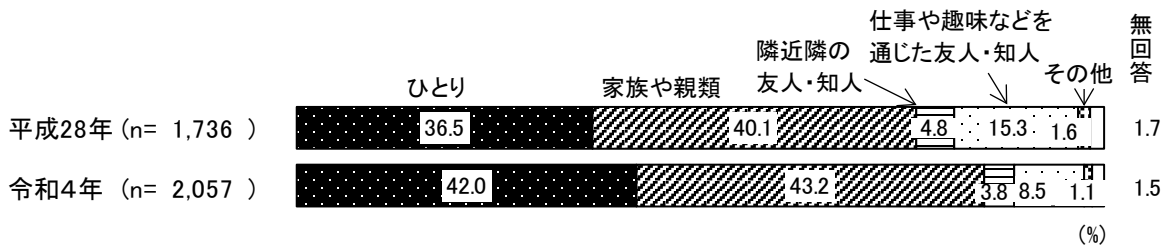


① 一緒に過ごす人 [経年変化]

「家族や親類」は前回調査(平成 28 年)と比べ 3.1 ポイント増加

経年比較をみると、前回調査(平成 28 年)から「家族や親類」は 3.1 ポイント増加、「仕事や趣味などを通じた友人・知人」は 6.8 ポイント減少した。

図 5-2-2 一緒に過ごす人 [経年変化]



② 一緒に過ごす人 [性・年齢別]

「家族や親類」は男性 40 代で5割半ば

性・年齢別にみると、「家族や親類」は男性 40 代 (56.5%) で 5 割半ばと最も多く、次いで男性 30 代 (51.9%)、男性 50 代 (50.6%) となっている。また、「ひとり」は男性 18~29 歳で 5 割 (50.0%)、女性 50 代 (49.5%)、女性 40 代 (48.2%) で 5 割近くとなっている。

③ 一緒に過ごす人 [世帯類型別]

「家族や親類」は夫婦のみ(1)で6割近く

世帯類型別にみると、「家族や親類」は夫婦のみ(1) (59.1%) で 6 割近くと最も多く、次いで子と同居(1) (56.5%)、夫婦のみ(2) (55.0%)、祖父母と親と子 (55.0%) が 5 割半ばとなっている。

図5-2-3 一緒に過ごす人〔性・年齢別〕

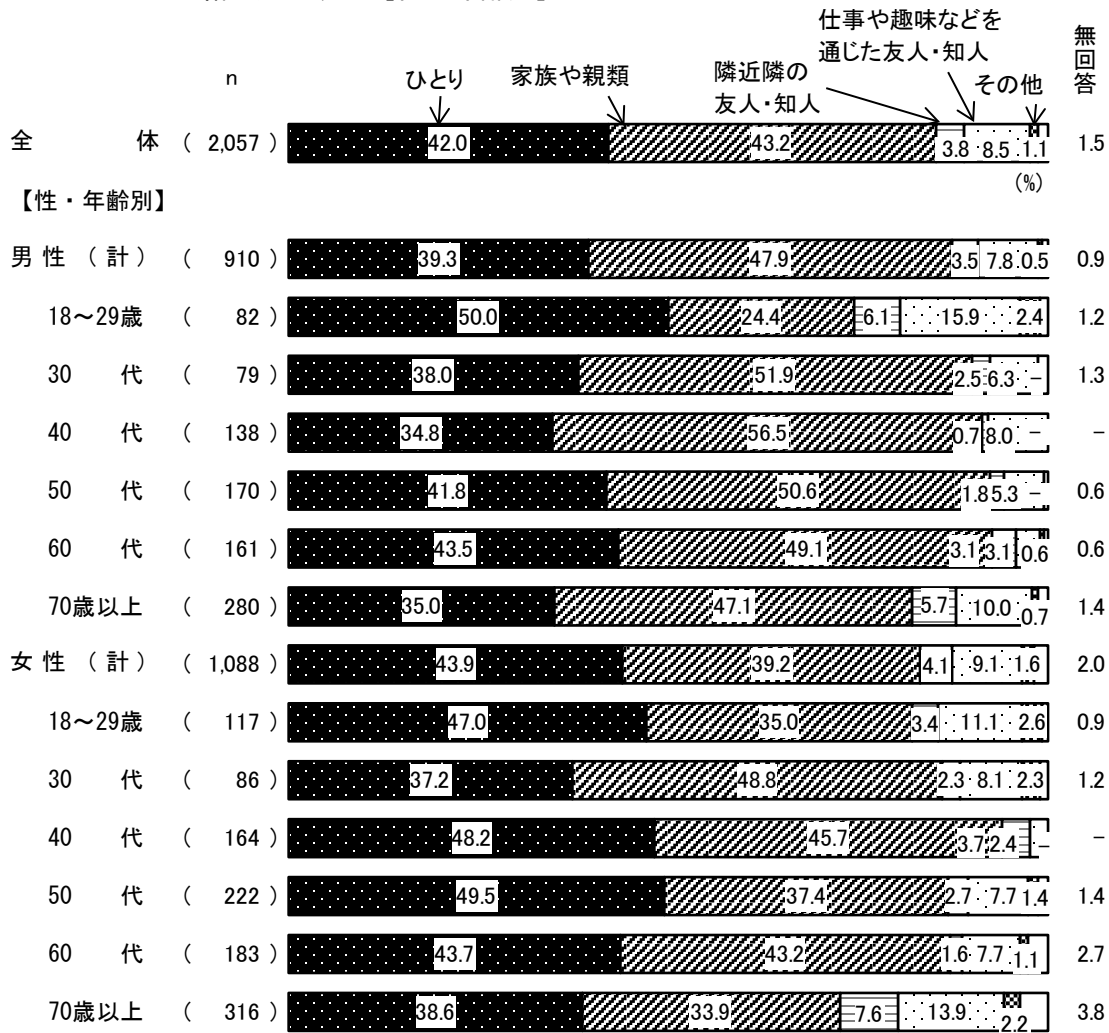
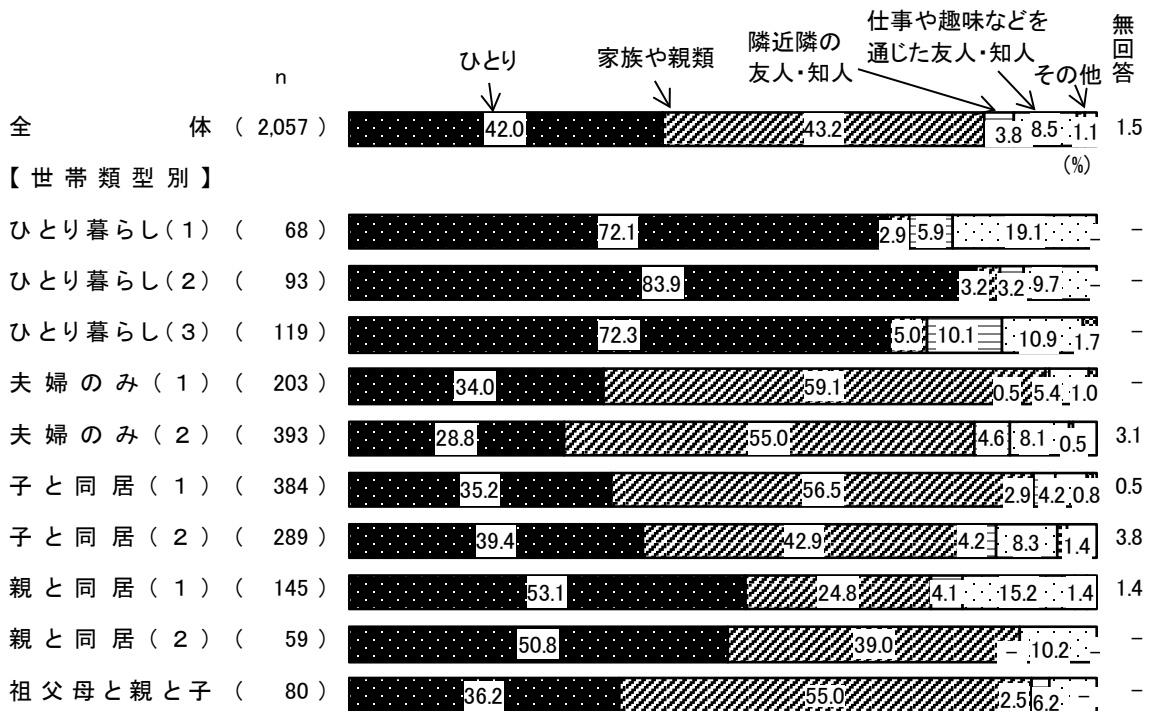


図5-2-4 一緒に過ごす人〔世帯類型別〕



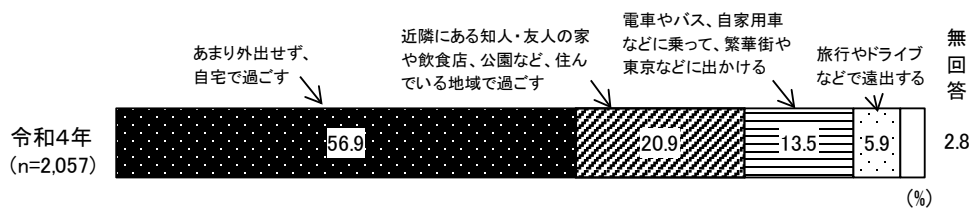
(3) 自由に過ごす場所

問 13-2 (問 13 で「1」「2」と答えた方に) 自由に過ごせる時間を、どこで過ごすことが多いですか。もっとも多いものを1つお選びください。(○は1つ)

「あまり外出せず、自宅で過ごす」が5割半ば

自由に過ごす場所は、「あまり外出せず、自宅で過ごす」(56.9%)で5割半ばと最も多い。一方、「旅行やドライブなどで遠出する」(5.9%)で1割未満と最も少ない。

図 5-3-1 自由に過ごす場所 [全体]

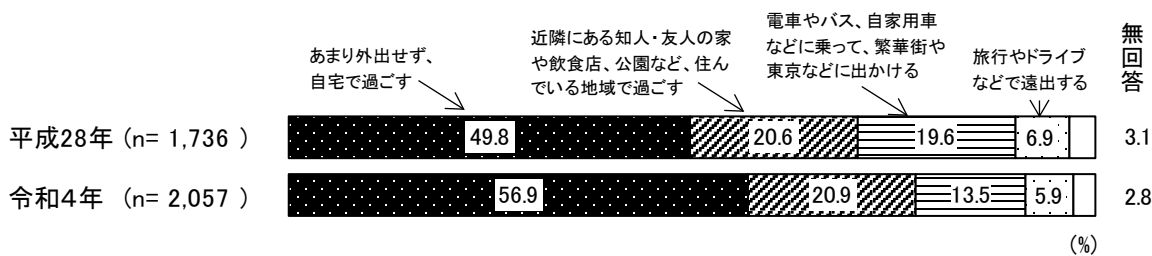


① 自由に過ごす場所 [経年変化]

「あまり外出せず、自宅で過ごす」は前回調査(平成 28 年)と比べ 7.1 ポイント増加

経年比較をみると、前回調査(平成 28 年)から「あまり外出せず、自宅で過ごす」は 7.1 ポイント増加、「旅行やドライブなどで遠出をする」は 1.0 ポイント減少した。

図 5-3-2 自由に過ごす場所 [経年変化]



② 自由に過ごす場所 [性・年齢別]

「あまり外出せず、自宅で過ごす」は女性 40 代で 6 割半ば

性・年齢別にみると、「あまり外出せず、自宅で過ごす」は女性 40 代 (65.9%) で 6 割半ばと最も多く、次いで女性 18~29 歳 (63.2%)、女性 50 代 (61.3%) となっている。

③ 自由に過ごす場所 [世帯類型別]

「あまり外出せず、自宅で過ごす」はひとり暮らし(2)で 6 割半ば

世帯類型別にみると、「あまり外出せず、自宅で過ごす」はひとり暮らし(2) (64.5%) で 6 割半ばと最も多い。次いで、親と同居(1) (62.8%)、親と同居(2) (62.7%) で 6 割を超えている。

図5-3-3 自由に過ごす場所〔性・年齢別〕

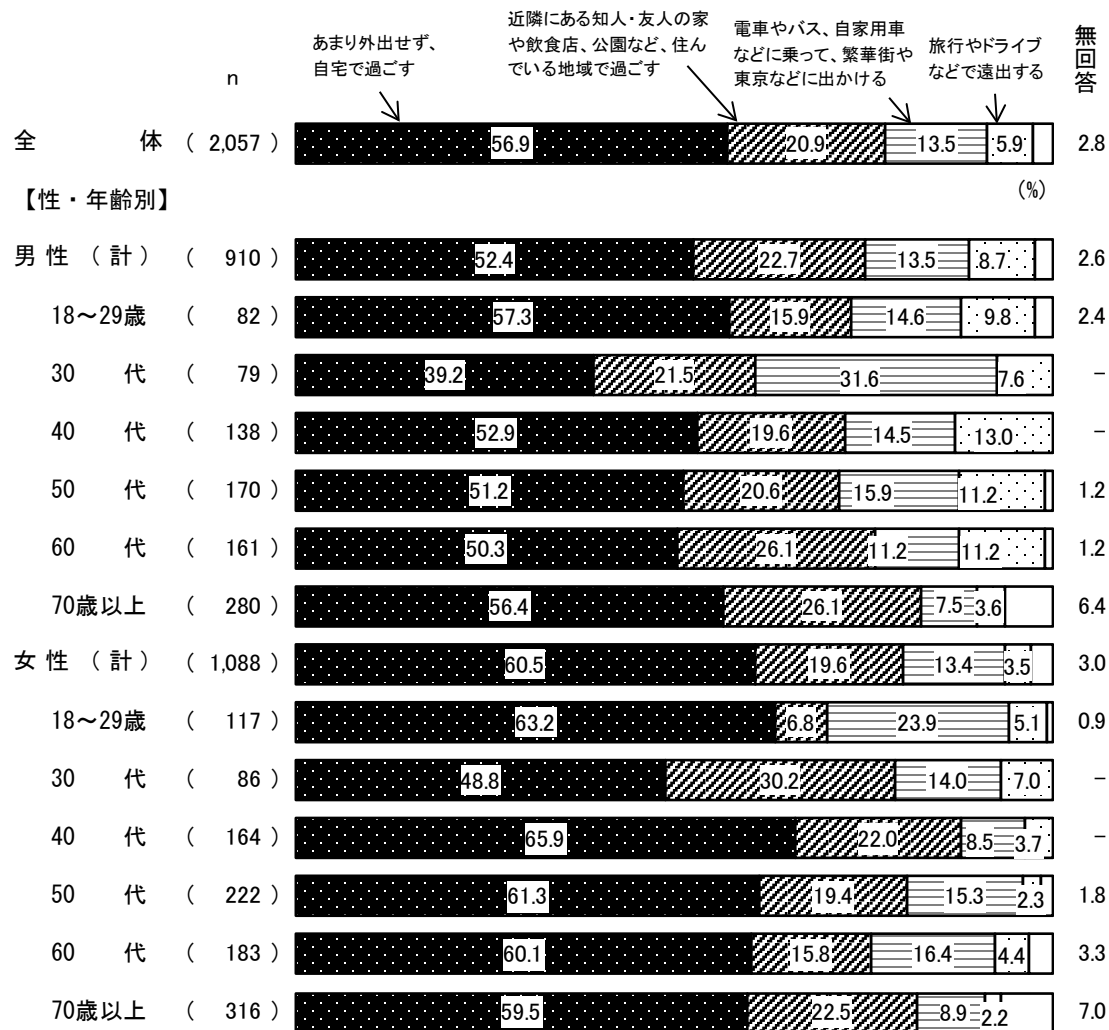
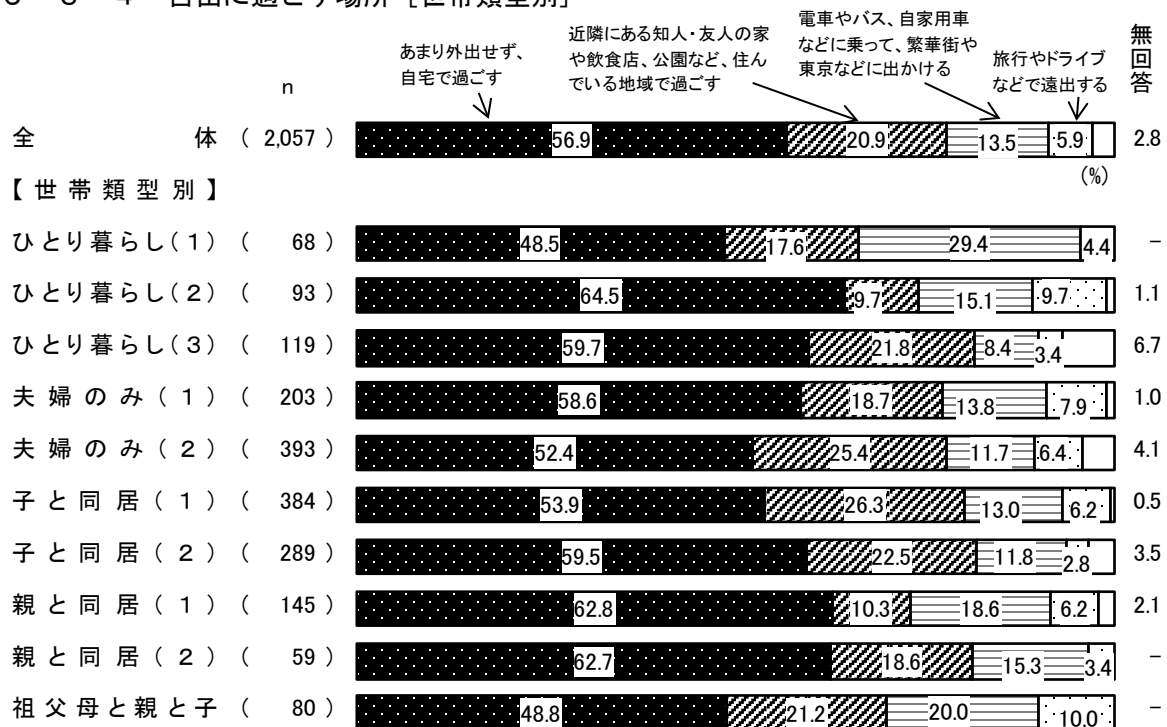


図5-3-4 自由に過ごす場所〔世帯類型別〕



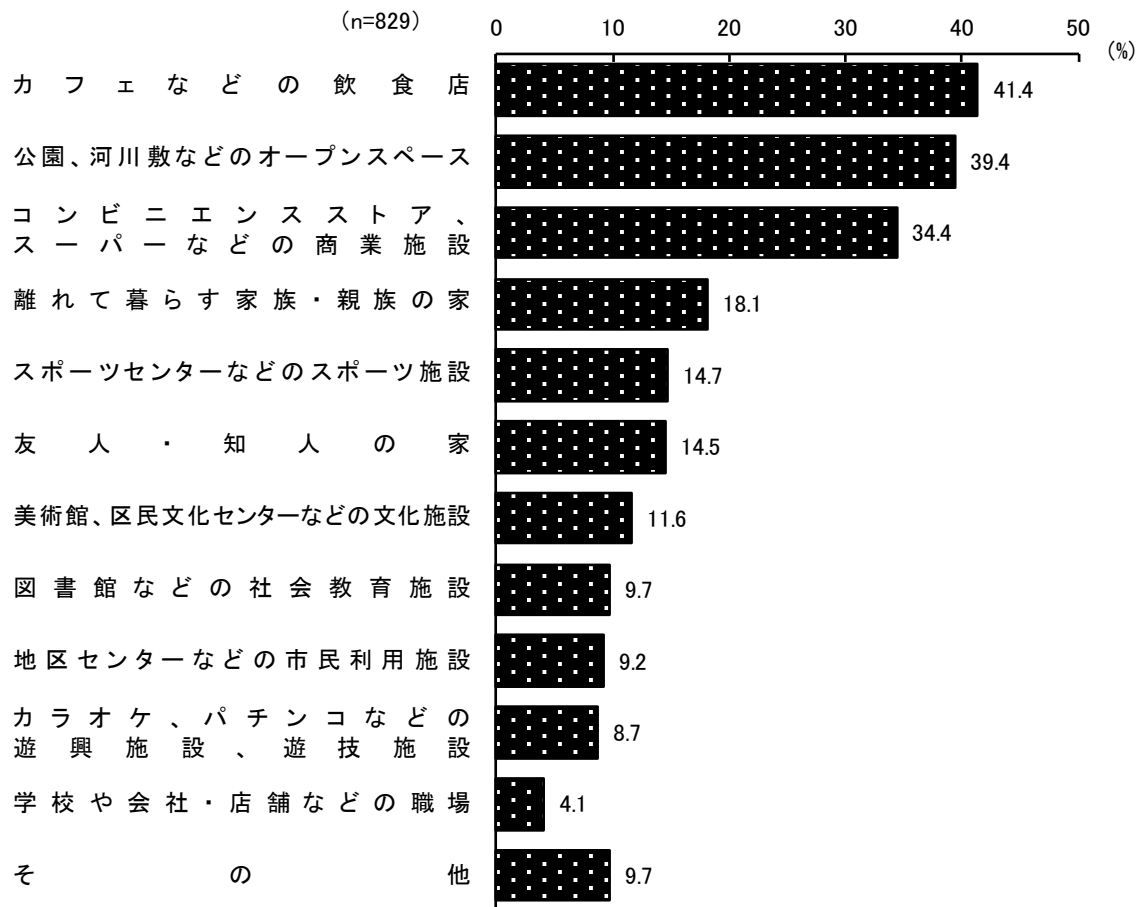
#### (4) 自宅以外の自由に過ごす場所

問13-3 (問13-2で「2」「3」「4」と答えた方に) 自宅以外で、自由に過ごせる時間を過ごす場所はどこですか。(〇はいくつでも)

##### 「カフェなどの飲食店」が4割を超える

自宅以外の自由に過ごす場所は、「カフェなどの飲食店」(41.4%)が4割を超えて最も多い。次いで、「公園、河川敷などのオープンスペース」(39.4%)、「コンビニエンスストア、スーパーなどの商業施設」(34.4%)、「離れて暮らす家族・親族の家」(18.1%)となっている。

図5-4-1 自宅以外の自由に過ごす場所 [全体]



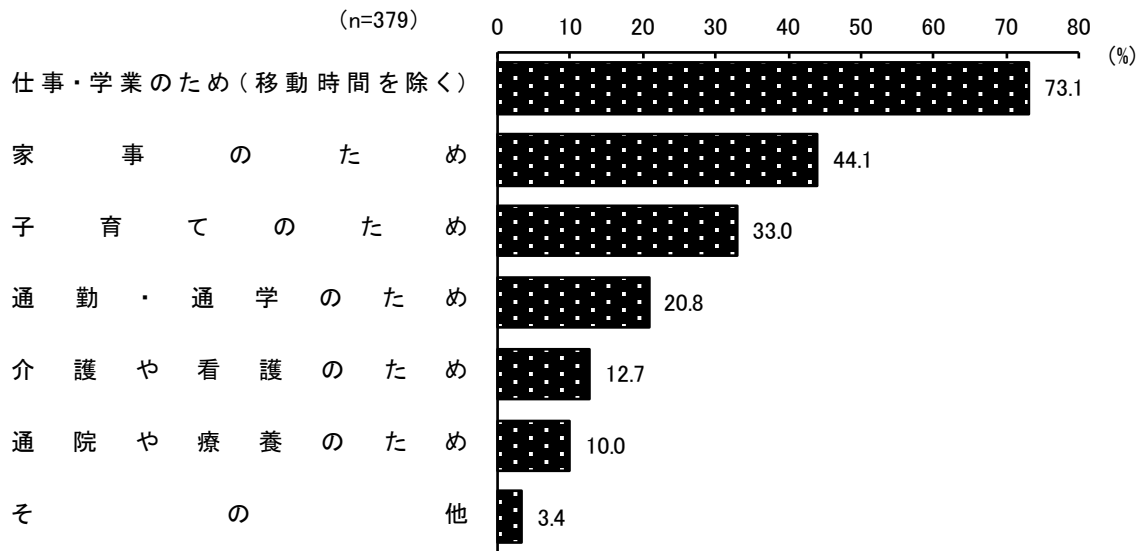
(5) 自由に過ごせる時間がない理由

問13-4 (問13で「3」「4」と答えた方に) 自由に過ごせる時間がない理由は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

「仕事・学業のため(移動時間を除く)」が7割半ば

自由に過ごせる時間がない理由は、「仕事・学業のため(移動時間を除く)」(73.1%)が7割半ばと最も多い。次いで、「家事のため」(44.1%)、「子育てのため」(33.0%)、「通勤・通学のため」(20.8%)となっている。

図5-5-1 自由に過ごせる時間がない理由 [全体]

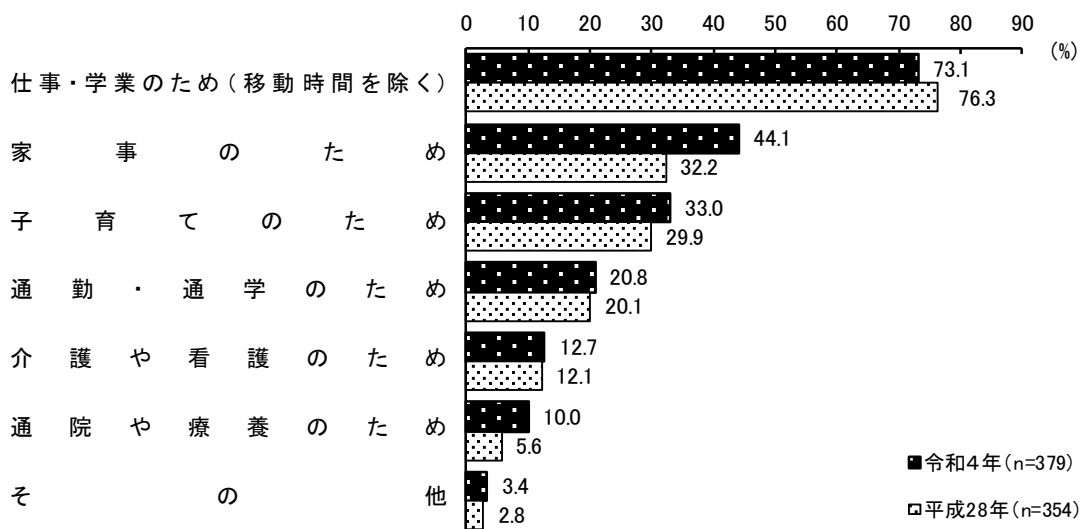


① 自由に過ごせる時間がない理由 [経年変化]

「仕事・学業のため(移動時間を除く)」は前回調査(平成28年)と比べ3.2ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(平成28年)から「仕事・学業のため(移動時間を除く)」は3.2ポイント減少、「家事のため」は11.9ポイント増加した。

図5-5-2 自由に過ごせる時間がない理由 [経年変化]





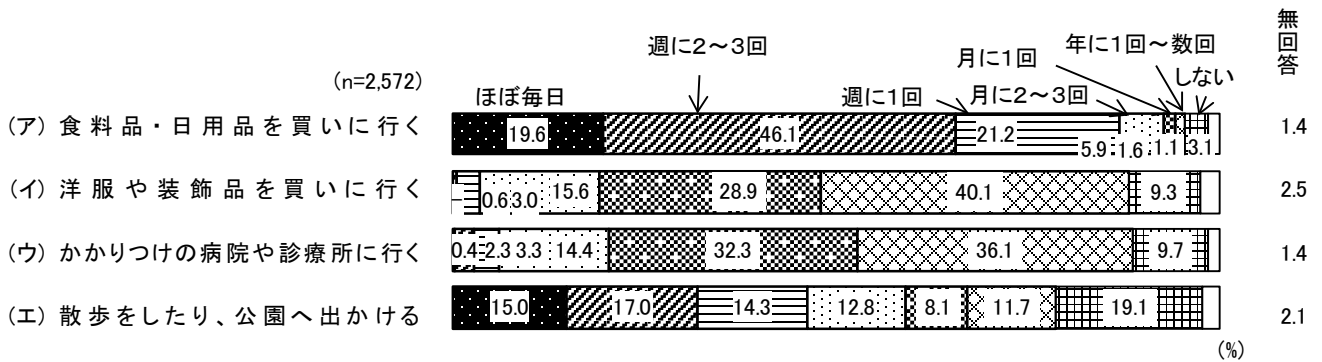
(6) 生活の行動頻度

問 14 あなたは、次のことをどのくらいの頻度でしていますか。なお、することがない項目については「しない」を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

「食料品・日用品を買いに行く」は「週に2～3回」が4割半ば

生活の行動頻度は、(ア)「食料品・日用品を買いに行く」は、「週に2～3回」(46.1%)で4割半ばと最も多い。(イ)「洋服や装飾品を買いに行く」は、「年に1回～数回」(40.1%)で4割を超える。(ウ)「かかりつけの病院や診療所へ行く」は、「年に1回～数回」(36.1%)で3割半ばと最も多い。(エ)「散歩をしたり、公園へ出かける」は、「しない」(19.1%)が2割近いが、する人では「週に2～3回」(17.0%)が最も多い。

図5-6-1 生活の行動頻度 [全体]

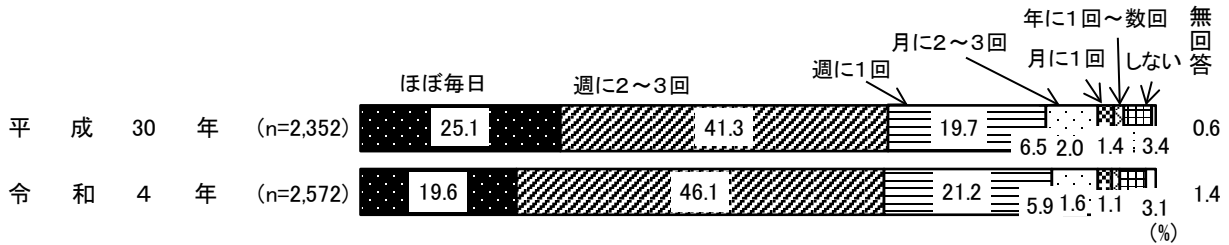


① 生活の行動頻度（ア）食料品・日用品を買いに行く〔経年変化〕

「ほぼ毎日」は前回調査(平成30年)と比べ5.5ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(平成30年)から「週に2～3回」は4.8ポイント増加した。

図5-6-2 生活の行動頻度（ア）食料品・日用品を買いに行く〔経年変化〕

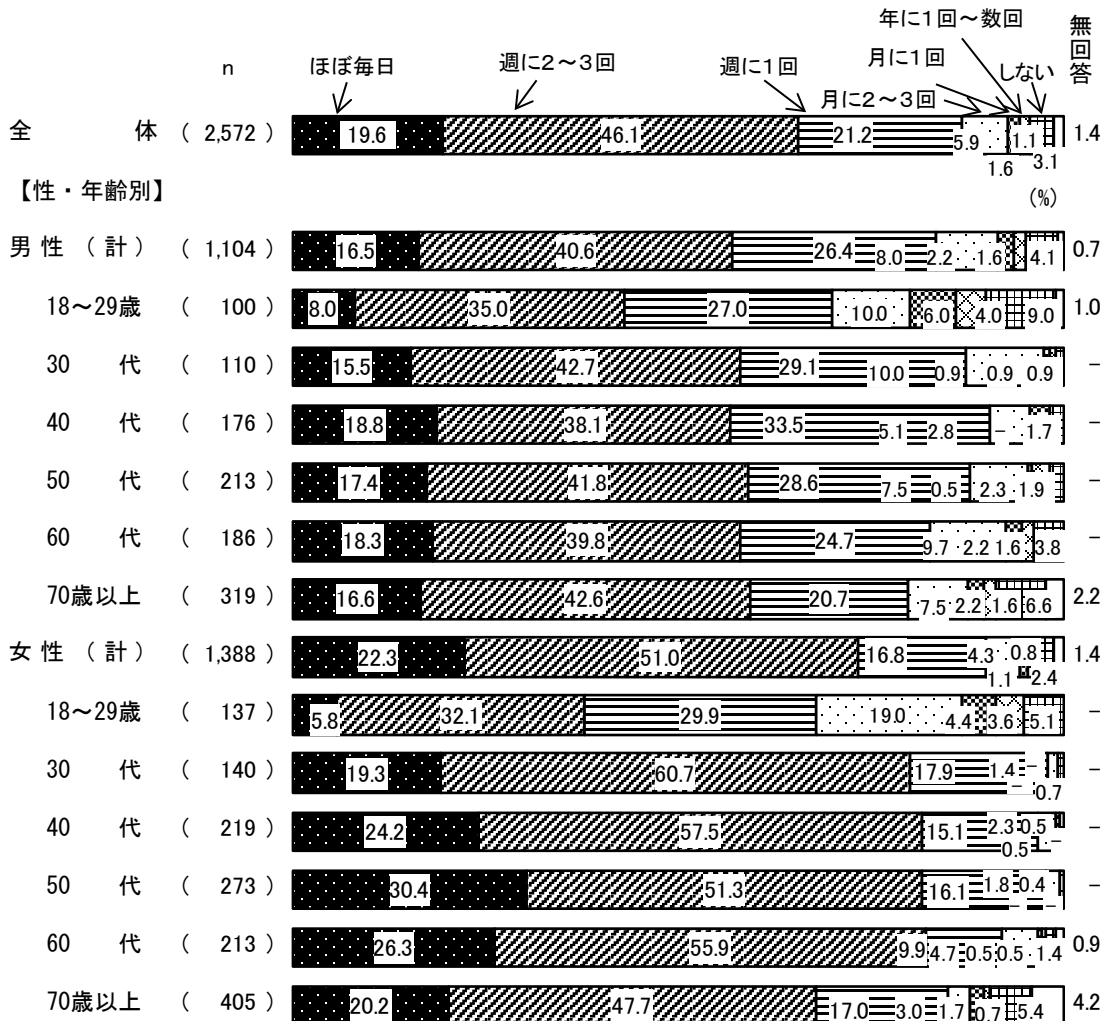


② 生活の行動頻度（ア）食料品・日用品を買いに行く〔性・年齢別〕

「週に2～3回」は女性30代で6割を超えて最も多い

性・年齢別にみると、「週に2～3回」は女性30代（60.7%）で6割を超えて最も多く、次いで女性40代（57.5%）、女性60代（55.9%）で5割半ばとなっている。

図5-6-3 生活の行動頻度（ア）食料品・日用品を買いに行く〔性・年齢別〕

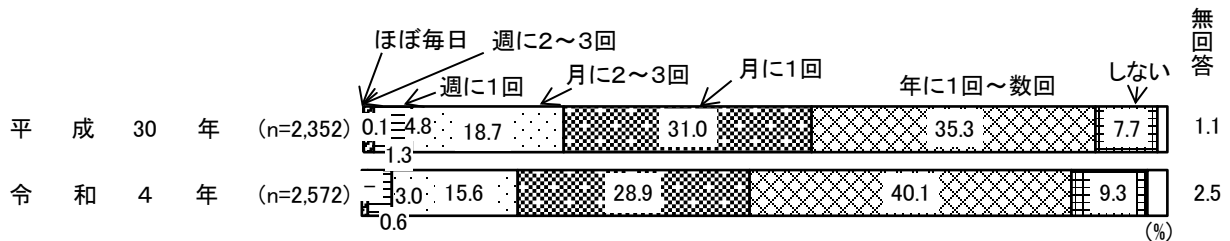


③ 生活の行動頻度（イ）洋服や装飾品を買いに行く [経年変化]

「年に1回～数回」は前回調査(平成30年)と比べ4.8ポイント増加

経年比較をみると、前回調査(平成30年)から「年に1回～数回」は4.8ポイント増加した。

図5-6-4 生活の行動頻度（イ）洋服や装飾品を買いに行く [経年変化]

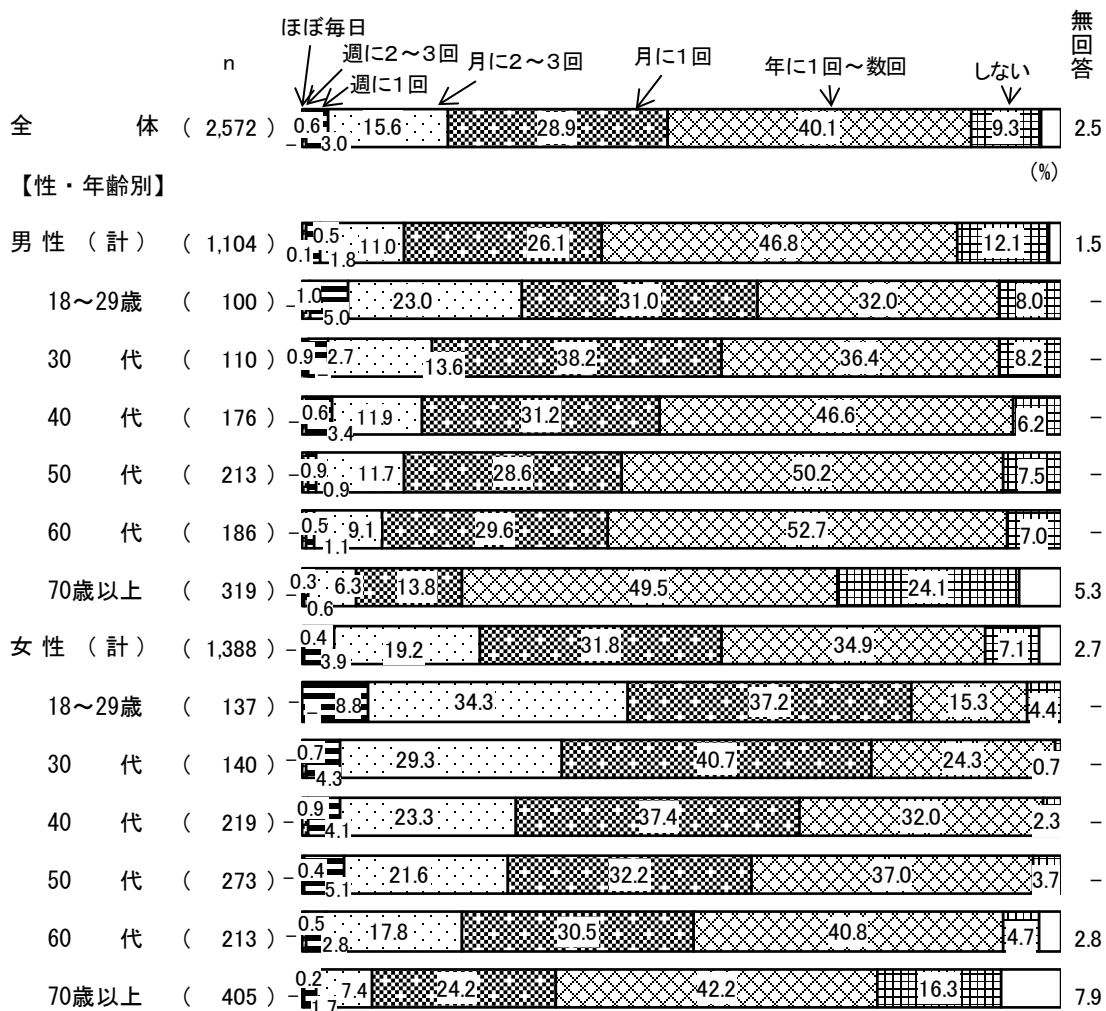


④ 生活の行動頻度（イ）洋服や装飾品を買いに行く [性・年齢別]

「年に1回～数回」は男性60代で5割を超えて最も多い

性・年齢別にみると、「年に1回～数回」は男性60代（52.7%）で5割を超えて最も多く、次いで男性50代（50.2%）、男性70歳以上（49.5%）となっている。

図5-6-5 生活の行動頻度（イ）洋服や装飾品を買いに行く [性・年齢別]

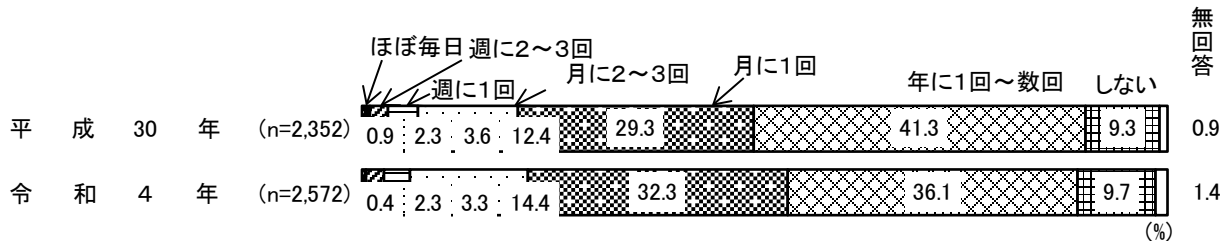


⑤ 生活の行動頻度（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [経年変化]

「年に1回～数回」は前回調査(平成30年)と比べ5.2ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(平成30年)から「年に1回～数回」は5.2ポイント減少した。

図5-6-6 生活の行動頻度（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [経年変化]

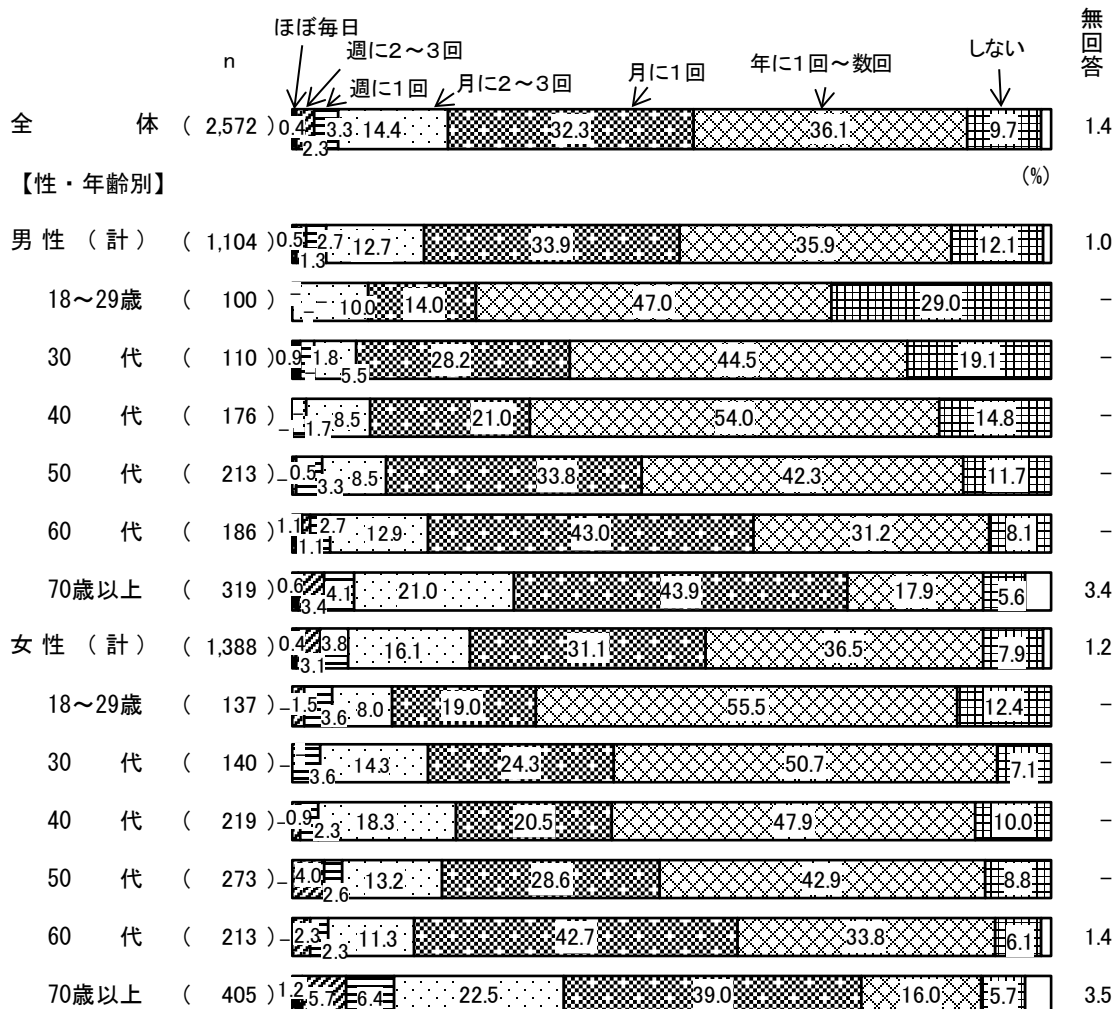


⑥ 生活の行動頻度（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

「年に1回～数回」は女性18~29歳で5割半ばと最も多い

性・年齢別にみると、「年に1回～数回」は女性18~29歳（55.5%）で5割半ばと最も多く、次いで男性40代（54.0%）、女性30代（50.7%）、女性40代（47.9%）となっている。

図5-6-7 生活の行動頻度（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

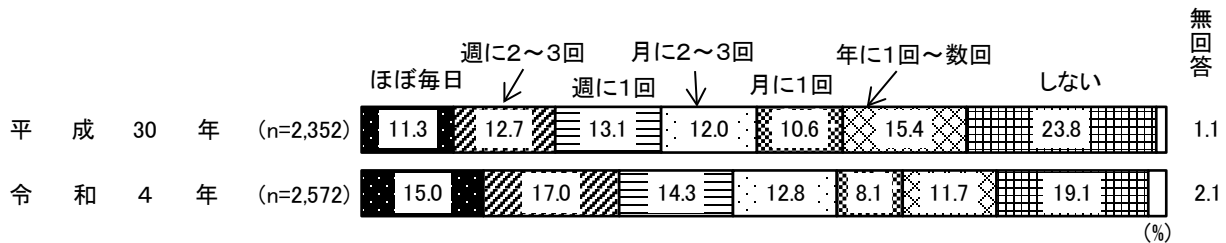


⑦ 生活の行動頻度（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔経年変化〕

「しない」は前回調査(平成30年)と比べ4.7ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(平成30年)から「しない」は4.7ポイント減少した。

図5-6-8 生活の行動頻度（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔経年変化〕

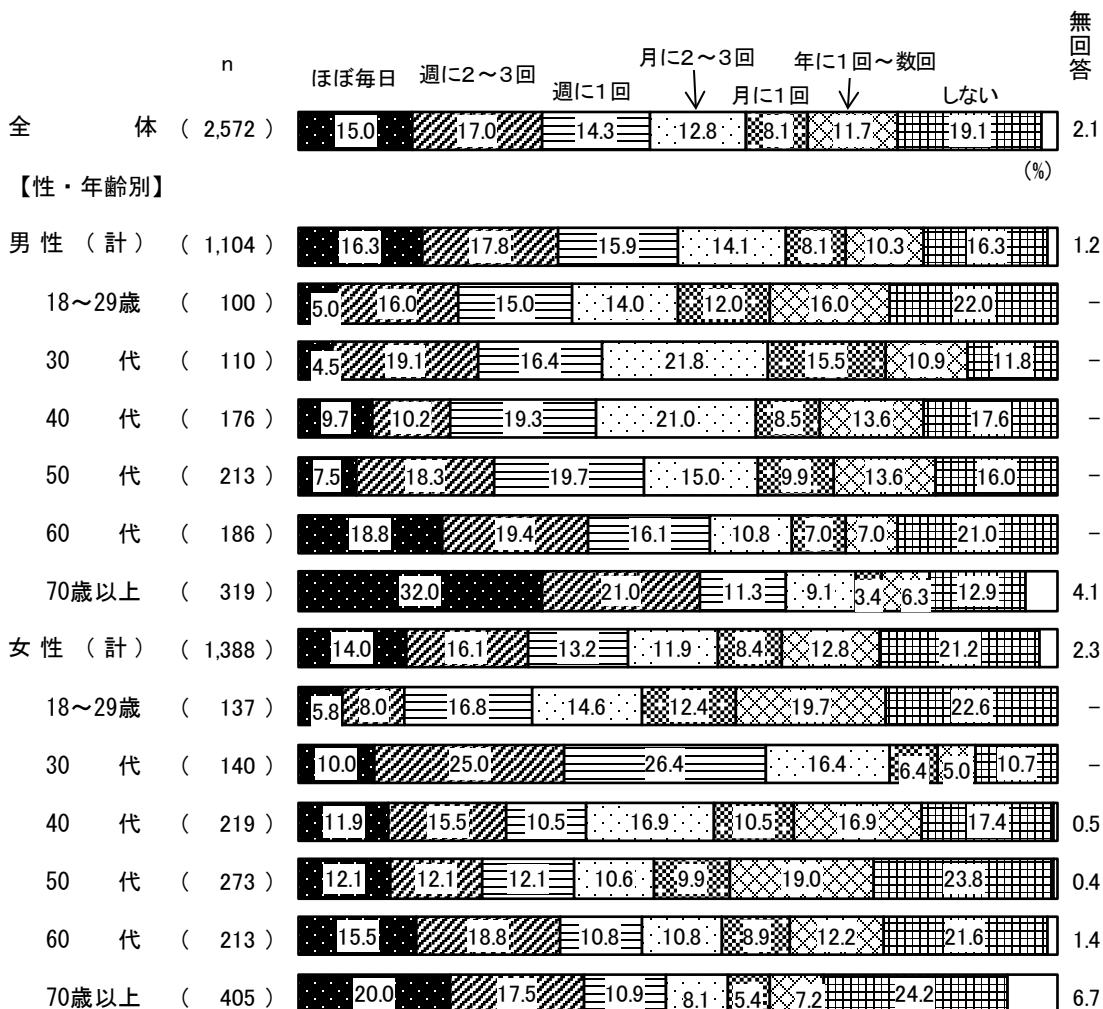


⑧ 生活の行動頻度（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔性・年齢別〕

「しない」は女性70歳以上で2割半ばと最も多い

性・年齢別にみると、「ほぼ毎日」は男性70歳以上（32.0%）で3割を超えている。「しない」は女性70歳以上（24.2%）で2割半ばと最も多く、次いで女性50代（23.8%）、女性18~29歳（22.6%）、男性18~29歳（22.0%）となっている。

図5-6-9 生活の行動頻度（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔性・年齢別〕



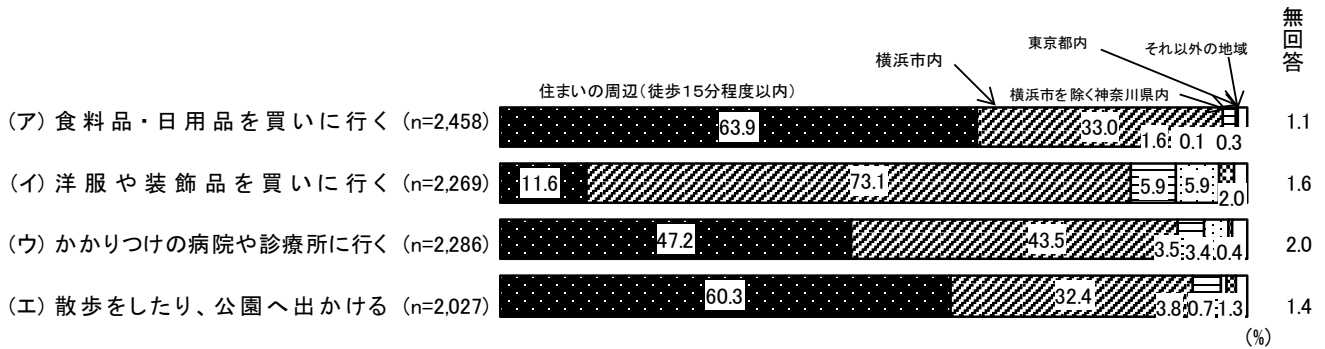
(7) 生活の行動範囲

問 15 あなたは、次のことをする場合、主にどこに行きますか。(〇はそれぞれ1つ。ただし、問 14で「しない」と回答した項目については無記入としてください。)

「食料品・日用品を買いに行く」は「住まいの周辺(徒歩15分程度以内)」が6割半ば

生活の行動範囲は、(ア)「食料品・日用品を買いに行く」は、「住まいの周辺(徒歩15分程度以内)」(63.9%)で6割半ばと最も多い。(イ)「洋服や装飾品を買いに行く」は、「横浜市内」(73.1%)で7割半ばとなっている。

図5-7-1 生活の行動範囲 [全体]

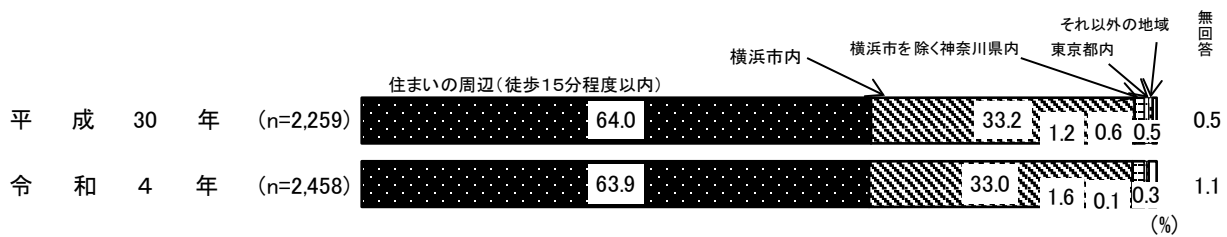


① 生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く【経年変化】

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は前回調査(平成30年)とほぼ変わらず6割半ば

経年比較をみると、前回調査(平成30年)からほぼ変わらず、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」（63.9%）は6割半ばとなっている。

図5-7-2 生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く【経年変化】

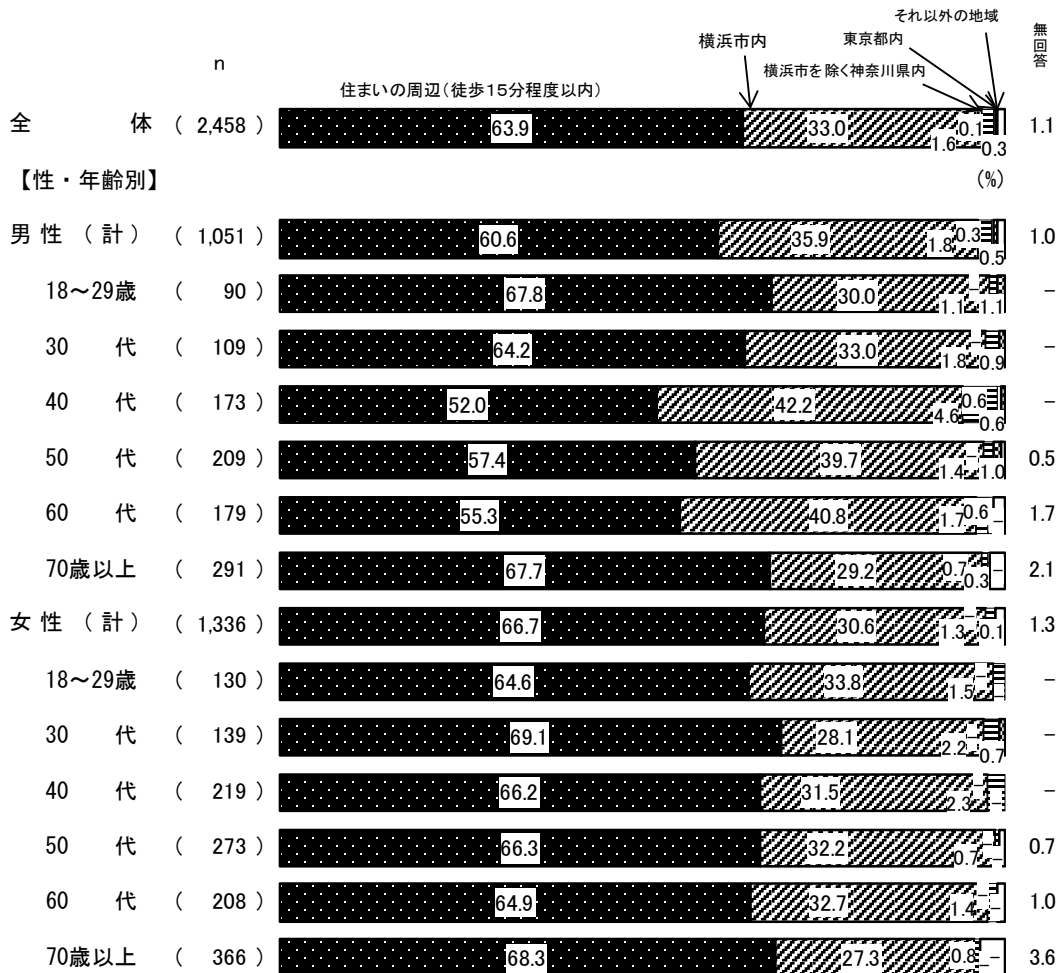


② 生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く【性・年齢別】

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は女性30代で7割近くと最も多い

性・年齢別にみると、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は女性30代（69.1%）で7割近くと最も多く、次いで女性70歳以上（68.3%）、男性18～29歳（67.8%）、男性70歳以上（67.7%）となっている。

図5-7-3 生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く【性・年齢別】

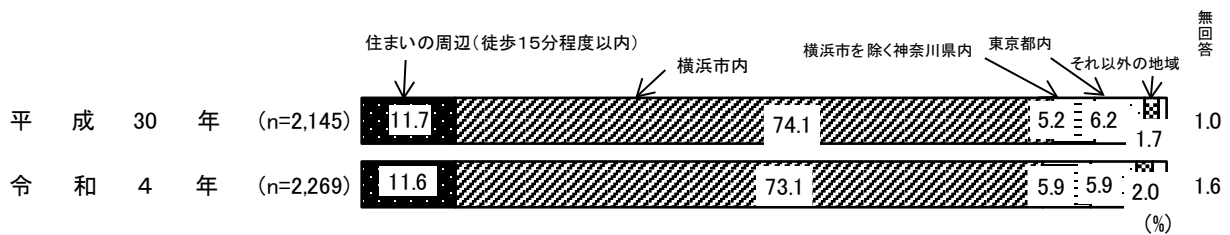


③ 生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く [経年変化]

「横浜市内」は前回調査(平成30年)とほぼ変わらず7割半ば

経年比較をみると、前回調査(平成30年)からほぼ変わらず、「横浜市内」(73.1%)は7割半ばとなっている。

図5-7-4 生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く [経年変化]

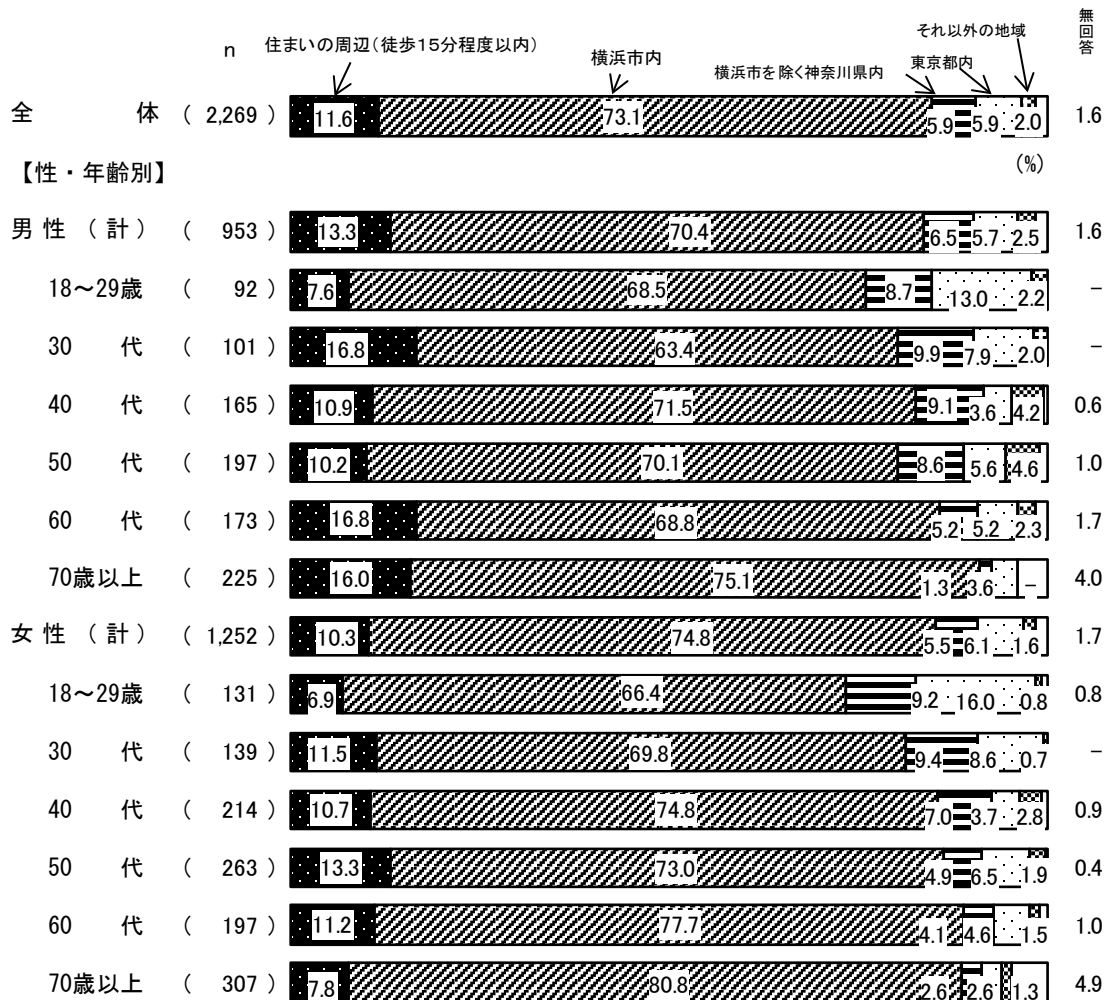


④ 生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く [性・年齢別]

「横浜市内」は女性70歳以上で8割を超えて最も多い

性・年齢別にみると、「横浜市内」は女性70歳以上(80.8%)で8割を超えて最も多く、次いで女性60代(77.7%)、男性70歳以上(75.1%)、女性40歳以上(74.8%)となっている。

図5-7-5 生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く [性・年齢別]



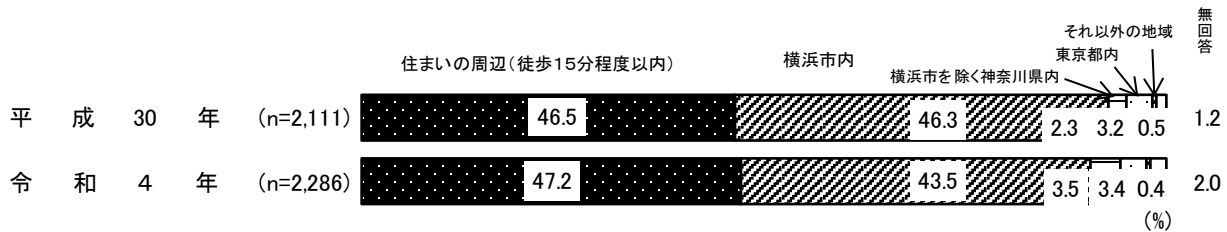


⑤ 生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [経年変化]

「横浜市内」は前回調査(平成30年)と比べ2.8ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(平成30年)から「横浜市内」は2.8ポイント減少した。

図5-7-6 生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [経年変化]

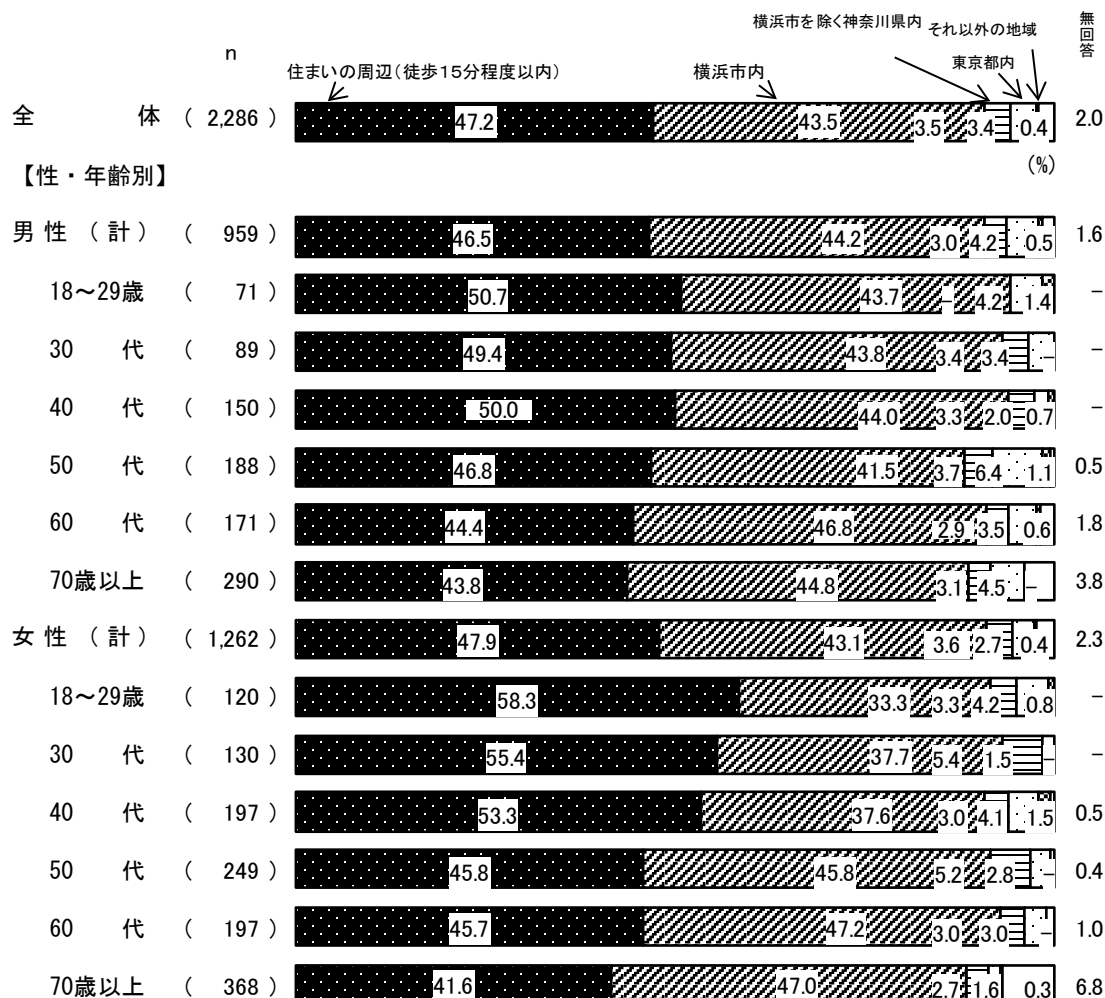


⑥ 生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

「横浜市内」は女性18~29歳で3割半ばと最も少ない

性・年齢別にみると、「横浜市内」は女性60代(47.2%)で4割半ばと最も多い。一方、女性18~29歳(33.3%)は3割半ばと最も少ない。

図5-7-7 生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

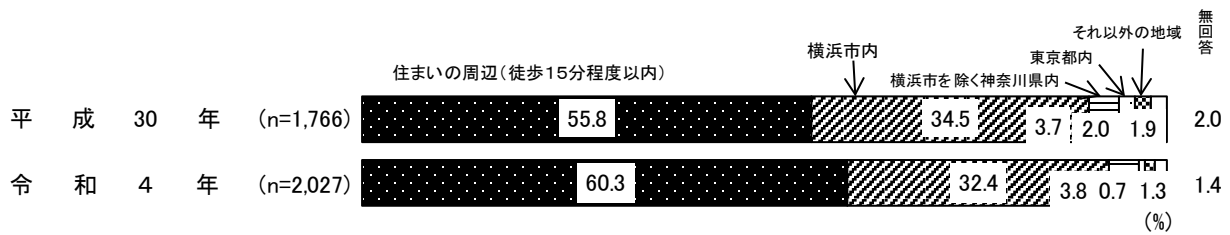


⑦ 生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける [経年変化]

「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は前回調査(平成 30 年)と比べ 4.5 ポイント増加

経年比較をみると、前回調査(平成 30 年)から「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は 4.5 ポイント増加した。

図 5-7-8 生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける [経年変化]

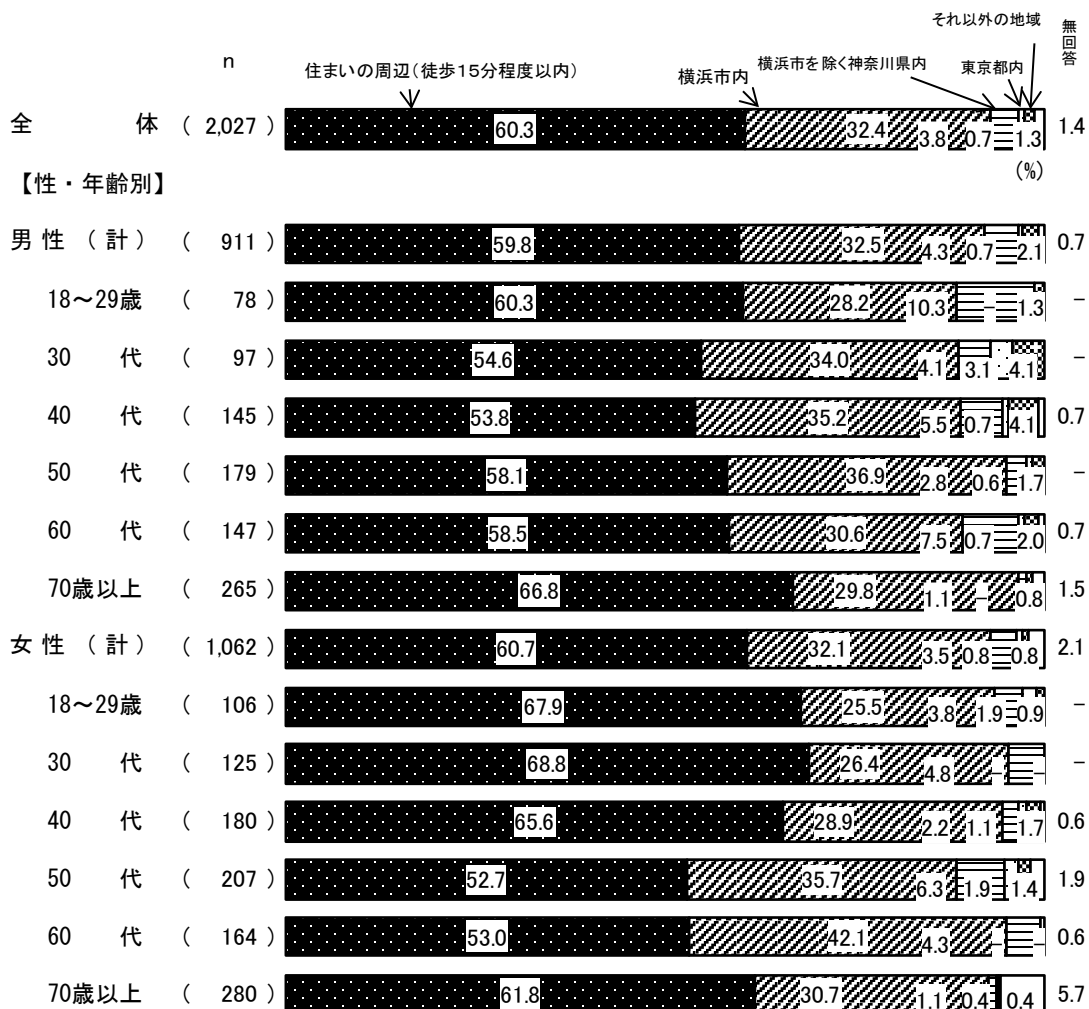


⑧ 生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける [性・年齢別]

「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は女性 30 代で 7 割近くと最も多い

性・年齢別にみると、「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は女性 30 代（68.8%）で 7 割近くと最も多く、次いで女性 18~29 歳（67.9%）、男性 70 歳以上（66.8%）、女性 40 代（65.6%）が 6 割半ばとなっている。

図 5-7-9 生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける [性・年齢別]



## 6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

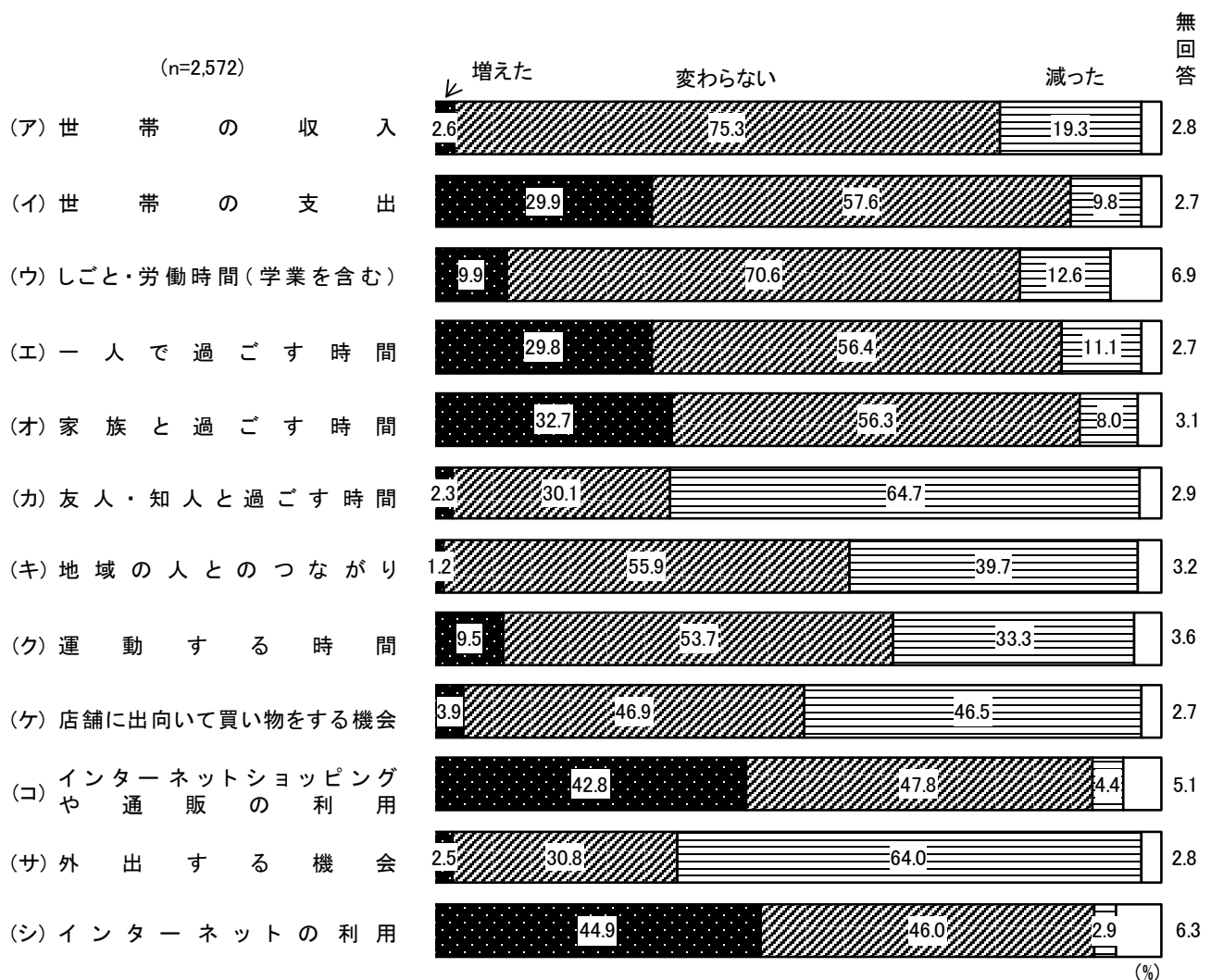
### (1) 新型コロナウイルス感染症の影響

問 16 あなたの生活で、新型コロナウイルス感染症の影響により、次のことが増えましたか。それとも減りましたか。なお、ご自身に関連しない項目については「変わらない」に○をしてください。  
(○はそれぞれ1つ)

#### 「増えた」は「インターネットの利用」で4割半ば

新型コロナウイルス感染症の影響について、(ア)「世帯の収入」から(シ)「インターネットの利用」までの12項目をみると、「増えた」は、「インターネットの利用」(44.9%)で4割半ばとなっている。一方、「減った」は、「友人・知人と過ごす時間」(64.7%)、「外出する機会」(64.0%)と6割半ばとなっている。

図6-1-1 新型コロナウイルス感染症の影響 [全体]

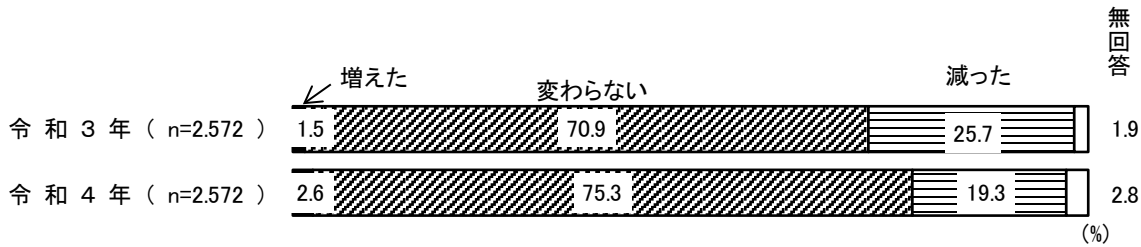


① 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入 [経年変化]

「減った」は6.4ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は6.4ポイント減少した。

図6-1-2 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入 [経年変化]



② 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入 [年齢別]

「減った」は30代で2割半ば

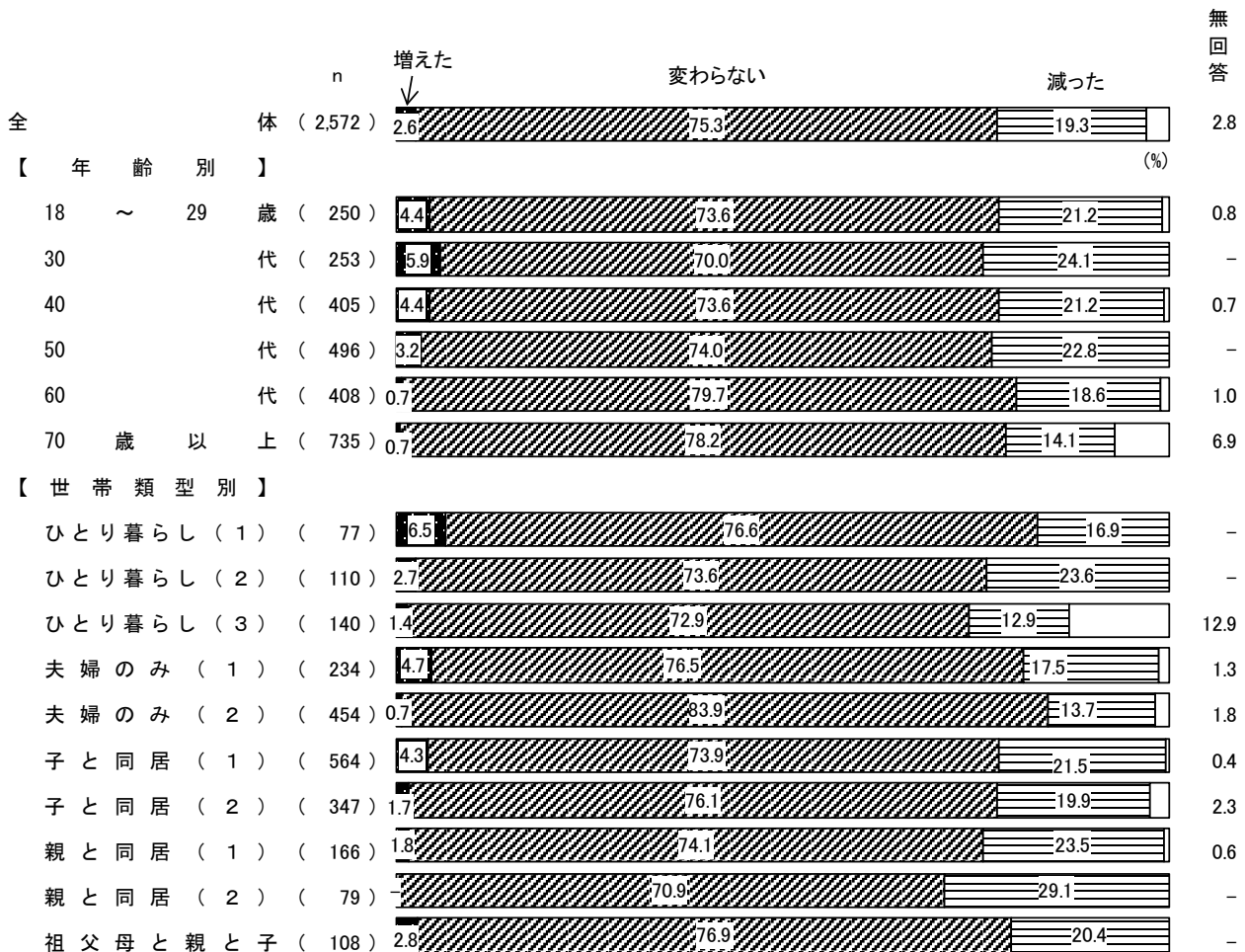
年齢別にみると、「減った」は30代 (24.1%) で2割半ばと最も多くなっている。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入 [世帯類型別]

「減った」は親と同居 (2) で3割近く

世帯類型別にみると、「減った」は親と同居 (2) (29.1%) で3割近くと最も多く、ひとり暮らし (2) (23.6%)、親と同居 (1) (23.5%) が2割半ばとなっている。

図6-1-3 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入 [年齢別、世帯類型別]

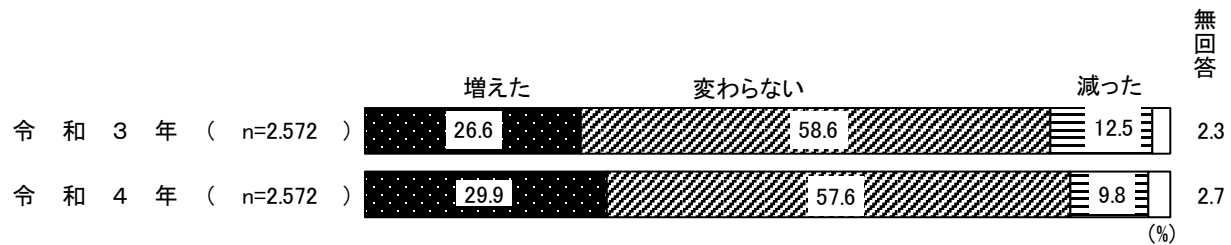


④ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔経年変化〕

「増えた」は3.3ポイント増加

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「増えた」は3.3ポイント増加した。

図6-1-4 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔経年変化〕



⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔年齢別〕

「増えた」は40代で4割近く

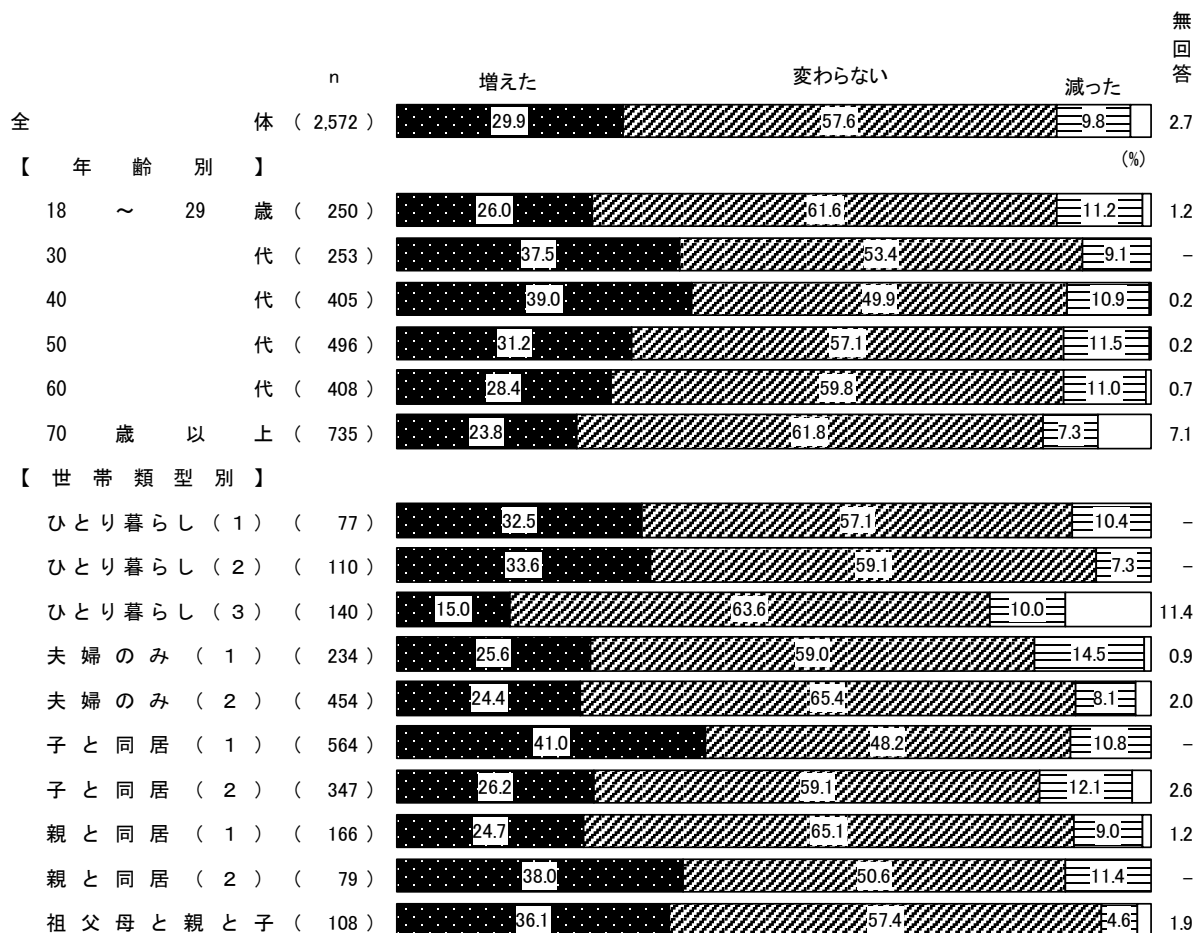
年齢別にみると、「増えた」は40代(39.0%)で4割近くと最も多くなっている。

⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔世帯類型別〕

「増えた」は子と同居(1)で4割を超える

世帯類型別にみると、「増えた」は子と同居(1)(41.0%)で4割を超えて最も多く、親と同居(2)(38.0%)で4割近くとなっている。

図6-1-5 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔年齢別、世帯類型別〕

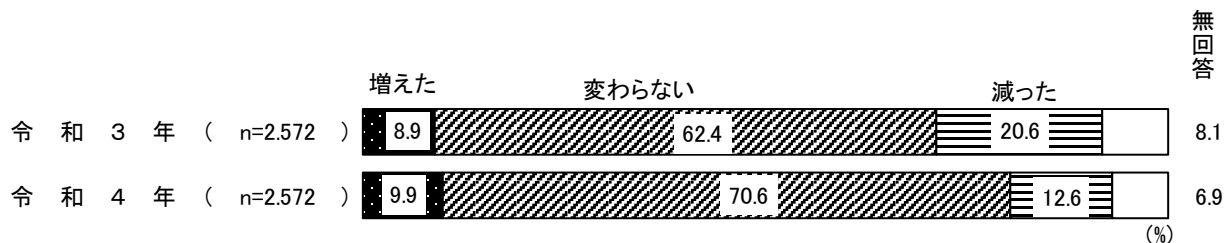


⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔経年変化〕

「減った」は8.0ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は8.0ポイント減少した。

図6-1-6 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔経年変化〕



⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔年齢別〕

「減った」は18～29歳で2割近く

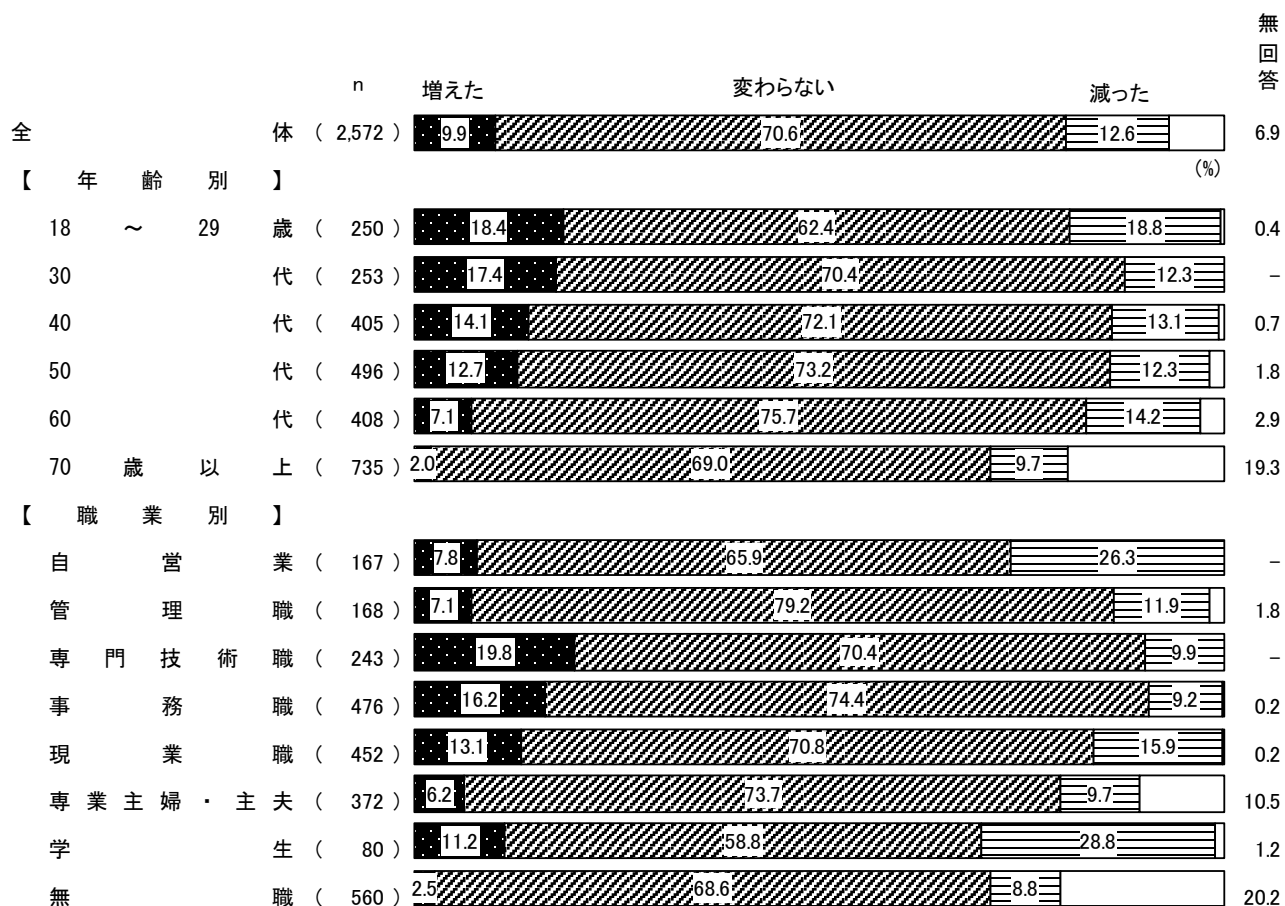
年齢別にみると、「減った」は18～29歳（18.8%）で2割近くと最も多くなっている。「増えた」は、18～29歳（18.4%）で2割近くと最も多く、年齢が高くなるほど割合が少なくなっている。

⑨ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔職業別〕

「減った」は学生で3割近く

職業別にみると、「減った」は学生（28.8%）で3割近くと最も多く、自営業（26.3%）で2割半ばとなっている。「増えた」は、専門技術職（19.8%）で2割近い。

図6-1-7 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔年齢別、職業別〕

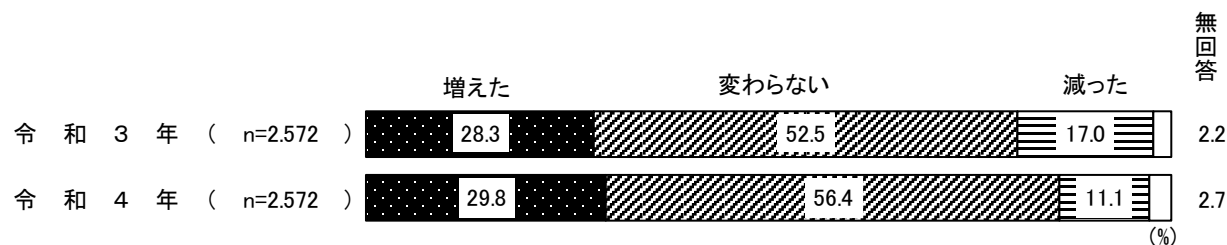


⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間 [経年変化]

「減った」は5.9ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は5.9ポイント減少した。

図6-1-8 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間 [経年変化]



⑪ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間 [年齢別]

「増えた」は18~29歳で5割を超える

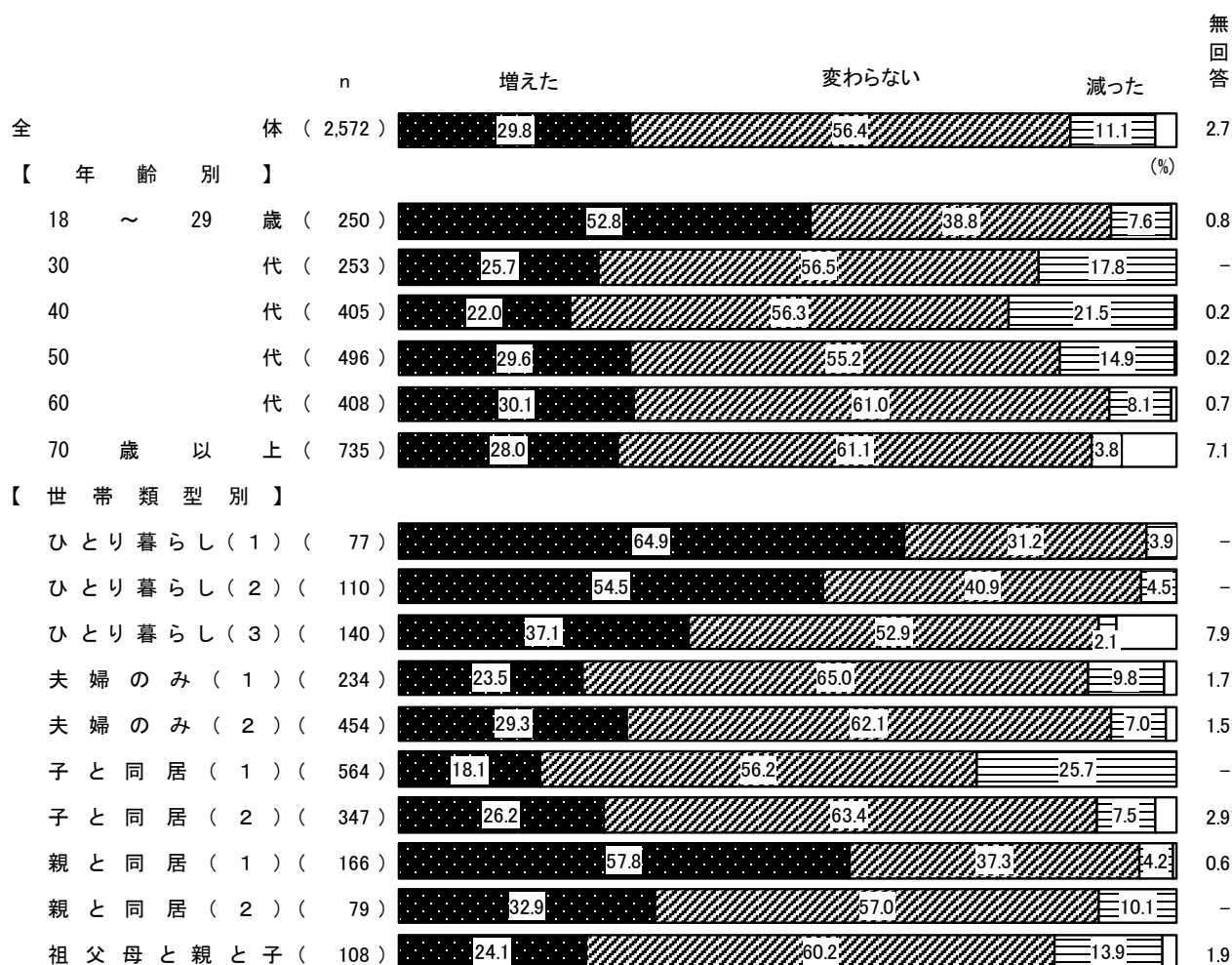
年齢別にみると、「増えた」は18~29歳（52.8%）で5割を超えて最も多くなっている。

⑫ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間 [世帯類型別]

「増えた」はひとり暮らし（1）で6割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」はひとり暮らし（1）（64.9%）で6割半ばと最も多くなっている。「減った」は子と同居（1）（25.7%）で2割半ばとなっている。

図6-1-9 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間 [年齢別、世帯類型別]

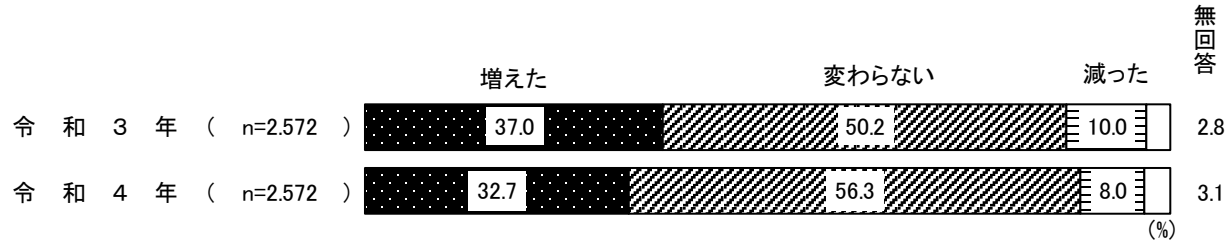


⑬ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [経年変化]

「増えた」は4.3ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「増えた」は4.3ポイント減少した。

図6-1-10 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [経年変化]



⑭ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [年齢別]

「増えた」は40代で4割半ば

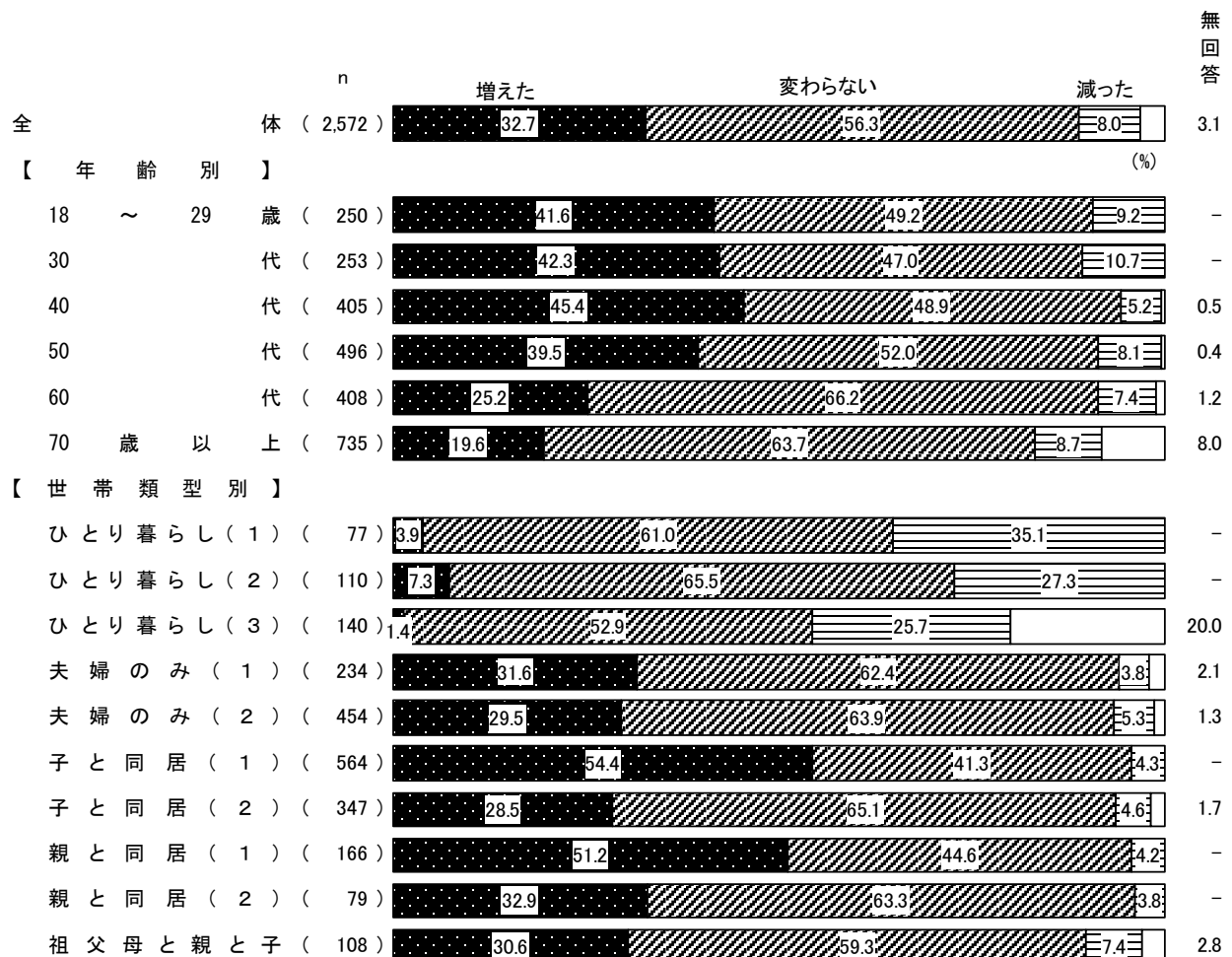
年齢別にみると、「増えた」は40代(45.4%)で4割半ばと最も多くなっている。

⑮ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [世帯類型別]

「増えた」は子と同居(1)で5割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」は子と同居(1)(54.4%)で5割半ばと最も多く、親と同居(1)(51.2%)で5割を超えている。

図6-1-11 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [年齢別、世帯類型別]





⑯ 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [経年変化]

「減った」は11.2ポイント減少

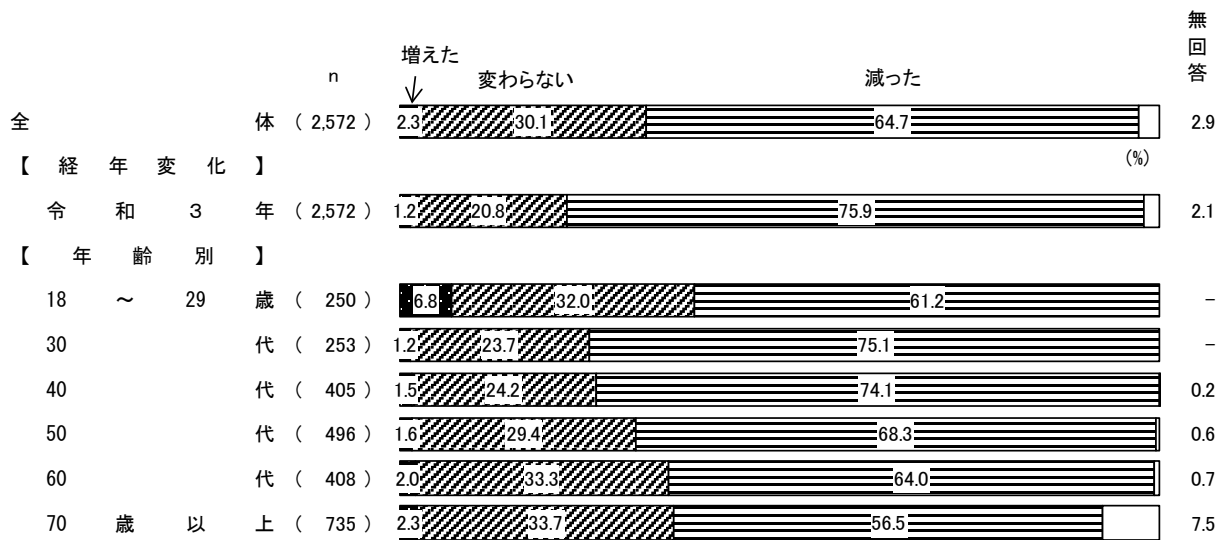
経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は11.2ポイント減少した。

⑰ 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [年齢別]

「減った」は30代、40代で7割半ば

年齢別にみると、「減った」は30代（75.1%）、40代（74.1%）で7割半ばとなっている。

図6-1-12 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [経年変化、年齢別]



⑱ 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [経年変化]

「減った」は4.0ポイント減少

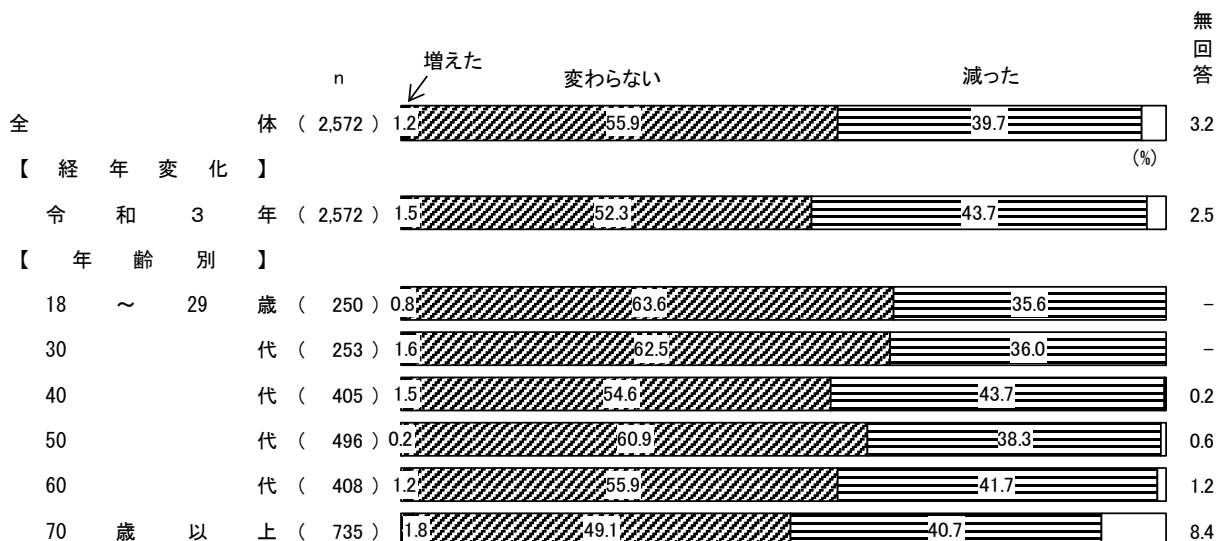
経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は4.0ポイント減少した。

⑲ 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [年齢別]

「減った」は40代で4割半ば

年齢別にみると、「減った」は40代（43.7%）で4割半ばと最も多くなっている。

図6-1-13 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [経年変化、年齢別]



⑳ 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間 [経年変化]

「減った」は6.5ポイント減少

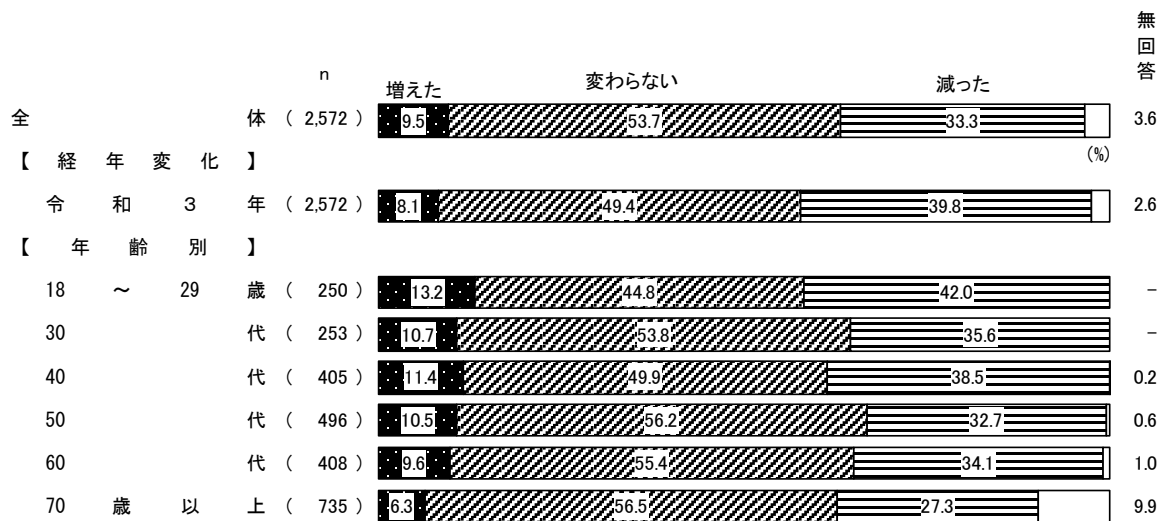
経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は6.5ポイント減少した。

㉑ 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間 [年齢別]

「減った」は18～29歳で4割を超える

年齢別にみると、「減った」は18～29歳（42.0%）で4割を超えて最も多い。

図6-1-14 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間 [経年変化、年齢別]



㉒ 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会 [経年変化]

「減った」は13.4ポイント減少

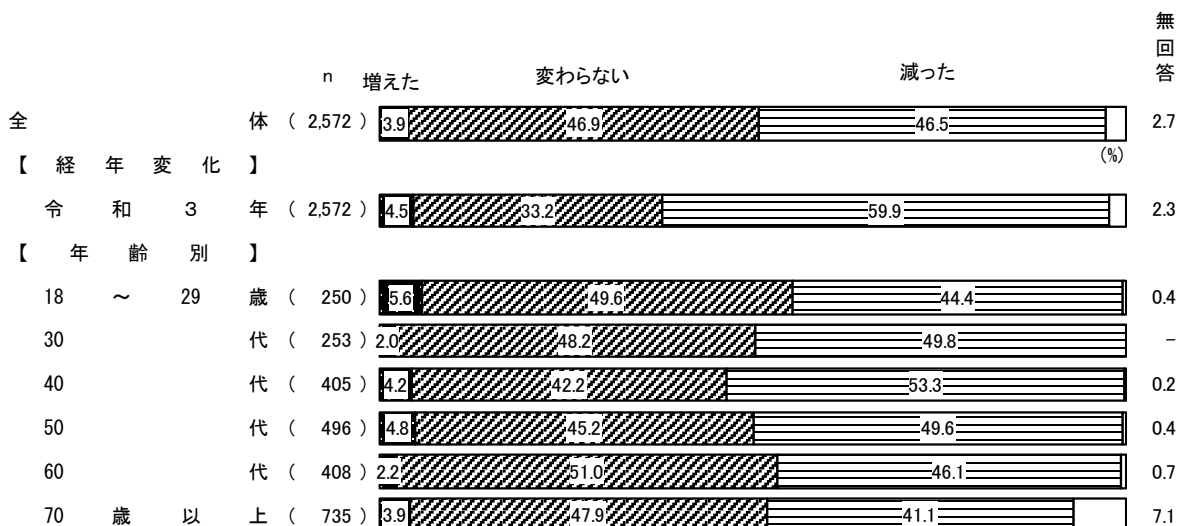
経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は13.4ポイント減少した。

㉓ 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会 [年齢別]

「減った」は40代で5割半ば

年齢別にみると、「減った」は40代（53.3%）で5割半ばと最も多くなっている。

図6-1-15 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会 [経年変化、年齢別]



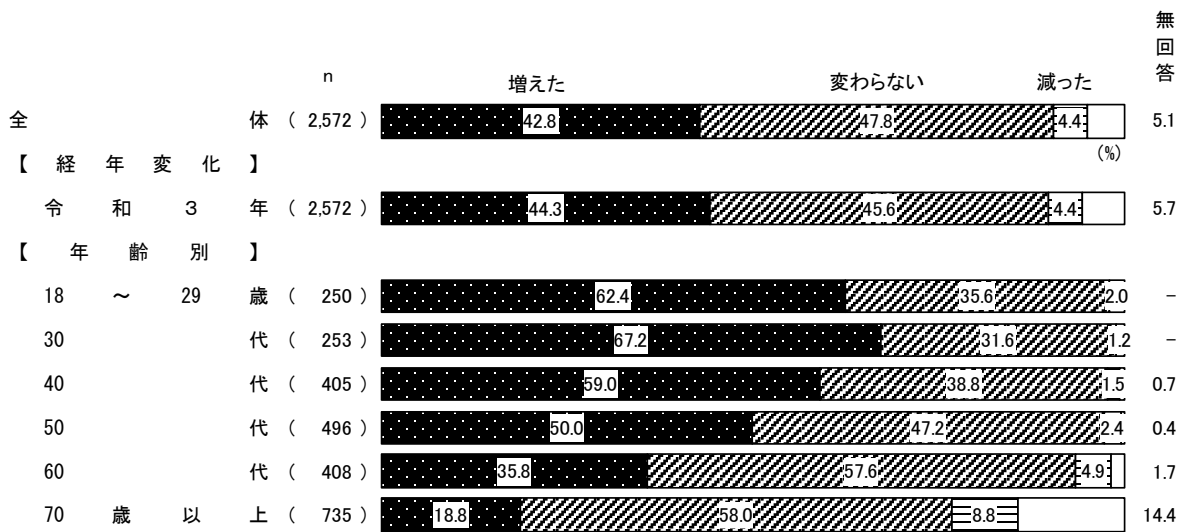
②④ 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [経年変化]  
「増えた」は1.5ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「増えた」は1.5ポイント減少した。

②⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [年齢別]  
「増えた」は30代で6割半ば

年齢別にみると、「増えた」は30代（67.2%）で6割半ばと最も多くなっている。

図6-1-16 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [経年変化、年齢別]



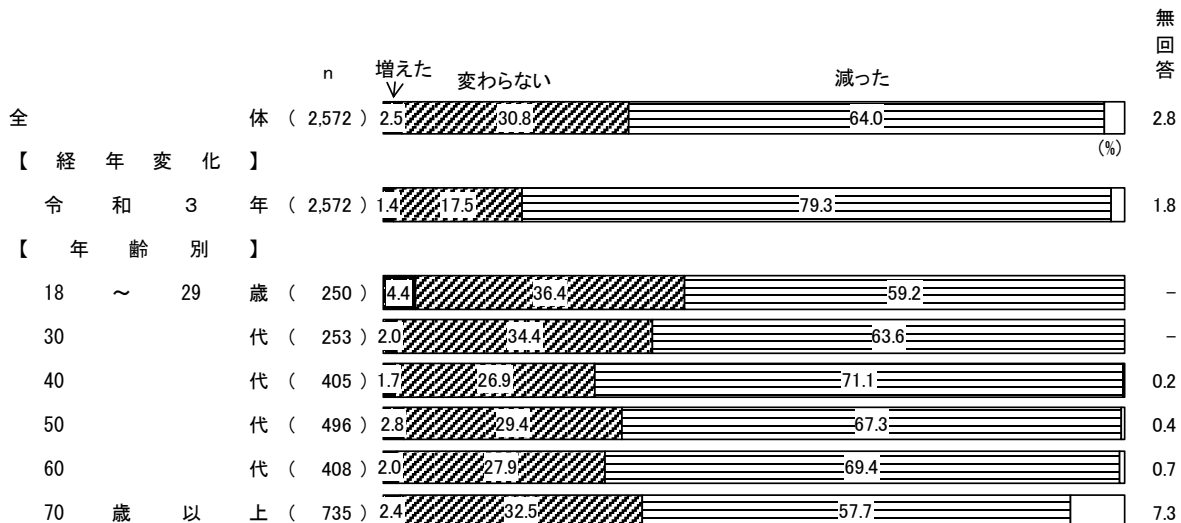
②⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [経年変化]  
「減った」は15.3ポイント減少

経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「減った」は15.3ポイント減少した。

②⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [年齢別]  
「減った」は40代で7割を超える

年齢別にみると、「減った」は40代（71.1%）で7割を超えて最も多くなっている。

図6-1-17 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [経年変化、年齢別]



⑳ 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔経年変化〕

「増えた」は2.7ポイント減少

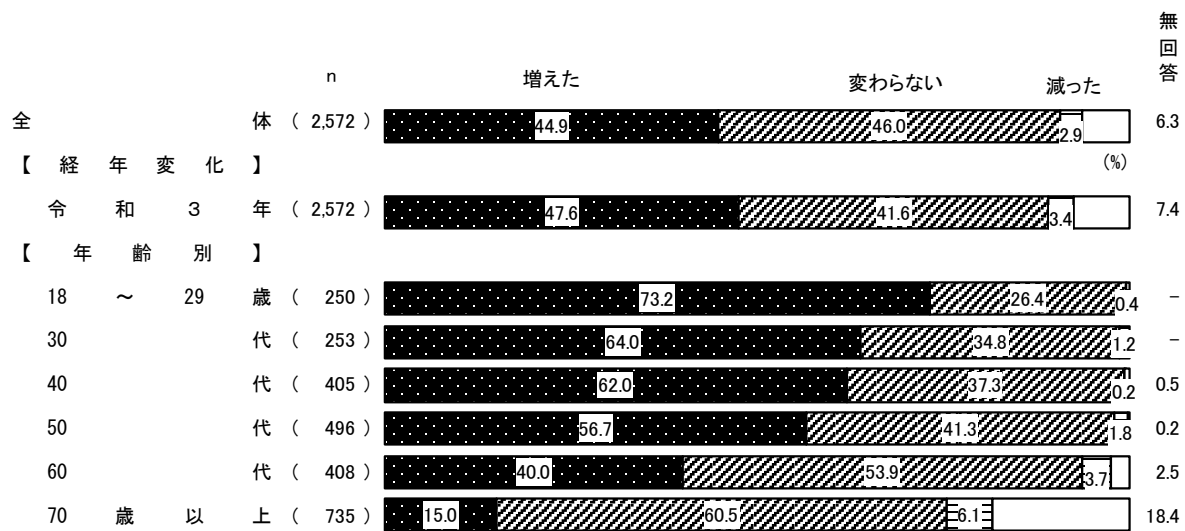
経年比較をみると、前回調査(令和3年)から、「増えた」は2.7ポイント減少した。

㉑ 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔年齢別〕

「増えた」は18～29歳で7割半ば

年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（73.2%）で7割半ばと最も多くなっている。

図6-1-18 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔経年変化、年齢別〕



(2) 行動時間の変化

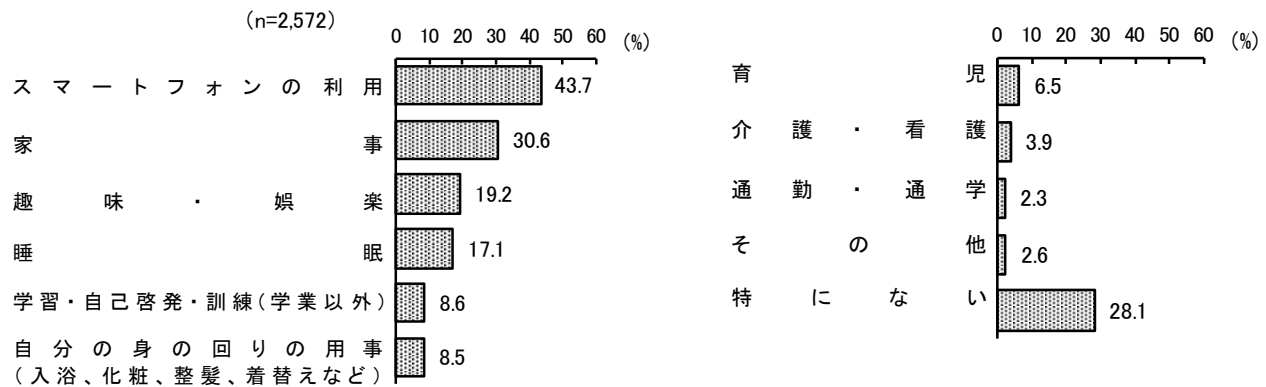
問 17 あなたの生活の中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前と比べて、する時間が増えたことはありますか。また、する時間が減ったことはありますか。(〇はそれぞれいくつでも)

① 行動時間の変化(ア)する時間が増えたこと [全体]

「スマートフォンの利用」は4割半ば

する時間が増えたことについては、「スマートフォンの利用」(43.7%)が4割半ばと最も多い。

図6-2-1 ①行動時間の変化(ア)する時間が増えたこと [全体]



② 行動時間の変化(ア)する時間が増えたこと [年齢別]

70歳以上で「家事」が1位

年齢別にみると、70歳以上は「家事」が1位となっている。そのほかの年代では「スマートフォンの利用」が1位となっている。「育児」は、30代(24.9%)で3位、40代(17.5%)で4位となっている。「特にない」は70歳以上が最も多い。

表6-2-1 行動時間の変化(ア)する時間が増えたこと [年齢別]

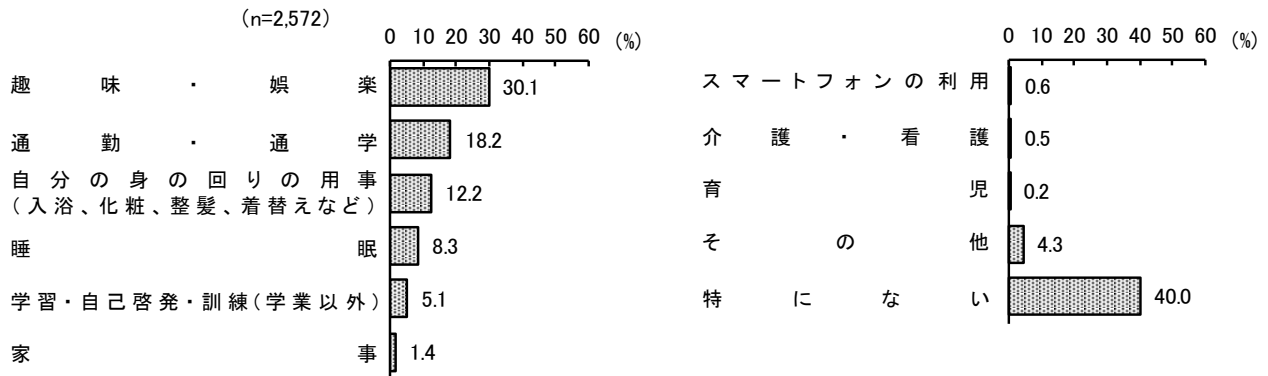
属性	順位	割合 (%)					特にない
		1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (n=2,572)		スマートフォンの利用 43.7	家事 30.6	趣味・娯楽 19.2	睡眠 17.1	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 8.6	28.1
年齢別	18~29歳 (n=250)	スマートフォンの利用 68.4	趣味・娯楽 38.0	睡眠 36.4	家事 26.0	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 14.4	14.4
	30代 (n=253)	スマートフォンの利用 56.5	家事 33.2	育児 24.9	睡眠 20.2	趣味・娯楽 18.6	20.9
	40代 (n=405)	スマートフォンの利用 55.8	家事 39.5	睡眠 18.0	育児 17.5	趣味・娯楽 15.8	21.5
	50代 (n=496)	スマートフォンの利用 50.6	家事 34.9	趣味・娯楽 19.6	睡眠 12.3	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 9.5	23.6
	60代 (n=408)	スマートフォンの利用 41.4	家事 29.7	趣味・娯楽 15.9	睡眠 14.5	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 8.3	32.1
	70歳以上 (n=735)	家事 24.8	スマートフォンの利用 21.9	趣味・娯楽 16.9	睡眠 14.3	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 11.6	39.5

③ 行動時間の変化（イ）する時間が減ったこと [全体]

「趣味・娯楽」は3割を超える

する時間が減ったことについては、「趣味・娯楽」（30.1%）で3割を超えて最も多い。

図6-2-2 行動時間の変化（イ）する時間が減ったこと [全体]



④ 行動時間の変化（イ）する時間が減ったこと [年齢別]

18～29歳で「通勤・通学」が1位

年齢別にみると、18～29歳は「通勤・通学」が1位となっている。そのほかの年代では「趣味・娯楽」が1位となっている。18～29歳で「趣味・娯楽」、70歳以上で「自分の身の回りの用事（入浴、化粧、整髪、着替えなど）」がそれぞれ2位となっている。「特にない」は70歳以上が最も多い。

表6-2-2 行動時間の変化（イ）する時間が減ったこと [年齢別]

属性	順位	割合 (%)					特にない
		1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (n=2,572)		趣味・娯楽 30.1	通勤・通学 18.2	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 12.2	睡眠 8.3	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 5.1	40.0
年齢別	18～29歳 (n=250)	通勤・通学 34.0	趣味・娯楽 21.6	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 10.8	睡眠 8.4	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 7.6	37.2
	30代 (n=253)	趣味・娯楽 34.4	通勤・通学 24.5	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 15.4	睡眠 9.9	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 5.1	36.0
	40代 (n=405)	趣味・娯楽 33.3	通勤・通学 24.0	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 13.3	睡眠 9.1	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 5.2	36.0
	50代 (n=496)	趣味・娯楽 31.7	通勤・通学 25.0	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 11.5	睡眠 10.1	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 3.0	36.7
	60代 (n=408)	趣味・娯楽 30.9	通勤・通学 16.9	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 13.0	睡眠 7.4	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 4.7	39.0
	70歳以上 (n=735)	趣味・娯楽 29.0	自分の身の回りの用事(入浴、化粧、整髪、着替えなど) 11.0	睡眠 6.9	学習・自己啓発・訓練(学業以外) 5.7	通勤・通学 4.1	48.0

(3) 重要だと感じるようになったこと

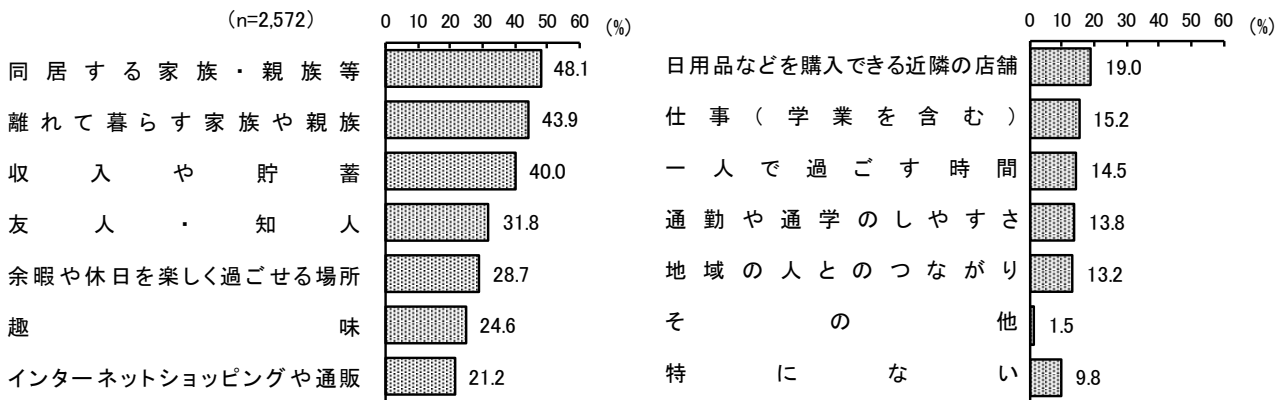
問 18 新型コロナウイルス感染症の影響により、次の中で、あなたにとって前より重要だと感じるようになったことはありますか。また、前より重要ではなくなったことはありますか。(〇はそれぞれいくつでも)

① 重要だと感じるようになったこと (ア) 前より重要だと感じるようになったこと [全体]

「同居する家族・親族等」は5割近く

前より重要だと感じるようになったことについては、「同居する家族・親族等」(48.1%)で5割近くと最も多い。

図6-3-1 重要だと感じるようになったこと (ア) 前より重要だと感じるようになったこと [全体]



② 重要だと感じるようになったこと (ア) 前より重要だと感じるようになったこと [年齢別]

18~29歳で「友人・知人」が1位

年齢別にみると、18~29歳は「友人・知人」が1位、「収入や貯蓄」が2位となっている。「特にない」は70歳以上が最も多い。

表6-3-1 重要だと感じるようになったこと (ア) 前より重要だと感じるようになったこと [年齢別]

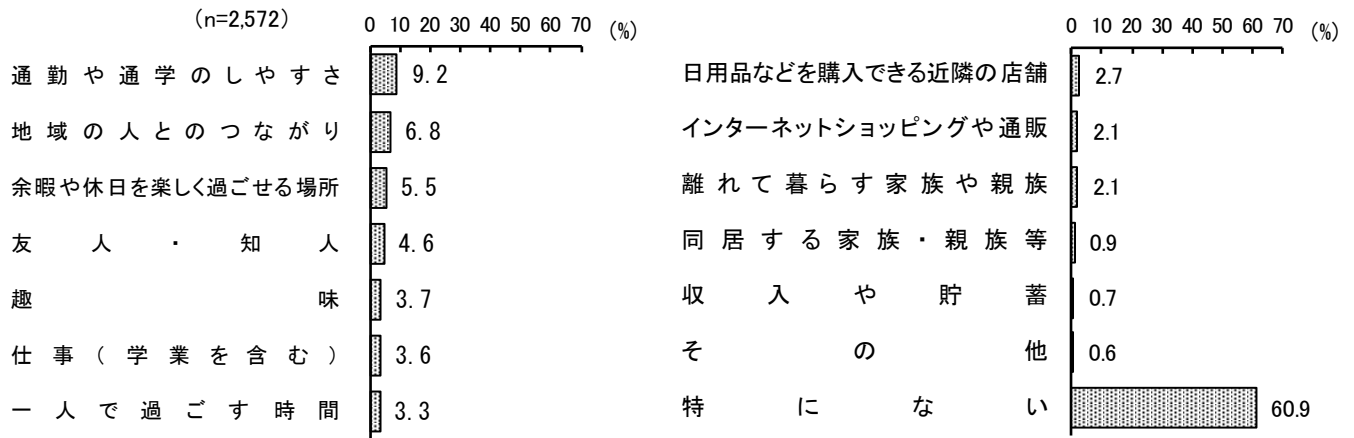
属性	順位	順位					特にない (%)
		1位	2位	3位	4位	5位	
全体	(n=2,572)	同居する家族・親族等 48.1	離れて暮らす家族や親族 43.9	収入や貯蓄 40.0	友人・知人 31.8	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 28.7	9.8
年齢別	18~29歳	友人・知人 51.6	収入や貯蓄 46.8	同居する家族・親族等 40.0	趣味 38.0	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 34.4	4.8
	30代	収入や貯蓄 60.1	同居する家族・親族等 53.0	離れて暮らす家族や親族 45.8	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 38.3	友人・知人 37.9	4.7
	40代	収入や貯蓄 49.9	同居する家族・親族等 49.1	離れて暮らす家族や親族 48.9	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 30.1	インターネットショッピングや通販 28.1	8.9
	50代	同居する家族・親族等 53.4	離れて暮らす家族や親族 46.4	収入や貯蓄 45.0	友人・知人 29.4	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 27.2	7.3
	60代	同居する家族・親族等 47.1	離れて暮らす家族や親族 45.8	収入や貯蓄 38.7	友人・知人 29.9	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 24.8	11.8
	70歳以上	同居する家族・親族等 46.9	離れて暮らす家族や親族 44.5	友人・知人 29.1	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 26.8	趣味 24.9	14.7

③ 重要だと感じるようになったこと（イ）前より重要ではなくなったこと [全体]

「通勤・通学のしやすさ」は1割近く

前より重要ではなくなったことについては、「通勤・通学のしやすさ」（9.2%）で1割近くと最も多い。

図6-3-2 重要だと感じるようになったこと（イ）前より重要ではなくなったこと [全体]



④ 重要だと感じるようになったこと（イ）前より重要ではなくなったこと [年齢別]

18～29歳で「地域の人とのつながり」が1位

年齢別にみると、18～29歳では「地域の人とのつながり」、70歳以上では「余暇や休日を楽しみ過ごせる場所」が1位となっている。そのほかの年代では「通勤や通学のしやすさ」が1位となっている。「特にない」は60代が最も多い。

表6-3-2 重要だと感じるようになったこと（イ）前より重要ではなくなったこと [年齢別]

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	特にない	
全体 (n=2,572)		通勤や通学のしやすさ 9.2	地域の人とのつながり 6.8	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 5.5	友人・知人 4.6	趣味 3.7	60.9	
年齢別	18～29歳 (n=250)	地域の人とのつながり 13.6	通勤や通学のしやすさ 13.2	友人・知人／一人で過ごす時間		余暇や休日を楽しみ過ごせる場所／日用品などを購入できる近隣の店舗 3.6	58.8	
	30代 (n=253)	通勤や通学のしやすさ 14.2	地域の人とのつながり 12.3	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 6.7	友人・知人 5.1	仕事（学業を含む） 4.3	54.2	
	40代 (n=405)	通勤や通学のしやすさ 12.6	友人・知人 7.9	地域の人とのつながり 6.9	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 6.7	趣味 5.2	60.7	
	50代 (n=496)	通勤や通学のしやすさ 11.5	地域の人とのつながり 5.6	仕事（学業を含む） 5.2	友人・知人 4.8	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 3.4	62.7	
	60代 (n=408)	通勤や通学のしやすさ 9.1	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 7.4	地域の人とのつながり 5.9	趣味 4.2	仕事（学業を含む） 3.7	63.7	
	70歳以上 (n=735)	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所 5.6	地域の人とのつながり／趣味／一人で過ごす時間		友人・知人 4.1		3.5	63.1



## 7. 今後の横浜のまち

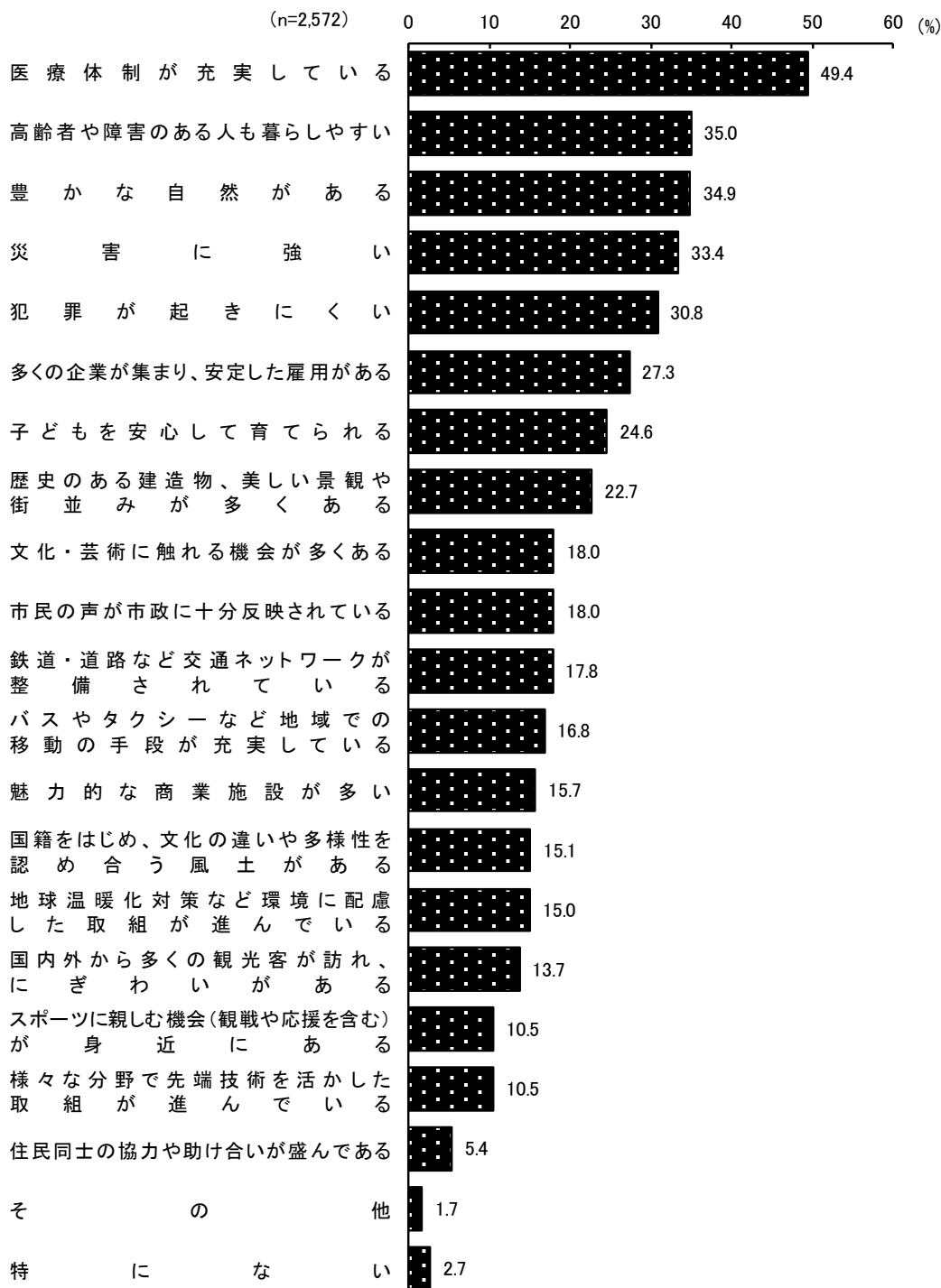
### (1) 今後の横浜のまち

問 19 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

#### 「医療体制が充実している」で5割近く

今後の横浜のまちについては、「医療体制が充実している」(49.4%)で5割近くと最も多く、次いで「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」(35.0%)、「豊かな自然がある」(34.9%)となっている。

図7-1-1 今後の横浜のまち [全体]

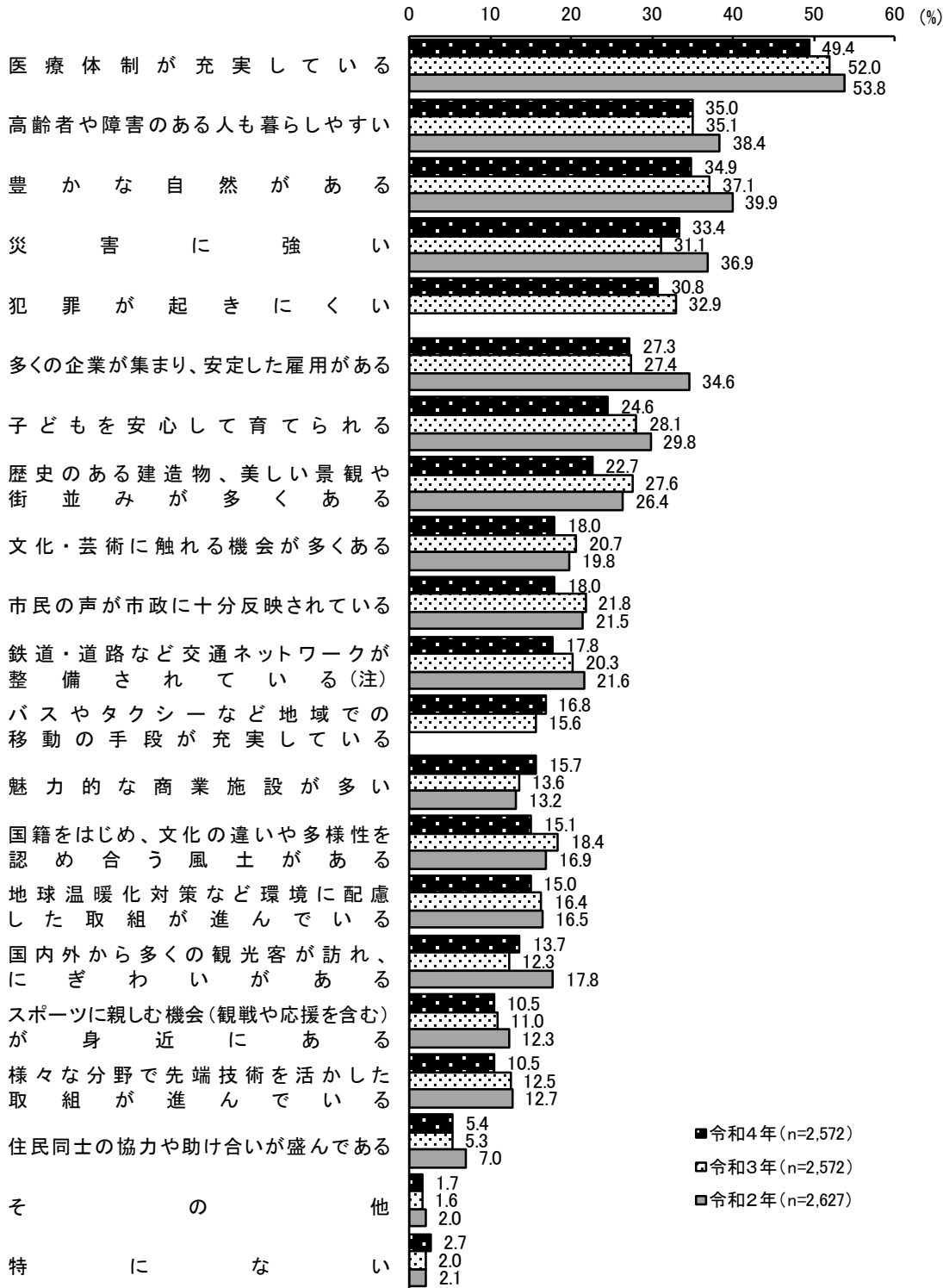


① 今後の横浜のまち [経年変化]

「医療体制が充実している」が3年連続1位

経年比較をみると、「医療体制が充実している」が3年連続1位となっている。

図7-1-2 今後の横浜のまち [経年変化]



\* 「犯罪が起きにくい」「バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している」は令和3年度より新設  
 (注) 令和2年度は「交通ネットワークが充実している」としていた。

③ 今後の横浜のまち [区別]

「医療体制が充実している」が18区中16区で1位

区別にみると、西区で「災害に強い」、都筑区で「豊かな自然がある」がそれぞれ1位となっている。

表7-1-1 今後の横浜のまち [区別]

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,572)	医療体制が充実している 49.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.0	豊かな自然がある 34.9	災害に強い 33.4	犯罪が起きにくい 30.8
鶴見区	(n=183)	医療体制が充実している 49.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.4	災害に強い 33.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.8	犯罪が起きにくい 30.6
神奈川区	(n=162)	医療体制が充実している 42.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.6	災害に強い 32.1	犯罪が起きにくい／多くの企業が集まり、安定した雇用がある 27.8	
西区	(n=54)	災害に強い 44.4	医療体制が充実している 42.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.0	市民の声が市政に十分反映されている 35.2	豊かな自然がある／多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.5
中区	(n=79)	医療体制が充実している 41.8	災害に強い 40.5	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 35.4	豊かな自然がある／犯罪が起きにくい 32.9	
南区	(n=140)	医療体制が充実している 50.0	災害に強い 36.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.7	犯罪が起きにくい 32.9	豊かな自然がある／歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 26.4
港南区	(n=147)	医療体制が充実している 59.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.8	豊かな自然がある 36.1	災害に強い 35.4	犯罪が起きにくい 27.2
保土ヶ谷区	(n=144)	医療体制が充実している 55.6	豊かな自然がある 35.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.7	犯罪が起きにくい 33.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／子どもを安心して育てられる 30.6
旭区	(n=171)	医療体制が充実している 47.4	豊かな自然がある 45.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.0	犯罪が起きにくい 31.6	子どもを安心して育てられる 30.4
磯子区	(n=103)	医療体制が充実している 57.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.9	災害に強い／歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 34.0	犯罪が起きにくい 31.1	
金沢区	(n=161)	医療体制が充実している 50.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.9	豊かな自然がある 40.4	災害に強い 37.9	犯罪が起きにくい 31.7
港北区	(n=232)	医療体制が充実している 51.3	災害に強い 45.7	犯罪が起きにくい 39.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.5	豊かな自然がある 32.3
緑区	(n=121)	医療体制が充実している 43.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.0	豊かな自然がある 36.4	災害に強い／犯罪が起きにくい 32.2	
青葉区	(n=219)	医療体制が充実している 52.5	豊かな自然がある 41.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.9	犯罪が起きにくい 29.7	災害に強い 28.8
都筑区	(n=143)	豊かな自然がある 50.3	医療体制が充実している 49.0	災害に強い 30.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 29.4	犯罪が起きにくい 28.0
戸塚区	(n=204)	医療体制が充実している 49.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.7	豊かな自然がある 37.7	災害に強い 34.3	子どもを安心して育てられる 30.9
栄区	(n=79)	医療体制が充実している 50.6	豊かな自然がある 41.8	犯罪が起きにくい 34.2	災害に強い 32.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／多くの企業が集まり、安定した雇用がある 29.1
泉区	(n=109)	医療体制が充実している 45.9	豊かな自然がある 36.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.8	子どもを安心して育てられる 33.0	犯罪が起きにくい 31.2
瀬谷区	(n=94)	医療体制が充実している 50.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.2	豊かな自然がある 34.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 27.7	災害に強い 25.5

④ 今後の横浜のまち [年齢別]

30代で「子どもを安心して育てられる」が1位

年齢別にみると、30代で「子どもを安心して育てられる」が1位となっている。

⑤ 今後の横浜のまち [性・年齢別]

男性 18～29歳で「鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている」が1位

性・年齢別にみると、男性 18～29歳で「鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている」、男女共に30代で「子どもを安心して育てられる」がそれぞれ1位となっている。

表 7-1-2 今後の横浜のまち [年齢別、性・年齢別]

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,572)		医療体制が充実している 49.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.0	豊かな自然がある 34.9	災害に強い 33.4	犯罪が起きにくい 30.8
	18～29歳 (n=250)		医療体制が充実している 33.6	犯罪が起きにくい／子どもを安心して育てられる 32.0	災害に強い 28.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 28.0	
	30代 (n=253)		子どもを安心して育てられる 55.3	医療体制が充実している 42.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.0	災害に強い／犯罪が起きにくい 31.6	
	40代 (n=405)		医療体制が充実している 47.7	子どもを安心して育てられる 40.0	災害に強い 36.0	犯罪が起きにくい 34.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.8
	50代 (n=496)		医療体制が充実している 51.2	災害に強い 41.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.9	豊かな自然がある／犯罪が起きにくい 36.3	
	60代 (n=408)		医療体制が充実している 53.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.3	災害に強い 40.2	豊かな自然がある 35.3	犯罪が起きにくい 33.1
	70歳以上 (n=735)		医療体制が充実している 55.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 50.3	豊かな自然がある 40.7	災害に強い 26.3	犯罪が起きにくい 23.8
	性・年齢別	男性計 (n=1,104)		医療体制が充実している 48.8	豊かな自然がある 36.4	災害に強い 32.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 31.6
18～29歳 (n=100)			鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 35.0	医療体制が充実している／多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.0	犯罪が起きにくい／魅力的な商業施設が多い／国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある 30.0		
30代 (n=110)			子どもを安心して育てられる 47.3	医療体制が充実している 40.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 39.1	犯罪が起きにくい 30.0	災害に強い 29.1
40代 (n=176)			医療体制が充実している 42.6	子どもを安心して育てられる 38.1	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.2	犯罪が起きにくい 33.5	豊かな自然がある 33.0
50代 (n=213)			医療体制が充実している 48.8	豊かな自然がある 42.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.0	災害に強い 35.2	犯罪が起きにくい 31.9
60代 (n=186)			医療体制が充実している 53.8	災害に強い 44.6	豊かな自然がある／高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.2	犯罪が起きにくい 35.5	
70歳以上 (n=319)			医療体制が充実している 57.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 52.0	豊かな自然がある 40.1	災害に強い 26.3	犯罪が起きにくい 23.2
女性計 (n=1,388)			医療体制が充実している 50.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.2	災害に強い 34.7	豊かな自然がある 34.5	犯罪が起きにくい 32.1
18～29歳 (n=137)			医療体制が充実している／子どもを安心して育てられる 35.8	犯罪が起きにくい 33.6	災害に強い 29.9	豊かな自然がある 27.0	
30代 (n=140)			子どもを安心して育てられる 62.1	医療体制が充実している 43.6	災害に強い／犯罪が起きにくい 33.6	豊かな自然がある 32.9	
40代 (n=219)			医療体制が充実している 51.1	子どもを安心して育てられる 41.1	災害に強い 38.8	犯罪が起きにくい 35.2	豊かな自然がある 34.7
50代 (n=273)			医療体制が充実している 52.4	災害に強い 45.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.9	犯罪が起きにくい 40.3	豊かな自然がある 31.9
60代 (n=213)			医療体制が充実している 54.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 53.1	災害に強い 36.6	豊かな自然がある 31.9	犯罪が起きにくい 31.0
70歳以上 (n=405)			医療体制が充実している 55.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 49.1	豊かな自然がある 40.7	災害に強い 25.9	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 24.7

⑥ 今後の横浜のまち [ライフステージ別]

単身(1)で「犯罪が起きにくい」が1位

ライフステージ別にみると、単身(1)で「犯罪が起きにくい」、高齢子どもなしで「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」、家族形成期、家族成長前期で「子どもを安心して育てられる」がそれぞれ1位となっている。

表7-1-3 今後の横浜のまち [ライフステージ別]

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,572)	医療体制が充実している 49.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.0	豊かな自然がある 34.9	災害に強い 33.4	犯罪が起きにくい 30.8
子どもなし計	(n=729)	医療体制が充実している 43.6	災害に強い／犯罪が起きにくい 34.2	豊かな自然がある 33.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 30.7	
単身(1) 40歳未満	(n=273)	犯罪が起きにくい 35.2	医療体制が充実している／多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.7	災害に強い 32.6	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 29.3	
単身(2) 40～64歳	(n=165)	医療体制が充実している 46.7	豊かな自然がある 37.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 36.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.8	災害に強い／犯罪が起きにくい 33.3
夫婦だけ(1) 40歳未満	(n=53)	医療体制が充実している 49.1	子どもを安心して育てられる 45.3	豊かな自然がある 37.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.0	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある／魅力的な商業施設が多い 30.2
夫婦だけ(2) 40～64歳	(n=152)	医療体制が充実している 49.3	災害に強い 41.4	犯罪が起きにくい 38.8	豊かな自然がある 37.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.2
高齢子どもなし	(n=86)	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 59.3	医療体制が充実している 55.8	災害に強い 38.4	豊かな自然がある 37.2	犯罪が起きにくい 32.6
子どもあり計	(n=1,670)	医療体制が充実している 53.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.1	豊かな自然がある 36.3	災害に強い 34.6	犯罪が起きにくい 30.1
家族形成期 第一子が小学校入学前	(n=129)	子どもを安心して育てられる 82.2	医療体制が充実している 45.0	災害に強い 33.3	犯罪が起きにくい 30.2	豊かな自然がある 28.7
家族成長前期 第一子が小学生	(n=143)	子どもを安心して育てられる 67.1	医療体制が充実している 49.0	災害に強い／犯罪が起きにくい 35.0	豊かな自然がある 32.2	
家族成長中期 第一子が中・高生	(n=176)	医療体制が充実している 52.3	子どもを安心して育てられる 44.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.6	犯罪が起きにくい 35.2	災害に強い 31.8
家族成長後期 第一子が大学生等	(n=126)	医療体制が充実している 48.4	災害に強い 39.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.3	犯罪が起きにくい 34.1	豊かな自然がある 33.3
家族成熟前期 第一子が学校教育終了	(n=74)	医療体制が充実している 54.1	災害に強い 41.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.8	犯罪が起きにくい 33.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 31.1
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満	(n=284)	医療体制が充実している 54.2	災害に強い 46.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.7	犯罪が起きにくい 36.3	豊かな自然がある 34.5
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上	(n=738)	医療体制が充実している 56.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 50.4	豊かな自然がある 42.0	災害に強い 29.3	犯罪が起きにくい 24.5

⑦ 今後の横浜のまち [市政全体への満足度別]

全項目で「医療体制が充実している」が1位

市政全体への満足度別にみると、不満があるほうで「子どもを安心して育てられる」が2位となっている。

表7-1-4 今後の横浜のまち [市政全体への満足度別]

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,572)	医療体制が充実している 49.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.0	豊かな自然がある 34.9	災害に強い 33.4	犯罪が起きにくい 30.8
満足しているほう	(n=198)	医療体制が充実している 44.9	豊かな自然がある 40.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.9	災害に強い 26.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 26.3
まあ満足しているほう	(n=932)	医療体制が充実している 50.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.5	豊かな自然がある 35.6	災害に強い 35.0	犯罪が起きにくい 30.0
どちらともいえない	(n=854)	医療体制が充実している 52.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.7	豊かな自然がある 34.9	災害に強い 34.4	犯罪が起きにくい 33.1
やや不満があるほう	(n=231)	医療体制が充実している 47.6	豊かな自然がある 36.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.1	災害に強い 32.9	子どもを安心して育てられる 32.5
不満があるほう	(n=155)	医療体制が充実している 47.1	子どもを安心して育てられる 41.9	市民の声が市政に十分反映されている 39.4	災害に強い 37.4	犯罪が起きにくい 31.0

令和4年度 横浜市民意識調査  
令和5年3月発行

横浜市 政策局 政策部 政策課  
〒231- 0005

横浜市中区本町6丁目50番地の10

TEL 045 (671) 2028

FAX 045 (663) 1225

e-mail [ss-ishiki@city.yokohama.jp](mailto:ss-ishiki@city.yokohama.jp)